

基本情報

科目名	文学
時間割コード	1000010501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
高 継芬

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義で日本文学においては、日本近代文学の巨匠夏目漱石が切り開いた近代小説の世界とは何か、彼の文学の人生についてアプローチし彼の心を理解する。中国文学から受けた影響、そして西洋文学から受けた影響を学ぶことで漱石についての理解を深める。
履修上の注意事項	夏目漱石の作品を読んでいくが講義の時間だけでは限りがあるので、予習と復讐など積極して頂ければよりスムーズに講義が進むことができる。
評価方法	授業内に課す小レポート(40点)+学期末試験(もしくは学期末レポート)(60点)
テキスト	『夏目漱石 東洋と西洋の狭間で』 高 継芬著 梓書院 及び講義時プリント配布。
参考文献	課題図書は授業時に適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス明治時代の日本文学について説明する。		
2	夏目漱石という人物について、人生歴、交友、側面からアプローチする。		
3	『草枕』を始め、『虞美人草』『三四郎』『門』等の作品から文学観の変化をとらえる。		
4	熊本小温泉を舞台にした『草枕』の背景について初期の文学観について学ぶ。		
5	『草枕』を読みながら作者の西欧文化に対する考えを理解する。		
6	夏目漱石のイギリス留学について説明する。		
7	『永日小品』を読みながら夏目漱石がイギリスに対する印象を理解する。		
8	『永日小品』の「下宿」を解読する。		
9	『永日小品』の「印象」を解読する。		
10	『永日小品』の「昔」を解読する。		
11	『永日小品』の「過去の匂い」を解読する。		
12	『永日小品』の「暖かい夢」を解読する。		
13	夏目漱石の作品を読みながら中国文学から受けた影響を理解する。		
14	『草枕』を読みながら作者の東洋文学に対する考えを理解する。		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	夏目漱石の作品を学んだ総まとめ。		

基本情報

科目名	心理学
時間割コード	1000020501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	山住 賢司
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
山住 賢司

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義では、心の働き・仕組みを科学的に探究していく学問である心理学の基礎について学んでゆく。 人の心の基本的な仕組みと機能、発達段階における心理的課題、日常生活と心の健康との関係、心理学理論を基礎とするアセスメントの方法と支援、等について理解することを目的とする。 本講義を通じて受講者は、心理学の基本知識について自分の言葉で説明できるようになる。
履修上の注意事項	欠席が多いと単位取得資格を満たせないことを理解しておくこと。 テキストは毎回必ず持参すること。 理解度を確認するための確認課題を各回の講義で実施する。
評価方法	定期試験の得点100%で成績を評価する。 なお希望者には個別に評価内容を口頭で伝える。
テキスト	「最新社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座2 心理学と心理的支援」 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編） 中央法規 2021
参考文献	「心理学概論[第2版]」 岡市廣成・鈴木直人（監修） ナカニシヤ出版 2014
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス：「心理学」について	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
2	心理学の歴史と方法について	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
3	心の生物学的基礎の理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	感情・動機づけ・欲求の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
5	感覚と知覚の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
6	学習・行動の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
7	認知：記憶・注意・言語・思考の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
8	知能・パーソナリティの心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
9	社会のなかでの心理：自己概念・対人認知・集団の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
10	心の発達の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
11	心の健康：ストレス理論と対処行動の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
12	心理アセスメントの理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	心理療法と介入技法の理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
14	心理的支援の基本的技法の理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
15	まとめ：振り返り・心理学と対人援助職との交点	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

基本情報

科目名	教育学
時間割コード	1000030501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	桑嶋 晋平
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
桑嶋 晋平

詳細情報

授業の目的・到達目標	この授業では、教育というひとが育ちゆくうえでかかすことのできないいとなみについての基礎的なことがらについて学ぶとともに、この社会においてひとが育ち生きていくということがどのようなことであるのかという問いについて考察をおこなっていくことを目的とします。授業では、ひとの生涯にわたる生のありようや育ちおよびそれと教育とのかかわりについて学んでいきます。そのため、この授業では、以下のことを目標とします。 (1) 教育の基礎的なことがらについて理解し、説明することができる。 (2) ひとの生涯にわたる発達や育ちについて理解し、説明することができる。 (3) ひとが育ちゆくうえでの教育の意義や役割について理解し、説明することができる。
履修上の注意事項	授業の計画は、受講者の数およびニーズに応じて一部変更する場合があります。
評価方法	授業後の小レポート(30%)および学期末試験(70%)の総合成績で評価する。基礎的なことがらへの理解の度合い、設問にたいする理解度および解答が妥当性、論理性におうじて評価します。 なお、毎時の小レポートについては、次回授業で全体に向けてコメントします。
テキスト	教科書は使用しない。毎回の授業で使用使用する資料を配布する。
参考文献	参考書については授業ごとに適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
予習・復習については、毎時の授業で指示します(各回につき、事前学習:2時間、事後学習:2時間)。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	受講ガイダンス/授業全体の概要をしめす。		
2	ひとの生涯にわたる育ちと教育		
3	赤ちゃんはどこまで人間か		
4	ことばの発達と教育		
5	子どもにとって遊びとはなにか		
6	保育・幼児教育をめぐる現代の課題		
7	社会性の発達と教育		
8	10歳の壁とはなにか		
9	学校とはなにか		
10	青年期の課題と教育		
11	社会における教育の諸相		
12	職業・労働と教育		
13	老いることと学ぶこと		
14	発達と喪失		
15	授業のまとめと現代教育の諸問題		

基本情報

科目名	哲学
時間割コード	1000050501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	田畑 博敏
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
田畑 博敏

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目「哲学」は、古代ギリシャに始まり、中世・近代のヨーロッパを通じて発達し、現代では世界中の多くの国で研究され学ばれている科目です。日本では、自然科学と同様に、明治時代にヨーロッパから輸入され、現在、多くの大学で教えられています。哲学の特徴は、常に物事の根源にさかのぼって、探究することです。探究の対象は森羅万象、探究手段は理性とことばによる論証です。本講義では、先行の哲学者の考えを参考にして、徹底的に考え抜き、自分なりの意見を表現できる力を養うこと、を目標にします。
履修上の注意事項	講義終了後、本講義で「コミュニケーション・カード」と名づける小ペーパーを提出してもらいます。これには、予習の結果（重要と思われた3つのキーワードを書く）、講義を受けての感想、講義で学んだこと、講義についての注文など、を書いてください。
評価方法	コミュニケーション・カードの提出により「意欲的な受講態度」を評価し（20%）、中間レポートで「基本的理解」の度合いを評価し 30%、最終レポートで「総合的理解と独自の思考力」を確認する（50%）、というやり方で、総合的・全体的に評価します。
テキスト	倉田剛「現代存在論講義：ファンダメンタルズ」新曜社（2017年）¥2200+税
参考文献	講義の進行に応じて、適宜、指示します。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	哲学とは何か、何が存在するのか、存在論を概観する：教科書序文および第一講義・第1.1-1.2節		
2	存在のあり方、性質と関係、物とプロセス、部分と集まり：教科書第一講義・第1.3-1.4節		
3	種と普遍者、可能的対象と虚構的对象：教科書第一講義・第1.5-1.6節		
4	存在論の諸区分、領域的VS形式的、応用的VS理論的：教科書第一講義・第2.1-2.2節		
5	形式的存在論VS形式化された存在論、存在論の道具としての論理学：教科書第一講義・第2.3-2.4節		
6	メタ存在論、道具としての論理学（続）：教科書第一講義・第2.5節および「まとめ」、プリント		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	世界についてどう語るか、思考と表現、存在への関わり：教科書第二講義・第1.1-1.2節		
8	パラフレーズ、修正的VS解釈的：教科書第二講義・第1.3節		
9	すぐれた理論の条件、単純性と説明力：教科書第二講義・第2.1-2.2節		
10	非クワイン的メタ存在論：教科書第二講義・第2.3-3.1節		
11	非クワイン的メタ存在論（続）：教科書第二講義・第3.3節および「まとめ」		
12	存在者をどのように分類するか？ カテゴリーと形式的因子：教科書第三講義・第1.1-1.2節		
13	4 カテゴリー存在論における形式的関係：教科書第三講義・第2.1-2.2節および「まとめ」		
14	ものが性質を持つということ：教科書第四講義・第1.1-1.3節		
15	実在論の擁護：教科書第四講義・第2.1-2.3節		

基本情報

科目名	法学
時間割コード	1000060501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	野崎 和義
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
野崎 和義

詳細情報

授業の目的・到達目標	今日の社会で要求される法感覚、さらに私たちが日常生活を送る上で必要な法知識を身につけることを目標とする。具体的には、以下の事項についての理解を目指す。 社会生活における法の作用および役割、民法の財産法および家族法の基本的な考え方、医療・福祉サービス利用者の権利とその救済方法、成年後見制度および日常生活自立支援事業、医療・福祉職の専門性と法的責任
履修上の注意事項	・準備学習：各回のテーマに即して教科書を読んでおくこと。 ・事後学習：講義で示された課題をもとに教科書および関連事項を整理すること。 ・講義の進行は、理解度に応じて変更することがある。その際には、あらかじめ通知する。
評価方法	定期試験(100%)の成績によって評価する。
テキスト	野崎和義著『医療・福祉のための法学入門』2013年、ミネルヴァ書房。 野崎和義監修『社会福祉六法』2021年、ミネルヴァ書房。
参考文献	各回の講義の際に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>事前・事後学修について</p> <p>事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）</p> <p>事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	法と日常生活 講義計画の紹介、何をどこまで学ぶか、法というものの考え方		
2	家庭生活と法（1） 親族の範囲・効果		
3	家庭生活と法（2） 婚姻・離婚とその効果		
4	家庭生活と法（3） 相続の一般原則、法定相続と遺言相続、相続をめぐる諸問題		
5	消費生活と人権（1） 悪質商法の法的問題点、物権と債権の基本的異同		
6	消費生活と人権（2） クレジット取引の仕組み、契約の拘束力・相対性		
7	刑事手続きと人権（1） 法的責任、犯罪と刑罰、刑務所と前科		
8	刑事手続きと人権（2） 不法行為責任と刑事責任の異同、行政上の処分の独自性		
9	医療・福祉サービスに関わる法（成年後見制度と日常生活自立支援事業、行政行為と行政争訟）		

授業計画

事前・事後学修について

事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）

事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	医療・福祉専門職の根拠法（医療・福祉職の専門性および資格、社会福祉各法の適用対象者）		
11	医療・福祉職の連携（看護・介護事故、看護と介護の関係、職務の専門性と就業問題）		
12	病院・施設の設置基準と法律問題（医療・福祉サービスの公共性、設置基準の法的拘束力）		
13	障害者の雇用・就労支援（障害者雇用促進法、法定雇用率、勤労の権利と義務）		
14	ふたたび人権を考える（雇用対策と差別の禁止、労働市場における公正、人権の普遍性）		
15	医療・福祉職と法（高齢社会における課題と役割分担、行為準則としての法）		

基本情報

科目名	日本国憲法
時間割コード	1000070501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	野崎 和義
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
野崎 和義

詳細情報

授業の目的・到達目標	医療・福祉さらには教育の実践にあたって必要な憲法感覚を身につけることを目標とする。具体的には、以下の事項についての理解を目指す。 日本国憲法の基本原理、 基本的人権の意義および機能、 基本的人権を保障するための仕組み（国および 地方公共団体の組織・権能・財政）、 行政情報へのアクセス（情報公開）、 行政の役割と法治国家原理（行政行為、行政手続き、行政不服審査・行政訴訟）
履修上の注意事項	・準備学習：各回のテーマに即して教科書を読んでおくこと。 ・事後学習：講義で示された課題をもとに教科書および関連事項を整理すること。 ・講義の進行は、理解度に応じて変更することがある。その際には、あらかじめ通知する。
評価方法	・定期試験(100%)の成績によって評価する。
テキスト	・野崎和義著『医療・福祉のための法学入門』2013年、ミネルヴァ書房。 ・野崎和義監修『社会福祉六法』2021年、ミネルヴァ書房。
参考文献	・各回の講義の際に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>事前・事後学修について</p> <p>事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）</p> <p>事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	取引社会と医療・福祉の権利（取引社会のルール、契約原理の修正、国家と個人）		
2	日本国憲法の考え方（人権規定の私人間効力、裁判例の分析、人権という思想）		
3	日本国憲法の構成（三つの基本原理、基本的人権のカatalog、人権保障の仕組み、特別条項）		
4	基本的人権と公共の福祉、基本的人権の主体（内在的制約と外在的制約、外国人・法人の人権）		
5	プライバシーの権利と個人情報の保護、情報公開制度（行政情報へのアクセス）		
6	自己決定権の尊重と医療・介護（インフォームドコンセント、身体拘束の禁止）		
7	自由権（とくに人身の自由、少年の刑事手続き、資格制限と社会復帰）		
8	法の下での平等と合理的差別（男女共同参画、セクハラと雇用機会均等法）		

授業計画

事前・事後学修について

事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）

事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	家族生活における平等（介護と扶養、介護保険制度導入の背景）		
10	社会権の思想（平等権から社会権へ、生活保護法の基本原理と裁判例）		
11	高齢社会における社会保障（社会保障の法体系、高齢者と住居、看護・福祉の労働）		
12	その他の基本権 参政权、受益権（施設入所高齢者・障害者の参政权保障、国家賠償請求権）		
13	国家の機構（三権の抑制と均衡、裁判所の仕組み）		
14	財政、地方自治（財政の基本原則、自治体の行政権・立法権、行政争訟）		
15	医療・福祉と日本国憲法（民主主義と少数者の人権、統治機構の役割）		

基本情報

科目名	社会学
時間割コード	1000080501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	安藤 学
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
安藤 学

詳細情報

授業の目的・到達目標	ディプロマ・ポリシーにある「基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養する」ために、社会理論による現代社会の捉え方について、生活の理解について、人と社会の関係について、社会問題について学び、それらを分析し解決する能力を修得することができる。
履修上の注意事項	ノートを毎回きちんと取る。 授業前にその単元を一度読み自分なりにまとめておき、授業後は教科書とノートを照らし合わせて復習をしておくこと
評価方法	定期試験 80%、授業への取り組む姿勢 20%
テキスト	『社会学入門』秋元他3名 有斐閣新書
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	社会学の歴史と対象	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
2	社会システム	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
3	組織と集団	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
4	人口	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
5	グローバリゼーション	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
6	社会変動・社会変動の概念	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
7	地域	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
8	環境・気候変動	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
9	社会的格差・社会政策と社会問題	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
10	差別と偏見	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
11	災害と復興	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
12	家族とジェンダー	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
13	健康・労働	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	世代	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
15	自己と他者・社会化・相互行為	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	

基本情報

科目名	カウンセリング論
時間割コード	0528111101
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	忽那 かずみ
科目区分	基礎分野 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
忽那 かずみ

詳細情報

授業の目的・到達目標	他者援助において基本となる代表的なカウンセリング理論を理解し、それぞれのカウンセリングの実践における本質的な考え方や方法上の相違点を理解することができる。また、それぞれのカウンセリング理論および密接に関係する心理検査の学修やワークを通じて自己理解を深めることができる。
履修上の注意事項	第1回目の講義にて出席に関する重要な説明をします。テキストで事前学習して下さい。講義時間内に心理検査の実施をします。毎回振り返りを行い、理解を深めてください。講義では実際のケースを取り上げたり、具体例を話すことがあります。また、演習・グループワークの中で個人的な話が出されることもありますので、個人情報への扱いには細心の注意を払い、絶対に口外してはいけません。演習・グループワークでは、他の人の意見を否定・批判をしない、違う意見も尊重する、発言は最後まで聴く、そして全員が発言することをルールとします。
評価方法	定期試験50%、演習（ディスカッション、グループワーク、授業態度等を含む）20%、振り返りシート（レポートを含む）30%
テキスト	山蔦圭介著、宮城まり子監修『基礎から学ぶ カウンセリングの理論』、産業能率大学出版部
参考文献	必要の都度、指示します。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	米国にて臨床心理学者としての勤務経験、日本では臨床心理士、公認心理師として病院、学校、私設（開業）などでの勤務経験あり。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーションと序論		
2	カウンセリングの基礎		
3	カウンセリングの実際		
4	精神分析療法の理論と実際		
5	来談者中心療法の理論と実際		
6	行動療法の理論と実際		
7	論理療法の理論と実際		
8	認知療法の理論と実際		
9	認知行動療法の理論と実際		
10	ゲシュタルト療法の理論と実際		
11	交流分析療法の理論と実際		
12	交流分析療法の理論と実際		
13	箱庭療法とコラージュ療法（切り抜いてもよい雑誌2～3冊、はさみ、のりを持参すること）		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	日本の心理療法の理論と実際		
15	カウンセリングと心理検査、カウンセリングと精神疾患		

基本情報

科目名	体育
時間割コード	1000120501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	末松 大喜
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
末松 大喜

詳細情報

授業の目的・到達目標	心身の健全な発達の促進、運動やスポーツに内在する楽しみや技能、健康、体力の保持・向上・増進のための運動処方などを総合的・実践的に自ら把握できるようになる。
履修上の注意事項	テキストを毎時間持参すること。 演習授業は運動できる服装で参加すること。
評価方法	課題レポート25%、体育実習ノート作成50%、期末試験25%による総合評価
テキスト	健康・フィットネスと生涯スポーツ 三訂版 東海大学一般体育研究室 編
参考文献	
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	体育・スポーツとは		
2	生涯スポーツ		
3	運動行動が心身に及ぼす影響		
4	運動・スポーツの技能の発達		
5	体力の発達とトレーニングの原則		
6	演習:ウォームアップとクールダウン		
7	演習:柔軟性の養成		
8	演習:筋力の養成		
9	演習:バランスの養成		
10	演習:敏捷性の養成		
11	演習:全身持久力の養成		
12	運動・スポーツと栄養・休養		
13	スポーツを見る・知る・支える		
14	体育・スポーツの倫理		
15	まとめ		

基本情報

科目名	体育
時間割コード	1000120502
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	本田 沙織
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
本田 沙織

詳細情報

授業の目的・到達目標	心身の健全な発達の促進、運動やスポーツに内在する楽しみや技能、健康、体力の保持・向上・増進のための運動処方などを総合的・実践的に自ら把握できるようになる。
履修上の注意事項	テキストを毎時間持参すること。 演習授業は運動できる服装で参加すること。
評価方法	課題レポート25%、体育実習ノート作成50%、期末試験25%による総合評価
テキスト	使用しない
参考文献	使用しない
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	本田沙織：フィリピンにて体育教員、熊本学園大学にて非常勤講師として実務経験

授業計画

授業計画
<ol style="list-style-type: none"> 1. 運動行動と身体とのかかわりを説明できる 2. 運動しないと身体へどのような影響が考えられるか説明できる 3. 身体組成から見た運動行動の大切さについて説明できる 4. 無酸素運動について説明できる 5. 有酸素運動について説明できる 6. 筋肉の種類から見た運動の適正について説明できる 7. 運動の強度と運動時間について説明できる 8. 運動とエネルギー供給の関係について説明できる 9. 運動の種類と循環器の関係について説明できる 10. メタボリック理解とその対策について説明できる 11. 運動と栄養・休養との関係について説明できる 12. 運動によって引き起こされる運動障害について説明できる 13. トレーニングの種類とその効果について説明できる 14. 運動を行うに時に注意すべき事項について説明できる 15. 健康維持のための運動について説明できる

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			

授業計画

1. 運動行動と身体とのかかわりを説明できる
2. 運動しないと身体へどのような影響が考えられるか説明できる
3. 身体組成から見た運動行動の大切さについて説明できる
4. 無酸素運動について説明できる
5. 有酸素運動について説明できる
6. 筋肉の種類から見た運動の適正について説明できる
7. 運動の強度と運動時間について説明できる
8. 運動とエネルギー供給の関係について説明できる
9. 運動の種類と循環器の関係について説明できる
10. メタボリック理解とその対策について説明できる
11. 運動と栄養・休養との関係について説明できる
12. 運動によって引き起こされる運動障害について説明できる
13. トレーニングの種類とその効果について説明できる
14. 運動を行うに時に注意すべき事項について説明できる
15. 健康維持のための運動について説明できる

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14			
15			

基本情報

科目名	比較文化論
時間割コード	1000130501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
高 継芬

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義では、アジア諸国の文化・社会・価値観・人々の考え方を、具体的な事例に基づいて日本と比較し、異文化理解を図ると共に、人間と文化の総合的な関係を理解する。
履修上の注意事項	授業前に資料（プリント）などを読み、キーワードについて調べてくること。 授業後に復習しておくこと。
評価方法	レポート80%、発表20%で評価する。
テキスト	毎回、資料（プリント）などを用意し、配布する。
参考文献	授業の中で、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション。中国あるいは東南アジアの文化について（安藤・高）		
2	日韓文化の遠近1（金）		
3	日韓文化の遠近2（金）		
4	日韓文化の遠近3（金）		
5	医療と福祉・日本と韓国（金）		
6	障害者福祉の基本・国際比較（金）		
7	日中文化の違い1（高）		
8	日中文化の違い2（高）		
9	日中文化の違い3（高）		
10	中国人の人間愛について（高）		
11	中国人の結婚文化について（高）		
12	日本と中国の教育政策について（安藤・高）		
13	中国料理の由来について（高）		
14	中国茶の文化について（高）		
15	中国の孫子兵法と日本の太平洋戦争（安藤・高）		

基本情報

科目名	英語
時間割コード	1000140501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	角田 俊治
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
角田 俊治

詳細情報

授業の目的・到達目標	4年制の大卒者として最低限求められる英語力の養成を目的とし、英語による情報の受信と発信が可能となることを目指す。身近で初歩的な科学の話題を扱ったテキストを用い、英語の読解、語彙力、ライティング力を包括した学習を行い、一部、聞き取りの練習も行ってコミュニケーション能力の基礎を向上させる。更に、語学が教養・全人教育の一部であることから、英語圏の国々の社会・歴史・文化への関心と知識を深める。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・教員作成の補助教材（プリント等）を一定量使用します。 ・辞書は必携です。 ・展開計画は一部変更することがあります。 <p><テキストは社会福祉学科のものと同じであるが、講義で扱うユニットは同一ではない></p>
評価方法	試験 70% . 発表 20% . 平常点（受講の積極性等）10% . （詳細は初回の講義時に説明）
テキスト	大塚生子（他）編著 In Science Curiosity （株）金星堂
参考文献	随時、補充教材（ハンドアウト等）配布
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション・英語学習の意義、英語の特徴等の説明。	教科書の "Contents" の表題から、各表題のページを見てタイトルの意味を把握しておく。90分	
2	Unit 1 内容理解、設問演習、CDによる聞き取り、比較構文の用法。	英文の単語を調べ、概要を把握しておく。90分	
3	Unit 1 に関わる設問演習、CDによる聞き取り練習、ハンドアウト(英作文等)。	教科書・ハンドアウトの設問の準備と整理。90分	
4	Unit 3: 内容理解、設問演習、CDによる聞き取り。基本5文型等	英文の単語を調べ、概要を把握しておく。90分	
5	Unit 3 に関わる設問演習、CDによる聞き取り練習、ハンドアウト(英作文等)。	教科書・ハンドアウトの設問の準備と整理。90分	
6	Unit 4: 内容理解、設問演習、CDによる聞き取り、疑問詞節の用法。	英文の単語を調べ、概要を把握しておく。90分	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
7	Unit 4 に関わる設問演習、CDによる聞き取り練習、ハンドアウト(英作文等)。	教科書・ハンドアウトの設問の準備と整理。90分	
8	Unit 6: 内容理解、設問演習、CDによる聞き取り。現在完了形解説。	英文の単語を調べ、概要を把握しておく。90分	
9	Unit 6 に関わる設問演習、CDによる聞き取り練習、ハンドアウト(英作文等)。	教科書・ハンドアウトの設問の準備と整理。90分	
10	Unit 7: 内容理解、設問演習。CDによる聞き取り練習。単語の繋がり。	英文の単語を調べ、概要を把握しておく。90分	
11	Unit 7に関わる設問演習、CDによる聞き取り練習、ハンドアウト(英作文等)。	教科書・ハンドアウトの設問の準備と整理。90分	
12	Unit 9 内容理解、設問演習、CDによる聞き取り、関係代名詞の用法。	英文の単語を調べ、概要を把握しておく。90分	
13	Unit 9に関わる設問演習、CDによる聞き取り練習、ハンドアウト(英作文等)	教科書・ハンドアウトの設問の準備と整理。90分	
14	unit 12 内容理解。テキストよりも程度の高い英語原文購読演習。	英文の単語を調べ、概要を把握しておく。90分	
15	前回に続けて、テキストよりも程度の高い英文の演習。及び、これまでの講義の補足及び総括	教科書・ハンドアウトの設問の準備と整理。90分	

基本情報

科目名	英語
時間割コード	1000150501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
檜枝 洋記

詳細情報

授業の目的・到達目標	医療現場での会話を聞き取り、理解できるようになる。 からだの代表的な部位や疾患のボキャブラリーについて学ぶ。
履修上の注意事項	楽しむ気持ちで積極的に参加すること。
評価方法	試験50%、発表50%
テキスト	プリントを配布する。
参考文献	総合医学英語テキスト（日本医学英語教育学会編、メジカルビュー社）
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	Orientation and self-introduction	自己紹介の内容を英文で書き、声に出して読んでおくこと	
2	"Fever" - Listening	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
3	"Fever" - Reading	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
4	"Anemia" - Listening	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
5	"Anemia" - Reading	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
6	"Dehydration" - Listening	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
7	"Dehydration" - Reading	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
8	"Obesity" - Listening	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
9	"Obesity" - Reading	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
10	"Cough" - Listening	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
11	"Cough" - Reading	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
12	"Dysphagia" - Listening	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
13	"Dysphagia" - Reading	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
14	"Fracture" - Listening	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
15	"Fracture" - Reading	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	

基本情報

科目名	英会話
時間割コード	1000160501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	PatrickIjimaWashburn
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
PatrickIjimaWashburn

詳細情報

授業の目的・到達目標	Class goals are, 1. to improve each student's hearing and pronunciation abilities of spoken English; 2, to improve each student's personal confidence and abilities in both everyday and professional situations; and 3. to give each student a variety of tools they can continue to use for language and other studies
履修上の注意事項	ノート2冊。1つ目：なんでも良い。 2つ目：A5 ルーズリーフ方眼5mm、50枚入り、バインダー、インデックス。 シャープペン。 色ペン4色以上(SARASAなど。蛍光ペン4色以上。 英和和英辞典(アプリでもOK)。
評価方法	Class participation 参加 16%; Short conversations オリジナル会話 x 4 36%; Notebook check ノートチェック x 4 24%; Final conversation 会話テスト24%
テキスト	Interchange Level 1A Student's Book with Online Self-Study (英語) ペーパーバック – スチューデント・エディション, 2017/7/6 出版社：Cambridge University Press; 第5版 (2017/7/6) マーフィーのケンブリッジ英文法(初級編)第3版 (Basic Grammar in Use) (英語) ペーパーバック – スチューデント・エディション, 2016/10/1 出版社：Cambridge University Press; 第3版 (2016/10/1)
参考文献	特になし
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	医療関係の実務経験はなし

授業計画

授業計画
授業の目的・到達目標 Class goals are, 1. to improve each student's hearing and pronunciation abilities of spoken English; 2, to improve each student's personal confidence and abilities in both everyday and professional situations; and 3. to give each student a variety of tools they can continue to use for language and other studies

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス、挨拶	IC Unit 1 [1, 3, 5] M Units 1, 2, 24, p. 238-239;	IC = インターチェンジ 教科書 M = マーフィーのケンブリッジ文法 Unit = チャプター
2	自己紹介文	IC Unit [6, 7, 8, 9] M Units 61, 62, 82, 83	
3	バイト・学校	IC Unit 2 [1, 2, 3, 4, 5] M Units 46, 47, 48	

授業計画

授業の目的・到達目標

Class goals are,

1. to improve each student's hearing and pronunciation abilities of spoken English;
2. to improve each student's personal confidence and abilities in both everyday and professional situations; and
3. to give each student a variety of tools they can continue to use for language and other studies

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
4	待ち合わせ	IC Unit 2 [7, 9] M Units 104, 105, 106	オリジナル会 1 話作成 * ノートチェック
5	買い物、比較	IC Unit 3 [1, 2, 3] M Units 75, 76, 77, 78	会話テスト
6	意見交換	IC Unit 3 [8, 9, 10] M Units 88, 89	
7	趣味、メディア	IC Unit 4 [1, 2, 3, 4] M Units 6, 7, 60	
8	誘い	IC Unit 4 [6, 8, 9] M Units 35, 73, 104	オリジナル会話 2 作成 * ノートチェック
9	家族、数え方 1	IC Unit 5 [1, 3, 5, 9, 10] M Units 52, 72, 82, 84	会話テスト
10	運動、数え方 2	IC Unit 6 [2, 3, 4, 10, 11] M Units 49, 85, 95	オリジナル会話 3 作成
11	休みの過ごし方	IC Unit 7 [1, 2, 3] M Units 10, 11, 12	会話テスト * ノートチェック
12	旅行	IC Unit 7 [5, 9, 10] M Units 25, 26, p. 236~237	
13	お店、街	IC Unit 8 [1, 2, 3, 5] M Units 50, 110	
14	近所、家	IC Unit 8 [7, 8, 9] M Units 68, 69	ファイナル会話作成 * ファイナルノートチェック
15	まとめ		まとめテスト

基本情報

科目名	英会話
時間割コード	1000170501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	後藤 隆昭
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
後藤 隆昭

詳細情報

授業の目的・到達目標	Through your active participation and effort, 1. you can be confident in expressing yourself, 2. you can improve your language study habits, and 3. you can explore English through readings and original conversation practice.
履修上の注意事項	A paper or an electronic dictionary is needed. The schedule and contents are subject to change.
評価方法	Learning attitude 15%, Short conversation 30%, Report 25%, Final conversation 30%
テキスト	Interchange 2 (Fifth edition) Students Book (ISBN 9781316620342)
参考文献	
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
On the basis of the school regulation, students are required to dedicate two hours each to review and prepare for the class.

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	Introduction & Unit 1: Good memories		
2	Unit 1: Good memories		
3	Unit 2: Life in the city		
4	Unit 3: Making changes		
5	Unit 4: Have you ever tried it?		
6	Unit 5: Hit the road!		
7	Unit 6: Sure! I'll do it.		
8	Unit 7: What do you use this for?		
9	Unit 8: Time to celebrate!		
10	Unit 9: Only time will tell.		
11	Unit 10: I like working with people.		
12	Unit 11: It's really worth seeing!		
13	Unit 12: It's a long story.		
14	Unit 13: That's entertainment!		
15	Unit 14: Now I get it!		

基本情報

科目名	中国語会話
時間割コード	1000180501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名	
高 継芬	

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義のねらいは、受講者が半期の学習期間において、あいさつや自己紹介などの基本的な表現を習得し、基礎的な日常会話ができる。
履修上の注意事項	予習と復習を必ずすること。 受講の際は、辞典を必ず持参すること。
評価方法	小テスト 20% レポート 20% 試験 60%
テキスト	教科書： 『LOVE 上海－初級中国語－』朝日出版社 辞典： 相原茂『はじめての中国語学習辞典』朝日出版社 最新版
参考文献	適宜紹介
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	中国について学ぼう 中国語の発音 声調・単母音の学習		
2	複合母音・子音の学習		
3	人称代名詞、否定、疑問など 浦東空港にて		
4	名詞、副詞の用法 タクシーに乗って		
5	所在を表す動詞「在」 ホテルでお茶を		
6	「的」の省力 場所を表わす代名詞、存在を表わす「有」について学ぶ 私の家族		
7	“喜歡” + 同市の使い方について学ぶ 趣味は映画です		
8	願望を表す助動詞“想” 大学の図書館へ		
9	数詞、量詞について学ぶ 放課後		
10	前置詞、完了の「了」について学ぶ 上海の交通		
11	連動文 地下鉄付近にて		
12	助動詞、経験を表わす表現について学ぶ		
13	主文述語文、比較の表現 変化を表す表現など ちょっとおなが空いた		
14	結果補語、方向補語について学ぶ 突然の雨		
15	これまでの学習内容を確認		

基本情報

科目名	中国語会話
時間割コード	1000190501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
高 継芬

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義は、受講者が前期の中国語会話 で修得基礎知識をもとに、より豊かな中国語の表現力および会話力を身につけることができる。
履修上の注意事項	予習と復習を必ずすつこと。 受講の際は、辞典を必ず持参すること。
評価方法	レポート 20% 小テスト 20% 試験 60%
テキスト	教科書：『LOVE 上海 初級中国語』朝日出版社最新版 辞典：相原茂『はじめての中国語学習辞典』朝日出版社 最新版
参考文献	適宜紹介
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	前期の学習内容を復習		
2	自分について中国語で表現してみよう		
3	家族について中国語で表現してみよう		
4	日常生活について中国語で表現してみよう 上海料理を食べる		
5	日常生活について中国語で表現してみよう おなががいっぱいです		
6	にちじょう生活について中国語で表現してみよう 外たんの夜景		
7	日常生活について中国語で表現してみよう 上海語はおもしろい		
8	日常生活について中国語で表現してみよう ホテルの部屋から		
9	これまでの学習内容をふりかえって		
10	日常生活について中国語で表現してみよう どうしたの		
11	日常生活について中国語で表現してみよう 上海は魅力的		
12	日常生活について中国語で表現してみよう またあいましょう		
13	大学生のアルバイトを表現しよう		
14	留学について中国語を表現してみよう		
15	これまでの学習内容を確認		

基本情報

科目名	韓国語会話
時間割コード	1000200501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	李 玄玉
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
李 玄玉

詳細情報

授業の目的・到達目標	本授業では、韓国の文化や伝統の習慣などを理解しながら、基礎的な韓国語会話を習得、簡単な日常の会話ができる。
履修上の注意事項	学習した内容の会話を日常の場面で使う。
評価方法	1. 授業への参加意欲と発表 50点 2. 授業中のミニテスト 50点 計100点
テキスト	やさしい韓国語（初級）、梁礼先・権点淑・曹恩美 著、朝日出版社
参考文献	
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	1. オリエンテーション		
2	2. 「ハングル」文字の関する歴史的背景、文字の構成、文字の書き順について		
3	3. 韓国語の特性についての日本語との比較説明及び子音・母音について		
4	4. 「パッチム」とパッチムの連音化		
5	5. 基本的な挨拶に関連する会話		
6	6. 自己紹介などの簡単な会話		
7	7. 小グループに分け、挨拶・自己紹介などを韓国語で行う		
8	8. 韓国の文化に関する理解（ビデオ鑑賞）		
9	9. 韓国での観光・旅行を想定した場面での会話 1		
10	10. 韓国での観光・旅行を想定した場面での会話 2		
11	11. 韓国での観光・旅行を想定した場面での会話 3		
12	12. 日本と韓国との文化の差について		
13	13. 日常生活での基本的な会話 1		
14	14. 日常生活での基本的な会話 2		
15	15. 日常生活での基本的な会話 3		

基本情報

科目名	韓国語会話
時間割コード	1000210501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	李 玄玉
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
李 玄玉

詳細情報

授業の目的・到達目標	韓国語会話 に続けて、韓国の文化・歴史への理解や関心を深めながら、簡単な会話を習得し、日常生活の場面で応用できる。
履修上の注意事項	韓国語会話 を履修していない学生も履修可能。 授業後には、繰り返し練習して日常生活の場面で使う。
評価方法	授業参加への意欲・態度及び発表 50点 授業中のミニテスト 50点 計100点
テキスト	資料を配布する。
参考文献	やさしい韓国語（初級）梁礼先・権点淑・曹恩美 著、朝日出版社
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	1．オリエンテーション		
2	2．「韓流ブーム」に関する日本の若者の見解について		
3	3．韓国語会話 の復習－挨拶・自己紹介など		
4	4．具体的な場面を想定した日常会話（1）		
5	5．具体的な場面を想定した日常会話（2）		
6	6．具体的な場面を想定した日常会話（3）		
7	7．日本・韓国の大学との違い、大学生交流の重要性及びその役割などについて		
8	8．日常場面で応用できる会話（1）		
9	9．日常場面で応用できる会話（2）		
10	10．日常場面で応用できる会話（3）		
11	11．韓国の映画鑑賞		
12	12．韓国語での日記・作文の練習（1）		
13	13．韓国語での日記・作文の練習（2）		
14	14．韓国の文化・医療・福祉の動向について		
15	15．韓国への留学・就職に関する情報や諸大学の紹介		

基本情報

科目名	統計学
時間割コード	1000220501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森 信之
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
森 信之

詳細情報

授業の目的・到達目標	社会調査やアンケートなどで得られたデータは、そのままでは役に立たない。データを客観的、論理的に分析することが必要になってくる。本講義では、確率論の基礎知識を踏まえた上で、データを分析する手法や手順、得られた結果の評価方法等を、なるべく多くの事例に関する演習を通して実践的に理解し、得られたデータから適切な分析手法を選択し、データ分析ができるようになることを目標とする。
履修上の注意事項	テキストはなく、配布プリントを配布するだけなので、事前の予習、事後の復習が要求される。特に、わからないことは、わからないまま済ませずに、遠慮なく質問に来るようにしてもらいたい。
評価方法	筆記試験の結果のみで判断する。再試験は行なう。
テキスト	テキストは用いず、適宜、プリント資料を配布する。
参考文献	講義中に、適宜、紹介するが、図書館にも「統計学」で学内蔵書検索をすると、多くの蔵書が見つかる。実際に手に取ってみて、自分に合う参考図書を見つけてみるのもよいだろう。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	質的データと度数分布表・ヒストグラム		
2	量的データと代表値，分散		
3	正規分布，t分布， χ^2 乗分布とその性質		
4	母平均・母分散・母比率の推定		
5	検定の考え方，第1種・第2種の過誤		
6	母平均の検定，対応のある2つの母平均の差の検定		
7	対応のない2つの母平均の差の検定		
8	ノンパラメトリック検定（順位和検定）		
9	ノンパラメトリック検定（符号検定）		
10	ノンパラメトリック検定（符号付き順位和検定）		
11	母比率の検定（対応のある場合，ない場合）		
12	適合度の検定		
13	独立性の検定，マクネマー検定		
14	相関関係と相関係数		
15	回帰分析		

基本情報

科目名	情報リテラシー
時間割コード	1000230501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森 信之
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
森 信之

詳細情報

授業の目的・到達目標	高校における「情報」の履修を踏まえ、大学生として、また社会にでてからも必要となっていく「情報活用力（情報リテラシー能力）」を高めていくことがねらいである。これにより、これからの高度情報化社会に対応した、身の回りの情報環境を、自ら、積極的に、利活用できるようになることを目指す。
履修上の注意事項	基本操作が充分理解できていない場合は、事前に予習をしておくこと。 また、講義中はゆっくりノートをしている時間はないので、復習する中で自分の理解を確かめながら、手順や注意事項をメモするように。
評価方法	課題レポートと、筆記・実技試験の結果を総合的に判断する。配点は、レポート30%、試験70%。再試験は行なう。
テキスト	「2021年度版 情報倫理ハンドブック」noa出版
参考文献	講義中に、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	情報教育システムの利用について（森），教務システムLiveCampusの説明（教務課）		
2	E-mailの利活用（森）		
3	Wordの基本操作 日本語入力，段落設定，段組み等（森）		
4	Wordの基本操作 罫線，図の挿入等（森）		
5	Wordの基本操作 図形描画，曲線とフリーフォーム（森）		
6	文献検索（福本/図書館），インターネットの利活用（森）		
7	情報モラル，情報セキュリティについて（森）		
8	Excelの基本操作 データ入力，表作成等（森）		
9	Excelの基本操作 グラフ作成（森）		
10	Excelの基本操作 コピーと移動，絶対参照と相対参照等（森）		
11	Excelによるデータ処理 様々な関数の利用（森）		
12	Excelによるデータ処理 並べ替え，フィルター等（森）		
13	Excelによるデータ処理 ピボットテーブル（森）		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	Powerpointの基本操作 入力，テーマ等（森）		
15	Powerpointの基本操作 画面切り替え，アニメーション等（森）		

基本情報

科目名	環境科学
時間割コード	0528130201
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	基礎分野 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
檜枝 洋記

詳細情報

授業の目的・到達目標	人類や個人を取り巻く自然、社会、生活の環境を知り、人間活動が環境そして人間自身に与える影響を理解する。また、自分が生きている現代の環境問題や自分の子孫が生きる時代の環境問題への対処や解決方法を考察する。
履修上の注意事項	読書やレポート提出を数回、求める。
評価方法	授業中の取り組み（50％）レポート提出（50％）
テキスト	特に指定しない。
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	環境科学オリエンテーション		
2	環境とは何か		
3	自然環境と人間		
4	地域の自然		
5	公害		
6	地球・生物圏・生態系		
7	水と生活環境		
8	都市環境と自然		
9	大気汚染		
10	人工化学物質と環境		
11	放射性物質		
12	循環型社会		
13	汚染者負担の原則		
14	今後の環境問題		
15	環境問題の解決策		

基本情報

科目名	ライフサイエンス
時間割コード	1000260501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森 信之
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
森 信之

詳細情報

授業の目的・到達目標	この講義では、数学と物理学の基礎を理解し、問題演習を通して「数学的思考」や「科学的思考」ができるようになることを目指します。 また、医療・福祉分野において必要となるであろう項目を取上げますが、その学修により、観察事実に基づく科学的思考、分析的思考を身に付けます。
履修上の注意事項	黒板に書かれたことをただ写すだけでなく、講義を聞いて、なぜそうなのかを考えながら、要点をまとめてノートするようにしてください。自分の頭で考えることなしに、物理学や科学的思考を理解することはできないからです。 また毎回、前の週の確認テストを行なうので、復習をして、特に授業中の演習問題は、もう一度解いてみて、その考え方のプロセスを学ぶように。
評価方法	課題レポートと、筆記・実技試験の結果を総合的に判断します。配点は、レポート30%、試験70%と考えています。再試験は行ないます。
テキスト	テキストは使わず、必要に応じてプリントを配布します。
参考文献	講義中に、適宜、指示します。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	質的データと度数分布表・ヒストグラム数と演算		
2	算術平均，加重平均；幾何平均		
3	比・連比，比率（静的・動的）		
4	指数関数とその性質		
5	対数関数とその性質		
6	経験的確率と理論的確率		
7	2項分布とポアソン分布		
8	条件付き確率，期待値		
9	力とベクトル、力の合成・分解、作用反作用、力のつり合い		
10	力のモーメント、挺子(てこ)の原理、モーメントのつり合い		
11	身体の構造と挺子、重心と安定性		
12	速度、加速度、ニュートンの運動の法則		
13	重力と重力加速度、一様重力による運動		
14	等速円運動、単振動、波		
15	運動量と運動量保存則、はね返り係数		

基本情報

科目名	ライフサイエンス
時間割コード	1000270501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名	
檜枝 洋記	

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目では、化学および生物学の基礎的な内容について学ぶ。専門科目（解剖学、生理学、生化学など）の理解に役立てる。
履修上の注意事項	高校で化学や生物学を履修していない学生には受講を強く勧める。
評価方法	中間試験 50%、単位修得試験 50%
テキスト	特になし。プリントを配布。
参考文献	
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	人体を構成する元素と原子	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
2	物質の質量とモル	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
3	水溶液の%濃度とモル濃度	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
4	浸透圧	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
5	酸と塩基	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
6	pHと緩衝液	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
7	有機化合物	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
8	中間試験	これまでの内容をしっかりと復習しておくこと	
9	生物の多様性と共通性	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
10	細胞の構造とはたらき	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
11	組織と器官	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
12	DNA・遺伝子・染色体	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
13	細胞分裂	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
14	生殖と発生	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
15	代謝と酵素	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	

基本情報

科目名	アカデミックスキルズ
時間割コード	1000280501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
安藤 学、野崎 和義、森 信之、檜枝 洋記、高 継芬、後藤 隆昭

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目では、自分の頭で考え、問題・課題を見つけて解決する能力、また、物事を論理的に、思考し、読み解き、伝える能力を養う。
履修上の注意事項	「教えてもらう」ではなく、「積極的に学びとる」気持ちを持って授業に臨んでください。
評価方法	課題レポート70%、発表30%。 課題レポート等に対して、授業の中で担当教員および履修生からコメントする。
テキスト	なし
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション(檜枝)		
2	要するに言いたいことは何か(檜枝)		
3	言いたいことが伝わる表現か(檜枝)		
4	誤解していないか(檜枝)		
5	文章の構成(安藤)		
6	文章の展開(安藤)		
7	「話す」と「書く」の違い(高)		
8	伝える相手を意識する(高)		
9	表現の質を高める(後藤)		
10	読み書きの実践(後藤)		
11	論理的思考・表現の基礎(森)		
12	論理的に考える(森)		
13	発想を広げる(森)		
14	自由とは何か(野崎)		
15	自然科学と人文・社会科学(野崎)		

基本情報

科目名	発達心理学
時間割コード	1000040501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	水間 宗幸
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
水間 宗幸

詳細情報

授業の目的・到達目標	基本的な教養および対人専門職の基礎的位置づけとして発達心理を位置付け、これを学ぶことにより自己及び他者をひとつの人格として考えることができる。またそれぞれの発達段階の一般的特性を理解し、望ましい発達およびその支援を考えることができる。
履修上の注意事項	予習・復習を行うこと。特に、次回授業内容に関して必ず教科書の当該箇所を読んでおくこと。復習においては、キーワードを自分のことばで説明できるようにしておくこと。
評価方法	学んだことについて総合的な理解がどの程度できているか、レポートにて評価する(100%)。フィードバックについては希望者に対し個別でレポートのコメントを行う。
テキスト	『新・プリマーズ/保育/心理 発達心理学』 無藤隆・中坪史典・西山修編著 ミネルヴァ書房
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	専門職として発達心理学を学ぶ意義～ガイダンス		
2	発達心理学の基礎理解～発達理論、発達段階、発達課題、発達と学習の関係		
3	乳幼児期の発達の特徴～人・モノとの出会い		
4	愛着形成～親との関係性と子どもの行動		
5	認知発達～子どもの遊びと社会性の広がり		
6	ことばとコミュニケーションの発達		
7	自己と情動の発達～感情発達が行動に与える影響		
8	仲間関係とこころの理解		
9	道徳性と向社会的行動の発達～集団の中で学ぶもの		
10	児童期の発達の特徴～学校教育という環境と発達課題		
11	学校のなかでの子ども～学びを支える指導の在り方		
12	発達の多様性の理解～発達のつまづきや多様化する社会の中の子どもの困り感		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	思春期・青年期の発達の特徴とアイデンティティの形成		
14	成人期から老年期の発達と課題		
15	発達と学び～生涯学習と生涯発達支援		

基本情報

科目名	臨床心理学
時間割コード	0528443501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	未定
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野

担当教員情報

教員名
未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	この授業は、現代の心理学の全体的な動向をコンセプトにした「心理学・臨床講義」というスタンスに立って、必要な基礎的な知識の習得を目指す。とかく従来の臨床心理学は単なる学派の羅列的理解が中心であることが多いが、この授業では、正常との連続変数及び心理学的援助対象のケアシステムの一部として、現代の代表的な心理病理現象をどのように診立て、また、援助を行う必要があるかについての基本知識の習得と心理的援助の勘所に焦点を当てながら理解を深めていく。
履修上の注意事項	シラバス内容について事前に学習し、事後はテキストおよびノートにより知識を深めておく。特に用語とその内容について、理解をしておくこと。
評価方法	期末試験100%で評価
テキスト	臨床心理学への招待[第2版] (2020) 野島一彦(編集) ミネルヴァ書房
参考文献	DSM-5 精神疾患の分類と診断の手引(2014) 医学書院
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	臨床心理学とは何か		
2	面接と検査 アセスメント		
3	観察と行動 データ収集技法		
4	正常と異常 DSMを中心に		
5	乳幼児期の課題と問題		
6	児童期の課題と問題		
7	青年期の課題と問題		
8	老年期の課題と問題		
9	不適応と環境調整		
10	臨床心理学的援助法ー認知行動療法など		
11	臨床心理学的援助法ー遊戯療法など		
12	臨床心理学的援助法ー動作法など		
13	臨床心理学的援助法ーイメージ療法など		
14	家族療法		
15	医療・福祉領域の臨床心理学		

基本情報

科目名	感覚・知覚の行動心理
時間割コード	0528443701
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	山住 賢司
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野

担当教員情報

教員名
山住 賢司

詳細情報

授業の目的・到達目標	我々人間は感覚・知覚を通じて外界の情報を得ている。感覚や知覚の働きがなければ、自己の存在を含め、どんな存在も認識することは出来ないだろう。心理学の分野では感覚・知覚の研究は古くから関心もたれ、行動の科学としての心理学の実験テーマとして研究されてきた。本講義では、心の働きとしての感覚・知覚についての基礎的な知識や心理学における研究法などについて取り上げ、それらの理解を目的とする。本講義を通じて受講者は、感覚・知覚の心理学的基礎について自分の言葉で説明できるようになる。
履修上の注意事項	講義に加え簡単なデモンストレーションも行う予定である。欠席が多いと単位取得資格を満たせないことを理解しておくこと。理解度を確保するための確認課題を各回の講義で実施する。
評価方法	定期試験の得点100%で成績を評価する。再試験は実施しない。なお希望者には個別に評価内容を口頭で伝える。
テキスト	使用せず、講義中に随時資料を配布する。
参考文献	「朝倉心理学講座6 感覚知覚心理学」 菊地正（編） 朝倉書店 2008 「知覚心理学 心の入り口を科学する」 北岡明佳（編著） ミネルヴァ書房 2011
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	感覚・知覚とは	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
2	感覚・知覚心理学の歴史と方法論	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
3	精神物理学的測定法と刺激閾・弁別閾	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
4	視覚：視覚システムと基礎機能	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
5	視覚：明るさ・色の知覚	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
6	視覚：形の知覚	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
7	視覚：3次元空間の知覚	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
8	視覚：運動の知覚	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
9	聴覚：聴覚系の機能と構造	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
10	聴覚：聴覚の知覚的性質	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
11	聴覚：音声の知覚	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
12	聴覚：音楽の知覚・認知	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
13	身体感覚	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
14	味覚と嗅覚	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
15	多感覚相互作用	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	

基本情報

科目名	こころのしくみの理解
時間割コード	1000590501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	未定
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	社会から求められる医療人の育成のために、心理学の知見と医療現場で求められる知識や考え方を理解することを目指す。そのために、人間についての基本的理解、現場に役立つ実践的な心理学の習得、患者理解のための心理学及び歯科患者の心理などについて理解できるようにする。
履修上の注意事項	本科目は再試験を実施しない。したがって、日頃からの出席とノートテークをしっかりとしないと単位取得は難しい。さらに事前・事後の学習を怠らないこと。
評価方法	定期試験：100点で評価する
テキスト	未使用
参考文献	各單元ごとに紹介していく
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	シラバス説明 オリエンテーション 一般心理学との違い等		
2	生理心理学と大脳生理		
3	こころと身体の世界		
4	こころと行動の形成		
5	こころと行動の発達		
6	こころの個性と深層		
7	こころの適応と障がい		
8	こころと身体の臨床心理		
9	対人援助者と患者の人間関係		
10	対人援助に役立つ心理テスト		
11	医療に役立つ心理療法		
12	被援助者の心理メカニズム		
13	ストレスとコーピング		
14	こころのしくみ		
15	こころのしくみ(進化心理学)		

基本情報

科目名	生命倫理
時間割コード	1000240501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
柴田 恵子

詳細情報

授業の目的・到達目標	生命に関する倫理的諸問題について、人はどのように対処すべきだと考えられるかについて理解する。先端医療を始めとするバイオテクノロジーの発展がもたらす恩恵とそれにともない問われることになった生命の意味について、基本的概念とその問題点の学びから生命倫理学に関心を持ち、保健・医療・福祉の従事者としての考えを深められるようになる。
履修上の注意事項	レポート発表、グループワークを行なうので積極的に授業に参加をすること。課題に対しての自分の意見を準備しておくこと。第1回目のオリエンテーション時に授業前・後の学習について説明をするので、具体的な学習方法を考え実践すること。課題レポートは授業前の事前学習であり、講義期間中のテスト形式の振り返りはそれまでの学習の復習を兼ねた事後学習である。
評価方法	筆記試験：60%、学習態度・状況（レポート提出、グループ活動の参加と発表）：40%
テキスト	随時、紹介する。
参考文献	『生命倫理学を学ぶ人のために』（加藤尚武・加茂直樹編）世界思想社
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	本学における担当者は病院における看護師、助産師、学校における養護教諭実務経験者である。

授業計画

授業計画
オリエンテーションにおいて事前学習・事後学習について説明する。事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。非常勤講師が担当する授業は、補講予定日に行われる予定である。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、現代社会と生命倫理：生命の質（柴田）	オリエンテーションにおいて事前学習・事後学習について説明する。	
2	インフォームド・コンセント（柴田）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
3	尊厳死（川本）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
4	安楽死（川本）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
5	終末期ケア（川本）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
6	小児期の医療・保健と生命倫理（二宮）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	

授業計画

オリエンテーションにおいて事前学習・事後学習について説明する。事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。非常勤講師が担当する授業は、補講予定日に行われる予定である。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	周産期医療と生命倫理（松本）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
8	医療資源の配分（柴田）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
9	パーソン論（柴田）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
10	ケアと生命倫理（柴田）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
11	パターンリズムと患者の権利（未定）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
12	自律とwell-being(未定)	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
13	専門職の役割・責務（未定）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
14	倫理の源を考える：規範倫理学の時代（村田）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
15	倫理の源を考える：応用倫理学の発展（村田）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	

基本情報

科目名	感染症学
時間割コード	0528431501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	徳富 芳子
科目区分	専門基礎分野 口腔保健学科専門基礎分野(疾病)

担当教員情報

教員名
三森 龍之、徳富 芳子

詳細情報

授業の目的・到達目標	ヒトと共生する常在菌叢の働き,ヒトの健康を害する病原微生物・寄生虫の性質や感染機構を理解し,さらに代表的な感染症について,その感染経路,症状,予防・治療法に関する基礎知識を修得する。また,生体防御機構,各種感染症に有効な化学療法薬・消毒薬の病原体に対する作用とヒトへの影響について理解を深めるとともに,耐性菌,新興感染症・再興感染症の出現,日和見感染症の増加等の医療分野における重要な課題について説明できるようになる。さらに,がん治療に用いる化学療法薬の種類と作用機序についても概説できるようになる。
履修上の注意事項	1) 毎回の準備学習として,教科書を熟読する。『わかる!身につく!病原体・感染・免疫』(主に第1-6回に使用)、 『系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進3 薬理学』-第2章,3章,4章-(第7-15回に使用)(約1時間) 2) 授業には指定教科書,ノート,プリントを持参する。講義内容を書留め,その日の内に復習する(約1時間)。 3) 講義プリントはファイルし,専門用語を正確に覚え,その概念を正しく理解する。 4) 教科書・参考書・講義プリント等について理解できない箇所は,教員に質問する。
評価方法	1) 「授業の目的・到達目標」に示した内容の達成度を評価するため,学期末に筆記試験を行う。 配点:第1~6回の講義 40%、第7~15回 60% 2) 小テスト結果のフィードバックとして,授業内でポイントの解説を行う。
テキスト	1) 『わかる!身につく!病原体・感染・免疫 第3版』 藤本 編,南山堂3,080円 2) 教員作成プリント 3) 『系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進3 薬理学』吉岡 他著,医学書院2,530円
参考文献	1) 『系統看護学講座専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進4微生物学』南嶋 他著,医学書院 2) 『わかりやすい薬理学 第4版』安原 他編,ヌーヴェルヒロカワ 3) 『コメディカルのための薬理学 第3版』渡邊 他編,朝倉書店
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	感染症学概論、常在菌叢とその働き(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
2	病原微生物の分類と特性(構造、性質、病原性、感染機構)(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
3	細菌と感染(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
4	真菌と感染(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
5	ウイルスと感染(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
6	寄生虫・原虫と感染(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
7	感染に対する生体防御機構(免疫系)、予防接種用薬(徳富)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	抗菌薬（抗生物質）（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
9	感染症に対する薬物（化学療法薬概論）、薬物動態（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
10	抗菌薬（合成抗菌薬）（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
11	抗結核薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
12	抗真菌薬、抗原虫薬、抗寄生虫薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
13	抗ウイルス薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
14	消毒薬・殺菌薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
15	抗がん薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	

基本情報

科目名	薬理学
時間割コード	0528431701
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	福泉 忠興
科目区分	専門基礎分野 口腔保健学科専門基礎分野（疾病）

担当教員情報

教員名	
福泉 忠興	

詳細情報

授業の目的・到達目標	薬理学は疾病の治療、予防、診断における合理的な薬物療法を追求する学問である。薬物は疾病の原因除去や、症状緩和を目的に使用されるが、副作用を誘引しない薬物はない。すなわち、薬物の有用な作用だけでなく副作用も認識したうえで、薬物を選択し投与しなければならない。そのためには全身的な疾患に対する幅広い薬物の知識を修得できることが大切である。この講義では、薬理学の基礎的な概念を総論を通じて学習し、各論において個々の薬物の薬理作用を理解することを到達目的とする。
履修上の注意事項	講義内容が難しいため、復習は必須である。
評価方法	期末試験（筆記試験）（100％）による評価
テキスト	最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進3 薬理学（第2版） 全国歯科衛生士教育協議会 監修（医歯薬出版株式会社）
参考文献	知っておきたい歯科衛生士のためのくすりの知識（デンタルダイヤモンド社）
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	歯科医師として歯科臨床経験

授業計画

授業計画	
事前学修：毎回の講義内容についてわからない事項について教科書を読んで調べておくこと。（2時間） 事後学修：毎回ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるように調べておくこと。（2時間）	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 総論（薬理学の意義、薬理作用と薬物の作用機序、薬理作用に影響を与える因子、薬物の投与と薬物動態） 2. 総論（薬物の連用、薬物の併用、薬物の有害反応） 3. 総論（医薬品、剤型、処方箋と調剤） 4. 中枢神経系に作用する薬物（中枢性鎮痛薬、解熱性鎮痛薬） 5. 中枢神経系に作用する薬物（全身麻酔薬、睡眠剤、抗不安薬） 6. 末梢神経系に作用する薬物（局所麻酔薬） 7. 末梢神経系に作用する薬物（自律神経系に作用する薬物、神経・筋接合部に作用する薬物） 8. 呼吸・循環器に作用する薬物（強心薬、抗不整脈薬、狭心症治療薬、抗高血圧薬、気管支喘息治療薬、鎮咳薬および去痰薬） 9. 血液と薬（出血と止血、止血薬、血液凝固阻止薬） 10. 抗炎症薬（炎症の経過、炎症とケミカルメディエーター、ステロイド・非ステロイド性抗炎症薬、消炎酵素剤） 11. ビタミン・ホルモン（脂溶性・水溶性ビタミン、脳下垂体ホルモン、甲状腺ホルモン、副甲状腺ホルモン、副腎皮質ホルモン、性ホルモン、脾臓ホルモン） 12. 病原微生物に作用する薬物（各種消毒薬の分類と作用機序、抗生物質分類と副作用、抗生物質の作用機序による分類） 13. 抗悪性腫瘍治療薬（アルキル化薬、代謝拮抗薬、抗癌抗生物質、ホルモン剤、植物アルカロイド、免疫療法薬） 14. 免疫と薬（免疫増強薬、免疫抑制薬、抗アレルギー薬、抗ヒスタミン薬、ワクチン） 15. 服薬指導（コンプライアンス、患者に伝えるべき基本事項、服用時間、薬物相互作用、小児への服薬指導、妊産婦への服薬指導、高齢者への服薬指導、障害者への服薬指導） 	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	医用工学
時間割コード	1000350501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	徳富 芳子
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
徳富 芳子

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>放射線を用いた診療の目的・内容・方法をよく理解し、医療従事者として適切な前処理や患者指導、介助を行うことで十分な診療情報が得られ、治療効果の向上に繋がる。その実践のため、放射線医学(画像診断、放射線治療、放射線被曝)の基礎・応用に関する知識を身につけ、放射線の臨床利用について説明できるようになる。</p> <p>臨床検査の基礎知識と意義を学ぶ。患者の状態を正しく診断するうえで不可欠の手段となっている臨床検査の全体像と意義を総合的に理解するとともに、医療従事者の役割を正しく把握し、説明できるようになる。</p>
履修上の注意事項	<p>1) 各回のテキスト該当箇所を予め熟読すること(1時間程度)。</p> <p>2) 講義中に要点をノートに書き、その日の内に内容をしっかりと復習すること(1時間程度)。</p> <p>3) 講義プリントはファイルし、専門用語・測定値の単位を正確に覚え理解すること。理解できない内容は質問すること。</p> <p>4) 「放射線と臨床利用」には『臨床放射線医学』を、「臨床検査」には『臨床検査』の教科書を持参のこと。</p>
評価方法	<p>1) 「授業のねらい」に示した内容の達成度を評価するため、学期末に筆記試験を行う。 放射線と臨床利用50%、臨床検査50%</p> <p>2) 各担当の最後の授業で、内容に対するフィードバックを行う。</p>
テキスト	<p>1) 『系統看護学講座別巻 臨床放射線医学 第9版』青木 他著, 医学書院 2,420円</p> <p>2) 『系統看護学講座別巻 臨床検査 第8版』奈良 他編, 医学書院 2,420円</p> <p>3) 教員作成プリント</p>
参考文献	<p>『臨床検査法提要』改訂版 金井 編著, 金原出版</p> <p>『系統看護学講座専門基礎分野 人体の構造と機能1 解剖生理学』坂井 他著, 医学書院</p>
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	羽手村：臨床検査技師として病院勤務経験

授業計画

授業計画

[授業内容]	[授業担当者]
.放射線と臨床利用	
1.放射線概論：放射線の特性、医療被曝、放射線防護を正しく理解する。 また、放射線診療のあり方と実際の診療内容の知識を得る。	羽手村
2.放射線画像：放射線画像の成立過程を理解し、いろいろな画像検査の目的と方法を習得する。	肥合
3.放射線画像検査：MRI検査と超音波検査の原理と特徴を理解し、実際の診療内容を知る。	肥合
4.放射線画像検査：CT検査の原理と特徴を理解し実際の診療内容を知る。また造影剤の特性も理解する。	羽手村
5.核医学検査：放射性同位元素を用いた核医学検査の特徴を理解し、実際の診療内容を知る。	肥合
6.放射線治療学：悪性腫瘍の治療における放射線療法の役割について理解し、放射線治療の原理（メカニズム）と実際の照射技術や放射線治療の副作用、最新の放射線治療法について解説する。	荒木
7.放射線治療学：疾患ごとの放射線治療について解説する。	荒木
.臨床検査 (1年次 第1学期に学んだ解剖生理学の内容をしっかりと復習していることを前提に授業を展開する。)	
8.臨床検査総論：臨床検査の種類およびその役割と評価基準	徳富
9.臨床検査総論：臨床検査の流れと看護師の役割、検体採取、保存法、感染防止、 系統別臨床検査の進め方	徳富
10.臨床検査各論：一般検査	
11.臨床検査各論：血液学的検査，化学検査	
12.臨床検査各論：免疫・血清学的検査，内分泌学的検査	
13.臨床検査各論：微生物学的検査，病理学的検査	
14.生理機能検査：循環機能検査	徳富
15.生理機能検査：呼吸機能検査，神経機能検査	徳富
各回の事前・事後学修（教科書の予習、講義の復習）をそれぞれ2時間程度行う。	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	社会福祉の原理と政策
時間割コード	1000300501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	村本 浄司
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名	
未定、村本 浄司	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 社会福祉の固有の視点である政策の実践の歴史、相互作用の変遷について説明できる。</p> <p>2. 社会福祉の思想と哲学及び理論の基本事項について説明できる。</p> <p>3. 現代の社会問題と社会構造の概要について説明できる。</p> <p>4. 福祉政策の基本的な視点や概念、理念について、説明できる。</p> <p>5. ニーズという言葉の意味や必要原則、貢献原則、資源の性質や種類について説明できる。</p>
履修上の注意事項	本講義は5名の教員によるオムニバスによって実施する。講義にあたっては、各先生の指示に従い、積極的に参加することを望む。
評価方法	定期試験60%、課題レポート40%で評価する。
テキスト	最新・社会福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編、中央法規、2021年。
参考文献	オムニバスを担当した各教員が適宜資料を配布する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	研究員として障害者支援施設に勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、社会福祉の原理とは何かについて理解する(村本)	(事前)教科書P2-P5を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)社会福祉の原理についてノートにまとめる(2時間)。	
2	社会福祉の原理と様々な理論について理解する(村本)	(事前)教科書P6-P13を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)社会福祉の様々な理論についてノートにまとめる(2時間)。	
3	社会福祉の歴史を学ぶ意義と英国と米国における福祉の歴史的展開について理解する(村本)	(事前)教科書P16-P33を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)英国と米国の福祉の歴史についてノートにまとめる(2時間)。	
4	日本の社会福祉の歴史的天下について理解する(村本)	(事前)教科書P34-P45を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)日本における社会福祉の歩みについてノートにまとめる(2時間)。	
5	自由主義イデオロギーとフェミニズムについて理解する(増田)	(事前)教科書P48-P59を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)イデオロギー、自由主義、新自由主義についてノートにまとめる(2時間)。	
6	社会福祉の理論について理解する(増田)	(事前)教科書P60-P69を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)社会福祉の理論についてノートにまとめる(2時間)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	社会福祉の論点を把握し、公私関係、普遍主義と選別主義について理解する（増田）	（事前）教科書P70-P79を読み、わからない語句について調べておく。 （事後）様々な社会福祉論点について、ノートにまとめる（2時間）。	
8	社会福祉の対象とニーズについて理解する（増田）	（事前）教科書P80-P88を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）社会福祉における対象の捉え方についてノートにまとめる（2時間）。	
9	現代における社会問題について理解する（阿部）	（事前）教科書P90-P99を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）現代の様々な社会問題についてノートにまとめる（2時間）。	
10	社会問題が生じている構造的背景について理解する（阿部）	（事前）教科書P100-P108を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）社会問題の構造的背景について、ノートにまとめる（2時間）。	
11	福祉政策とニーズの概念について理解する（橋本）	（事前）教科書P110-118を読み、わからない語句について調べる（2時間）。 （事後）福祉政策とニーズについてノートにまとめる（2時間）。	
12	自由と平等、自由主義と新自由主義が福祉に与える影響について理解する（橋本）	（事前）教科書P119-P131を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）新自由主義が福祉政策に与える影響についてノートにまとめる（2時間）。	
13	福祉におけるニーズの概念について学ぶ（ニーズの使われ方、ニーズとデマンド）（平川）	（事前）教科書P134-P143を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）ニーズとデマンドの関係についてノートにまとめる（2時間）。	
14	福祉におけるニーズの概念について学ぶ（行政需要と行政ニーズ、ニーズの把握、ニーズの種類）（平川）	（事前）教科書P143 - P151を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）公正の原理としての必要原則についてノートにまとめる（2時間）。	
15	ニーズを充足するものとしての資源について理解する（村本）	（事前）教科書P152-163を読み、わからない語句について調べる（2時間）。 （事後）福祉政策における資源についてノートにまとめる（2時間）。	

基本情報

科目名	社会保障論
時間割コード	0528444401
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	阿部 敦
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野(選必2)

担当教員情報

教員名	
阿部 敦	

詳細情報

授業の目的・到達目標	社会保障論では、指定教科書の中でも、特に概論的な部分に焦点をあてます。具体的には、「現代社会と社会保障」、「社会保障の概念や対象およびその理念」、「社会保障の財政」、「社会保険・社会扶助・民間保険の関係」などについて理解を深めます。こうした項目における学びを通じて、社会保障の今日の重要性を自らの言葉で説明できるようになること - -これが、本講義のねらいになります。
履修上の注意事項	(1)テキストを持参して受講することが求められます (2)可能な限り予習(30分程度)をして講義に臨み、講義後は、適宜、復習をしてください
評価方法	レポート 75% 試験 25% なお、再試験は実施しません
テキスト	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟(編)『7 社会保障』 (中央法規出版、2021年)
参考文献	特に指定しません
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
<p>基本的には指定教科書の内容に即して講義を行う。ただし、資格対策の側面を意識しつつも、大学教育として必要となる「脱資格教育的観点」からのプラスアルファ的な内容も、これを積極的に取り入れることとする。</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	現代社会と社会保障(1) 人口動態の変化	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
2	現代社会と社会保障(2) 経済環境の変化 労働環境の変化	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
3	社会保障の概念と範囲 社会保障の役割と意義	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
4	社会保障の理念 社会保障の対象	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
5	社会保障制度の展開(1)	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
6	社会保障制度の展開(2)	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
7	社会保障制度の展開(3)	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	

授業計画

基本的には指定教科書の内容に即して講義を行う。ただし、資格対策の側面を意識しつつも、大学教育として必要となる「脱資格教育的観点」からのプラスアルファ的な内容も、これを積極的に取り入れることとする。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	社会保障の財政 社会保障給付費・内訳・動向	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
9	国民負担率 社会保障と経済	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
10	社会保険	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
11	社会扶助	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
12	社会保険と民間保険の現状 ここまでのまとめ	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
13	医療保険制度（ ） 医療保険制度の 沿革と概要、健康保険と共済制度	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
14	医療保険制度（ ） 国民健康保険制 度、後期高齢者医療制度	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
15	医療保険制度（ ） 国民医療費と医 療をめぐる最近の動向	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	

基本情報

科目名	看護学概論
時間割コード	1000290501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古堅 裕章、古江 佳織、上妻 尚子、赤峰 隆元

詳細情報

授業の目的・到達目標	看護専門職としての自己の健康観、看護観を追及するために必要となる知識、概念を理解する。看護の対象および看護の提供、歴史・制度および将来の専門職の展望に関する知識から基礎的な看護学について理解する。保健・医療・福祉専門職者として相応しい高い知識と優れた技術を身につける必要性を知る。
履修上の注意事項	課題について考え、レポートを提出する。第1回目のオリエンテーション時に授業前・後の学習（各2時間）について説明をするので、具体的な学習方法を考え実践すること。課題レポートは授業前の事前学習であり、講義期間中の小テストはそれまでの学習の復習を兼ねた事後学習である。
評価方法	筆記試験：60%、学習態度・状況（小テスト、レポート提出、グループ活動の参加と発表）：40%
テキスト	系統看護学講座 基礎看護学（1）、茂野香おる 他（医学書院）
参考文献	随時、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	担当者は病院、施設等における看護師、保健師、学校における養護教諭の実務経験者である。

授業計画

授業計画
看護学概論は看護に関する幅広い知識を学ぶことで、保健医療福祉の専門職者としての自身の考えを明らかにすることを目指した学習である。ここでの学びは、今後の授業内容にもつながることである。また、専門職者として活動する上で、必要不可欠な知識の習得の場である。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、看護学概論とは（柴田）	オリエンテーション時に事前・事後学習について説明する。事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。	
2	人間の欲求と健康、健康のとらえ方（上妻）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
3	国民の健康状態（上妻）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
4	看護の対象の理解（上妻）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
5	サービスとしての看護、看護サービス提供の場（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
6	災害時における看護（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
7	小テスト1、ナイチンゲールについて（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
8	医療安全と医療の質保証（古江）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	

授業計画

看護学概論は看護に関する幅広い知識を学ぶことで、保健医療福祉の専門職者としての自身の考えを明らかにすることを旨とした学習である。ここでの学びは、今後の授業内容にもつながることである。また、専門職者として活動する上で、必要不可欠な知識の習得の場である。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	看護職者の教育とキャリア開発、看護職の養成制度の課題（赤峰）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
10	看護における倫理（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
11	国際化と看護（古江）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
12	看護とはなにか（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
13	小テスト2、看護の本質と実践について（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
14	職業としての看護・看護職者の養成制度と就業状況（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
15	グループワーク：医療職者における専門性、学習のまとめ（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	

基本情報

科目名	生活栄養学
時間割コード	1000360501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	未定
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>食べ物と健康という観点から、基礎栄養学、食物の消化・吸収、栄養素の特徴や役割、臨床栄養学の面から疾病と栄養の関連について理解し、自らが幅広い視野と知識を身につけ実践する事、特に食事や栄養に関する情報が急増している中、自身や人々の健康の維持増進に努めてもらう事が出来る。また、医療従事者として、様々な身体的状況にある人々に接する際に、自身が学んだ食・栄養面の知識を、効果的に行う技法や体験を活かし、サポートすることで自らも健康的な食生活が実践出来るようになる。</p>
履修上の注意事項	<p>履修の中で、各単元の理解を把握するために演習課題を出すので、授業前にテキストと配布資料、テキストの副読本としての「栄養学整理ノート」を読み事前に必ず予習して講義を受講すること。</p>
評価方法	<p>期末試験（筆記）95% 学習態度5%（出席日数・私語が多くて注意を受けたとき）</p>
テキスト	<p>「わかりやすい栄養学 第4版 -臨床・地域で役立つ食生活指導の実際-」ヌーヴェルヒロカワ</p>
参考文献	<p>わかりやすい栄養学（三共出版）基礎栄養学（第一出版）日本人の食事摂取基準（2015年版）七訂補日本食品成分表 国民衛生の動向30年度 糖尿病の食品交換表 腎臓病の食品交換表 応用栄養学（医歯薬出版）</p>
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション栄養の基本概念(栄養とは 健康と栄養評価 食行動と管理目標)		
2	食生活の課題(食と健康 食と健康 食文化)		
3	日本人の食事摂取基準		
4	栄養指導・保健指導(栄養指導の過程と栄養スクリーニング)		
5	食物と栄養(栄養素とその働き)(1)炭水化物、エネルギー		
6	食物と栄養(栄養素とその働き)(2)脂質・たんぱく質		
7	3食物と栄養(栄養素とその働き(3))ビタミン・無機質		
8	食物の摂取と消化・吸収(食欲・消化の調節・栄養素の吸収)		
9	ライフステージと健康教育(妊娠・授乳期・乳幼児期)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	ライフステージと健康教育（学童期・思春期）		
11	ライフステージと健康教育（成人期・老年期）		
12	疾患別食事指導の実際（1）糖尿病、高血圧、脂質異常症		
13	疾患別食事指導の実際（2）虚血性心疾患 脳卒中等		
14	疾患別食事指導の実際（3）慢性腎臓病 摂食嚥下障害等		
15	経管栄養と中心静脈栄養（栄養療法 経腸・静脈栄養法・栄養管理におけるチームアプローチ）		

基本情報

科目名	在宅療養支援チーム協働論
時間割コード	0528446101
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	福本 久美子
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野

担当教員情報

教員名	
福本 久美子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 保健医療福祉の対象者「在宅療養者」を、疾病や障害を抱えながら在宅生活を継続する生活者としてとらえることができる。 保健医療福祉職の対象者「在宅療養者」に対し、個別的・包括的な支援が提供できるよう、関係者や関係機関の連携や協働の在り方について理解することができる。 本科目は、学びの最終学年として、地域包括ケアシステムの構築のために、在宅療養支援チームの一員として協働の在り方を考え、その役割について具体的なイメージを抱くことができる。
履修上の注意事項	・本科目の履修によって、卒業後の実践イメージができるよう、予習復習を行い、講義に積極的に参加すること(90分以上)。
評価方法	レポート100% レポート提出先：Campas Square。フィードバックは質問者に対応。
テキスト	特になし。
参考文献	その都度、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	福本久美子：保健師・看護師としての実務経験 生野繁子：看護師としての実務経験 大池貴行：理学療法士としての実務経験 上田智之：看護師としての実務経験 田口太郎：鍼灸師としての実務経験 中川武子：看護師・保健師としての実務経験 田中康子：看護師としての実務経験 十時彩：歯科衛生士としての実務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	「在宅療養支援チーム協働論」の目的・展開方法について（福本）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
2	「地域包括ケアシステム」の構築に対する住民の期待と専門職（生野）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
3	在宅療養の対象者の人権について（野崎）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
4	社会で起こっている出来ごと「在宅療養生活者の健康格差」（中川）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
5	在宅療養を送る当事者からのメッセージ（福本：特別講師）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	外部特別講師として、在宅療養を行っている当事者

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	在宅療養を送る当事者家族からのメッセージ（福本:特別講師）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	外部特別講師として、在宅療養を行っている当事者家族
7	在宅療養支援を行う各専門職とその協働（田中）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
8	在宅療養支援を行う専門職の役割「看護職」（上田）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
9	在宅療養支援を行う専門職の役割「福祉職」（橋本）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
10	在宅療養支援を行う専門職の役割「理学療法士」（大池）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
11	在宅療養支援を行う専門職の役割「鍼灸師」（田口）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
12	在宅療養支援を行う専門職の役割「歯科衛生士」（十時）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
13	在宅療養支援を行う専門職の役割「保健師」（未定）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
14	在宅療養支援を行う専門職の役割「医師」（福本：特別講師）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	外部特別講師として、地域包括ケアの提供リーダーとしての医師
15	まとめ：「地域包括支援システムにおける在宅療養支援チーム協働」の在り方について（福本、他）	14コマまでの振り返りと事前学習（2時間）、事後は全体を振り返り、自身の考えをまとめること（2時間）	

基本情報

科目名	国際協力論
時間割コード	1000370501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	安藤 学
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
安藤 学、川原 英照、川原 光祐、久家 誠司

詳細情報

授業の目的・到達目標	ディプロマ・ポリシーにある「基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養する」ための科目として位置付ける。今日、貧困・教育・紛争・環境破壊・エイズ・食糧問題など地球規模の諸問題はますます深刻な状況にあります。このような問題は、私たち日本人にとっても遠い国の問題ではありません。私たちも国際社会の一員として世界の国々と協調連帯して国際協力を推進するための能力を修得することができる。
履修上の注意事項	オムニバスであるので、毎回の出席を心がける。事前に出され課題について調べて授業に臨むことと、授業後に授業前に出された課題と授業で学んだ内容について比較して復習をすること。
評価方法	レポート(80%コメントして返却します。) 授業への取り組み20%
テキスト	資料を準備する
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	川原英照 れんげ国際ボランティア会 会長 川原光祐 れんげ国際ボランティア会 常務理事 久家誠司 れんげ国際ボランティア会 事務局長

授業計画

授業計画
事前学修：毎回授業内容について調べておく(2時間) 事後学修：毎回授業で学修した内容について復習する(2時間)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	国際協力とは何か(安藤)		
2	政府開発援助(安藤)		
3	政府開発援助の事例(安藤)		
4	NGOによる民間協力(安藤)		
5	NGOによる民間協力の事例(安藤)		
6	技術協力の方法(川原光祐)		
7	技術協力の方法の事例(久家)		
8	参加型開発(久家)		
9	参加型開発の事例(久家)		
10	国際協力の理念(久家)		
11	国際協力の理念の事例(久家)		
12	国際協力の事例(民間)(久家)		
13	国際協力の事例(政府)(安藤)		
14	国際理解と支援活動(安藤)		
15	今後の国際協力のあり方(安藤)		

基本情報

科目名	危機管理と災害支援
時間割コード	1000380501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	安藤 学
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
安藤 学

詳細情報

授業の目的・到達目標	ディプロマ・ポリシーにある「基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養する」ための科目として位置付ける。日常生活の中においても、危険は常に存在する。もちろん日常生活だけではなく拡大して考えれば地球上にはいろんな危険が存在しており、それに対する危機管理が必要である。家庭内の危険から出発し国際紛争までいたる危機管理について学ぶ。そして、災害についての危機管理と災害発生後の支援のあり方について検討できる能力を修得することができる。
履修上の注意事項	授業前に出された課題を完成させて授業に臨み、授業後は授業前の課題と授業で学んだことを比較して復習をすること。
評価方法	レポート提出（80%コメントして返却します。）、授業への取り組み姿勢（20%）
テキスト	なし
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
事前学修：毎回事前に内容について調べておく(2時間) 事後学修：毎回授業で学修した内容を復習する(2時間)

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	危機管理論オリエンテーション		
2	危機管理とは何か		
3	危険とは何か		
4	家庭における危険と危機管理		
5	地域社会における危険と危機管理		
6	学校における危険と危機管理		
7	企業における危険と危機管理		
8	国家における危険と危機管理		
9	国家間のバランスと危機管理（安全保障）		
10	地方自治体の危機管理		
11	住民の避難行動		
12	災害支援の方法 1（災害発生時）		
13	災害支援の方法 2（自活生存）		
14	災害支援の方法 3（避難救助）		
15	危機管理についての総まとめ		

基本情報

科目名	災害支援演習
時間割コード	0528446001
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	安藤 学
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野

担当教員情報

教員名
安藤 学、花田 雄二

詳細情報

授業の目的・到達目標	災害支援の場合、常に支援協力活動にあたる要員の為に、快適な宿泊設備、生活物資が用意されているとは限らない。むしろ多くの場合、災害被災地であったり、生活物資の不足する場所での支援協力活動である。支援協力活動において任務を遂行するために、まず自分自身の安全の確保と生命の維持が確保されなければならないし、またチームワークも重要である。この演習では、協力協同の精神を涵養し災害場面を想定して自活生存、生命維持のための基本的な方法と共に、支援活動に必要な基本技術を修得できる。
履修上の注意事項	演習に際しては、安全確保のために指定の作業着・帽子・作業靴を着用する。(作業着等については、貸与するが、食事代と作業服のクリーニング代は各自負担) 演習前に出された課題を完成させて授業に臨み、演習後は演習で学んだことを復習をすること。事前に配布された資料を学習しておく、演習終了後は各自で復習を定期的におこなうこと。
評価方法	実技試験(80%)、演習態度(20%)
テキスト	プリントを配布する
参考文献	なし
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	花田雄二：東京消防庁 消防士の経験あり

授業計画

授業計画
<p>授業計画</p> <p>この演習では、「海上訓練」と「陸上訓練」に分けて集中的に実施する。</p> <p>「海上訓練」では短艇(カッター)を用いて協同協力の精神を養い、「陸上訓練」では実際にテントを設営し野営して自活生存方法を修得する。また「海上訓練」「陸上訓練」を通じてチームワークの重要性を学ぶ。実施の時期については、前もってオリエンテーションを開き説明指導する。ただしこの演習で、他の授業に支障(公欠で授業を欠席)がでないように、夏季休暇中の実施する。</p> <p>「海上訓練」(9月上旬 4日間 長洲海洋センター/前面海域)</p> <p>短艇(カッター)・帆走(ヨット)・結索(ロープワーク)・安全管理・気象観測・溺者救助・応急処置・信号通信・統率(指揮)法</p> <p>「陸上訓練」(9月中旬 2泊3日 大学構内/蛇が谷公園)</p> <p>オリエンテーリング(地図見・コンパス見方)・ロープ技術(ロープ渡り・降下等)・野営方法(テント設営・炊飯等)・安全管理・救急処置(傷病者搬送方法含む)・統率(指揮)法</p> <p>「海上訓練」・「陸上訓練」とも、学内において事前指導を行った後に実施する。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	解剖生理学
時間割コード	1000330501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	二科 安三
科目区分	専門科目 口腔保健学科専門科目(人体)

担当教員情報

教員名
二科 安三

詳細情報

授業の目的・到達目標	人体各部の構造と機能を勉強する。本講義で中心となるのは消化器系、血液および循環器系、呼吸器系、泌尿器系であり、その周辺(たとえば神経系等)にも注意を払いつつ勉強する。適切な教科書を指定するので、その7割程度は理解して他人に解説できるようになること。
履修上の注意事項	教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。(毎講義2時間ずつ)
評価方法	期末試験(100%)で判定する。
テキスト	解剖生理学(人体の構造と機能[1])、坂井建雄、岡田隆夫,医学書院
参考文献	なし
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。(毎講義2時間ずつ)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	はじめに 解剖学・生理学		
2	栄養の消化と吸収1 口・咽頭・食道・胃の構造と機能		
3	栄養の消化と吸収2 小腸・大腸の構造と機能		
4	栄養の消化と吸収3 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能		
5	呼吸と血液の働き1 呼吸器の構造と呼吸運動、呼吸と血液の働き		
6	呼吸と血液の働き2 ガス交換とガスの運搬		
7	呼吸と血液の働き3 呼吸運動の調節		
8	呼吸と血液の働き4 血液の組成と機能		
9	血液の循環とその調節1 心臓の構造、心臓の興奮とその伝播		
10	血液の循環とその調節2 心臓の収縮、心周期、血液の循環とその調節		
11	血液の循環とその調節3 血圧・血流量の調節		
12	血液の循環とその調節4 微小循環、リンパの循環		
13	体液の調節と尿の生成1 腎臓の構造、糸球体・尿管。傍糸球体装置		
14	体液の調節と尿の生成2 糸球体濾過、クリアランス、排尿の機序		
15	体液の調節と尿の生成3 体液の調節		

基本情報

科目名	解剖生理学
時間割コード	1000340501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	二科 安三
科目区分	専門科目 口腔保健学科専門科目(人体)

担当教員情報

教員名	
二科 安三	

詳細情報

授業の目的・到達目標	人体各部の構造と機能を勉強する。本講義で中心となるのは自律神経系、内分泌系、骨と筋肉、生殖器官系、生体防御免疫系である。適切な教科書を指定するので、その7割程度は理解して他人に解説できるようになること。
履修上の注意事項	教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。(毎講義2時間ずつ)
評価方法	期末試験(100%)により判定する。
テキスト	解剖生理学(人体の構造と機能[1]) 坂井建雄、岡田隆夫 医学書院
参考文献	なし。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。(毎講義2時間ずつ)	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	神経系の構造と機能 神経系の構造、興奮の伝導と伝達		
2	自律神経による調節		
3	内分泌による調節1 ホルモンの構造、視床下部、下垂体		
4	内分泌による調節2 甲状腺、膵臓、副腎、甲状腺・副甲状腺		
5	内分泌による調節3 ホルモン分泌の調節、ホルモンによる調節		
6	身体の支持と運動1 骨と筋の構造		
7	身体の支持と運動2 体幹、上肢、下肢、頭頸部の骨格と筋		
8	身体の支持と運動3 筋の収縮		
9	情報の受容と処理1 中枢神経の構造と機能		
10	情報の受容と処理2 末梢神経の構造と機能		
11	情報の受容と処理3 脳の高次機能、運動機能、感覚機能		
12	情報の受容と処理4 特殊感覚の構造と機能		
13	身体機能の防御と適応1 皮膚の構造と機能、生体の防御機構		
14	身体機能の防御と適応2 体温とその調節		
15	生殖・発生と老化のしくみ		

基本情報

科目名	解剖生理学
時間割コード	0528430301
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	江崎 太一
科目区分	専門基礎分野 口腔保健学科専門基礎分野(人体)

担当教員情報

教員名	
江崎 太一	

詳細情報

授業の目的・到達目標	生命体としてのわれわれヒトの体はどのような成り立ちをしているのだろうか？本科目では、1年時の解剖生理学 および で学んだ内容および口腔解剖学全般の学習内容とは異なる視点から、生命の誕生・進化から各臓器（器官系）の成り立ちと機能がどのように係わっているか？までを対話形式で考えることによって、生体の精巧さ・美しさを実感するとともに“命の大切さ”を実感することを目標とする。また、生体のもつ様々な“不思議”を紹介しながら学生自身が楽しめる授業をめざす。
履修上の注意事項	授業は毎回プリント（一部でスライド）と板書で行うので、自分自身のための“自学ノート”を作成すること。また、授業終了前に学習内容を再確認するために自己評価カード（評価の対象とする）を提出すること。
評価方法	* 学生便覧に基づき、授業（15回）のうち、3分の2以上の出席が評価対象の前提条件となる。 1．毎回の授業中の自己診断カードによる課題の提出(5点満点×15回＝75点) 2．授業中ないし自学自習中に作成した学習ノートを学期末に提出（内容評価：25点） 3．学期末の筆記試験(100点満点)：授業に関連したテーマについて、自由に自問・自答する形式をとる。 以上の1～3の合計点(200点満点)とし、その60%以上を合格とする。
テキスト	特に指定はしない。ただし、必ず自分で何か1冊は人体の構造と機能について学習できる参考書を持っておくこと。
参考文献	授業中に紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	江崎太一： 医学部において医学部学生を40年間にわたり、主に「解剖学(肉眼解剖：約10年、組織学：約35年、発生学：18年、ほか)」を中心に人体構造と機能生理学の全般を指導した。 専門は、免疫組織学、リンパ学

授業計画

授業計画	
事前学修：	提示された事前課題について、テキストを熟読し回答を用意しておくこと（2時間/回）
事後学修：	講義内容、特に専門用語について説明ができるようにノートをまとめること（2時間/回）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	1．オリエンテーション（プロフィール、能動学習のすすめ）	授業計画に記載の通り	
2	2．生命の誕生と進化（生物と無生物、植物と動物を考える）	授業計画に記載の通り	
3	3．ヒトの発生と成り立ち（体軸と極性、体の内と外とは？）	授業計画に記載の通り	
4	4．植物性器官：吸収系（消化器系、呼吸器系など）	授業計画に記載の通り	
5	5．植物性器官：循環系（循環系：脈管系と血液・リンパ）	授業計画に記載の通り	
6	6．植物性器官：排出系（腎尿路系&生殖器官系）	授業計画に記載の通り	
7	7．動物性器官：感覚系（刺激の入力系：感覚器系）	授業計画に記載の通り	

授業計画

事前学修：提示された事前課題について、テキストを熟読し回答を用意しておくこと（2時間/回）
 事後学修：講義内容、特に専門用語について説明ができるようにノートをまとめること（2時間/回）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	8．動物性器官：伝達調節系（神経系：末梢神経系 & 中枢神経系）	授業計画に記載の通り	
9	9．動物性器官：運動系（実効の出力系）	授業計画に記載の通り	
10	10．入り口のはなし（“口腔”とは？“鼻腔”とは？“咽頭”とは？）	授業計画に記載の通り	
11	11．鰓（えら）・顎（あご）・面（つら）のはなし	授業計画に記載の通り	
12	12．口・舌・喉（摂食、発声・構音）のはなし	授業計画に記載の通り	
13	13．歯のはなし（何故歯は一度しか生え替わらないのか？）	授業計画に記載の通り	
14	14：出口のはなし（括約筋機構と弁状機構）	授業計画に記載の通り	
15	15：健康と外部環境（気候変動など）・内部環境（ヒトと常在細菌叢、性ホルモンなど）、まとめ（質問とア	授業計画に記載の通り	

基本情報

科目名	生化学
時間割コード	1000400501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	専門科目 口腔保健学科専門科目(人体)

担当教員情報

教員名
檜枝 洋記

詳細情報

授業の目的・到達目標	生化学は諸々の生命現象を化学的に解明する学問であり、薬理学や栄養学と密接に関連している。本科目では、人体を構成する物質および生命現象の化学的基盤について学ぶ。基礎医学と医療とのつながりを関連付けることができるようになる。
履修上の注意事項	高校の化学に自信がない場合は共通科目「ライフサイエンス」の履修を強く勧める。ただ暗記するのではなく、考えて理解すること。質問等、授業への積極的な参加を期待する。
評価方法	中間試験50%、単位習得試験50% フィードバックとして、希望者には試験の得点を開示する。
テキスト	栄養科学イラストレイテッド 生化学 第3版(藺田勝ら)(羊土社)
参考文献	栄養科学イラストレイテッド 生化学ノート 第3版(藺田勝ら)(羊土社)
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	人体の構成物質	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
2	糖質の構造と性質	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
3	脂質の構造と性質	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
4	アミノ酸の構造と性質	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
5	タンパク質の構造と性質	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
6	核酸の構造と性質	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
7	ビタミン	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
8	中間試験	これまでの内容を授業プリントとテキストでしっかりと復習しておくこと	
9	ミネラル	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
10	酵素と酵素反応	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
11	糖質の代謝	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
12	脂質の代謝	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
13	タンパク質とアミノ酸の代謝	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
14	遺伝子とタンパク質合成	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
15	バイオテクノロジー	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	

基本情報

科目名	口腔解剖学
時間割コード	1001150501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	白本 知大
科目区分	専門科目 口腔保健学科専門科目(歯)

担当教員情報

教員名	
白本 知大、白本 光鶴	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>‘食べること’は、生きることの根源である。また‘食べること’は、楽しみを生み、コミュニケーションの場となる文化的な行為である。本講義では、消化器の入り口である口腔領域の解剖、機能を学ぶ。さらに、高齢者や脳梗塞などの後遺症で摂食・嚥下機能障害を持つ方々に対して、正しい口腔ケアとリハビリテーションを提供できるように理解を深める。</p>
履修上の注意事項	<p>毎回の授業内容について教科書を用いて不明な語句を調べておくこと(120分) 授業の内容を授業で用いたプリントならびに教科書を用いて不明な語句を調べて、復習すること。(120分)</p>
評価方法	<p>学期末試験 100% (その他、小テストやレポート等考慮する場合もある)</p>
テキスト	<p>最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能 - 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社</p>
参考文献	<p>最新歯科衛生士教本 障害者歯科 森崎市治郎 医歯薬出版, 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 森戸光彦 医歯薬出版, 新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・口腔解剖学 第2版 高橋和人 医歯薬出版</p>
実務経験のある教員による授業	<p>有</p>
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>歯科医師として病院勤務経験(白本知大・白本光鶴)</p>

授業計画

授業計画	
<p>毎回の授業内容について教科書を用いて不明な語句を調べておくこと(120分) 授業の内容を授業で用いたプリントならびに教科書を用いて不明な語句を調べて、復習すること。(120分)</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	口腔解剖学総論(白本知大)		
2	永久歯総論(白本知大)		
3	永久歯各論 (エナメル質、象牙質、セメント質)(白本知大)		
4	永久歯各論 (歯髄)(白本知大)		
5	歯の鑑別(白本知大)		
6	乳歯総論、各論(白本知大)		
7	歯の異常(白本知大)		
8	口腔の構造(白本知大)		
9	咽頭・喉頭(白本知大)		
10	頭頸部の硬組織(白本知大)		
11	頭頸部の脈管(白本光鶴)		
12	頭頸部の筋(白本光鶴)		
13	頭頸部の神経(白本光鶴)		
14	口腔粘膜(白本光鶴)		
15	歯周組織(白本光鶴)		

基本情報

科目名	口腔組織発生学
時間割コード	1001160501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 4
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	1
主担当教員	白本 知大
科目区分	専門科目 口腔保健学科専門科目(歯)

担当教員情報

教員名	
白本 知大、白本 光鶴	

詳細情報

授業の目的・到達目標	歯や歯周組織、口腔粘膜といった口腔組織の正常構造や組織学的構造を理解することができる。また、それらの構造がどのように成り立っているのか、発生に段階より理解し、口腔領域の専門家として、これからの歯科医療を引っ張っていくことができる。
履修上の注意事項	出席率60%未満の者は単位認定試験の受験不可 毎回の授業内容について教科書を用いて不明な語句を調べておくこと(120分) 授業の内容を授業で用いたプリントならびに教科書を用いて不明な語句を調べて、復習すること。(120分)
評価方法	単位認定試験で評価する。
テキスト	歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学
参考文献	口腔組織・発生学 脇田稔 編集代表/前田健康、山下靖雄、明坂年隆 編著 医歯薬出版
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	歯科医師として病院勤務経験あり

授業計画

授業計画	
毎回の授業内容について教科書を用いて不明な語句を調べておくこと(120分) 授業の内容を授業で用いたプリントならびに教科書を用いて不明な語句を調べて、復習すること。(120分)	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	口腔組織学ならびに発生学総論(白本知大)		
2	口腔組織の構造(白本知大)		
3	頭頸部の発生学(白本知大)		
4	細胞構造と線維芽細胞(白本知大)		
5	歯周組織、口腔粘膜(白本知大)		
6	歯と支持組織(白本知大)の組織発生		
7	唾液腺、顎関節の組織発生(白本光鶴)		
8	発生学を臨床に活かす。(白本光鶴)		

基本情報

科目名	口腔生理学
時間割コード	1001170501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	1
主担当教員	福泉 忠興
科目区分	専門科目 口腔保健学科専門科目(歯)

担当教員情報

教員名
福泉 忠興

詳細情報

授業の目的・到達目標	口腔生理学は、口腔を構成する諸器官の生命現象、機能を研究し、それらに存在する法則性を明らかにする生理学の一分野である。口腔生理学では、複雑な口腔各器官の生理的メカニズムを理解できることを目標とする。また、口腔顔面領域の諸機能は身体他の部位から独立して営まれているのではないので、全身機能との関連性を理解できることも大切である。
履修上の注意事項	各項目ごとに講義の後、小テストを行うので講義中は集中して受講すること。講義内容が難しいため、復習は必須である。
評価方法	学期末試験(筆記試験)(100%)による評価
テキスト	最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 全国歯科衛生士教育協議会 監修(医歯薬出版株式会社)
参考文献	なし
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	歯科医師として歯科臨床経験

授業計画

授業計画
事前学修：毎回の講義内容についてわからない事項について教科書を読んで調べておくこと。(2時間)
事後学修：毎回ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるように調べておくこと。(2時間)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	歯と歯周組織の生理(1)		
2	歯と歯周組織の生理(2)		
3	咬合と咀嚼(1)		
4	咬合と咀嚼(2)		
5	吸引・嚥下・嘔吐・口呼吸・口臭		
6	歯と口腔の感覚		
7	唾液		
8	発声		

基本情報

科目名	口腔生化学
時間割コード	1001180501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	1
主担当教員	田中 みどり
科目区分	専門科目 口腔保健学科専門科目(歯)

担当教員情報

教員名
田中 みどり

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>本科目は、生命の営みは、生体を構成している化学的成分の化学的反応によって行われている。口腔は単なる身体の一器官ではなく、生命活動に必要なエネルギー源を体内に取り込む大切な器官である。口腔生化学で修得する基本知識は、口腔器官の構成成分や、口腔の健康を維持するメカニズムであり、日常臨床において口腔疾患の発病・病態との因果関係を洞察し理解する上で歯科衛生士にとって基礎をしっかりと理解することを目的とする。</p> <p>学修者は、歯や歯周組織の構成成分、虫歯や歯周疾患にどうして罹患するのか、カルシウム代謝、唾液の成分や役割等、口腔生化学の基礎知識を説明できるようになることを到達目標とする。</p>
履修上の注意事項	<p>講義中に要点プリントを配布するので必ず出席して下さい。</p> <p>また、講義後は復習が必要なので、配られたプリントを含めたノートを作成すること。</p>
評価方法	<p>期末試験(100%)</p> <p>試験不良者は再試験にて再評価する。</p> <p>試験解答を掲示板にて表示しフィールドバックとする。</p>
テキスト	最新 歯科衛生士教本 人体の構造と機能2 栄養と代謝 全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社
参考文献	<p>*スタンダート生化学・口腔生化学 安孫子宜光他 学建書院</p> <p>*口腔生化学サイドリーダー 金森孝雄 学建書院</p>
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	歯科医師として病院勤務中

授業計画

授業計画
<p>事前学修は各講義内容についてわからない語句や文言を調べておくこと。(2時間)</p> <p>事後学習は講義内容をノートに整理し、説明ができるようにしておく。(2時間)</p> <p>1口腔生化学基礎</p> <p>2口腔生化学基礎</p> <p>口腔生化学に必要な生化学の知識を復習する。</p> <p>3歯と歯周組織</p> <p>どのような構成をしているのかを学ぶ。</p> <p>4石灰化とカルシウム代謝</p> <p>カルシウムが歯や骨にどう関わるのかを学ぶ。</p> <p>5唾液と唾液腺</p> <p>唾液の成分や役割を学ぶ。</p> <p>6歯面への付着物</p> <p>バイオフィルムの成り立ちや構成を知る。</p> <p>7う蝕と歯周疾患 の成り立ちと予防</p> <p>歯科衛生士としてこれから関わるう蝕や歯周疾患を知り、予防を理解する。</p> <p>8まとめ(試験対策)</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	病態生理学
時間割コード	1000810501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	徳富 芳子
科目区分	専門科目 口腔保健学科専門科目(疾病)

担当教員情報

教員名
徳富 芳子

詳細情報

授業の目的・到達目標	病態生理学は、疾病を正常機能の破綻や調節機能の異常の観点から原因解明し、病理学は、疾病の原因、機序、診断を明らかにする学問である。病態生理学では、解剖生理学で学んだ人体の正常な仕組みに関する知識に基づき、疾病の成り立ちを基本的な機序に沿って整理する。さらに、その結果引き起こされる組織や臓器の変化に関する正しい知識を身につけ、各種疾患における病態生理や臨床症状を理解するための基礎を総論的に学ぶ。専門用語を正しく理解し、臓器ごとの各種疾患の成り立ちを理解するための基礎を身につける。正常な状態から病態への移行と回復過程に関する基本的知識を正確に理解し、説明できることを目標とする。
履修上の注意事項	1) 各回のテキスト該当箇所を予め熟読すること(1時間程度)。 2) 講義中に要点をノートに書き、その日の内に内容をしっかりと復習すること(1時間程度)。 3) 講義プリントはファイルし、毎回、教科書、ノートと一緒に必ず持ってくること。 4) 専門用語は正確に覚え、その概念を正しく理解すること。理解できない内容は講義の前後に質問すること。
評価方法	1) 筆記試験(100%)で、正常な状態から病態への移行と回復過程に関する基本的知識を正確に理解し、説明できるかを評価する。 2) 最終授業で、全体に対するフィードバックを行う。
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進 [1]「病理学」大橋健一ほか著、医学書院
参考文献	1) なるほどなっとく!病理学 病態形成の基本的な仕組み 改訂2版、小林 著、南山堂 2) シンプル病理学 改訂第8版。笹野 他編、南江堂
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	病理学で学ぶこと、病気の原因(内因、外因)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
2	細胞・組織の障害と修復	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
3	循環障害 : 局所性	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
4	循環障害 : 全身性	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
5	炎症	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
6	免疫と免疫不全	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
7	アレルギーと自己免疫疾患、移植と再生医療	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
8	感染症	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
9	代謝障害 : 脂質代謝障害、タンパク質代謝障害	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	代謝障害：糖代謝障害、そのほかの代謝障害	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
11	老化と死	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
12	先天異常と遺伝子異常	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
13	腫瘍：腫瘍の定義と分類、悪性腫瘍の広がりと影響	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
14	腫瘍：腫瘍の発生病理	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
15	腫瘍：腫瘍の診断と治療、腫瘍の統計	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	

基本情報

科目名	病態生理学
時間割コード	0528431201
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	大河原 進
科目区分	専門基礎分野 口腔保健学科専門基礎分野(疾病)

担当教員情報

教員名	
大河原 進	

詳細情報

授業の目的・到達目標	臨床医学の各分野全般における各種疾患について、症候・病態・診断・治療に関する基礎知識と理論を学び、各器官や臓器ごとに各疾患の特徴を理解できる。疾患が成り立つ機序としての病理学的変化が臨床的症候と密接な関係にあることを理解できる。
履修上の注意事項	内容がかなり多いので、必ず教科書を予習してくる。復習も必ず行うこと。解剖と生理については、1年次の授業の復習をしておくこと。
評価方法	授業への積極性(5%)、筆記試験(95%)で総合的に評価する。60点以上を合格とする。フィードバックとして、評価終了後に試験問題の解答例を公開する。
テキスト	「看護のための臨床病態学」編集：浅野嘉延、吉山直樹、南山堂
参考文献	「臨床病態学1、2、3」北村聖 総編集、NOUVELLE HIROKAWA
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	教員として大学勤務経験 医師として病院勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	呼吸器 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと(2時間) 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む(2時間)	
2	呼吸器 呼吸器感染症、アレルギー、慢性閉塞性疾患、間質性肺疾患、気道系疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと(2時間) 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む(2時間)	
3	呼吸器 腫瘍、肺循環疾患、換気異常、呼吸不全、胸膜疾患、縦隔疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと(2時間) 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む(2時間)	
4	循環器 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと(2時間) 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む(2時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	循環器 心不全、不整脈、心筋疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
6	循環器 心臓弁膜症、先天性心疾患、高血圧症、動脈疾患、静脈疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
7	消化管 症候、検査と治療、食道の疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
8	消化管 胃・十二指腸の疾患、大腸の疾患、肛門の疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
9	肝・胆・膵 症候、検査と治療、肝臓疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
10	肝・胆・膵 胆道疾患、膵臓疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
11	代謝・栄養 症候、検査と治療、糖尿病他の疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
12	内分泌 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
13	内分泌 視床下部・下垂体・甲状腺・副甲状腺・副腎の疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
14	腎・泌尿器 症候、検査と治療	<p>事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと (2時間)</p> <p>事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む (2時間)</p>	
15	腎・泌尿器 腎疾患、泌尿器疾患、腎不全	<p>事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと (2時間)</p> <p>事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む (2時間)</p>	

基本情報

科目名	病態生理学
時間割コード	0528431301
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	大河原 進
科目区分	専門基礎分野 口腔保健学科専門基礎分野(疾病)

担当教員情報

教員名
大河原 進

詳細情報

授業の目的・到達目標	病態生理学 に引き続き、臨床医学の各分野全般における各種疾患について、症候・病態・診断・治療に関する基礎知識と理論を学び、各器官や臓器ごとに各疾患の特徴を理解できる。疾患が成り立つ機序としての病理学的変化が臨床的症候と密接な関係にあることを理解できる。
履修上の注意事項	内容がかなり多いので、必ず教科書を予習してくる。復習も必ず行うこと。解剖と生理については、1年次の授業の復習をしておくこと。
評価方法	授業への積極性(5%)、筆記試験(95%)で総合的に評価する。60点以上を合格とする。フィードバックとして、評価終了後に試験問題の解答例を公開する。
テキスト	「看護のための臨床病態学」編集：浅野嘉延、吉山直樹、南山堂
参考文献	「臨床病態学1、2、3」北村聖 総編集、NOUVELLE HIROKAWA
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	教員として大学勤務経験 医師として病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	脳・神経 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと(2時間) 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む(2時間)	
2	脳・神経 脳血管障害、神経変性疾患、中枢神経系の脱髄性疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと(2時間) 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む(2時間)	
3	脳・神経 末梢神経等の疾患、筋疾患、感染症、機能的疾患、腫瘍	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと(2時間) 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む(2時間)	
4	血液 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと(2時間) 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む(2時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	血液 赤血球の疾患、白血球の疾患、出血性疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
6	膠原病・アレルギー 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
7	膠原病・アレルギー 膠原病と関連疾患、アレルギー性疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
8	運動器 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
9	運動器 外傷、骨折、脱臼、捻挫	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
10	運動器 脊椎・脊髄の疾患、上肢・下肢の疾患、腫瘍、末梢神経麻痺	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
11	女性生殖器 月経困難症、子宮内膜症、腫瘍、更年期障害、不妊症	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
12	眼 症候、検査と治療、結膜炎、緑内障、白内障、糖尿病性網膜症	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
13	耳鼻咽喉 症候、検査と治療、中耳炎、めまい/難聴、副鼻腔炎、腫瘍	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	皮膚 症候、検査と治療、皮膚炎、色素性母斑、熱傷、褥瘡	<p>事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間）</p> <p>事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）</p>	
15	精神 症候、検査と治療、統合失調症、うつ病、双極性障害	<p>事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間）</p> <p>事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）</p>	

基本情報

科目名	口腔病理学
時間割コード	0528431401
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 4
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	田中 文丸
科目区分	専門基礎分野 口腔保健学科専門基礎分野(疾病)

担当教員情報

教員名
田中 文丸

詳細情報

授業の目的・到達目標	病理学は、その疾病の原因、経過および結果を追究し、それらを体系化して理解する事により、疾病の本質を究明する学問であり、基礎医学と臨床医学の架け橋として重要な役割を担っている。 歯科臨床において一翼を担う歯科衛生士としての必要不可欠な疾病の理論や口腔病変の概要を理解するとともに、考える基礎を学ぶ事により社会生活においての問題対応能力を高め、それが臨床現場で役立てられる力を身に付ける。
履修上の注意事項	事前学習：授業の予習は毎回授業の講義内容の教科書を熟読し、わからない語句を調べておくこと(60分) 事後学習：毎回授業の内容をノートに整理し、復習すること(60分)
評価方法	レポート(10%)および学期末試験(90%)による総合評価
テキスト	最新歯科衛生士教本 「病理・口腔病理学」 全国歯科衛生士協議会編集 医歯薬出版
参考文献	口腔病変の組織診断 山本浩嗣・武田泰典 永末書店
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	歯科医師として病院勤務経験あり

授業計画

授業計画
事前学習：授業の予習は毎回授業の講義内容の教科書を熟読し、わからない語句を調べておくこと(60分) 事後学習：毎回授業の内容をノートに整理し、復習すること(60分)
口腔内の、それぞれの疾病を理解してもらう

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	歯の発育異常		
2	歯の機械的および化学的損傷		
3	歯の付着物および沈着物		
4	象牙質とセメント質の増生および歯髄と歯根膜の石灰化		
5	う蝕		
6	歯髄の病変		
7	歯周組織の病変		
8	まとめ		

基本情報

科目名	口腔微生物学
時間割コード	0528431601
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 3
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	金子 憲章
科目区分	専門基礎分野 口腔保健学科専門基礎分野(疾病)

担当教員情報

教員名
金子 憲章、北田 勝浩

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は専門科目に関する知識を学ぶ。学修者は「感染症学」を総論として、口腔内に常在する微生物の特性が説明できる。その上で、口腔の2大疾患であるう蝕と歯周病に関係する細菌を中心に、口腔内細菌の全身疾患との関わり、口腔内症状がみられる感染症、歯科診療上留意すべき感染症に関する内容を説明できる。
履修上の注意事項	講義は教科書を必ず持参する。一部は講義中に資料を配布する。授業前に次授業項目について教科書を読み予習しておくこと(20分)、また授業後は復習しておくこと(40分)。
評価方法	試験80%、小テスト、レポート等20%、フィードバックとしてレポートにコメントして返却する。
テキスト	『最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復の過程の促進2 微生物学』 全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版 一部は講義中に資料配布する。
参考文献	『デンタルプラーク細菌』奥田克爾 著 医歯薬出版 『イラストでわかる歯科医学の基礎』淵端 孟 編 永末書店
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	金子憲章：歯科医師として大学附属病院での実務経験がある。 北田勝浩：歯科医師として大学附属病院での実務経験がある。

授業計画

授業計画
北田：う蝕予防に関する研究論文を発表している。
<ol style="list-style-type: none"> 1. 細菌の一般的性状、分類、主な病原性細菌(北田) 2. 口腔内環境と口腔内常在菌(北田) 3. 口腔内常在菌による歯垢形成と成熟の過程(北田) 4. 細菌感染症としてのう蝕症、う蝕原性細菌と全身疾患との関連(北田) 5. 歯髄炎・根尖性歯周炎に関連する細菌種、感染経路、症状と細菌との関連、その特徴について(金子) 6. 歯周病原性細菌の種類と特徴、感染の進行による細菌種の変化と症状の特徴について(金子) 7. 歯周病分類別の細菌種の特徴、それに伴う症状と宿主免疫との関連について(金子) 8. 歯周病原性細菌が全身疾患に及ぼす影響、また全身疾患が歯周病に及ぼす影響について(金子)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	リハビリテーション概論
時間割コード	0528431801
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	川俣 幹雄
科目区分	専門基礎分野 口腔保健学科専門基礎分野(疾病)

担当教員情報

教員名
川俣 幹雄

詳細情報

授業の目的・到達目標	学修者は、リハビリテーションの理念、歴史、障害理論およびその関連する制度等について理解する。
履修上の注意事項	テキストの該当箇所の予習・復習を徹底すること(120分)。 出席登録を除き、授業中の携帯電話の使用を禁止する。
評価方法	期末試験100%で評価する。 小テストを通じて、学修到達度、課題等をフィードバックする。
テキスト	『医学生・コメディカルのための手引書 リハビリテーション概論最新版』 上好秋孝、編著(永井書店、)
参考文献	『入門リハビリテーション概論』中村隆一編(医歯薬出版)、『入門リハビリテーション医学』中村隆一監修(医歯薬出版)、『社会福祉小六法』(ミネルバ書房)、『リハビリテーション』(砂原茂一(岩波書店139)など
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	理学療法士として実務経験あり。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	リハビリテーションとは(定義、理念、思想)	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
2	リハビリテーションの歴史	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
3	リハビリテーションと障害医学	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
4	障害の理論的モデル:ICIDH	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
5	障害の理論的モデル:ICF	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
6	リハビリテーションと関連職種	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
7	医学的リハビリテーション	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
8	社会的、職業的リハビリテーション	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	リハビリテーションの対象	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
10	リハビリテーションと社会制度	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
11	地域リハビリテーション	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
12	リハビリテーションと環境整備	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
13	介護予防とリハビリテーション	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
14	予防医学とリハビリテーション	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
15	リハビリテーションを取り巻く環境と今後の課題	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	

基本情報

科目名	医事法規
時間割コード	0528431901
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	野崎 和義
科目区分	専門基礎分野 口腔保健学科専門基礎分野(歯・口)

担当教員情報

教員名	
野崎 和義	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療行為を中核とする現行医事法制の中で、歯科衛生士の法的位置づけを理解する。 2 医療専門職に課せられた社会的責務と業務上の責任を理解する。 3 各種医療専門職との協力、福祉従事者との連携のために必要とされる法を理解する。 4 今日の医療制度の仕組みとその問題点を理解する。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・準備学習：各回のテーマに即して教科書を読んでおくこと。 ・事後学習：講義で示された課題をもとに教科書および関連事項を整理すること。 ・講義の進行は、理解度に応じて変更することがある。その際には、あらかじめ通知する。
評価方法	定期試験(100%)の成績によって評価する。
テキスト	野崎和義著『医事法学概論(第2版)』2020年、ミネルヴァ書房。 野崎和義監修『社会福祉六法』2021年、ミネルヴァ書房(過年度版でも可)。
参考文献	各回の講義の際に適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
<p>事前・事後学修について</p> <p>事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと(2時間)</p> <p>事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題(随時)について調べ、作成・提出する(2時間)。</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	市民の法と専門職の法 市民法の基礎、歯科衛生士の法的位置づけ		
2	医療職と法 守秘義務と個人情報の保護、三層の法構造		
3	医業の独占 医療行為、「業」による規制、医療行為の拡散		
4	治療行為と同意(1) 医療行為と治療行為、同意能力、乳幼児と医療ネグレクト		
5	治療行為と同意(2) 家族による同意、成年後見制度と治療同意権		
6	診療の補助と医師の指示 具体的指示と包括的指示、メディカルコントロール		
7	歯科衛生士の業務範囲 歯科衛生士の業務、「歯科診療の補助」と医療行為		
8	医療職と刑事責任(1) 終末期医療と家族		
9	医療職と刑事責任(2) チーム医療と信頼の原則、異常死体等の届出義務と黙秘権		

授業計画

事前・事後学修について

事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）

事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	チーム医療と民事責任（1） 民事責任の構造、医療従事者の注意義務		
11	チーム医療と民事責任（2） 歯科衛生士の過失、実習生による事故とその対応		
12	医療過誤と訴訟 訴訟の目的とその限界、医療ADRの取り組み		
13	看護師と労働法 労働契約の特殊性、院内暴力・セクハラ		
14	医療制度と法 医療制度改革、医療法の改正		
15	コメディカルの業務と責任 医療従事者の義務、医事法の構造と射程		

基本情報

科目名	精神保健
時間割コード	0528432301
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	水間 宗幸
科目区分	専門基礎分野 口腔保健学科専門基礎分野(歯・口

担当教員情報

教員名
水間 宗幸、平川 泰士

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・精神の健康についての基本的考え方と精神保健学の役割について説明できるようになる。 ・精神保健を維持・増進するために機能している専門機関や関係職種との役割と連携について基礎的知識を備える。
履修上の注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 必ず講義ノートを作成すること。また、配布するプリントをファイル化し毎回持参することが必要である(配布資料は何回か使用する可能性がある)。 2 授業前にテキストの該当部分を一読しておくこと。 3 授業後に配布された資料や講義ノート・テキスト等を用い振り返りを行いながら理解を深めること。
評価方法	試験による評価(70%)および授業中のレスポンスやミニレポート(30%)。なお希望者には個別に評価内容を伝える。
テキスト	「最新 精神保健福祉士養成講座2 現代の精神保健の課題と支援」 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 (中央法規)
参考文献	
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	精神保健の概要(担当:水間)		
2	精神保健分野の動向と基本的考え方(担当:水間)		
3	社会構造の変化と新しい健康観(担当:水間)		
4	ストレスと精神の健康(担当:水間)		
5	家族およびライフサイクルと精神の健康(出生前~思春期)(担当:水間)		
6	家族およびライフサイクルと精神の健康(青年期~老年期)(担当:水間)		
7	精神保健の視点から見た学校教育の課題とアプローチ(担当:水間)		
8	精神保健の視点から見た勤労者の課題とアプローチ(担当:水間)		
9	精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチ 貧困、ホームレス、引きこもりと精神保健等(担当:水)		
10	精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチ 異文化接触、LGBT、触法行為と精神保健等(担当:		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	精神保健に関する発生予防と対策 うつ病と自殺予防対策等		
12	精神保健に関する発生予防と対策 家族に関する子育て支援と虐待予防、引きこもり等		
13	地域精神保健に関する偏見・差別の課題（担当：水間）		
14	精神保健に関する専門職と国、都道府県、市町村、団体等の役割及び連携（担当：平川）		
15	精神保健に関する国際的動向（担当：水間）		

基本情報

科目名	健康相談論
時間割コード	0528432401
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	古賀 由紀子
科目区分	専門基礎分野 口腔保健学科専門基礎分野(歯・口)

担当教員情報

教員名
古賀 由紀子

詳細情報

授業の目的・到達目標	児童生徒の心の健康問題が深刻化し、学校の保健室でも心身両面の対応が養護教諭によって行われていることを理解する。また養護教諭の専門性や保健室の機能を生かした相談活動としての「健康相談」についての理論と方法について学習し、具体的に子どもの状態のとらえ方と対応について述べるができる。
履修上の注意事項	授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(60分)。授業の復習を行うこと(60分) 毎回、授業の振り返りと質問等を最後にかかせるが、内容を確認し、次時に返却する。質問に対しては授業の最初に応える。
評価方法	レポート30%、まとめのテスト70%として評価する
テキスト	養護教諭の行う健康相談 大谷尚子 森田光子 東山書房
参考文献	学校保健実務必携 第一法規
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	古賀：公立学校養護教諭経験

授業計画

授業計画
授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(60分)。授業の復習を行うこと(60分) 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	児童生徒の心身の健康問題の現状と背景 / 健康相談の基本的理解		
2	養護教諭の職務の特質及び保健室の機能と健康相談		
3	健康相談と健康相談活動(学校保健安全法との関連)		
4	健康相談に関連する諸理論		
5	健康相談のプロセス		
6	ヘルスアセスメントについて		
7	健康相談における子ども理解の方法(演習含む)		
8	健康相談での心理的理解		
9	健康相談における連携		
10	諸問題の捉え方と関わり方		
11	諸問題への具体的な対応について(事例研究の目的)		
12	事例から相談支援を具体的に学ぶ 疾病を伴う事例		
13	事例から相談支援を具体的に学ぶ 生活上での課題等様々な課題事例		
14	保健室登校と不登校の捉え方と対応		

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（60分）。授業の復習を行うこと（60分）
 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	健康相談における記録、力量形成・研究 ・研修		

基本情報

科目名	学校保健
時間割コード	0528432501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	古賀 由紀子
科目区分	専門基礎分野 口腔保健学科専門基礎分野(歯・口)

担当教員情報

教員名	
古賀 由紀子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	児童生徒の発育・発達、健康そして学校教育法につながる指導要領等の教育の基礎を把握するとともに、児童生徒の実態から、保健教育・保健管理・組織活動の諸活動を考える。これら学校保健活動の計画と組織を教育計画と学校組織との関連でとらえ、教育の中の学校保健の全貌について説明できる。
履修上の注意事項	授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(事前60分)。授業の復習を行うこと(事後60分) 毎回、授業の振り返りと質問等を最後にかかせるが、内容を確認し、次時に返却する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。
評価方法	筆記試験85%, レポート15%により評価する
テキスト	学校保健ハンドブック 第6次改訂 教員養成系大学保健協議会編 ぎょうせい
参考文献	新訂版 学校保健実務必携 第一法規
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	古賀：公立学校養護教諭経験

授業計画

授業計画	
授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(60分)。授業の復習を行うこと(60分) 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	学校保健概論・・・学校保健と関連法、学校保健の目的、学校保健の構造		
2	学校保健概論・・・学校保健の歴史		
3	学校保健組織活動・・・学校保健関係者と各々の職務、学校保健組織と運営、関連組織		
4	学校保健計画・・・学校教育目標との関連、保健室経営との関連		
5	学校保健の対象・・・児童生徒の発育発達の現状と課題1。(発育・発達の実態)		
6	学校保健の対象・・・児童生徒の発育発達の現状と課題2。(疾病異常、体力の実態)		
7	学校保健の対象・・・心の健康問題、精神保健		
8	学校保健活動・・・保健管理：領域側面、意義、方法		
9	学校保健活動・・・保健管理：健康観察、健康相談		
10	学校保健活動・・・保健管理：健康診断、保健調査		

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（60分）。授業の復習を行うこと（60分）
 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	学校保健活動・・・保健管理：感染症予防		
12	学校保健活動・・・保健管理：学校環境衛生		
13	学校保健活動・・・安全管理：学校安全と危機管理、救急処置		
14	保健教育：学校における保健教育の考え方、保健学習と保健指導		
15	保健教育：性教育、薬物乱用防止教育、食育		

基本情報

科目名	救急処置法
時間割コード	0528432601
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	古賀 由紀子
科目区分	専門基礎分野 口腔保健学科専門基礎分野(歯・口)

担当教員情報

教員名
古賀 由紀子、井手 裕子

詳細情報

授業の目的・到達目標	生命にかかわる緊急を要するような重大事故時に処置に対する、正しい判断ができる。 学校現場での事故を予測し正しい知識と技術を身に付け児童生徒に対して応急処置ができる。 心肺蘇生法ができる。 救急処置対応計画を作成することができる。
履修上の注意事項	授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(60分)。授業の復習を行うこと(60分) 毎回、前時の定着を確認するため小テストを実施する。 前時の質問に対しては授業の最初に答える。
評価方法	小テスト30%,定期試験70%として評価する
テキスト	・初心者のためのフィジカルアセスメント 救急保健管理と保健指導 永田利三郎 監修 東山書房 ・赤十字救急法教本 ・赤十字基礎講習教本(講習時に販売)
参考文献	
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	古賀: 公立学校養護教諭経験

授業計画

授業計画
授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(60分)。授業の復習を行うこと(60分) 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション/救急処置の基本的知識(古賀)		
2	学校救急処置について/学校における救急体制(古賀)		
3	外傷時の救急処置(傷の種類とその処置)(古賀)		
4	外傷時の救急処置(頭部外傷、眼部外傷)(古賀)		
5	外傷時の救急処置(歯・口腔の外傷、熱傷等)(古賀)		
6	外傷時の救急処置(骨折、捻挫、脱臼、打撲等)(古賀)		
7	外傷時の救急処置(RICE処置・止血・テーピング)(井手)		
8	緊急時の救命処置(CPR理論)(古賀)		
9	緊急時の救命処置(AED理論)(古賀)		
10	緊急時の救命処置(CPR実技1)(古賀)		
11	緊急時の救命処置(CPR実技2)(古賀)		

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（60分）。授業の復習を行うこと（60分）
 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	内科的疾患の救急処置（発熱、けいれん、頭痛）（古賀）		
13	内科的疾患の救急処置（喘息、呼吸困難等の対応）（古賀）		
14	内科的疾患の救急処置（腹痛、下痢等の対応）（古賀）		
15	内科的疾患の救急処置（めまい等その他の対応）（古賀）		

基本情報

科目名	口腔保健衛生学
時間割コード	1001190501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	北田 勝浩
科目区分	専門科目 口腔保健学科専門科目(歯・口)

担当教員情報

教員名	
北田 勝浩	

詳細情報

授業の目的・到達目標	口腔衛生の基礎として必要な知識を学び、口腔の健康を保持増進することの重要性を認識し、そのための理論と方法を説明できる。また、口腔の2大疾患であるう蝕および歯周病を中心に、不正咬合、顎関節症、口臭症、口腔乾燥症など様々な口腔疾患の病因・病態を学び、その予防法について体系的に理解を深め、概説できる。
履修上の注意事項	・事前学習 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと(1時間)。 ・事後学習 ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるようになるまで調べる。また、講義を踏まえて、改めて教科書を読むこと(1時間)。
評価方法	レポート等の日常的学習成果(20%)、定期試験(80%)を総合して評価する。 フィードバックとしてレポートにコメントして返却する。
テキスト	最新歯科衛生士教本 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学第3版:全国歯科衛生士教育協議会 監修(医歯薬出版) 最新歯科衛生士教本 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み3 保健情報統計学:全国歯科衛生士教育協議会 監修(医歯薬出版)
参考文献	口腔保健・予防歯科学:安井利一、宮崎秀夫、鶴本明久、川口陽子、山下喜久、廣瀬公治 編(医歯薬出版) 他、講義の中で適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	北田勝浩:歯科医師として大学,大学院および大学附属病院勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	保健衛生学の意義		
2	歯・口腔の健康(1):歯・口腔の構造		
3	歯・口腔の健康(2):歯・口腔の発生と成長・発育、機能、全身疾患との関連		
4	歯・口腔の付着物・沈着物		
5	口腔清掃 清掃の意義、口腔清掃法、歯磨剤・洗口剤		
6	歯科疾患の疫学、指数		
7	う蝕の予防(1):う蝕の症状、分類、う蝕発生の要因・機序		
8	う蝕の予防(2):う蝕活動性、う蝕活動性試験		
9	う蝕の予防(3):う蝕の予防法(第一次、第二次、第三次)、フッ化物の性状		
10	う蝕の予防(4):フッ化物応用		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	歯周疾患の予防（1）：歯周疾患の症状、分類、発生の機序		
12	歯周疾患の予防（2）：歯周疾患の全身に与える影響、予防手段と処置		
13	その他の疾患の予防（1）：口内炎、口腔癌、不正咬合、顎関節症		
14	その他の疾患の予防（2）：歯の形成不全、口臭症、口腔乾燥症		
15	ライフステージごとの口腔保健管理		

基本情報

科目名	口腔保健統計学
時間割コード	0528432801
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3, 木 4
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	徳永 淳也
科目区分	専門基礎分野 口腔保健学科専門基礎分野(歯・口)

担当教員情報

教員名
徳永 淳也

詳細情報

授業の目的・到達目標	口腔保健学における諸活動の効果的、効率的推進のため、歯科領域で蓄積されてきた各種統計資料や歯科関連統計データに習熟し、統計学を駆使した洞察力や判断力の涵養を目的とする。各種統計資料を用いて我が国の歯科疾患の変遷をとらえ、その評価方法やデータ把握手法を修得し、歯科疾患の疫学や評価指標、初等統計学を用いたデータ解析方法について理解を深め、問題把握と分析能力の修得をはかる。
履修上の注意事項	各種統計値の算出を行うので電卓を持参すること。妥当かつ信頼性の高い議論や仮説検証はどのようにして可能となるのか、について問題意識を持って講義に出席すること。講義前後には教科書等で予習復習に努めること。(60分)
評価方法	各講義で行う確認課題レポートで100%評価する。適宜、課題には解説を加える。
テキスト	最新歯科衛生士教本 保健情報統計学 全国歯科衛生士教育協議会 編 (医歯薬出版) 1年次の口腔保健衛生学で使用した教科書を持参すること
参考文献	歯科衛生士テキスト 口腔衛生学ー口腔保健統計学を含むー (学建書院)
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	口腔保健統計学概論: 保健情報と保健統計調査の概要を理解する	第1章保健情報と保健統計を読み、保健情報の定義、EBMの定義について理解しておくこと(事前学修、1時間) EBMの手順、各国家統計調査の特徴について理解を深めるよう学修する(事後学修、1時間)	
2	歯科疾患の疫学: 疫学の考え方、研究デザイン、データの数量化を理解し説明できる	第2章保健情報と疫学を読み、公衆衛生学で学んだ疫学を復習しながら、疫学総論について理解を深めておく(事前学修、1時間) スクリーニング検査について、敏感度、特異度、偽陽性、偽陰性、陽性反応適中度、陰性反応適中度などの評価指標について説明し計算できるようになること(事後学修、1時間)	
3	統計学入門: 標本データの記述、代表値およびデータ特性を理解し分析に使用できる	第4章保健情報の分析手順を読み、統計学における情報収集方法および調査について概要を理解しておくこと(事前学修、1時間) 母集団と標本、標本抽出法について詳しく説明できるようになる事(事後学修、1時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
4	母数の推定と確率分布: 正規分布の特徴を理解し推定、検定の違いを説明できる	第5章保健統計の方法を読み、データの特徴と記述統計について確認しておくこと(事前学修、1時間)	
5	検定とは: その論理と手順について考え方を理解する	第5章保健統計の方法(推定と信頼区間、検定)を読み、統計学的推論の特徴について確認しておくこと(事前学修、1時間) 検定について第1種の過誤、第2種の過誤、検定方法の実際などについて理解する。(事後学修、1時間)	
6	二変数間の分析: 独立性の検定を理解し分析ができる	第6章保健情報の分析手順を読み、データの種類の合わせた検定方法について差異があることを確認する(事前学修、1時間) カイ自乗検定が適用できるデータの特徴について理解し、実際の生データに対して正しい検定手法を適用計算する事ができるようになる。(事後学修、1時間)	
7	平均値の差の検定: t検定を理解し分析ができる	第6章保健情報の分析手順を読み、データの種類の合わせた検定方法について差異があることを確認する(事前学修、1時間) t検定が適用できるデータの特徴について理解し、実際の生データに対して正しい検定手法を適用計算する事ができるようになる。(事後学修、1時間)	
8	多群間の平均値の比較: 分散分析と多重比較を理解し分析ができる	第6章保健情報の分析手順を読み、データの種類の合わせた検定方法について差異があることを確認する(事前学修、1時間) 多群間における平均値の差の検定が適用できるデータの特徴について理解し、実際の生データに対して正しい検定手法を適用計算する事ができるようになる。(事後学修、1時間)	

基本情報

科目名	地域口腔保健学
時間割コード	0528432901
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	徳永 淳也
科目区分	専門基礎分野 口腔保健学科専門基礎分野(歯・口)

担当教員情報

教員名	
徳永 淳也	

詳細情報

授業の目的・到達目標	地域社会はもとより、学校、職域をはじめとする人々の生活の場であるコミュニティ(共同体)において、その特徴を十分踏まえた支援や介入が求められており、口腔保健学的接近による対象の捉え方、考え方と具体的方策の理解が目的である。各対象に応じた地域口腔保健活動における、歴史、基本概念、目的、内容、方法についてその変遷をとらえ理解をはかり、各コミュニティを構成する人々の生活の質向上に資する保健医療福祉領域の多職種が共有すべき概念や具体的な問題解決手法について修得する。
履修上の注意事項	講義時に配布するプリントとともに、口腔保健衛生学(1年次開講)で使用した教科書(下記テキスト)を使用するので必ず持参すること。地域口腔保健臨地実習の先修科目であるので注意すること。講義前後には、教科書等で予習復習に努めること。(120分)
評価方法	各講義ごとに行う確認課題で100%評価する。適宜、課題には解説を加える。
テキスト	最新歯科衛生士教本 保健生態学 全国歯科衛生士教育協議会 編(医歯薬出版) 口腔保健衛生学(1年次開講済)で使用した教科書
参考文献	シンプル 公衆衛生学2021 鈴木庄亮監修 小山洋、辻一郎編集 公衆衛生学で使用する教科書 歯科衛生士テキスト 口腔衛生学-口腔保健統計を含む- (学建書院)
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
1学期に学んだ公衆衛生学や関連科目で獲得した考え方を、口腔保健領域に適用して考えることが必要となる。健康問題への社会的アプローチの諸側面について、講義回毎に復習して(事前学修、1時間)講義に出席すること。講義後には学修内容を単に記憶するだけでなく、口腔保健を通じた地域の形成イメージと視野を獲得できているか常に自問し学修すること(事後学修、1時間)。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	地域口腔保健学概論: 地域における口腔保健学的接近とは		
2	公衆衛生活動と地域口腔保健の理解		
3	社会疫学概論: 健康決定要因としての社会階層と口腔保健の関連の理解		
4	学校保健における口腔保健学的接近の意義の理解		
5	成人高齢者における地域口腔保健の目的と具体的取り組みの理解		
6	母子保健における口腔保健の目的と具体的取り組みの理解		
7	産業保健の歴史と職業特性に応じた口腔保健における取り組みの理解		
8	災害歯科保健、国際歯科保健についての理解		

基本情報

科目名	公衆衛生学
時間割コード	0528130301
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	徳永 淳也
科目区分	基礎分野 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名	
徳永 淳也	

詳細情報

授業の目的・到達目標	環境や経済的要因、社会階層等が個人の健康影響要因として再考されており、医療が対象としてきた患者としてではなく、生活者である人の健康問題を社会という文脈で考える視点と態度を養うことが肝要である。本科目では、社会環境の中で、個人としてだけでなく集団として人の健康を捉えることの意義と方法を、具体的な公衆衛生活動の各展開場面において紹介し考察する。多様な健康観を社会的視点から捉え思考する態度の重要性を認識し、人の健康への公衆衛生学的接近に関する手法と考え方を理解できることを目指す。
履修上の注意事項	各講義では確認課題を毎時間課すので欠席しないように努めること。健康問題に対する人や社会の考え方、歴史的変遷における論点を整理・理解することが大切である。日頃から健康問題とその解決法について社会という枠組みから考える習慣を身につけること。講義で取り扱う領域を教科書等により予・復習するように勤めること。(60分)
評価方法	各講義で行う確認課題により100%評価する。適宜、課題には解説を加える。
テキスト	シンプル衛生公衆衛生学2021 鈴木庄亮監修、小山洋、辻一郎編集、南江堂
参考文献	最新歯科衛生士教本 保健生態学 全国歯科衛生士教育協議会編 医歯薬出版
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
講義中に配布する資料プリントを中心に、各回の事前事後学修方針に沿って学修し、多様な健康問題の解決のために公衆衛生学が培ってきた理論と具体的方法を学修し、対象に対する公衆衛生学的接近を可能とするセンスを鍛えるよう努力してください。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	公衆衛生学総論：公衆衛生学的接近とは何か	第1章衛生学・公衆衛生学序論を読み、健康の定義について考えておくこと(事前学修時間：1時間) 健康問題の変遷と公衆衛生活動の基本について修得する(事後学修1時間)	
2	環境と人間：環境保健概論	第6章環境保健を読み、環境保健の捉え方について考えておくこと(事前学修時間：1時間) 生態系や環境問題の諸相について整理・修得する(事後学修1時間)	
3	環境保健を捉える諸相とは何か	第6章環境保健を読み、物理的・化学的・生物学的環境要因について考えておくこと(事前学修時間：1時間) 各環境要因の影響と把握方法について整理・修得する(事後学修1時間)	
4	環境保健の評価と管理の理解	第6章環境保健を読み、公害と環境問題について考えておくこと(事前学修時間：1時間) 環境管理の方法と国際的取り組みについて整理・修得する(事後学修1時間)	

授業計画

講義中に配布する資料プリントを中心に、各回の事前事後学修方針に沿って学修し、多様な健康問題の解決のために公衆衛生学が培ってきた理論と具体的方法を学修し、対象に対する公衆衛生的接近を可能とするセンスを鍛えるよう努力してください。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	保健統計概論：測定指標と現状の理解	第2章保健統計を読み、人口の変遷について国別、地域別の特徴を学修しておくこと（事前学修時間：1時間） 健康測定指標の種類と特徴について修得すること（事後学修1時間）	
6	疫学概論：疫学の歴史的な理解と研究デザインの理解	第3章疫学を読み、疫学について概略と歴史的取り組みを理解しておくこと（事前学修、1時間） 疫学研究に関するデザインの種類と特徴について整理・修得すること（事後学修1時間）	
7	感染症：疾病予防と健康管理	第4章疾病予防と健康管理、第5章主な疾病の予防を読み、疾病予防の段階と予防医学の変遷、感染症予防の予防対策などについて概要を理解しておくこと（事前学修1時間） 疾病予防の段階と感染症法、各種疾病に応じた予防方法の概要について修得すること（事後学修1時間）	
8	地域保健と保健行政の概観	第7章地域保健と保健行政を読み、地域保健活動の概要について学修しておくこと（事前学修1時間） 地域保健の歴史と活動の進め方、保健所の役割・機能について述べられるよう学修すること（事後学修1時間）	
9	保健医療福祉の制度と法規：医療従事者における社会的、制度的環境の理解	第14章保健医療福祉の制度と法規を読み、保健医療福祉行政の概要について理解しておくこと（事前学修1時間） 医療制度、医療保障年金の仕組みについて学修すること（事後学修1時間）	
10	母子保健に関する取り組みの歴史的変遷および現状と課題の理解	第8章母子保健を読み、母子保健の概要と課題について理解しておくこと（事前学修1時間） 母子保健法および母子保健の各種水準について理解し母子保健課題に対する取り組みを学修すること（事後学修1時間）	
11	学校保健：子どもの健康状況を把握し学校保健の構成領域とその役割の理解	第9章学校保健を読み、子どもの健康状況の概要について理解しておくこと（事前学修1時間） 学校保健安全法、学校保健の領域と構成、保健管理と保健教育について学修しておくこと（事後学修1時間）	
12	産業保健：労働者の多様かつ特異的な健康問題の理解	第10章産業保健を読み、労働者の健康問題史について理解しておくこと（事前学修1時間） 労働安全衛生法、労働衛生の三管理と職域での各種健康診断の概要について学修すること（事後学修1時間）	
13	高齢者の保健・医療・福祉：高齢化の現状を理解し施策内容を関連づけて説明できる	第11章高齢者の保健医療介護を読み、高齢者の健康状態と医療・保健の概要について理解しておくこと（事前学修1時間） 後期高齢者医療制度、介護保険制度の仕組みについて学修しておくこと（事後学修1時間）	
14	精神保健：精神保健における歴史的取り組みを理解し精神保健福祉活動を理解する	第12章精神保健を読み、精神障害の捉え方の変遷、精神障害の現状と分類について理解しておくこと（事前学修1時間） 精神保健福祉活動に関する法令、制度ならびに精神科医療の現状について学修しておくこと（事後学修1時間）	

授業計画

講義中に配布する資料プリントを中心に、各回の事前事後学修方針に沿って学修し、多様な健康問題の解決のために公衆衛生学が培ってきた理論と具体的方法を学修し、対象に対する公衆衛生的接近を可能とするセンスを鍛えるよう努力してください。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	国際保健：健康問題のグローバル化とその組織的対応策を理解する	第13章国際保健医療を読み、グローバルヘルスの現状国際機関の機能について理解しておくこと（事前学修1時間） 国際協力の種類とSDGs等の国際社会における健康と福祉の推進に関わる鍵概念を理解すること（事後学修1時間）	

基本情報

科目名	環境衛生学
時間割コード	0528130401
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	星野 輝彦
科目区分	基礎分野 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
星野 輝彦

詳細情報

授業の目的・到達目標	環境因子と人との相互関係に関する知識について学ぶ。 生活環境の安全の確保と健康の維持・増進の重要性を認識できるようになる。
履修上の注意事項	授業前にプリントを読み、わからない語句を調べる。また授業で得た知識を復習しておくこと（60分）。 出欠は出席カードを用います。出席カードの裏に講義の質問や感想を書くこと。次回講義の際回答します。
評価方法	試験90%、レポート10%
テキスト	各講義の際に資料を配布する。
参考文献	「環境衛生の科学」篠田純男、那須正夫、黒木広明、三好伸一（三共出版） 「環境衛生科学」大沢基保、内海英雄（南江堂）
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	薬剤師として学校環境衛生管理に関与している。

授業計画

授業計画
スライドやDVDを利用します。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	環境衛生学概論：環境衛生の歴史	環境と人類の共存 事前：2時間、事後：4時間	
2	環境因子と人体：環境物質の体内動態と毒性、安全の基準	体内動態と毒性発現 事前：2時間、事後：4時間	
3	環境化学：生態系と物質動態	生態系の構造と環境の中の物質の動態 事前：2時間、事後：4時間	
4	地球環境の化学：オゾン層破壊、地球温暖化、酸性雨	地球温暖化 事前：2時間、事後：4時間	
5	環境因子と健康：化学的因子（重金属、農薬、工業薬品など）の健康への影響	化学物質の健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
6	環境因子と健康：化学的因子（環境ホルモンなど）の健康への影響	環境ホルモン 事前：2時間、事後：4時間	
7	環境因子と健康：生物学的因子（病原微生物など）の健康への影響	病原微生物の健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
8	環境因子と健康：物理的因子（放射線など）の健康への影響	放射線の健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
9	環境因子と健康：物理的因子（温熱、圧力、騒音など）健康への影響	温度、気圧、騒音などによる健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
10	大気環境と健康：大気汚染の状況と対策	大気汚染の健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
11	水環境と健康：水に由来する健康被害、水質汚濁状況と対策	水による健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
12	食品環境と健康：食品汚染と食中毒	食品汚染による健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
13	生活環境と健康：室内の汚染物質	室内の汚染物質 事前：2時間、事後：4時間	

授業計画

スライドやDVDを利用します。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	生活環境と健康：廃棄物の分類と処理方法	廃棄物の分類 事前：2時間、事後：4時間	
15	環境影響評価と対策：環境アセスメント	環境アセスメント 事前：2時間、事後：4時間	

基本情報

科目名	歯科衛生の展開
時間割コード	0528440201
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1, 水 2
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	4
主担当教員	淀川 尚子
科目区分	専門分野 口腔保健学科専門分野(概論)

担当教員情報

教員名
淀川 尚子、薄井 由枝

詳細情報

授業の目的・到達目標	歯科衛生活動はすべてのライフステージを対象とし、多様な価値観を持ってコミュニティで生活する人を理解した支援が必要である。対象者に対して質の高いケアを行うために科学的根拠を基に、事象に対する感じる力を豊かにし、考える力、分析する力を高めた歯科衛生過程の応用方法を習得できる。
履修上の注意事項	授業前に各自予習をして授業に臨んでください。
評価方法	随時の小テスト(20%)・レポート(70%)、グループワーク時の発表内容(10%) フィードバックとして課題レポートおよび発表内容にコメントする。
テキスト	最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版)
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	薄井由枝：歯科衛生士として歯科医療機関勤務経験 淀川尚子：歯科衛生士として病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	歯科衛生過程を活用の意義を理解する 薄井	事前：歯科衛生過程活用意義について 考え説明できるようにする。(30分) 事後：講義や討議を踏まえて、考えをノ ートにまとめる。(30分)	
2	歯科衛生モデルの8領域の視点と歯科衛 生アセスメントの実際を理解する 淀 川	事前：テキストを熟読し、わからない事 項について下調べをする。(30分) 事後：臨床事例を分析する。(30分)	
3	口腔保健上の問題・課題抽出の実際を理 解する 淀川	事前：臨床事例を考察する。(30分) 事後：臨床事例を分析する。(30分)	
4	口腔保健上の問題・課題に対する解決方 法の実際を理解する 淀川	事前：臨床事例を考察する。(30分) 事後：臨床事例を分析する。(30分)	
5	歯科衛生アセスメントおよび歯科衛生診 断を評価し考察する 淀川	事前：臨床事例を考察する。(30分) 事後：臨床事例を2症例選び、評価する。 (30分)	
6	歯科衛生計画および歯科衛生介入を評価 し考察する 淀川	事前：臨床事例を2症例選び、発表の準備 を行う。(30分) 事後：臨床事例を2症例を評価、修正す る。(30分)	
7	歯科衛生過程の枠組みを通して、人を全 体的にみる視点を理解する 淀 川	事前：臨床事例の2症例について説明でき るようにする。(30分) 事後講義や討議内容を踏まえてノートに まとめる。(30分)	
8	歯科衛生過程の実践への活用方法につい て理解する(歯科衛生過程の展開に対す るまとめ) 淀川	事前：臨床事例をまとめて考察する。(30 分) 事後：講義や討議内容を踏まえてノート にまとめる。(30分)	

基本情報

科目名	臨床歯科医学概論
時間割コード	1001210501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 2
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	1
主担当教員	金子 憲章
科目区分	専門科目 口腔保健学科専門科目(臨床)

担当教員情報

教員名
金子 憲章、北田 勝浩

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は歯科医療の入門編としての歯科疾患の概要と特異性を学ぶ。学修者は歯科診療における歯科衛生士の業務内容と歯科診療の流れを説明できる。
履修上の注意事項	講義は教科書を中心に行うため必ず持参する。一部は講義中に資料を配布する。授業前に次授業項目について教科書を読み予習しておくこと(10分)、また授業後は復習しておくこと(50分)。
評価方法	試験90%、レポート10%、フィードバックとしてレポートにコメントして返却する。。
テキスト	『新・歯科衛生士教育マニュアル歯科臨床の基礎と概論』 栢 豪洋、升井一郎、石川隆義、山田隆文 クインテッセンス出版
参考文献	『ファンダメンタル』歯科臨床大要 著 戸田 忠夫、末瀬 一彦、志田 亨、神原 敏之 永末書店
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	金子憲章：歯科医師として大学附属病院での実務経験がある。 北田勝浩：歯科医師として大学附属病院での実務経験がある。

授業計画

授業計画
北田：小児歯科に関する研究論文の発表があり、小児歯科・矯正学について講義経験もある。。
<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科医療とは、歯科医療の携わる人、歯科医療の内容診療科名(金子) 2. 歯科医療の特徴、医の原則、医療安全(金子) 3. 歯科診療所の1日、診察の流れ、歯科医療面接(金子) 4. 歯科医師とのチーム医療、治療の流れ、有病者患者の対応・その注意事項(金子) 5. 歯科保存治療(保存修復・歯内療法・歯周治療)の概要(金子) 6. 歯科補綴治療・口腔外科治療の概要(金子) 7. 小児歯科治療・矯正歯科治療の概要(北田) 8. 高齢者・障がい児に対する歯科治療の概要(金子)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	歯科臨床医学（保存修復・歯内療法）
時間割コード	1001220501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	金子 憲章
科目区分	専門科目 口腔保健学科専門科目（臨床）

担当教員情報

教員名
金子 憲章

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は専門科目を学ぶ。学修者は歯科保存修復学はう蝕、外傷、形成不全などによって生じた歯の硬組織欠損・異常に対して種々の修復法が説明できる。さらに各修復法に使用する器具・材料等の取り扱いおよび術式についても説明できる。歯内療法学ではう蝕、外傷等により生じた、歯髄病変の症状、診査・診断を学び、その治療法を理解し、必要な器具、薬剤、術式を説明できる。さらに歯髄炎に継発して生じる根尖性歯周疾患の原因、症状、診査・診断、治療法についても説明できる。
履修上の注意事項	講義は教科書を中心に行うため必ず持参する。 必要な場合、一部は講義中に資料を配布する。授業前に次授業項目について教科書を読み予習しておくこと(30分)、また授業後は復習しておくこと(90分)。
評価方法	試験90%、授業中の小テスト評価10%、フィードバックとして小テストを解答・解説する。
テキスト	『最新歯科衛生士教本 歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法』 全国歯科衛生士教育協議会 監修 松井恭平他編集 医歯薬出版
参考文献	歯内療法学 戸田忠夫ら[編] 医歯薬出版 保存修復学 平井義人ら[編] 医歯薬出版
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	歯科医師として大学附属病院での実務経験がある。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	歯の保存療法の種類：保存修復と歯内療法の違い、対象疾患（硬組織疾患、歯髄・根尖性歯周疾患）		
2	口腔診査：現象の診査（視診、触診、打診、温度診、電気歯髄診、透照診、インピーダンス診査、EMR）		
3	う蝕：脱灰と再石灰化、う窩の状態、摩耗・咬耗症の違い、侵蝕症、形態異常、変色		
4	保存修復の概要・準備：窩洞の分類・条件、歯間分離、ラバーダム、隔壁法、切削器具、裏層		
5	直接修復：コンポジットレジン充填（マトリックスレジン、フィラー）		
6	直接修復：セメント修復（グラスオイオノマーセメント、その他のセメント）		
7	間接修復：インレー及びアンレー修復（印象法、鋳造法）、ベニヤ修復、合着剤及び接着剤		
8	保存修復における歯科衛生士の役割：充填時の補助、印象採得の方法、患者管理		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	歯内療法の概要：歯内療法の意味、歯内疾患の原因		
10	歯内療法の種類とその症状処置		
11	歯髄の保存療法：歯髄鎮静療法、覆髄法（間接・直接覆髄に関する薬剤、方法、使用器具）		
12	歯髄の除去療法：歯髄切断法（使用する薬剤、方法、使用器具）、抜髄（使用する薬剤、方法、使用器具）		
13	根管治療・根管充填：根管治療の概念・術式、根管充填、使用器具		
14	外科的歯内療法：切開、歯根尖切除術、ヘミセクション、歯根切断、歯根分離、歯の外傷		
15	歯内療法における安全対策・歯科衛生士の役割・歯のホワイトニングの方法と薬剤		

基本情報

科目名	歯科臨床医学（歯周病治療）
時間割コード	0528440501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 3
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	金子 憲章
科目区分	専門分野 口腔保健学科専門分野（臨床）

担当教員情報

教員名	
金子 憲章	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>本科目は専門科目を学ぶ。学修者は歯周疾患を引き起こす原因とその発症過程を学び、歯周疾患に関する基礎知識と臨床的術式を説明できる。また、歯周病予防の考え方と歯周基本治療からメンテナンスまでの治療過程を学び、歯周治療の概念を理解できる。歯周治療において使用する器具、および歯周外科の手術法、器具の種類についても説明できる。さらに歯周疾患がある種の全身疾患に関連し、又増悪させることを学び、歯科衛生士が行う予防と治療後の予後管理の重要性についても説明できる。</p>
履修上の注意事項	<p>講義は教科書を中心に行うため必ず持参する。 必要な場合、一部は講義中に資料を配布する。授業前に次授業項目について教科書を読み予習しておくこと(20分)、また授業後は復習しておくこと(40分)。</p>
評価方法	<p>試験90%、授業中の小テスト評価10%、フィードバックとして小テストを解答・解説する。</p>
テキスト	<p>最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 全国歯科衛生士教育協議会 編集 医歯薬出版株式会社</p>
参考文献	<p>『カラーアトラス・歯周基本治療』岩山幸雄 編集 医歯薬出版 『ラタイチャーク・カラーアトラス 歯周病学』日本臨床歯周病学会 訳 永末書店</p>
実務経験のある教員による授業	<p>有</p>
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>歯科医師として大学附属病院での実務経験がある。</p>

授業計画

授業計画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 正常な歯周組織の構造と機能: 歯肉, 歯根膜, セメント質, 歯槽骨の構造と機能 2. 歯周病の分類 (歯肉病変・歯周炎・壊死性歯周病・その他) 3. 歯周治療の原因 (細菌因子・宿主因子・環境因子) 4. 歯周治療の進め方・歯周病の診査 (プロービング・出血の診査・動揺度診査・根分岐部診査・アタッチメントレベル等) 5. 歯周基本治療: 歯周基本治療の目的, 歯周基本治療の内容 (ブラークコントロール・スケーリング・ルートプレーニング・咬合調整・暫間固定等) 6. 歯周外科治療: 意義, 術式の種類, 各術式に必要な器具 7. 歯周治療としての口腔機能回復治療 8. メインテナンス・SPT: 治癒と病状安定の違い, メインテナンス・SPTの重要性 	

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	歯科臨床医学（補綴・高齢者）
時間割コード	1001230501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	十時 彩
科目区分	専門科目 口腔保健学科専門科目（臨床）

担当教員情報

教員名
十時 彩

詳細情報

授業の目的・到達目標	補綴：口腔機能回復の中心となる学問で、口腔生理、解剖、顎関節、咬合、材料、固定式修復物、可撤式修復物、インプラント補綴等内容は多岐にわたる。CAD/CAMシステムの発達など今後も発達していく分野である。この授業のねらいは、その基礎となることを学び、歯科臨床の現場で対応できる知識を習得し、述べることができる。 高齢者：ライフステージの最終発達段階にある高齢者の基本的知識を学び、高齢者を支援する立場から社会状況や生活環境を知り、歯科衛生士としてでき得る支援について考察することができる。
履修上の注意事項	第1講～第10講までは補綴および歯科材料について、第11講～第15講は高齢者について学びます。 高齢者では、必要に応じて課題レポートや、確認テストで授業の理解度を確認します。フィードバックとして課題レポートにコメントして返却します。 事前学習：教科書を読み、わからない用語については予習しておく。（60分） 事後学習：教科書・資料をもとに復習し、わからない用語については調べ知識を深める（60分）
評価方法	日常授業評価40%（補綴：小テスト、高齢者：課題レポート、確認テスト）、期末試験60%で評価します。 それぞれの担当教員の評価を合計して科目の評価とします。
テキスト	最新歯科衛生士教本「咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴」医歯薬出版 「改訂版 イラストと写真でわかる歯科材料の基礎」永末書店 最新歯科衛生士教本「高齢者歯科 第2版」医歯薬出版
参考文献	歯科衛生士講座 高齢者歯科学 第2版 森戸光彦ほか編 永末書店
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	村上：歯科医師として歯科医院開業 上田、田上：歯科医師として歯科医院勤務 十時：歯科衛生士として急性期病院において入院患者の口腔ケア等の口腔マネジメント、摂食嚥下リハビリテーションに従事していた

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	歯科補綴の概要、歯の欠損に伴う障害と補綴(村上)		
2	補綴歯科治療の基礎知識、補綴装置の種類とその構造(田上)		
3	補綴歯科治療における検査・診断、クラウン・ブリッジ治療の実際(田上)		
4	有床義歯治療の実際、インプラント治療の実際(田上)		
5	歯科材料の基本知識、前半内容チェック（小テスト）(田上)		
6	補綴歯科治療に用いられる器材、補綴歯科治療における歯科技工(上田)		
7	検査・診断時の業務、治療時の業務（クラウン・ブリッジ治療）(上田)		
8	治療時の業務（有床義歯治療）、患者指導（有床義歯治療）(上田)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
9	患者指導(クラウン・ブリッジ治療)、 患者指導(インプラント治療)、器材の 管理(上田)		
10	後半内容チェック、まとめ(村上)		
11	高齢者をとりまく社会と生活の場につい て説明することができる(十時)		
12	高齢者の身体的機能、精神・心理状態(認 知症)について特徴を説明することが できる(十時)		
13	高齢者の口腔の特徴と疾患について列挙 し、状態を説明することができる(十時)		
14	高齢者に対する摂食・嚥下リハビリテー ションの方法について説明することが できる(十時)		
15	症例を通して歯科衛生士の立場からでき 得る支援を考察する(十時)		

基本情報

科目名	歯科臨床医学（小児・障がい児者）
時間割コード	0528440701
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	北田 勝浩
科目区分	専門分野 口腔保健学科専門分野（臨床）

担当教員情報

教員名
北田 勝浩、筒井 睦

詳細情報

授業の目的・到達目標	胎児期から青少年期までの成長・発達をふまえ、各ライフステージでの全身および口腔の正常像、口腔疾患とその予防・治療法ならびに口腔の健康管理、顎骨、歯列および咬合の成長発育について体系的に説明できる。障害の概念や障がい者の現状を理解するとともに、歯科衛生士としての基本的な心構えやあり方について述べるができる。さらに、質の高い歯科医療や口腔保健の提供が、障がい児・者のQOLの向上や自己実現につながることを学び、具体的な対応方法や歯科診療の補助、健康支援方法について概説できる。
履修上の注意事項	・事前学習 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（1時間）。 ・事後学習 ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるようになるまで調べる。また、講義を踏まえて、改めて教科書を読むこと（1時間）。 発達支援臨地実習（小児）および発達支援臨地実習（障がい児者）の先修科目である。
評価方法	レポート等の日常的学習成果（20%）、定期試験（80%）を総合して、北田担当分65点と（未定）担当分35点の合計100点満点で評価する。 フィードバックとしてレポートにコメントして返却する。
テキスト	最新歯科衛生士教本 小児歯科学：全国歯科衛生士教育協議会 監修（医歯薬出版） （2021年3月に第2版を発行予定です。最新版の注文をお願いします。） 最新歯科衛生士教本 障害者歯科第2版：全国歯科衛生士教育協議会 監修（医歯薬出版）
参考文献	小児歯科学＜第5版＞：白川哲夫 編集代表（医歯薬出版） スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科：日本障害者歯科学会 編（医歯薬出版）
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	北田勝浩：歯科医師として大学，大学院および大学附属病院勤務経験 未定：歯科衛生士として に勤務

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	小児歯科学概論、心身の発育（北田）		
2	小児の生理的特徴、顔面頭蓋の発育（北田）		
3	歯の発育と異常（北田）		
4	歯列・咬合の発育と異常（北田）		
5	小児の歯科疾患 う蝕、歯周疾患，軟組織疾患（北田）		
6	小児期の特徴と歯科的問題点（北田）		
7	小児歯科診療（1）：診療体系、治療の原則、診査・検査、麻酔、歯冠修復（北田）		
8	小児歯科診療（2）：歯内療法、外科的処置、外傷、咬合誘導、定期検診（北田）		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	患児の対応法（1）：小児の態度と行動、一般的対応（北田）		
10	患児の対応法（2）：行動療法、抑制的対応、鎮静・減痛、全身麻酔、緊急時対応（北田）		
11	障害の分類、基本理念、障がい者における口腔保健の現状と歯科衛生士の役割（未定）		
12	障害と疾患の特徴 精神発達・心理的発達と行動の障害（未定）		
13	障害と疾患の特徴 神経・運動障害 その他障害（未定）		
14	障害と疾患別歯科診療の補助、行動調整法、リスク管理（未定）		
15	障がい児・者における口腔健康管理（未定）		

基本情報

科目名	歯科臨床医学（矯正）
時間割コード	0528440801
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	北田 勝浩
科目区分	専門分野 口腔保健学科専門分野（臨床）

担当教員情報

教員名	
北田 勝浩	

詳細情報

授業の目的・到達目標	歯科の保健・医療に関する活動を可能とする論理的思考力と問題解決能力を身につける。不正な成長発育により生ずる不正咬合の病態、治療法および予防法について体系的に説明できる。
履修上の注意事項	・事前学習 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（1時間）。 ・事後学習 ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるようになるまで調べる。また、講義を踏まえて、改めて教科書を読むこと（1時間）。
評価方法	レポート等の日常的学習成果（20%）、定期試験（80%）を総合して評価する。フィードバックとしてレポートにコメントして返却する。
テキスト	最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常2 歯科矯正：全国歯科衛生士教育協議会 監修（医歯薬出版）
参考文献	歯科矯正学＜第5版＞：相馬邦道、飯田順一郎、山本照子、葛西一貴、後藤滋巳 編（医歯薬出版） 他、講義の中で適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	北田勝浩：歯科医師として大学，大学院および大学附属病院勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	矯正歯科治療の概要		
2	成長・発育		
3	正常咬合と不正咬合		
4	矯正歯科診断		
5	矯正歯科治療と「力」 強制力・顎整形力・保定		
6	矯正装置		
7	上下顎の前後的関係の不調和、上下顎の垂直的關係の不調和		
8	成人矯正、口腔顎顔面の形態異常と変形		
9	歯の埋伏と歯数の異常、矯正歯科治療時のトラブルへの対応		
10	矯正歯科診断にかかわる業務		
11	器具・材料の準備と取り扱い		
12	装着時の補助と指導（可撤式・固定装置）		
13	装着時の補助と指導（機能的矯正装置、上顎側方拡大装置、顎外固定装置）		
14	矯正歯科患者と口腔保健管理		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	口腔筋機能療法、器材、資料、文書の管理		

基本情報

科目名	口腔外科学
時間割コード	0528440901
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	金子 憲章
科目区分	専門分野 口腔保健学科専門分野(臨床)

担当教員情報

教員名
金子 憲章

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は専門科目を学ぶ。学修者は口腔・顔面領域に生じる各種疾患を大きく分類できる。先天異常、 発育異常、歯の外傷、歯槽骨骨折、顎骨骨折の特徴と治療、各種粘膜疾患・嚢胞の特徴と治療、良性 腫瘍・悪性腫瘍の特徴と治療、顎関節疾患唾液性疾患の特徴と治療、神経性疾患・口腔内に症状を現 す血液疾患の特徴と治療を説明できる。また歯科麻酔では、全身疾患の有無、処置の内容により対応 が異なり、その適応を説明でき、適切な準備ができる。
履修上の注意事項	講義は教科書を中心に行うため必ず持参する。 必要な場合、一部は講義中に資料を配布する。授業前に次授業項目について教科書を読み予習 しておくこと(30分)、また授業後は復習しておくこと(90分)。
評価方法	試験90%、授業中の小テスト評価10%、フィードバックとして小テストを解答・解説する。
テキスト	最新歯科衛生士教本 顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔 全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社
参考文献	口腔外科学・歯科麻酔学 池邊哲郎 升井一郎 吉増秀實 伊賀弘起 クインテッセンス出版株式 会社
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	歯科医師として大学附属病院での実務経験がある。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	口腔外科の概要：口腔外科はどんな治療 を行うか：口腔外科診療のプロセス		
2	先天異常と発育異常：歯の異常、口腔軟 組織の異常、口唇・口蓋裂、その他の先 天異常		
3	口腔の損傷と機能障害：歯・軟組織の損 傷、歯槽骨・顎骨骨折、顎関節疾患		
4	口腔粘膜疾患：潰瘍、びらん、水疱形成 、白斑、色素沈着、口腔乾燥、舌の病変		
5	血液疾患：赤血球・白血球に起因する疾 患、出血傾向を示す疾患、その他の異常		
6	炎症：歯槽骨・顎骨炎症、顎骨周囲組織 の炎症		
7	嚢胞：顎骨・軟組織の嚢胞		
8	腫瘍：良性腫瘍・悪性腫瘍		
9	唾液腺疾患：唾液腺炎、唾液腺腫瘍		
10	神経系疾患：三叉神経痛、顔面麻痺、舌 痛症、オーラルディスキネジア		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	抜歯と口腔外科小手術：抜歯と小手術で注意すべき全身疾患・服用薬、抜歯の基本、偶発症		
12	口腔外科小手術：嚢胞摘出術、歯根端切除術、良性腫瘍摘出術、口腔インプラント手術		
13	歯科麻酔における患者管理；モニタリング		
14	歯科治療と局所麻酔・吸入鎮静法・静脈内鎮静法		
15	歯科治療と全身麻酔・救急蘇生法		

基本情報

科目名	歯科放射線学
時間割コード	1001240501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	1
主担当教員	金子 憲章
科目区分	専門科目 口腔保健学科専門科目(臨床)

担当教員情報

教員名	
金子 憲章	

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は専門科目を学ぶ。学修者は放射線の生物学的影響、防護について説明ができ、またエックス線写真の処理が行え、口腔内エックス線写真およびパノラマエックス線写真の手技を説明できる。更に口腔領域の基本的な病変像のエックス線所見を説明できる。
履修上の注意事項	講義は教科書を中心に行うため必ず持参する。 必要な場合、一部は講義中に資料を配布する。授業前に次授業項目について教科書を読み予習しておくこと(20分)、また授業後は復習しておくこと(40分)。
評価方法	試験90%、授業中の小テスト評価10%、フィードバックとして小テストを解答・解説する。
テキスト	わかりやすい歯科放射線学第3版 監修：有地榮一郎、笹野高嗣、馬嶋秀行、湯浅賢治、代居敬学建書院
参考文献	新歯科衛生士教本 歯科放射線学 医歯薬出版
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	歯科医師として大学附属病院での実務経験がある。

授業計画

授業計画	
1. 放射線とエックス線:放射線とは、エックス線の性質	
2. 放射線の影響:単位、生体に対する影響	
3. 歯科用エックス線撮影装置, エックス線画像の形成	
4. 撮影法(口内法): 2等分法、平行法、咬合法	
5. 撮影法(口外法): パノラマエックス線写真、原理	
6. フィルム処理, デジタルエックス線システム	
7. 正常なエックス線画像, 病変の画像例: エックス線写真の読影	
8. 放射線の防護と管理, 放射線治療: 放射線防護の理念と防護法: 放射線治療とは	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	口腔疾患予防学
時間割コード	0528441101
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	北田 勝浩
科目区分	専門分野 口腔保健学科専門分野（歯科予防）

担当教員情報

教員名	
北田 勝浩	

詳細情報

授業の目的・到達目標	「口腔保健衛生学」で学んだ口腔疾患の病因、病態、予防法に関する知識をもとに、口腔の2大疾患であるう蝕と歯周病の病因、病態、予防処置に関する方法・技術を学び、歯科衛生士の業務としての専門的予防処置法について体系的に説明できる。
履修上の注意事項	・事前学習 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（1時間）。 ・事後学習 ノートをしっかり整理する。わからない用語は他者に説明できるようになるまで調べる。また、講義を踏まえて、改めて教科書を読むこと（1時間）。
評価方法	レポート等の日常的学習成果（20%）、定期試験（80%）を総合して評価する。 フィードバックとしてレポートにコメントして返却する。
テキスト	最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・口腔保健指導論第2版：全国歯科衛生士教育協議会 監修（医歯薬出版）
参考文献	口腔保健・予防歯科学：安井利一、宮崎秀夫、鶴本明久、川口陽子、山下喜久、廣瀬公治 編（医歯薬出版） 他、講義の中で適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	北田勝浩：歯科医師として大学，大学院および大学附属病院勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	う蝕と歯周病の基礎知識（1）：口腔内の付着物・沈着物、う蝕		
2	う蝕と歯周病の基礎知識（2）：歯周病		
3	予防の概要（第一次、第二次、第三次）		
4	食品とう蝕誘発性、う蝕予防のための食生活指導法		
5	う蝕リスク検査法（1）：意義、目的、各種検査法		
6	う蝕リスク検査法（2）：口腔乾燥状態の評価		
7	フッ化物の応用（1）：総論、作用機序、安全性		
8	フッ化物の応用（2）：全身応用、局所応用		
9	フッ化物の応用（3）：歯面塗布法、洗口法、フッ化物配合歯磨剤		
10	小窩裂溝填塞法、フッ化ジアンミン銀塗布法（第二次予防）		
11	歯周組織の評価（検査）法		
12	口腔清掃方法、歯磨剤・洗口剤		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
13	スケーラーの種類とスケーリング法 (1) : 手用スケーラー		
14	スケーラーの種類とスケーリング法 (2) : 超音波スケーラー、エアースケーラー		
15	機械的歯面清掃法 (PMTIC)		

基本情報

科目名	口腔疾患予防学実習（基礎技術）
時間割コード	0528441201
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	緒方 有希
科目区分	専門分野 口腔保健学科専門分野（歯科予防）

担当教員情報

教員名	
緒方 有希	

詳細情報

授業の目的・到達目標	歯周病予防を中心とした歯科衛生介入を行う上で必要な基礎技術および態度を習得する。 クライアントの安心安全に配慮するための要点を説明することができる 歯周病リスク要因を観察して整理することができる スケーリング時の作業姿勢を整え、基本操作ができる
履修上の注意事項	・技術習得のために、実習のポイントを明確にすること。 ・自ら問題を解決する態度をもって取り組むこと。 ・問題の解決は開講回ごとに行い、次回実習にいかすようにすること。
評価方法	技術習得度評価(実技試験)+(筆記試験):60%、小テスト:20%、レポート課題:20% フィードバックとして、レポートにコメントして返却する。
テキスト	Fundamentals of Periodontal Instrumentation and Advanced Root Instrumentation, Gehrig RDH MA, Jill (著)(LWW)
参考文献	全国歯科衛生士教育協議会監修:最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 医歯薬出版 適宜資料を配布
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	緒方有希: 歯科衛生士として歯科診療所勤務経験 薄井由枝: 歯科衛生士として歯科関連機関勤務経験 金子憲章: 歯科医師として病院勤務経験 淀川尚子: 歯科衛生士として病院勤務経験 十時彩: 歯科衛生士として病院勤務経験 志垣留美: 歯科衛生士として病院勤務経験

授業計画

授業計画	
<p>実技のトレーニングは毎日行うこと(1時間/週) 事前学修: 講義、実習の内容について教科書等で予習して臨むこと。(30分/週) 事後学修: 講義後は知識を定着させるために復習を必ず行うこと。(30分/週)</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	アーゴノミクス・ニュートラルポジションの確認 歯周病について(薄井)		
2	歯周治療と使用器具 歯周組織と沈着物について理解する(薄井)		
3	歯周検査の意義・目的・その方法(淀川) 実習		
4	歯周病検査の方法を相互に体験する(薄井) 実習		
5	歯周基本治療について(薄井) 実習		
6	上下前歯部のスケーリングを相互に体験する(淀川) 実習		

授業計画

実技のトレーニングは毎日行うこと(1時間/週)

事前学修：講義、実習の内容について教科書等で予習して臨むこと。(30分/週)

事後学修：講義後は知識を定着させるために復習を必ず行うこと。(30分/週)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
7	臼歯部のスケーリング操作方法を習得する(薄井) 実習		
8	臼歯部のスケーリングを相互に体験する(緒方) 実習		
9	臼歯部のスケーリングを相互に体験する(緒方) 実習		
10	歯周アセスメント、臼歯部のスケーリングを相互に体験する(緒方) 実習		
11	歯周アセスメント、全顎のスケーリング操作を習得する(緒方) 実習		
12	歯周アセスメント、全顎のスケーリング操作を習得する(緒方) 実習		
13	超音波スケーラー・エアスケーラー・エアフローの操作を相互に体験する(十時) 実習		
14	総合実習(緒方)		
15	筆記試験・実技試験(緒方)		

基本情報

科目名	口腔疾患予防学実習（う蝕予防）
時間割コード	0528441301
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	北田 勝浩
科目区分	専門分野 口腔保健学科専門分野（歯科予防）

担当教員情報

教員名	
金子 憲章、北田 勝浩、筒井 睦、淀川 尚子、松尾 文、緒方 有希、十時 彩、志垣 留美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	歯科の保健・医療に関する活動を可能とする論理的思考力と問題解決能力を身につける。 う蝕の一次予防に関する知識、方法および技術を体系的に説明できる。
履修上の注意事項	実習衣を着用し実習に臨む。 事前に配布された資料、器材は必ず持参する。 ・事前学習 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（1時間）。 ・事後学習 実習を踏まえて、改めて教科書を読むこと（1時間）。わからない用語は他者に説明できるようになるまで調べること。 口腔保健臨床実習（発展実習）および口腔保健臨床実習（応用実習）の先修科目である。
評価方法	実習中の知識または技能の確認、レポート等の日常的学習成果により100%評価する。 フィードバックとしてレポートにコメントして返却する。 再試験は実施しない。
テキスト	最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論第2版：全国歯科衛生士教育協議会 監修（医歯薬出版）
参考文献	フッ化物応用の科学（財団法人 口腔保健協会） 新フッ化物ではじめる虫歯予防 筒井昭仁 他（医歯薬出版）
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	北田勝浩：歯科医師として大学，大学院および大学附属病院勤務経験 金子憲章：歯科医師として大学，大学院および大学附属病院勤務経験 未定：歯科衛生士として に勤務経験 松尾文：歯科衛生士として歯科医療機関に勤務経験 淀川尚子：歯科衛生士として病院勤務経験 緒方ゆき：歯科衛生士として診療所勤務経験 志垣留美：歯科衛生士として診療所勤務経験 十時彩：歯科衛生士として病院勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	1. う蝕の一次予防法の基本的知識の理解（北田）		
2	2. 口腔観察の基本的知識・技術の理解（模型実習）（十時、志垣、北田）		
3	3-4. 口腔観察の基本的知識・技術の理解（相互実習）（十時、志垣、北田）		
4	5-6. 口腔乾燥状態の評価方法の基本的知識・技術の理解（北田、淀川、志垣）		
5	7-10. う蝕活動性試験の検査方法の基本的知識・技術の理解（北田、志垣、十時）		
6	11-12. う蝕リスクに関する歯科衛生過程の展開方法の習得（淀川、十時）		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
7	13-14.フッ化物局所応用法(洗口、歯磨剤)の基本的知識・技術の理解 (十時、淀川、北田)		
8	15-16.フッ化物局所応用法(歯面塗布)の基本的知識・技術の理解 (十時、淀川、北田)		
9	17-18.口腔清掃状態の評価法の基本的知識・技術の理解 (志垣、未定、松尾)		
10	19-20.口腔清掃方法の基本的知識・技術の理解 (志垣、未定、松尾)		
11	21-22.専門的歯面清掃の基本的知識・技術の理解(模型実習) (緒方、淀川、志垣)		
12	23-24.専門的歯面清掃の基本的知識・技術の理解(相互実習) (緒方、淀川、志垣)		
13	25-26.小窩裂溝填塞法の基本的知識・技術の理解(模型実習)(北田、金子、未定、松尾、志垣、十時)		
14	27-28.小窩裂溝填塞法の基本的知識・技術の理解(相互実習)(北田、金子、未定、松尾、志垣、十時)		
15	29-30.う蝕予防に関する歯科衛生過程の基本的考え方・展開方法の理解 (淀川)		

基本情報

科目名	口腔疾患予防学実習（歯周病予防）
時間割コード	0528441401
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 3, 月 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	淀川 尚子
科目区分	専門分野 口腔保健学科専門分野（歯科予防）

担当教員情報

教員名
淀川 尚子、十時 彩、薄井 由枝

詳細情報

授業の目的・到達目標	口腔疾患予防学は人間が日常生活を支障なく送れるように健康を保持・増進するための歯科衛生士の活動である。本実習では相互実習にて歯科衛生士アセスメント、歯科衛生診断、歯科衛生計画、歯科衛生介入により支援方法を学び、対象者の病態や生活背景を把握し、個別性を捉えた予防管理の技術を習得することができる。
履修上の注意事項	実習に必要な器具等は掲示板にて確認すること。 各自、動画教材を活用し、技術トレーニングをして授業に臨むこと。
評価方法	日常学習成果（実習態度10%）、記述式テスト50%・技術テスト20%・レポート・ケースプレゼンテーション20%を総合して評価する。 フィードバックとしてレポートおよび技術に対してコメントする。
テキスト	Fundamentals of Periodontal Instrumentation and Advanced Root Instrumentation 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論（医歯薬出版）
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	淀川尚子：歯科衛生士として病院勤務経験 薄井由枝：歯科衛生士として病院勤務経験 金子憲章：歯科医師として病院勤務経験 緒方有希：歯科衛生士として歯科医療機関勤務経験 十時 彩：歯科衛生士として病院勤務経験

授業計画

授業計画
1-2.歯周治療の流れと歯科衛生士の役割を理解する。（薄井・淀川・緒方） 3-4.Area-specific curetsの形態を理解する。（薄井・淀川・十時） 5-6.Area-specific curetsの基本的操作を理解する。（薄井・淀川・十時） 7-9.上下顎前歯部のスケーリング(Area-specific curets)を相互に体験する。（淀川・薄井・十時・金子） 10-11.Area-specific curetsの基本的操作を修正する。（薄井・淀川・十時） 12-14.上下顎臼歯部のスケーリング(Area-specific curets)を相互に体験する。（淀川・薄井・十時・金子） 15-17.Area-specific curetsの基本的操作を修正する。（淀川・薄井・十時・緒方） 筆記試験/実技試験 18-19.ハンドスケーラー（シッケル・キュレット）のシャープニング技術を習得する。（薄井・緒方・十時） 20-21.再評価/メンテナンス/SPTの歯科衛生士の役割を理解する。（薄井・淀川・緒方） 22-24.メンテナンス/SPTを相互に体験する（淀川・薄井・緒方・金子） 全顎のアセスメント～スケーリング Sickle scalers・Universal curets・Area-specific curets 25-27.メンテナンス/SPTを相互に体験する：アドバンススキル（淀川・薄井・緒方・金子） 全顎のアセスメント～スケーリング Sickle scalers・Universal curets・Area-specific curets 28-29.歯周治療における歯科衛生士の役割を理解する。（薄井・淀川・十時・緒方） 30.プレゼンテーション資料を作成する。（淀川）
事前学修：教科書や動画教材を参考にブローピング、エキスブローピング、スケーリングの技術トレーニングを行う。(60分)
事後学修：授業を踏まえて、動画教材を参考にブローピング、エキスブローピング、スケーリングの技術の修正を行う。(60分)

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	口腔介護マネジメント論
時間割コード	0528441501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	十時 彩
科目区分	専門分野 口腔保健学科専門分野（歯科保健）

担当教員情報

教員名	
十時 彩	

詳細情報

授業の目的・到達目標	口腔領域に疾病や障がいを抱え、日常生活を営むことが困難な状態にある人に対して、歯・口腔の健康の回復と維持・増進を図り、対象者の自立した生活と豊かな人生を支援することを学ぶ。 対象者の歯・口腔ならびに全身状態を把握し、専門的な口腔のケアを実施するための基礎知識を習得する。
履修上の注意事項	本科目は、発達支援臨地実習（高齢者）の先修科目である。 また、3年生1学期の口腔介護マネジメント実習につながる基礎内容となる。 事前学習（60分）：テキストを読み、わからない用語等があれば、調べ予習しておくこと。 事後学習（60分）：テキスト、資料を基に振り返りを行い、わからない用語がきちんと理解できるようになるまで調べる。
評価方法	試験80%，提出物20%を総合して評価する。 フィードバックとして、レポートはコメントまたは解説し返却する。
テキスト	歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション第2版 日本歯科衛生士会監修 医歯薬出版
参考文献	適宜資料を配布あり。最新歯科衛生士教本 高齢者歯科，障害者歯科 医歯薬出版 はじめて学ぶ歯科衛生士のための歯科介護 第3版 医歯薬出版
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	十時：歯科衛生士として急性期病院において入院患者の口腔ケア等の口腔マネジメント、摂食嚥下リハビリテーションに従事していた

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	口腔介護の概念と歯科衛生士の役割について理解する（十時）		
2	顎口腔機能の発達について説明できる（十時）		
3	摂食嚥下のメカニズムについて説明できる（十時）		
4	摂食嚥下障害の原因について説明できる（十時）		
5	口腔保健に関連した日本の施策，制度について説明できる（医療保険，介護保険，歯科保険制度等）（阿部）		
6	介護に関連した法律について説明できる（医療介護総合確保推進法と地域包括ケアシステム等）（吉岡）		
7	口腔の疾患と異常の観察ができる（十時）		
8	要介護者に対する安全な口腔のケアの方法について説明できる（十時）		

基本情報

科目名	口腔介護マネジメント実習
時間割コード	0528441601
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 1, 木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	十時 彩
科目区分	専門分野 口腔保健学科専門分野(歯科保健)

担当教員情報

教員名
大池 貴行、金子 憲章、北田 勝浩、筒井 睦、松尾 文、緒方 有希、十時 彩、志垣 留美

詳細情報

授業の目的・到達目標	摂食嚥下に関連する器官の構造・機能・メカニズムについて学び、障がい児・者や要介護高齢者における摂食嚥下障害の原因と病態を理解する。さらに、口腔内環境を整備し、摂食嚥下障害を有する対象者への効果的なりハピリテーションを実施するための基礎的な知識や手技、介護方法を習得することができる。そして、摂食嚥下障害を有する対象者に対して歯科衛生士の専門性を活かした歯科衛生介入について考察することができる。
履修上の注意事項	授業前にテキストを読み、次回の内容について予習すること(60分)。実習内容について復習を行うこと(60分)。口腔保健臨床実習(発展実習)・(応用実習)の先修科目である。
評価方法	小テスト・筆記試験・実技テスト50%、レポート・提出物50%を総合して評価する。フィードバックとして、レポートに対してはコメントまたは事後解説する。
テキスト	歯科衛生士のための摂食嚥下りハピリテーション第2版 日本歯科衛生士会監修 医歯薬出版 他、講義の中で適宜紹介する。
参考文献	口腔機能向上マニュアル 厚生労働省 はじめて学ぶ歯科衛生士のための歯科介護 新井俊二監修 医歯薬出版
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	金子、北田：歯科医師として大学付属病院に勤務経験 未定、松尾、緒方、志垣、十時：歯科衛生士として診療所、病院、施設に勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	口腔介護マネジメントにおける歯科衛生士の役割を理解する(十時)	事前 教科書を読み、わからない用語は復習し、理解する(60分) 事後 わからない用語を調べ、理解を深める。(60分)	
2	口腔・咽頭領域の解剖と生理を理解する(金子)	事前 教科書を読み、わからない用語は復習し、理解する(60分) 事後 わからない用語を調べ、理解を深める。(60分)	
3	摂食嚥下のメカニズムと機能の発達を理解する(十時)	事前 教科書や過去の配布資料を読み、わからない用語は復習し、理解する(60分) 事後 わからない用語を調べ、理解を深める。(60分)	
4	摂食嚥下障害の原因と摂食嚥下りハピリテーションの進め方を理解する(十時)	事前 教科書や過去の配布資料を読み、わからない用語は復習し、理解する(60分) 事後 わからない用語を調べ、理解を深める。(60分)	
5	要介護者に対する清掃用具の選択と安全な口腔ケア実施方法を習得する(十時・志垣・北田・未定)	事前 教科書や過去の配布資料を読み、わからない用語は復習し、理解する(60分) 事後 課題レポート(60分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	要介護者に対する清掃用具の選択と安全な口腔ケア実施方法を習得する（十時・志垣・北田・未定）	事前 教科書や過去の配布資料を読み、わからない用語は復習し、理解する（60分） 事後 課題レポート（60分）	
7	障がい児・者に対する口腔ケアの介助方法と実施方法を習得する（未定・緒方）	事前 教科書や過去の配布資料を読み、わからない用語は復習し、理解する（60分） 事後 課題レポート（60分）	
8	障がい児・者に対する口腔ケアの介助方法と実施方法を習得する（未定・緒方）	事前 教科書や過去の配布資料を読み、わからない用語は復習し、理解する（60分） 事後 課題レポート（60分）	
9	口腔ケアの体位確保に必要な介助技術を習得する（十時・志垣・北田）	事前 教科書や過去の配布資料を読み、わからない用語は復習し、理解する（60分） 事後 課題レポート（60分）	
10	口腔ケアの体位確保に必要な介助技術を習得する（十時・志垣・北田）	事前 教科書や過去の配布資料を読み、わからない用語は復習し、理解する（60分） 事後 課題レポート（60分）	
11	個別性に合わせた清掃用具の選択と口腔ケアの方法を習得する（未定・緒方）	事前 教科書や過去の配布資料を読み、わからない用語は復習し、理解する（60分） 事後 課題レポート（60分）	
12	個別性に合わせた清掃用具の選択と口腔ケアの方法を習得する（未定・緒方）	事前 教科書や過去の配布資料を読み、わからない用語は復習し、理解する（60分） 事後 課題レポート（60分）	
13	口腔ケアの体位確保に必要な介助技術と口腔ケア方法を習得する（十時・志垣・松尾・北田）	事前 教科書や過去の配布資料を読み、わからない用語は復習し、理解する（60分） 事後 課題レポート（60分）	
14	口腔ケアの体位確保に必要な介助技術と口腔ケア方法を習得する（十時・志垣・松尾・北田）	事前 教科書や過去の配布資料を読み、わからない用語は復習し、理解する（60分） 事後 課題レポート（60分）	
15	摂食嚥下障害の病態と診査・診断を理解する（山口・十時）	事前 教科書や過去の配布資料を読み、わからない用語は復習し、理解する（60分） 事後 課題レポート（60分）	
16	摂食嚥下障害の病態と診査・診断を理解する（山口・十時）	事前 教科書や過去の配布資料を読み、わからない用語は復習し、理解する（60分） 事後 講義でわからない内容は理解するまで復習する（60分）	
17	摂食嚥下にかかわる検査評価方法を習得する（十時・志垣・未定）	事前 教科書や過去の配布資料を読み、わからない用語は復習し、理解する（60分） 事後 課題レポート（60分）	
18	摂食嚥下にかかわる検査評価方法を習得する（十時・志垣・未定）	事前 教科書や過去の配布資料を読み、わからない用語は復習し、理解する（60分） 事後 課題レポート（60分）	
19	摂食嚥下障害に対する間接訓練法を習得する（志垣・十時・未定）	事前 教科書や過去の配布資料を読み、わからない用語は復習し、理解する（60分） 事後 課題レポート（60分）	
20	摂食嚥下障害に対する間接訓練法を習得する（志垣・十時・未定）	事前 教科書や過去の配布資料を読み、わからない用語は復習し、理解する（60分） 事後 課題レポート（60分）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
21	摂食嚥下障害に対する呼吸訓練法を習得する（大池・十時）	事前 教科書や過去の配布資料を読み、わからない用語は復習し、理解する（60分） 事後 講義でわからない内容は理解するまで復習する（60分）	
22	摂食嚥下障害に対する呼吸訓練法を習得する（大池・十時）	事前 教科書や過去の配布資料を読み、わからない用語は復習し、理解する（60分） 事後 講義でわからない内容は理解するまで復習する（60分）	
23	摂食嚥下障害に対する直接訓練法を習得する（十時・志垣・未定）	事前 教科書や過去の配布資料を読み、わからない用語は復習し、理解する（60分） 事後 課題レポート（60分）	
24	摂食嚥下障害に対する直接訓練法を習得する（十時・志垣・未定）	事前 教科書や過去の配布資料を読み、わからない用語は復習し、理解する（60分） 事後 課題レポート（60分）	
25	対象者に合わせた口腔ケア、嚥下訓練方法を習得する（十時・志垣・未定）	事前 教科書や過去の配布資料を読み、わからない用語は復習し、理解する（60分） 事後 課題レポート（60分）	
26	対象者に合わせた口腔ケア、嚥下訓練方法を習得する（十時・志垣・未定）	事前 教科書や過去の配布資料を読み、わからない用語は復習し、理解する（60分） 事後 課題レポート（60分）	
27	ベットサイドでの口腔ケアを習得する（十時・志垣・松尾・未定）	事前 教科書や過去の配布資料を読み、わからない用語は復習し、理解する（60分） 事後 課題レポート（60分）	
28	ベットサイドでの口腔ケアを習得する（十時・志垣・松尾・未定）	事前 教科書や過去の配布資料を読み、わからない用語は復習し、理解する（60分） 事後 課題レポート（60分）	
29	リスクマネジメントの基本技術を習得する、実技試験（十時・志垣・緒方・未定）	事前 実技試験に向けて練習する（60分） 事後 実技試験の振り返り（60分）	
30	リスクマネジメントの基本技術を習得する、実技試験（十時・志垣・緒方・未定）	事前 実技試験に向けて練習する（60分） 事後 実技試験の振り返り（60分）	

基本情報

科目名	健康教育総論
時間割コード	1001250501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	1
主担当教員	薄井 由枝
科目区分	専門科目 口腔保健学科専門科目(歯科保健)

担当教員情報

教員名	
薄井 由枝	

詳細情報

授業の目的・到達目標	健康とQOLを高めるためには、個人や集団または地域が直面している健康課題を明らかにし、社会環境の整備とともに、対象とする個人や集団が望ましい保健行動がとれるよう健康教育が必要となる。 本講義では、歯科衛生における健康教育を推進するうえで必要な健康教育の基礎知識を習得し、説明できるようになる。
履修上の注意事項	本科目は、2年生で学ぶ口腔保健指導論や3年生以降に実施される臨床実習や臨地実習につながる授業である。開講回ごとに指定されたテーマの事前学習(60分)、事後学習(60分)を行うこと。
評価方法	授業ごとに実施する確認課題(小テストもしくは課題レポート)で100%評価する。 提出物は、フィードバックとしてコメントをして返却する。 再試験は行わない。
テキスト	スタディノート(資料プリント)を配布する。 全国歯科衛生士教育協議会監修:最新歯科衛生士教本 歯科衛生学総論, 医歯薬出版
参考文献	最新歯科衛生士教本 栄養と代謝・病理学・解剖学, デンタルスタッフの口腔衛生学 医歯薬出版 3分でできる 衛るための口腔内外チェック 永末書店
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	薄井由枝: 歯科衛生士として、大学病院・一般歯科診療所での勤務、および国立感染症研究所・国立保健医療科学院での研究員としての経験がある。

授業計画

授業計画	
<p>歯科衛生士の特質を生かし、口腔にとどまらず全身に関する日常的な健康に関する知識を積むことによって、自分自身の心や体・健康への意識を高め、実践力を身につけることができるために、下記の問題解決型授業を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 健康とは何か、病気とはどのような状態か? 医療従事者として疾患を持つ人を健康に導くためのコミュニケーションとは何か? 日本における5大疾病とは何か? STDや中毒について理解しているか? QODとは何か? 健康に関する歯科衛生士としての社会的責任とは何か? 	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	健康教育とは	事前: 日常における健康を考えてくる 事後: 課題レポートの提出	事前学修: 各テーマにおいて、わからない事項について下調べしておくこと(1時間) 事後学修: 配布スタディノートを整理し、課題レポートの作成を行う(1時間)
2	健康と病気の概念	事前: 病気について探索してくる 事後: 課題レポートの提出	
3	医療コミュニケーションについて	事前: 一般的なコミュニケーションと医療で必要とされるコミュニケーションの違いについて調べてくる 事後: 課題レポートの提出	

授業計画

歯科衛生士の特質を生かし、口腔にとどまらず全身に関する日常的な健康に関する知識を積むことによって、自分自身の心や体・健康への意識を高め、実践力を身につけることができるために、下記の問題解決型授業を行う。

1. 健康とは何か、病気とはどのような状態か？
2. 医療従事者として疾患を持つ人を健康に導くためのコミュニケーションとは何か？
3. 日本における5大疾病とは何か？
4. STDや中毒について理解しているか？
5. QOLとは何か？
6. 健康に関する歯科衛生士としての社会的責任とは何か？

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	5大疾病とその予防について	事前：厚生労働省HPより5大疾病について調べてくる 事後：課題レポートの提出	
5	STDについて	事前：STDについて検索・予習してくる 事後：課題レポートの提出	
6	ドラッグアピユースについて	事前：ドラッグアピユースについて検索・予習してくる 事後：課題レポートの提出	
7	QOLとQOD	事前：QODについて予習してくる 事後：課題レポートの提出	
8	健康に関する歯科衛生士としての社会的責任について	事前：社会的責任について調べてくる 事後：課題レポートの提出	

基本情報

科目名	口腔保健指導論
時間割コード	0528441801
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	松尾 文
科目区分	専門分野 口腔保健学科専門分野(歯科保健)

担当教員情報

教員名	
松尾 文	

詳細情報

授業の目的・到達目標	対象者の歯・口腔の健康を維持増進するために、健康と疾患の概念を理解し、プロフェッショナルケア・セルフケアの基本となる論理的思考の基礎を学ぶ。専門的立場から助言や支援を行うために必要な知識を習得し、ライフステージ別の特徴を理解した上で支援方法について考察する。コミュニケーション技法を使って議論することができる。 対象者に合わせた口腔清掃方法について説明できる。 ライフステージに合わせた口腔保健指導計画を立案することができる。
履修上の注意事項	覚えるのではなく、考えること、それを自分の言葉で言語化することが中心の授業です。そのため、本講では予習が最も重要になります。毎回授業の終わりに、予習範囲は指示します。
評価方法	試験：60%、レポート・提出物：40% フィードバックとして、課題レポートにコメントして返却します。
テキスト	全国歯科衛生士教育協議会監修 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論(第2版)，医歯薬出版
参考文献	公益社団法人日本歯科衛生士会 監修 歯科口腔保健の推進に向けて ライフステージに応じた歯科保健指導ハンドブック，医歯薬出版
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	松尾文：歯科衛生士として歯科医院勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	口腔の健康を保持増進することの意義を理解する	・事前 「健康とは」ということについて、自分の考えを言語化し、まとめる(60分) ・事後 学んだ内容を整理し、ノートにまとめる(30分)	
2	アセスメント、情報収集	・事前 全身疾患と口腔の関係について、自分の言葉でまとめる(60分) ・事後 学んだ内容を整理し、ノートにまとめる(30分)	
3	歯ブラシ、その他清掃用具の選択(グループワーク)	・事前 普段使っている歯磨剤の成分を分類する、各種ブラッシング法について教科書を見ながら忠実に実践し、レポートにまとめる(60分) ・事後 自分の担当清掃用具についてより深く調べて発表用資料を作成する(60分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	口腔清掃用具の使用目的・使用方法（グループワーク）	・事前 担当清掃用具についての発表に向けて、練習およびリハーサルを行う(60分) ・事後 学んだ内容を整理し、ノートにまとめる(30分)	
5	対象者に合わせた歯科保健指導（問題解決型学習）	・事前 前回の他グループの発表資料を見直し、自分の言葉で説明できるようになる。(60分) ・事後 学んだ内容を整理し、ノートにまとめる(30分)	
6	行動変容に関する理論	・事前 行動変容に関するアンケートに回答する、教科書を見て行動変容理論について予習する。(60分) ・事後 学んだ内容を整理し、ノートにまとめる	
7	面接技法（グループワーク）	・事前 う蝕および歯周病の原因と発生機序について微生物学的に理解し、自分の言葉で説明できるようになる(60分) ・事後 学んだ内容を整理し、ノートにまとめる(30分)	
8	妊産婦期における口腔保健指導	・事前 妊産婦期の特徴について教科書を見てまとめる(60分) ・事後 学んだ内容を整理し、ノートにまとめる(30分)	
9	乳幼児期における口腔保健指導	・事前 乳幼児期の特徴について教科書を見てまとめる(60分) ・事後 学んだ内容を整理し、ノートにまとめる(30分)	
10	学童期における口腔保健指導	・事前 学童期の特徴について教科書を見てまとめる(60分) ・事後 学んだ内容を整理し、ノートにまとめる(30分)	
11	青年期・成人期における口腔保健指導	・事前 青年期・成人期の特徴について教科書を見てまとめる(60分) ・事後 学んだ内容を整理し、ノートにまとめる(30分)	
12	老年期における口腔保健指導	・事前 老年期の特徴について教科書を見てまとめる、フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドロームについて調べる(60分) ・事後 学んだ内容を整理し、ノートにまとめる(30分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	障がい者に対する口腔保健指導（問題解決型学習）	<ul style="list-style-type: none"> ・事前 障がい者の特徴について教科書を見てまとめる、ICFの分類について調べる（60分） ・事後 学んだ内容を整理し、ノートにまとめる（30分） 	
14	禁煙指導、歯科衛生課程	<ul style="list-style-type: none"> ・事前 禁煙ステージと禁煙支援についてまとめる、歯科衛生過程の書き方について教科書を読み復習する（60分） ・事後 学んだ内容を整理し、ノートにまとめる（30分） 	
15	業務記録（SOAPIEを理解する）	<ul style="list-style-type: none"> ・事前 SOAPについて説明できるようになる、歯科衛生士の業務記録について調べてまとめる（60分） ・事後 学んだ内容を整理し、ノートにまとめる（30分） 	

基本情報

科目名	食生活指導
時間割コード	0528441901
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	薄井 由枝
科目区分	専門分野 口腔保健学科専門分野(歯科保健)

担当教員情報

教員名	
薄井 由枝	

詳細情報

授業の目的・到達目標	食生活は直接に口腔疾患や全身疾患と関係する。 歯科衛生士は、健康を維持・増進する役割を担うので、学修者は、栄養学・生化学の基礎知識と応用および技能を総合的に学ぶ。 五大栄養素の基本的な役割を学ぶ。食品成分と食品分類、ライフステージ別の栄養、食生活習慣について学ぶ。病態に対する食生活指導について説明することができ、食事指導内容を立案することができる。
履修上の注意事項	すでに学修している生化学・解剖生理学・生活栄養学の内容(消化・吸収・代謝など)・病理学の復習をしてください。授業中に配布する資料・プリントはファイルし、教科書と一緒に持参してください。
評価方法	評価は、理解度を確認する小テスト(75%)と、課題レポートの提出(25%)により行います。課題レポートは、フィードバックとしてコメントをして返却します。再試験は行いません。
テキスト	最新歯科衛生士教本 栄養と代謝, および 病理学・口腔病理学 医歯薬出版
参考文献	10% Human, アランナコリン(河出書房新社)
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	薄井由枝: 歯科衛生士として、大学病院、一般歯科歯科診療所、高齢者施設等での勤務経験

授業計画

授業計画	
<p>目標と計画: 問題解決型授業</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生きて行くために必須である食生活を見直す。 2. 栄養学における学問的な情報を習得する。 3. 自身の健康維持に応用できるようになる。 4. 歯科衛生士としてライフステージごとの栄養学的保健指導ができるようになる。 5. 歯科衛生士として生活習慣病などの5大疾病予防のための保健指導ができる。 6. 歯科衛生士として高齢期・看取り期における食生活指導ができる。 	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	食生活と栄養(消化・吸収)	事前学修: 毎日の食餌を考察する 事後学修: 課題レポート提出	事前学修: 各テーマにおいて、わからない事項について下調べしておくこと(2時間) 事後学修: 配布スタディノートを整理し、課題レポートの作成を行う(2時間)
2	食事摂取基準(エネルギー必要量・代謝)	事前: ある1日の食事を記録する 事後: 課題レポート提出(エネルギー量の計算等)	
3	栄養素の働き(糖質・タンパク質・脂質)	事前: 3大栄養素の予習 事後: 課題レポート提出	
4	栄養素の働き(ビタミン類・ミネラル類・食物繊維・水)	事前: 栄養素の予習 事後: 課題レポート提出	
5	食品の成分(食品成分表)とカロリー	事前: 食品成分表を調べる 事後: 課題レポート提出	

授業計画

目標と計画：問題解決型授業

1. 生きて行くために必須である食生活を見直す。
2. 栄養学における学問的な情報を習得する。
3. 自身の健康維持に応用できるようになる。
4. 歯科衛生士としてライフステージごとの栄養学的保健指導ができるようになる。
5. 歯科衛生士として生活習慣病などの5大疾病予防のための保健指導ができる。
6. 歯科衛生士として高齢期・看取り期における食生活指導ができる。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	食べ物のおいしさ（味覚・物性・テクスチャー）	事前：味覚についての予習 事後：課題レポート提出	
7	食生活における嗜好と中毒	事前：中毒しやすい食品について調べる 事後：課題レポート提出	
8	WHOの指針と日本の現状：世界における健康課題および取り組み	事前：WHOについての予習 事後：課題レポート提出	
9	WHOの指針と日本の現状：日本における健康課題および取り組み	事前：厚生労働省HPを閲覧する 事後：課題レポート提出	
10	ライフステージ別の栄養と調理（妊娠期&乳幼児、食育・おやつ指導）	事前：おやつについての予習 事後：課題レポート提出	
11	ライフステージ別の栄養と調理（学童期・青年期）	事前：食育について予習 事後：課題レポート提出	
12	ライフステージ別の栄養と調理（成人期・高齢期）	事前：成人高齢期の栄養学的課題の復習 事後：課題レポート提出	
13	病態と食生活指導（糖尿病・脂質異常症・痛風・抗がん剤治療患者）	事前：5大疾病について予習 事後：課題レポート提出	
14	病態と食生活指導（高血圧症、動脈硬化症、腎臓病、骨粗鬆症）	事前：5大疾病について予習 事後：課題レポート提出	
15	歯科保健指導として的高齢期・看取り期における食生活を学ぶ	事前：看取りについて予習 事後：課題レポート提出	

基本情報

科目名	地域口腔保健学実習
時間割コード	0528442001
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 1, 火 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	淀川 尚子
科目区分	専門分野 口腔保健学科専門分野(歯科保健)

担当教員情報

教員名	
徳永 淳也、北田 勝浩、筒井 睦、淀川 尚子、松尾 文、緒方 有希、緒方 浩志、十時 彩、志垣 留美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教育の対象となるコミュニティおよびライフステージを認識した指導計画および教育媒体を作成する態度を習得することができる。 ・地域歯科保健計画の要点を習得して、う蝕り患抑制を目的に地域特性を把握した歯科保健計画を立案することができる。
履修上の注意事項	各人が役割を確認して、グループとして協働する態度をもって取り組むこと。これまでの口腔保健学で学んだ科目を基礎としているので、事前に関連する知識について調べて臨むこと。
評価方法	作製物20%、発表20%、レポートおよび作成物30%、小テスト30% フィードバックとして作製物およびレポートおよび作成物にコメントする。
テキスト	全国歯科衛生士教育協議会監修 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版) 全国歯科衛生士教育協議会監修 最新歯科衛生士教本 保健生態学(医歯薬出版)
参考文献	日本健康教育学会編：健康教育 ヘルスプロモーションの展開(保健同人社)
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	淀川尚子：歯科衛生士として病院勤務経験 徳永淳也：歯科医師として病院勤務経験 金子憲章：歯科医師として病院勤務経験 北田勝浩：歯科医師として病院勤務経験 松尾 文：歯科衛生士として歯科医療機関勤務経験 緒方有希：歯科衛生士として歯科医療機関勤務経験 志垣留美：歯科衛生士として病院勤務経験 十時 彩：歯科衛生士として病院勤務経験

授業計画

授業計画

- 1-2. 地域口腔保健の目的を理解する (淀川)
 地域の健康課題を検討する
 事前学修：地域口腔保の目的を考える。(60分)
 事後学修：指定された地域の健康課題をまとめる。(60分)
- 3-4. コミュニティにおける文化を考慮した口腔保健活動を理解する(淀川)
 地域に生活する人の理解を促進する手法を体験する
 事前学修：国際協力について調べる。(60分)
 事後指導：授業で体験したことを国際比較し、レポートにまとめる。(60分)
- 5-6. プリシード・プロシードモデルにあてはめて地域の歯科保健目標を設定する(淀川)
- 7-8. 地域口腔保健計画立案の考え方を理解する(淀川)
 5歳児のう蝕抑制を目的とする市町村歯科保健計画を立案する
 5-8. 事前学修：プリシード・プロシードモデルについて説明できるようにする。(60分)
 事後学修：う蝕予防計画をまとめる。(60分)
- 9-10. 指導案の作成方法を理解する。(志垣・松尾)
 保育園園児集団を対象とする指導目的の設定と指導案を作成する。
- 11-16. 保育園園児集団を対象とする指導目的に沿った媒体を作成する。(志垣・松尾)
- 17-18. 保育園園児集団指導発表と教員評価 (志垣・松尾・淀川・金子・北田・緒方・十時)
 9-18. 事前学修：幼児期の発達について調べてレポートにまとめる。(60分)
 事後学修：教育媒体を作成する。(60分)
- 19-20. 高齢者施設入所者を対象とする指導目的の設定と指導案を作成する。(松尾)
 高齢者施設入所者を対象とする指導目的に沿った媒体を企画する。
 事前学修：高齢期の特徴について調べてレポートにまとめる。(60分)
 事後学修：授業を踏まえて教育媒体を再考する。(60分)
- 21-22. 熊本市歯科保健事業を知り臨地実習の心構えをする。(淀川)
 地域の健康課題の検討母子に対する口腔保健指導案を作成し、考察する。
- 23-25. 母子に対する地域口腔保健活動の実際を理解する。(淀川)
 成人に対する地域歯科健診の実際および評価方法を理解する。
- 26-28. 成人に対する歯科保健指導を体験する。(実習)(淀川・緒方)
- 29-30. 集団でのフッ化物洗口法の実際を理解する。(淀川)
 21-30. 事前学修：母子保健事業、フッ化物事業について調べる。(60分)
 事後学修：母子保健事業、フッ化物事業についてレポートにまとめる。(60分)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	歯科診療補助総論
時間割コード	1001260501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	1
主担当教員	松尾 文
科目区分	専門科目 口腔保健学科専門科目(歯科診療)

担当教員情報

教員名
松尾 文

詳細情報

授業の目的・到達目標	歯科医療現場におけるチーム診療を円滑に行うために、歯科診療および診療介助業務に関する基本的な知識を習得する。 歯科診療の補助と介助の違いを説明できる 医療安全の概念と感染予防対策を説明できる 滅菌・消毒の定義および方法について述べるができる 歯科材料の種類、成分、用途を説明できる チーム歯科医療の必要性を述べるができる
履修上の注意事項	
評価方法	試験(80%)、レポート・提出物(20%)により評価する。
テキスト	全国歯科衛生士教育協議会監修：最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論(第二版)，医歯薬出版
参考文献	全国歯科衛生士教育協議会監修：新歯科衛生士教本 歯科診療補助，医歯薬出版 全国歯科衛生士教育協議会監修：新歯科衛生士教本 歯科器械の知識と取り扱い，医歯薬出版
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	松尾文：歯科衛生士として歯科医院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	歯科診療補助・介助とは、歯科診療室の基礎知識、歯科診療の流れと診療補助	・事後 授業で学んだ内容を教科書を見て復習する(60分)	
2	医療安全・感染予防	・事前 スタンダードプリコーションについて調べ、自分の言葉で説明できるようになる(30分) ・事後 授業で学んだ内容を教科書を見て復習する。(30分)	
3	滅菌・消毒	・事前 消毒薬の用途と使用濃度についてレポートにまとめる(30分) ・事後 授業で学んだ内容を教科書を見て復習する。(30分)	
4	主要歯科材料の種類と性質(印象材、石膏、ワックス)	・事前 歯の構造や概要についてレポートにまとめる(30分) ・事後 授業で学んだ内容を教科書を見て復習する。(30分)	
5	主要歯科材料の種類と性質(合着材、仮封材)	・事前 歯科で使用するセメントについてレポートにまとめる(30分) ・事後 授業で学んだ内容を教科書を見て復習する。(30分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	主要歯科材料の種類と性質（成型歯冠修復用コンポジットレジン、シーラント）	<ul style="list-style-type: none"> ・事前 切削器具についてレポートにまとめる(30分) ・事後 授業で学んだ内容、特に術式と使用器具器材についてを教科書を見て復習する。(30分) 	
7	全身疾患をもつ患者と歯科診療（グループワーク）	<ul style="list-style-type: none"> ・事前 自分の担当する全身疾患と歯科治療における注意点について詳しく調べる。発表の練習をする。(30分) ・事後 授業で学んだ内容を教科書を見て復習する。(30分) 	
8	チーム歯科医療、周術期における口腔管理、歯科訪問診療	<ul style="list-style-type: none"> ・事前 チーム医療、周術期口腔管理について教科書を見てノートにまとめる(30分) ・事後 授業で学んだ内容を教科書を見て復習する。(30分) 	

基本情報

科目名	歯科診療補助実習（臨床）
時間割コード	0528442301
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	志垣 留美
科目区分	専門分野 口腔保健学科専門分野（歯科診療）

担当教員情報

教員名
徳永 淳也、金子 憲章、北田 勝浩、筒井 睦、淀川 尚子、松尾 文、緒方 有希、十時 彩、志垣 留美

詳細情報

授業の目的・到達目標	歯科医療チームの一員としての歯科衛生士の役割や意義について理解し、実際の歯科診療補助を安全かつ円滑に行う 必要な知識・技術・態度を身につけることができる
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前にテキストを読み、次回の内容について予習すること（30分）。 ・実習内容について復習を行うこと（60分）。 ・口腔保健臨床実習（発展実習）・（応用実習）の先修科目である。
評価方法	実技試験：50%、随時の小テスト・レポート・成果物：50% レポートや成果物等は、添削をして本人に返却する
テキスト	最新歯科衛生士教本（医歯薬出版）：歯科診療補助論第2版，保存修復・歯内療法，口腔外科 歯科衛生士テキスト（学健書院）：わかりやすい歯科放射線学第3版
参考文献	適宜、資料を紹介・配布する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	志垣：歯科衛生士として診療所および大学附属病院勤務経験 北田：歯科医師として大学および大学附属病院勤務経験 金子：歯科医師として大学および大学附属病院勤務経験 徳永：歯科医師として大学および大学附属病院勤務経験 松尾：歯科衛生士として歯科医療機関に勤務経験 淀川：歯科衛生士として口腔病院勤務経験 緒方：歯科衛生士として診療所勤務経験 十時：歯科衛生士として病院勤務

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	1-2 基本姿勢・フォールドテクニック・共同動作を習得（志垣・松尾・十時）		
2	3-4 ヲブマヤ-型マリックバンド / 光重合型コンポジットレジン（金子・志垣）		
3	5-6 口腔内診査 / 合着材・接着剤の種類・用途（淀川・金子・徳永 / 志垣・十時）		
4	7-8 口腔内診査 / 合着材・接着剤の種類・用途（淀川・金子・徳永 / 志垣・十時）		
5	9-10 修復材・仮封材・根管充填剤の種類・用途・性質（十時・志垣）		
6	11-12 口腔内写真の撮り方 / ラバーダム防湿（薄井・石井・徳永 / 志垣・金子・北田）		
7	13-14 口腔内写真の撮り方 / ラバーダム防湿（薄井・石井・徳永 / 志垣・金子・北田）		
8	15-16 アルギネート印象材・石膏の取り扱いを理解（松尾・志垣・薄井）		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	17-18 レントゲン撮影 / アルゴリズム印象採得（金子・志垣 / 松尾・十時・徳永）		
10	19-20 レントゲン撮影 / アルゴリズム印象採得（金子・志垣 / 松尾・十時・徳永）		
11	21-22 レントゲン撮影 / 外科器具の取扱いについて（金子・十時 / 淀川・志垣）		
12	23-24 ステディカメラの作製 / パンダ系印象材（松尾・北田・徳永・十時 / 志垣・金子）		
13	25-26 ステディカメラの作製 / パンダ系印象材（松尾・北田・徳永・十時 / 志垣・金子）		
14	27-28 読影およびマウントの方法 / 診療補助でのセプト練和等（金子・志垣 / 松尾・淀川・十時）		
15	29-30 実技試験（志垣・金子・淀川・松尾・十時・北田）		

基本情報

科目名	歯科診療補助実習（応用）
時間割コード	0528442401
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 3, 金 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	松尾 文
科目区分	専門分野 口腔保健学科専門分野（歯科診療）

担当教員情報

教員名	
徳永 淳也、金子 憲章、北田 勝浩、筒井 睦、淀川 尚子、松尾 文、緒方 有希、十時 彩、志垣 留美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	これまでの歯科診療補助実習を通して学んだ基本的技術を再確認しながら、専門的知識を様々な場面で引き出し、診療の補助・介助の臨床場面に応用していくことで知識の定着と技術の向上を図る。臨床実習において歯科診療の補助・介助業務を実践するために、実践可能な臨床技術を習得することが本実習の目的である。 各項で行われる実習について、論理的に考え実践することができる。 臨床実習において歯科診療の補助・介助業務ができる
履修上の注意事項	実習に必要な器具等は掲示板にて確認し持参すること。
評価方法	日常的学習成果（態度・身だしなみを含む、10%）、随時の小テスト・実技テスト・事前課題・事後レポート（50%）、総合実技テスト（40%）を総合して評価する。 フィードバックとして、課題レポートにコメントして返却します。
テキスト	最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論（第2版）、豆チョコ看護の共通ケア（照林社）、歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法、咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴、咀嚼障害・咬合異常2 歯科矯正、顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔（医歯薬出版）
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	金子憲章、徳永淳也、北田勝浩：歯科医師として病院勤務経験 松尾文、薄井由枝、緒方有希：歯科衛生士として歯科医院勤務経験 淀川尚子、志垣留美、十時彩：歯科衛生士として病院勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	1-2インプラント治療における診療補助、 ガウンテクニック(実習)	・事前 インプラント治療における事前課題および術式・使用器具器材についてまとめる。 ガウンテクニック、清潔操作について教科書を見て確認する（90分） ・事後 実習で学んだ内容を復習する。（30分）	松尾・北田・志垣
2	3-4 パノラマ・頭部X線規格撮影(実習))/ 修復物・補綴物別の患者指導(問題解決型学習)	・事前 X線撮影についてまとめる/ 修復物・補綴物に関する事前課題を行う(90分) ・事後 実習で学んだ内容を復習する。（30分）	金子・志垣/松尾・北田
3	5-6 パノラマ・頭部X線規格撮影(実習))/ 修復物・補綴物別の患者指導(模擬患者実習)	・事前 X線撮影についてまとめる/ 修復物・補綴物に関する事前課題を行う(90分) ・事後 実習で学んだ内容を復習する。（30分）	金子・志垣/松尾

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
4	7-8 矯正治療時の診療補助(模型実習) / 印象採得(相互実習)	<ul style="list-style-type: none"> ・事前 矯正に関する事前課題および術式、使用器具器材について復習する / 2年次の印象採得実習について振り返る。石膏の流し方の動画を視聴し、手技を確認する。(90分) ・事後 実習で学んだ内容を復習する。印象採得実習について振り返る(事後レポート)。(30分) 	北田・志垣 / 松尾・緒方・未定
5	9-10 矯正治療時の診療補助(模型実習) / 印象採得(相互実習)	<ul style="list-style-type: none"> ・事前 矯正に関する事前課題および術式、使用器具器材について復習する。 / 2年次の印象採得実習について振り返る。石膏の流し方の動画を視聴し、手技を確認する。(90分) ・事後 実習で学んだ内容を復習する。印象採得実習について振り返る(事後レポート)。(30分) 	北田・志垣 / 松尾・緒方・未定
6	11-12スタディモデルの作成(実習)	<ul style="list-style-type: none"> ・事前 スタディモデルの作成方法を確認し、まとめる。(30分) ・事後 実習で学んだ内容について復習する。スタディモデル(平行模型)を用いて分析する項目について調べる(事後レポート)(90分) 	松尾・志垣・緒方・
7	13-14矯正治療時の診療補助(結紮法・模型実習) / 症例分析法(実習)	<ul style="list-style-type: none"> ・事前 矯正に関する事前課題および術式、使用器具器材について復習する。 / 矯正治療における症例分析法について下調べを行う(60分) ・事後 実習で学んだ内容を復習する。(60分) 	北田・志垣 / 松尾
8	15-16 歯髄切断法、抜髄法、根管充填処置(模型実習)	<ul style="list-style-type: none"> ・事前 歯内療法に関する事前課題および各術式、使用器具器材について復習する(90分) ・事後 実習で学んだ内容について復習する(30分) 	松尾・金子・未定
9	15-16既成レジン冠を使用した暫間被覆冠の作成(模型実習)	<ul style="list-style-type: none"> ・事前 上顎中切歯および下顎第一大臼歯の形態学的特徴(ミュールライターの三徴候)について調べる。術式、使用器具器材について確認する(90分) ・事後 実習で学んだ内容、使用した器具について復習する(30分) 	松尾・徳永・緒方
10	17-18歯周外科処置における診療補助(模型実習)	<ul style="list-style-type: none"> ・事前 歯周外科に関する事前課題および各術式、使用器具器材について復習する(90分) ・事後 実習で学んだ内容、歯周外科処置において特徴的な器具について復習する(30分) 	金子・松尾・未定

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
11	19-20口腔外科処置時の診療補助(実習) / 全身管理と偶発事故対応(グループワーク)	<ul style="list-style-type: none"> ・事前 口腔外科に関する事前課題および埋伏歯抜歯術の術式、使用器具器材について復習する / 検査値の略語、基準値についてまとめる。偶発事故対応について教科書で復習する(90分) ・事後 実習で学んだ内容について復習する。 	松尾・未定・緒方 / 淀川 ・十時
12	21-22口腔外科処置時の診療補助(実習) / 全身管理と偶発事故対応(グループワーク)	<ul style="list-style-type: none"> ・事前 口腔外科に関する事前課題および埋伏歯抜歯術の術式、使用器具器材について復習する / 検査値の略語、基準値についてまとめる。偶発事故対応について教科書で復習する(90分) ・事後 実習で学んだ内容について復習する。 	松尾・未定・緒方 / 淀川 ・十時
13	25-26患者説明総合実習(実習,実技試験)	<ul style="list-style-type: none"> ・事前 患者説明および術後の患者指導について、他者に説明できるようになるまで練習する。(90分) ・事後 自分の説明について振り返る。実習で学んだ内容について復習する(30分) 	松尾
14	27-28ホワイトニング、CAD/CAM、レーザー	<ul style="list-style-type: none"> ・事前 教科書やWebを用いて自費歯科治療について調べる(60分) ・事後 授業資料を整理し、他者に説明出来るようになるまで復習する(60分) 	松尾
15	29-30臨床技術総合実習(実習,実技試験)	<ul style="list-style-type: none"> ・事前 印象採得、根管充填、埋伏歯抜歯術、偶発事故対応についてこれまでの実習内容を復習し、実際に診療補助を行う場合のイメージトレーニングを行う(90分) ・事後 実習内容を振り返り、できなかった項目について改善点を考察する。(30分) 	松尾・金子・未定・志垣 ・緒方

基本情報

科目名	歯科医療安全学
時間割コード	0528442501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 5
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	淀川 尚子
科目区分	専門分野 口腔保健学科専門分野（歯科診療）

担当教員情報

教員名
徳永 淳也、淀川 尚子

詳細情報

授業の目的・到達目標	安全で質の高い医療を目指すには医療安全の考え方をもとに事故防止やエラーを防止することが重要である。医療安全の理解を深め、歯科医療における医療事故の背景や要因を認識し、事故防止のための予防対策および事故発生時の対応について習得することができる。
履修上の注意事項	講義資料をファイルし、教科書と一緒に持参してください。 事前学習は教科書を熟読し、新聞、ニュース等で報道される医療事故に関心を持ち、情報収集（30分）を行う。事後学習は講義資料や教科書を参考に復習（30分）し、疑問点は質問等を行い理解するようにしてください。 理解度を確認するために講義内で小テストを実施します。
評価方法	小テスト50%・レポート50%（随時）を総合して評価します。 フィードバックとして課題レポートにコメントして返却します。
テキスト	最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 全国歯科衛生士教育協議会監修（医歯薬出版）
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	徳永淳也：歯科医師として病院勤務経験 淀川尚子：歯科衛生士として病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	医療における安全の概念を理解する（徳永）	事前：新聞やニュース等で報道されている過去の医療事故を調べる。（30分） 事後：講義や討議を踏まえて、改めて配布資料やテキストを読む。（30分）	
2	歯科医療における安全管理の考え方を理解する（淀川）	事前：テキストを熟読し、わからない事項について下調べを行う。（30分） 事後：新聞やニュース等で報道されている過去の医療事故の事例をレポートにまとめる。（30分）	
3	スタンダードプリコーションに基づいた感染管理について理解する（淀川）	事前：テキストを熟読し、わからない事項について下調べを行う。（30分） 事後：危険予知のトレーニングを行う。（30分）	
4	歯科医療における感染予防対策を理解する（淀川）	事前：配布資料を熟読し、わからない事項について下調べを行う。（30分） 事後：講義や討議を踏まえて、改めて配布資料やテキストを読む。（30分）	
5	事例を通して感染予防対策を考える（淀川）	事前：配布資料を熟読し、わからない事項について下調べを行う。（30分） 事後：講義や討議を踏まえて、ノートにまとめる。（30分）	
6	医療事故の原因とヒューマンエラーについて考える（淀川）	事前：討議を踏まえて2講で作成したレポート読み、説明できるようにする。（30分） 事後：医療事故の原因と予防策について分析する。（30分）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	歯科医療におけるリスクマネジメントの実際を理解する（淀川）	事前：配布資料を熟読し、わからない事項について下調べを行う。(30分) 事後：講義や討議を踏まえて、ノートにまとめて説明できるようにする。(30分)	
8	事例を通して医療事故防止のため危険因子を挙げ予防対策を考える（淀川）	事前：配布資料を熟読し、説明できるようにする。(30分) 事後：講義や討議を踏まえて、ノートにまとめる。(30分)	

基本情報

科目名	歯科医療管理学
時間割コード	0528442601
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 1, 火 2
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	4
主担当教員	徳永 淳也
科目区分	専門分野 口腔保健学科専門分野(歯科診療)

担当教員情報

教員名	
徳永 淳也、反後 雅博	

詳細情報

授業の目的・到達目標	歯科医学の社会への適用である歯科医療では、その過程において社会との間に様々な摩擦が生じることも少なくない。医療費高騰を背景として歯科医療の継続的な質改善による質保証をはかりつつ、効率的、効果的に歯科医療サービスを提供するという新たな医療経済学的命題にも直面している。医療機関の組織管理から保険請求業務の実際や個別の管理学的課題を紹介し、歯科医療の質と評価に関する捉え方や理論について理解を深めることを目的とする。
履修上の注意事項	前半の講義は確認課題を毎時間課すので欠席しないように努めること。実習で学んだ歯科医療における治療や歯科衛生士の行為は、制度体系として患者に何をもたらししていたか、を批判的に吟味して講義に臨み、医療管理学的な考え方が医療の質にどのように貢献するかを講義後に復習すること。(120分)
評価方法	講義時の確認レポート50%、定期試験50%で評価する。適宜、講義中にレポートには解説を行う。
テキスト	プリントと以下の教科書を使用する。 歯科衛生士のための衛生行政・社会福祉・社会保険 第9版(医歯薬出版、末高武彦 著)
参考文献	歯科医療管理 医療の質と安全確保のために 高津茂樹(編) 医歯薬出版 新社会歯科学 可児徳子 末高武彦編著 医歯薬出版
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
教科書、参考図書等を参考に各回のテーマについて自分の視点で事前に調べる(事前学修、1時間)	
各回に配布するプリントを授業中に完成させ、キーワードについて理解し説明できる様になるまで学修すること(事後学修、1時間)	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	歯科医療管理学概論: 歯科医療の管理学的構成(徳永)		
2	歯科医療システムの評価(1): 医療システムの鳥瞰的理解(徳永)		
3	歯科医療システムの評価(2): 成果(Outcome)評価と医療経済学的評価(徳永)		
4	歯科医療における品質改善: 質改善活動と質保証の視点と理解(徳永)		
5	歯科医療保険制度概説(未定)		
6	歯科医療保険制度の運用と問題点、今後の課題(未定)		
7	歯科医療保険請求業務の実際(1): 書面による請求業務(未定)		
8	歯科医療保険請求業務の実際(2): コンピュータによる電子的請求(未定)		

基本情報

科目名	口腔保健臨床実習（早期実習）
時間割コード	1001270501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	1
主担当教員	緒方 有希
科目区分	専門科目 口腔保健学科専門科目（臨地実習）

担当教員情報

教員名
徳永 淳也、金子 憲章、北田 勝浩、筒井 睦、淀川 尚子、松尾 文、緒方 有希、十時 彩、志垣 留美

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>授業の目的</p> <p>(1)臨床の場における歯科衛生士の役割を考察することができる。</p> <p>(2)口腔保健の活動の場として臨床を認識し、口腔保健学について学びを深める動機づけとする。</p> <p>(3)一次医療と三次医療の違いを理解する。</p> <p>到達目標</p> <p>(1)歯科衛生士の役割を列挙することができる</p> <p>(2)患者のニーズを列挙することができる</p> <p>(3)一次医療と三次医療について、歯科診療所と鹿児島大学病院での実習を比較して述べることができる</p> <p>(4)2年次における学習目標を列挙することができる</p>
履修上の注意事項	健康管理に注意して実習に臨むこと。 先修科目(口腔保健学概論、臨床歯科医学概論)の単位認定された者。
評価方法	実習指導者評価(60%)、学内教員評価(40%)、提出物にはフィードバックとしてコメントをして返却する。
テキスト	実習前指導で配布した資料、専門科目講義で使用した教科書 歯科衛生士のための ポケット版 最新歯科用語辞典
参考文献	適宜、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	緒方有希、薄井由枝、松尾文：歯科衛生士として歯科医院勤務経験 淀川尚子、志垣留美、十時彩：歯科衛生士として病院勤務経験 金子憲章、徳永淳也、北田勝浩：歯科医師として病院勤務経験

授業計画

授業計画
<p>1. 歯科診療所 歯科医療全体の流れを理解する 歯科衛生士の業務である歯科予防処置、歯科診療補助、口腔保健指導の実際と活動の場を見学する</p> <p>2. 鹿児島大学病院 1)大学病院の機能と各診療科の専門性ならびに歯科衛生士、看護師等の役割を理解する 保存科・歯周病科・冠ブリッジ科・義歯補綴科・小児歯科・矯正歯科・口腔保健科 口腔外科・口腔顎顔面外科・歯科病棟</p> <p>2)歯科衛生士の業務の実際および歯科医療従事者(歯科医師、看護師、放射線技師等)の活動の場を見学する</p> <p>【臨床実習日数】 実習前指導：1日半 歯科診療所：4日 鹿児島大学病院：1日 実習後指導：半日 合計7日間</p> <p>実習施設によっては、施設において実習事前指導がある。</p> <p>事前学修：実習要項を熟読し、事前学習を行って臨むこと。(1時間/週) 事後学修：実習した事柄は振り返りを行い、以降の実習に生かせるように考察をすること。(1時間/週)</p>

授業計画

1. 歯科診療所

歯科医療全体の流れを理解する

歯科衛生士の業務である歯科予防処置、歯科診療補助、口腔保健指導の実際と活動の場を見学する

2. 鹿児島大学病院

1) 大学病院の機能と各診療科の専門性ならびに歯科衛生士、看護師等の役割を理解する

保存科・歯周病科・冠ブリッジ科・義歯補綴科・小児歯科・矯正歯科・口腔保健科
口腔外科・口腔顎顔面外科・歯科病棟

2) 歯科衛生士の業務の実際および歯科医療従事者(歯科医師、看護師、放射線技師等)の活動の場を見学する

【臨床実習日数】

実習前指導：1日半

歯科診療所：4日

鹿児島大学病院：1日

実習後指導：半日

合計7日間

実習施設によっては、施設において実習事前指導がある。

事前学修：実習要項を熟読し、事前学習を行って臨むこと。(1時間/週)

事後学修：実習した事柄は振り返りを行い、以降の実習に生かせるように考察をすること。(1時間/週)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	口腔保健臨床実習（基礎実習）
時間割コード	0528442801
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	3.0
学年	2
主担当教員	緒方 有希
科目区分	専門分野 口腔保健学科専門分野（臨地実習）

担当教員情報

教員名	
徳永 淳也、金子 憲章、北田 勝浩、筒井 睦、淀川 尚子、松尾 文、緒方 有希、十時 彩、志垣 留美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>授業の目的 口腔保健学における専門分野・専門基礎分野で学んだ知識と見学、体験を関連づけて歯科衛生士の役割を考察する。一次医療を観察して口腔保健の意義を考え口腔保健学を学ぶ態度を養う。</p> <p>歯科診療所、歯科口腔病院において臨床・臨地実習要項に基づいて実習を行う。</p> <p>到達目標 (1)医療人としての身だしなみで臨むことができる。 (2)見学および体験した処置法について記述できる。 (3)見学および使用した器具器材の名称を記述できる。 (4)患者のこぼれ、歯科診療録、歯科衛生士の業務記録から、患者のニーズを拾い出すことができる。 (5)患者に対する思いやりを歯科診療所のスタッフの言動から列挙することができる。 (6)患者が安全に受診できるように実習生にできる配慮を3つ以上挙げることができる。 (7)一次医療における歯科医師と歯科衛生士との役割分担について具体例を挙げて述べるができる。 (8)今後の学習課題を3つ以上挙げて報告することができる。</p>
履修上の注意事項	体調管理に注意して臨むこと。
評価方法	実習指導者評価60%、学内教員評価40%、提出物にはフィードバックとしてコメントをして返却する。
テキスト	専門科目の教科書および講義・演習で用いた資料、実習前指導時の配布資料
参考文献	歯科衛生士のための ポケット版 最新歯科用語辞典
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	緒方有希、薄井由枝、松尾文：歯科衛生士として歯科医院勤務経験 淀川尚子、志垣留美、十時彩：歯科衛生士として病院勤務経験 金子憲章、徳永淳也、北田勝浩：歯科医師として病院勤務経験

授業計画

授業計画	
<p>授業計画 歯科診療所、歯科口腔病院において臨床・臨地実習要項に基づいて実習を行う。</p> <p>【臨床実習日数】 実習前指導：1日 歯科診療所・病院：14日 学内指導：1日 実習後指導：1日 合計17日間とする。 実習施設によっては、施設において実習事前指導がある。</p> <p>事前学修：実習要項を熟読し、予習を行って臨むこと。(1時間/週) 事後学修：実習後に振り返りを行い、次の実習につなげること。(1時間/週)</p>	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	口腔保健臨床実習（発展実習）
時間割コード	0528442901
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	6.0
学年	3
主担当教員	志垣 留美
科目区分	専門分野 口腔保健学科専門分野（臨床実習）

担当教員情報

教員名	
金子 憲章、北田 勝浩、筒井 睦、淀川 尚子、松尾 文、緒方 有希、十時 彩、志垣 留美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	学外実習を通して臨床の場における歯科衛生士の役割を理解し、自分の目標とする歯科衛生士像を描くことができる。生活者である患者を通して、口腔保健の役割と機能について理解し、これまでに学んだ知識・技術の習得を図る。また、人々とのコミュニケーションを介して人を感じ、対象者の問題を総合的に把握し理解する能力を身につけ、課題解決に必要な論理的思考力を養うことができる。
履修上の注意事項	実習要項を熟読し、事前学習を行って臨むこと。 実習記録をみて振り返り、疑問に思ったことは確認すること。 健康管理に注意し、報告・連絡・相談を徹底すること。
評価方法	実習指導者評価(50%)、教員評価(40%)、実習中および学内日の成果物(10%)で評価する。 レポートおよび成果物等は、添削をして本人に返却する
テキスト	専門科目の教科書と講義で用いた資料、実習前指導の資料。
参考文献	臨床実習 HAND BOOK監修：眞木吉信他
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	志垣：歯科衛生士として診療所および大学附属病院勤務経験 北田：歯科医師として大学および大学附属病院勤務経験 金子：歯科医師として大学および大学附属病院勤務経験 徳永：歯科医師として大学および大学附属病院勤務経験 松尾：歯科衛生士として歯科医療機関に勤務経験 淀川：歯科衛生士として口腔病院勤務経験 緒方：歯科衛生士として診療所勤務経験 十時：歯科衛生士として病院勤務

授業計画

授業計画	
目標	(1)臨床の場における歯科衛生士の役割を理解し、自分の目標とする歯科衛生士像を描くことができる。 (2)生活者である患者を通して、ライフステージにおける口腔保健の役割と機能について理解する。 (3)これまでに学んだ知識・技術を臨床場面に応用することにより、知識の定着と技術の習得を図る。 (4)人々とのコミュニケーションを介して人を感じ、対象者の問題を総合的に把握し理解する能力を身につける。 (5)臨床場面における口腔保健上の課題を感取し、課題解決に必要な論理的思考力を養う
目標	(1)診療ごとに必要な器材の準備、取り扱いができる。 (2)対象者に合わせてコミュニケーションをとることができる。 (3)対象者のニーズを推測することができる。 (4)実習指導者からの指示内容を理解し、実践できる。 (5)スタッフ(他職種を含む)と連携して共同動作、必要なサービスができる。 (6)歯科衛生業務を行う上で、情報収集、分析、計画立案ができる。 (7)対象者に応じた保健管理指導と業務記録ができる。 (8)施設のルールに従って院内感染予防、環境整備を実践できる。 (9)再発防止に役立てるために、医療事故や潜在的医療事故に関する情報を報告することができる。 (10)実習体験から口腔保健上の問題を発見し、キーワードを挙げて文献を検索することができる。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	口腔保健臨床実習（応用実習）
時間割コード	0528443001
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	4.0
学年	3
主担当教員	十時 彩
科目区分	専門分野 口腔保健学科専門分野（臨床実習）

担当教員情報

教員名
金子 憲章、北田 勝浩、筒井 睦、淀川 尚子、松尾 文、緒方 有希、十時 彩、志垣 留美

詳細情報

授業の目的・到達目標	多職種が共同する場面において、様々な健康問題を持つ対象者の健康及び“生活の質”（QOL：Quality of Life）の維持向上に寄与し、他職種との共同を通して“支援”できる基礎能力を涵養する。
履修上の注意事項	実習要項を熟読し、事前学習を行って臨むこと。 実習記録をみて振り返り、疑問に思ったことは確認すること。 健康管理に注意し、連絡・報告・相談を徹底すること。
評価方法	実習指導者評価（50%）、教員評価（40%）、実習および学内日の成果物（10%）で評価する。
テキスト	専門科目教科書および講義で用いた資料
参考文献	歯科衛生士教育サブテキスト 臨床実習HANDBOOK(クインテッセンス) 看護の共通ケア（照林社）
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	金子、北田：歯科医師として大学病院勤務経験 未定、淀川、松尾、緒方、志垣、十時：歯科衛生士として病院や施設の勤務経験

授業計画

授業計画
<p>目的</p> <p>(1)多職種が協働する場面における歯科衛生業務のあり方を考察し、口腔保健の価値を追求する。 (2)医療依存度の高い対象者の身体的・心理的・社会的側面に口腔保健が与える影響を考察し、全人的な歯科衛生活動を実践するための能力を身につける。 (3)対象者のQOL向上を目指し、これまでに習得した知識・技術を対象者の支援に活用する。 (4)対象者とのコミュニケーションを介して人を感じ、言語的・非言語的コミュニケーション能力を身につける。 (5)臨床場面における課題を感取し、課題解決に必要な論理的思考力を養う。</p> <p>目標</p> <p>(1)保健・医療・福祉の他職種との連携において、多職種間で共有する対象者のゴール（目標）を挙げるができる。 (2)対象者の行動や発言を根拠として口腔保健上のニーズを推測する。 (3)歯科衛生士業務を行う上で、情報収集、分析、計画立案により対象者のニーズを解決する方法を身につける。 (4)他職種との連携において口腔保健の専門性を活かした支援を計画できる。 (5)対象者に応じた口腔保健指導と業務記録ができる。 (6)施設のルールに従って院内感染予防、環境整備を実践できる。 (7)医療事故や潜在的医療事故に関する情報を報告することができる。 (8)実習の体験から解決すべき問題を発見し、文献検索により課題解決へと導く方法を身につける。 (9)倫理的配慮が必要な場面を挙げるができる。 (10)入院患者の一日の生活から他職種の援助内容を列挙する。 (11)入院患者の疾患、障害のメカニズムや経過、検査、治療について説明できる。 (12)入院患者の食事、口腔衛生への援助について考察する。 (9)、(10)、(11)、(12)は病棟実習での到達目標とする。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	地域口腔保健臨地実習
時間割コード	0528443101
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	3
主担当教員	淀川 尚子
科目区分	専門分野 口腔保健学科専門分野(臨地実習)

担当教員情報

教員名	
徳永 淳也、金子 憲章、北田 勝浩、筒井 睦、淀川 尚子、松尾 文、緒方 有希、十時 彩、志垣 留美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	地域住民の健康およびQOLの維持向上支援について口腔保健の観点から学ぶために、玉名市・玉東町・長洲町保健センターおよび熊本市区役所保健子ども課において実習する。住民の健康増進とのかわりの観点から、保健行政における歯科衛生士の役割を理解することができる。
履修上の注意事項	実習要項を熟読し、事前学習を行って実習に望むこと。 健康管理には特段の注意をして実習に望むこと。 毎日、まとめたレポートや実習記録を読み返して予習、復習すること。
評価方法	実習指導者評価(60%)と教員評価(40%)を併せて総合的に評価する。 フィードバックとして実習記録にコメントして返却する。
テキスト	最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版) 最新歯科衛生士教本 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学(医歯薬出版)
参考文献	臨地実習HAND BOOK 監修:真木吉信他
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	淀川尚子: 歯科衛生士として病院勤務経験 徳永淳也: 歯科医師として病院勤務経験 金子憲章: 歯科医師として病院勤務経験 北田勝浩: 歯科医師として病院勤務経験 松尾 文: 歯科衛生士として歯科医療機関勤務経験 緒方有希: 歯科衛生士として歯科医療機関勤務経験 志垣留美: 歯科衛生士として病院勤務経験 十時 彩: 歯科衛生士として病院勤務経験

授業計画

授業計画	
<p>1. 玉名市・玉東町・長洲町保健センター</p> <p>1) 住民の健康増進とのかわりの観点から、保健センターの機能を理解する。</p> <p>2) 住民の健康増進を目指す多職種連携を理解する。</p> <p>2. 熊本市区役所保健子ども課</p> <p>1) 熊本市における保健行政の概要を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士の役割を説明することができる。 ・各区役所保健子ども課の事業を類別することができる。 <p>2) 健診事業を体験する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科健診事業の実施手順を説明することができる。 ・受診者の健康上の問題を報告することができる。 ・多職種協働の具体例を記録することができる。 <p>3) 健康相談事業を体験する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージごとの事業を列挙できる。 <p>4) 普及啓発事業(健康教育)を体験する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習する健康教育の目的と方法を説明することができる。 ・普及啓発活動の実例を報告することができる。 <p>5) フッ化物応用を体験する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フッ化物塗布ならびフッ化物洗口における指導上の要点を説明することができる。 <p>事前: 事業ごとにまとめたレポートを読み返して予習すること。(30分) 事後: 実習記録を熟読し、実習指導者に説明できるようにすること。(30分)</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	発達支援臨地実習 (小児)
時間割コード	0528443201
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	3
主担当教員	志垣 留美
科目区分	専門分野 口腔保健学科専門分野 (臨地実習)

担当教員情報

教員名	
徳永 淳也、金子 憲章、北田 勝浩、筒井 睦、淀川 尚子、松尾 文、緒方 有希、十時 彩、志垣 留美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	(1)乳幼児の成長・発育を観察し、歯科衛生士として乳幼児に対する支援を考察する (2)保育・教育活動に参加し乳幼児の行動を観察し、理解する (3)保育・教育の場で働く職種の役割を理解し、連携の中で歯科衛生士としての役割を考察する
履修上の注意事項	実習要項の熟読および事前学習レポートを作成し、幼児の成長・発育について学習し実習に臨むこと。 健康管理には特段の優位をして臨むこと。 指定された身だしなみで実習すること。 先修科目(歯科診療医学 (小児・障がい児者)、地域口腔保健学実習)の単位認定された者。
評価方法	実習指導者評価(60%)、学内担当教員(30%)、科目担当者(10%)
テキスト	最新歯科衛生士教本 小児歯科学(医歯薬出版) 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論
参考文献	適宜、紹介する
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
<p>到達目標</p> <p>(1)実習配置された園児のクラスを中心に保育・教育活動に参加し、子どもの日常生活を観察する (2)対象園児の食事・遊び・清潔について、情報を整理することができる (3)保育士・幼稚園教諭等の乳幼児に対する支援を観察し、記録することができる (4)体験した生活自立(食事・清潔等)への援助を報告することができる (5)遊びを通じて園児とコミュニケーションすることができる (6)幼児の成長・発育段階を観察し、事前学習した内容と比較し、述べることができる (7)対象児に応じた口腔保健指導を立案・実施することができる (8)感染防止や事故防止、口腔清掃時の安全確保に配慮することができる (9)体験・観察したことから乳幼児の口腔保健に対する支援についての考えを述べるができる</p> <p>実習内容</p> <p>本実習の目的を達成するために以下の項目について積極的に取り組むこととする a実習配置された園児のクラスを中心に保育・教育活動に参加し、子どもの発達段階および日常生活の観察 b対象園児と関わり、食行動、清潔行動、遊び・コミュニケーションを観察する c生活自立(食行動、清潔行動)への援助 dリスクマネジメント(感染防止や事故防止、口腔清掃時の安全)の適切な実施 *カンファレンスの実施 オリエンテーション時に決定したテーマに基づき、実習施設において実習指導者参加のもとカンファレンス(発表および質疑応答：約30分程度)を実施する</p> <p>実習計画</p> <p>実習前指導 1日、保育所・幼稚園実習 5日、実習後指導 半日 *実習前に、配置施設を事前訪問しオリエンテーションを行う</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	発達支援臨地実習（高齢者）
時間割コード	0528443401
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	松尾 文
科目区分	専門分野 口腔保健学科専門分野（臨地実習）

担当教員情報

教員名	
徳永 淳也、金子 憲章、北田 勝浩、筒井 睦、淀川 尚子、松尾 文、緒方 有希、十時 彩、志垣 留美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	高齢者施設において、介護を必要とする高齢者の生活特性および健康課題を分析し、生活の質（QOL：Quality of Life）の向上をねらいとした口腔保健活動の在り方について理解を深め、多職種との協働やコミュニケーション技術を習得することが本実習の目的である。 生活する要介護高齢者を通して口腔保健活動について考えることができる。 口腔保健の役割と機能を理解することができる。
履修上の注意事項	実習要項を熟読し、事前学習を行って実習に臨むこと。 見分し実習した事柄は、実習に生かせるように考察をすること。
評価方法	評価項目は実習記録、レポート内容、評価割合は実習指導者評価（60%）、学内教員評価（40%）とする。
テキスト	最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 全国歯科衛生士教育協議会監修 松井恭平ほか編 医歯薬出版 歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション 日本歯科衛生士会監修
参考文献	介護保険施設における口腔ケア推進マニュアル 公益社団法人 日本歯科衛生士会
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	松尾 文：歯科衛生士として歯科医療機関勤務経験 金子憲章：歯科医師として病院勤務経験 北田勝浩：歯科医師として病院勤務経験 淀川尚子：歯科衛生士として病院勤務経験 緒方有希：歯科衛生士として歯科医療機関勤務経験 志垣留美：歯科衛生士として病院勤務経験 十時 彩：歯科衛生士として病院勤務経験

授業計画

授業計画

行動目標

- (1)医療人としての身だしなみで臨むことができる
- (2)高齢者施設の特徴を記述することができる
- (3)高齢者施設における他職種の役割を職種別に記録できる
- (4)口腔機能の維持向上をねらいとしたレクリエーションを実施することができる
- (5)介護を必要とする高齢者と非言語的な手段を使ってつながりをもつことができる
(笑顔, アイコンタクト, うなずき, 肩に手を触れる等)
- (6)介護を必要とする高齢者のADL・口腔状況を記録することができる
- (7)介護を必要とする高齢者のADL・口腔状況から健康課題を1つ以上挙げることができる
- (8)共通目標を念頭においたケアプランを立案し記述できる

実習内容

- 高齢者施設の見学
- 他職種の業務の見学
- 職員間で行われるカンファレンス等の傍聴による多職種連携の考察
- 身体機能訓練の見学および介助
- 入所者とのコミュニケーション
- レクリエーションの実施および参加(口腔機能の維持向上をねらいとした健口体操など)
- 担当入所者の情報収集
- 車いすによる移動等の援助
- 食事介助および見学
- 口腔ケアの見学および介助(機能訓練を含む)

高齢者施設で上記項目の実習を実施する。

学内で実習前指導、実習後指導を行い高齢者施設における口腔保健の役割と協働について学びを深める

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	障害児心理学
時間割コード	0528443601
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	水間 宗幸
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野

担当教員情報

教員名
水間 宗幸

詳細情報

授業の目的・到達目標	基本的な発達に基づいた人間理解を基盤とし、「障害」の多様な考え方を理解することができる。また、生涯発達支援の考え方に沿い、さまざまな障害の特性を理解し、適切な援助のあり方を考察することができるようになることを目的とする。
履修上の注意事項	予習・復習を行うこと。特に、次回の講義で扱う内容について、必ず教科書を読んでおくこと。
評価方法	総合的な学びの理解と確認のため筆記試験による評価を行う。
テキスト	改訂新版 障害児者の理解と教育・支援（金子書房） 橋本創一他編著
参考文献	授業の中で紹介
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	「障害」に対する考え方		
2	こころ・からだ・ことばの発達（1）		
3	こころ・からだ・ことばの発達（2）		
4	こころ・からだ・ことばの発達（3）		
5	社会性の発達と障害		
6	ことばの障害		
7	聞こえの障害		
8	視覚障害		
9	知的障害		
10	聴覚・言語障害		
11	身体障害（肢体不自由）		
12	発達障害 自閉症		
13	発達障害 アスペルガー障害、高機能 広汎性発達障害		
14	発達障害 学習障害		
15	発達障害 注意欠陥多動性障害		

基本情報

科目名	国際保健活動論
時間割コード	0528444901
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 1, 月 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	中川 武子
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野

担当教員情報

教員名
安藤 学、中川 武子、淀川 尚子、牛之濱 久代

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>【科目目的】国際保健活動の現状と課題および実際の活動を学び、国際保健活動に貢献できる能力を養う。</p> <p>【到達目標】国際保健活動の現状を学び、その課題を考察することができる。国際保健活動の展開方法を理解し、実践できる能力を養うことができる。人々の健康的な生活支援に必要な情報を科学的・論理的に分析する能力を身につけることができる。</p>
履修上の注意事項	<p>事前学習：教科書の該当範囲を読むこと。(120分以上)</p> <p>事後学習：講義内容を基に配布資料を確認整理すること。(120分以上)</p> <p>国内外の保健活動に関する情報を常に入手しておくこと。</p>
評価方法	<p>試験(50%)・課題レポート(50%)</p> <p>課題レポートはコメントして返却します。</p>
テキスト	系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学 医学書院 2021年度版
参考文献	<p>日本国際保健医療学会編 国際保健医療学 第3版 杏林書院</p> <p>一般社団法人厚生労働統計協会編 国民衛生の動向 2020/2021</p>
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>中川：看護師として病院勤務経験、保健師として保健センター勤務経験、イギリスにて病院勤務経験</p> <p>牛之濱：看護師・助産師として病院勤務経験 インドネシアで調査経験</p> <p>淀川：歯科衛生士として病院勤務経験、ミャンマーにて活動経験</p> <p>特別講師：看護師として病院勤務経験、国際保健支援活動経験</p>

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	講義：世界の健康課題と国際支援活動(中川)	<p>事前：テキストの該当部分を読んでおくこと</p> <p>事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと</p>	
2	講義：グローバルヘルス(中川)	<p>事前：テキストの該当部分を読んでおくこと</p> <p>事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと</p>	
3	講義：国際機関・国際協力と国際保健活動(淀川)	<p>事前：テキストの該当部分を読んでおくこと</p> <p>事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと</p>	
4	講義：国際保健活動の実際(1)(淀川)	<p>事前：テキストの該当部分を読んでおくこと</p> <p>事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと</p>	
5	講義：国際社会における支援の対象(中川)	<p>事前：テキストの該当部分を読んでおくこと</p> <p>事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと</p>	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	講義：国際保健活動の展開（中川）	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと	
7	講義：感染症対策における支援（中川）	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと	
8	講義：母子保健分野における支援（牛之濱）	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと	
9	講義：紛争における支援（安藤）	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと	
10	講義：国際的な災害救護と支援（中川）	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと	
11	講義：国家・地域間の健康格差（中川）	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと	
12	講義：在留外国人の保健医療の現状と課題（中川）	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと	
13	講義：国際保健活動の実際（2）（特別講師）	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと	
14	講義：国際保健活動の実際（3）（特別講師）	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと	
15	講義：国際保健分野における支援者の役割（中川）	事前：テキストの該当部分を読んでおくこと 事後：講義資料を踏まえてまとめておくこと	

基本情報

科目名	研究方法論
時間割コード	0528445001
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	金子 憲章
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野

担当教員情報

教員名
徳永 淳也、金子 憲章、北田 勝浩、筒井 睦、淀川 尚子、松尾 文

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は科学的研究とは何かを学び、学修者は一般的な歯学領域やそれに関連する分野の著書、専門分野の学術雑誌掲載論文などを参考にしながら理解し、科学的思考や科学的方法論を学ぶことができる。また、4年生において行われる卒業研究・卒業論文をふまえて、学生がテーマを考えるための方法論と卒業研究・卒業論文の執筆に対する考えかたを構築することができる。
履修上の注意事項	必要な場合、一部は講義中に資料を配布する。次授業項目についてテーマの関連内容をネット検索及び研究関連図書で把握し、予習してくること(20分)、また授業後は復習すること(100分)。
評価方法	授業担当者が、授業ごとにレポート・小テスト等で評価し、フィードバックとしてレポートにはコメントして返却し、小テストについては解答・解説する。担当教員が授業時間ごとに成績を評価する。 必要であれば、教員が学生評価について個々に対応するため再試験は行わない。
テキスト	教科書は使用しない。
参考文献	歯科衛生研究の進め方 論文の書き方 第2版 日本歯科衛生学会 監修：武井典子他 医歯薬出版
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	金子憲章・徳永淳也・北田勝浩：歯科医師として大学附属病院での実務経験がある。 淀川尚子・松尾文：歯科衛生士として歯科医院での実務経験がある。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	研究とは：意義(金子)		
2	研究テーマに対する考え方：テーマの選択(金子)		
3	研究計画とその考え方(未定)		
4	研究の進め方(未定)		
5	実験研究(北田)		
6	文献検索の方法と整理法(松尾)		
7	研究テーマの設定(淀川)		
8	研究の倫理(未定)		
9	データの収集・解析(北田)		
10	統計学(徳永)		
11	統計処理(徳永)		
12	疫学の実際(徳永)		
13	論文作成の手順・論文の構成(未定)		
14	プレゼンテーションの方法(未定)		
15	卒業研究報告書と卒業論文との違い(未定)		

基本情報

科目名	卒業研究
時間割コード	0528445101
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	金子 憲章
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野(選必3)

担当教員情報

教員名	
金子 憲章	

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は専門科目・実習等をすべて終了したのち、学修者は口腔保健学科で3年間学んだことを基礎に、口腔保健学に相応した研究テーマを探り、卒業研究のテーマを決定する。文献的考察および教員の指導のもとにテーマに対する理解を深め、その内容を卒業研究報告書にまとめることができる。
履修上の注意事項	教員の指導のもとで自習的にテーマについて研究する。事前にテーマについて調べてくる(90分)。授業時間中に検討した内容について、授業後に再度検討する(30分)。
評価方法	卒業研究報告書80%、ディスカッションの内容20%。 フィードバックは卒業研究報告書作成中に内容についての指導として行う。
テキスト	特に使用しない。
参考文献	テーマに即した文献検索ができない場合は、必要な文献を紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	歯科医師として大学附属病院での実務経験がある。

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	卒業研究概要説明(研究の方針、研究の進め方)		
2	テーマの検討、文献検索		
3	テーマの検討、文献検索		
4	テーマの検討、文献検索		
5	テーマの検討、文献検索		
6	卒業研究の構成・文献検索:指導		
7	卒業研究の構成・文献検索:指導		
8	卒業研究の構成・文献検索:指導		
9	卒業研究の構成・文献検索:指導		
10	卒業研究の構成・文献検索:指導		
11	卒業研究報告書作成		
12	卒業研究報告書作成		
13	卒業研究報告書作成(校正)		
14	卒業研究報告書作成(校正)		
15	卒業研究報告書作成(最終校正)		

基本情報

科目名	卒業研究
時間割コード	0528445103
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	徳永 淳也
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野(選必3)

担当教員情報

教員名
徳永 淳也

詳細情報

授業の目的・到達目標	口腔保健学が対象とすべき諸問題を人間のライフステージやコミュニティという枠組みの中で、客観的に捉え、分析、総括する力を育てることを目的とする。専門的理論と知識に加えて学生自身の問題意識を手がかりとして、個別テーマを設定し、集団討議、指導教員とのディスカッションを通じて研究報告書を作成する。その過程で文献やデータを批判的に吟味する力、論理的思考力ならびに表現力を身につけることが目標である。
履修上の注意事項	ゼミ形式の演習形態をとり、内容の順序性、階層性を各講義が持っているため、単位認定は全回出席を基本として行う。また、論文抄読には、活発な議論を助けるために各自が事前にレジメを作成して出席し、自分の研究テーマを論理的に説明できるよう準備学習をすること。(120分)
評価方法	集団討議の内容40%、研究報告書の評価(客観性、論理性、結果分析等)60%の割合で評価する。
テキスト	特に指定しない。
参考文献	特に指定しない。プリントを配布する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
各授業や指導において、自分のテーマに関する問題意識を持ち事前学修して臨むこと(1時間) 指導時に紹介された考え方や事項について、論文や文献検索を丁寧にいき事後学修に取り組むこと(1時間)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	1.研究活動概論(研究とは何か)		
2	2.研究テーマの検討(問題意識の研究テーマへの高め方)		
3	3.文献検索の方法(情報はどこにどのような形で存在するか)		
4	4.コンピュータによる文献検索の実際(データベース活用法)		
5	5.文献整理方法の理解(思考を誘う情報整理とは)		
6	6.論文抄読(論文の構造と内容についての解説と理解)		
7	7.論文抄読(論文評価の要点とは)		
8	8.論文抄読(論文サマリーの作成方法について)		
9	9.研究計画書作成(研究テーマ、デザイン決定方法の解説と理解)		
10	10.研究計画書の作成(研究における倫理的配慮とは)		
11	11.データ分析(統計学概論とコンピュータによるデータ管理)		
12	12.統計ソフトによる統計分析事例紹介(統計パッケージの種類と使用方法)		
13	13.分析結果の読み方		
14	14.考察(考察の論文における意味の理解と具体的展開方法)		

授業計画

各授業や指導において、自分のテーマに関する問題意識を持ち事前学修して臨むこと(1時間)

指導時に紹介された考え方や事項について、論文や文献検索を丁寧に行い事後学修に取り組むこと(1時間)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
15	15. 論文の各構成要素間の整合性の取り方と効果的執筆		

基本情報

科目名	卒業研究
時間割コード	0528445104
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	北田 勝浩
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野(選必修3)

担当教員情報

教員名	
北田 勝浩	

詳細情報

授業の目的・到達目標	学んだ専門的理論と知識、口腔保健推進の視点をもとに、学生個人が抱いた問題意識を手がかりとして、主体的に研究テーマを設定する。文献検索や社会調査手法等を援用しながら、テーマについての研究活動を実施し、論理的思考能力の醸成をはかる。活動報告書を作成し研究テーマを総括することにより、口腔保健学を科学的に推進することができる。
履修上の注意事項	問題意識を持ち、主体的に研究を行うように努める。実施にあたっては、進捗状況を確認しながら、個別の指導・対応となる。 卒業研究報告書は、口腔保健学科の卒業研究報告書執筆要領に従い作成し、定められた手続きを経て期日内に提出する。
評価方法	日常的学習成果(40%)、卒業研究報告書(60%)を総合して評価する。
テキスト	
参考文献	歯科衛生研究の進め方 論文の書き方 第2版：武井典子、金澤紀子、合場千佳子、石井拓男、岩久正明 編(医歯薬出版) 他、適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	北田勝浩：歯科医師として大学，大学院および大学附属病院勤務経験

授業計画

授業計画	
知的興味および将来の方向性に沿ってテーマを選定し、計画・立案に基づいて研究論文の系統的検索を実施する。その結果を卒業研究報告書にまとめることにより、研究への理解と意欲を培う。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	卒業研究の概要		
2	歯科衛生研究の考え方		
3	研究のプロセスと成果発表(1)：主な研究方法、研究の進め方とまとめ方		
4	研究のプロセスと成果発表(2)：研究成果の発表の仕方		
5	研究成果のまとめ方		
6	研究計画の検討 テーマの検討、研究概要の検討、情報収集・文献検索の実施		
7	研究題目、研究計画の決定		
8	研究の実施(1)：研究論文の系統的検索		
9	研究の実施(2)：研究論文の系統的検索、検索論文の科学的吟味		
10	研究の実施(3)：研究論文の系統的検索、検索論文の科学的吟味		
11	研究の実施(4)：検索論文の科学的吟味		
12	卒業研究報告書作成(1)		
13	卒業研究報告書作成(2)		

授業計画

知的興味および将来の方向性に沿ってテーマを選定し、計画・立案に基づいて研究論文の系統的検索を実施する。その結果を卒業研究報告書にまとめることにより、研究への理解と意欲を培う。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	卒業研究報告書作成（3）		
15	卒業研究報告書完成、提出		

基本情報

科目名	卒業研究
時間割コード	0528445105
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	古賀 由紀子
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野(選必3)

担当教員情報

教員名	
古賀 由紀子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	研究の方法を学び、研究論文を作成する過程を通して専門職として研究できる力を養う。
履修上の注意事項	初期の段階では、ゼミ生全員で進めていくが、途中からはそれぞれの課題と進捗状況により個別指導となる。 個別指導を受ける前は、前時に出された課題を行っておくこと。個別指導になった時は、自ら連絡を取り時間調整し指導を受けること。
評価方法	課題の報告状況、成果物、プレゼンを総合評価する。
テキスト	必要に応じてプリントを配付する。
参考文献	
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション		
2	論文抄読 提示論文を読み討論を行う		
3	論文抄読 各自選定論文を読み討論		
4	論文の概要を知る(論文の構成)		
5	研究計画書について		
6	テーマの検討		
7	先行研究の調査について		
8	研究計画(テーマ、方法、資料、スケジュール)		
9	テーマに沿った資料・文献収集・整理		
10	論文執筆 執筆要領について、引用文献等		
11	論文執筆 序論、方法		
12	論文執筆 結果、考察		
13	論文執筆 結語、要旨		
14	卒業研究の確認		
15	卒業研究の校正・最終確認		

基本情報

科目名	卒業研究
時間割コード	0528445106
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	淀川 尚子
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野(選必修3)

担当教員情報

教員名	
淀川 尚子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	ライフステージやコミュニティの視点から人間の口腔保健に関わる諸問題をテーマに本質を探究する力を習得する。研究活動を通して、研究対象への関心を深め、理論的思考をもって取り組み、研究報告書を作成する力を習得できる。
履修上の注意事項	ゼミ形式 論文抄読においては事前にサマリーを準備して討議に臨み、討議内容を研究に活かしていくこと。
評価方法	卒業研究報告書の内容(60%)、デスカッションの内容(40%)を総合的に判断する。 フィードバックとして報告書の内容およびディスカッション時にコメントする。
テキスト	適宜配布する。
参考文献	適宜配布する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	淀川尚子：歯科衛生士として病院勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	卒業研究の概論(研究の意義)	事前:研究テーマを考える。(60分) 事後:論文を検索する。(60分)	
2	研究倫理	事前:研究テーマについて説明できるようにする。(60分) 事後:論文を検索する。(60分)	
3	研究テーマの検討	事前:研究テーマについて説明できるようにする。(60分) 事後:論文を検索する。研究テーマと目的をまとめる。(60分)	
4	文献検索の方法と活用	事前:研究テーマと目的について説明できるようにする。(60分) 事後:論文を検索する。(60分)	
5	論文抄読(論文の構造と内容、サマリ-の作成方法)	事前:研究テーマと目的について説明できるようにする。(60分) 事後:論文を検索してサマリーを作成する。(60分)	
6	研究計画書の作成方法	事前:作成したサマリーを読み説明できるようにする。(60分) 事後:論文を検索する。研究計画書を作成する。(60分)	
7	研究計画書の作成	事前:研究計画書について説明できるようにする。(60分) 事後:研究計画書を修正する。論文を検索してサマリーにまとめる。(60分)	
8	調査および分析:論文抄読(集団討議)	事前:作成したサマリーを読んで討議の準備をする。(60分) 事後:研究報告書を執筆する。論文を検索してサマリーを作成する。(60分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	調査および分析：論文抄読（個人討議）	事前：作成したサマリーを読んで討議の準備をする。（60分） 事後：研究報告書を執筆する。論文を検索してサマリーを作成する。（60分）	
10	調査および分析：論文抄読（集団討議）	事前：作成したサマリーを読んで討議の準備をする。（60分） 事後：研究報告書を執筆する。論文を検索する。（60分）	
11	調査および分析：論文抄読（個人討議）	事前：作成した研究報告書を読んで討議の準備をする。（60分） 事後：研究報告書を執筆する。論文を検索する。（60分）	
12	結果および考察：個人討議	事前：作成した研究報告書を読んで討議の準備をする。（60分） 事後：研究報告書を執筆する。論文を検索する。（60分）	
13	結果および考察：集団討議	事前：作成した研究報告書を読んで説明できるようにする。（60分） 事後：研究報告書を執筆する。論文を検索する。（60分）	
14	研究報告書の作成：発表	事前：作成した研究報告書を読んで発表の準備をする。（60分） 事後：研究報告書を執筆する。（60分）	
15	研究報告書の作成：形式と執筆規則	事前：研究テーマについて説明できるようにする。（60分） 事後：研究報告書を熟読して説明できるようにする。（60分）	

基本情報

科目名	卒業研究
時間割コード	0528445107
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	松尾 文
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野(選必3)

担当教員情報

教員名
松尾 文

詳細情報

授業の目的・到達目標	学生個人が抱いた問題意識を手がかりとして研究テーマを設定し、総括する力を身につける。テーマに沿った文献を検索することができる 論文や文献を客観的に評価し、まとめることができる 研究者の意図を理解し、自分の意見を述べる事ができる 執筆要領に準じた卒業研究報告書を作成することができる
履修上の注意事項	自分のテーマに関する基礎知識は、主体的に予習・復習して臨むこと(120分)。
評価方法	卒業研究報告書(60%)、抄読におけるレジュメ・ディスカッションの内容(40%) フィードバックは随時ゼミにて行います。
テキスト	適宜指示する。
参考文献	
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション(研究プロセス、文献検索について)	・事前 自分の研究テーマに関する先行研究を調べる(60分) ・事後 学んだ内容をノートに整理し、自分の考察をノートにまとめる。(60分)	
2	論文の抄読	・事前 論文の抄読、レジュメ作成、発表のリハーサルを行う(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
3	研究テーマ決定	・事前 論文の抄読、レジュメ作成、発表のリハーサルを行う(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
4	各テーマの現状を理解し、問題意識を明確にする	・事前 論文の抄読、レジュメ作成、発表のリハーサルを行う(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	各テーマの歴史的背景を理解する	・事前 論文の抄読、レジュメ作成、卒業研究論文を書き進める(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
6	研究計画	・事前 研究計画を立案する(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
7	先行研究の抄読と討議	・事前 論文の抄読、レジュメ作成、卒業研究論文を書き進める(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
8	先行研究の抄読と討議	・事前 論文の抄読、レジュメ作成、卒業研究論文を書き進める(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
9	先行研究の抄読と討議	・事前 論文の抄読、レジュメ作成、卒業研究論文を書き進める(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
10	先行研究の抄読と討議（英語論文）	・事前 論文の抄読、レジュメ作成、卒業研究論文を書き進める(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
11	先行研究の抄読と討議（英語論文）	・事前 論文の抄読、レジュメ作成、卒業研究論文を書き進める(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
12	卒業研究報告書の作成	・事前 論文の抄読、レジュメ作成、卒業研究報告書を書き進める(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
13	卒業研究報告書の作成	・事前 論文の抄読、レジュメ作成、卒業研究報告書を書き進める(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
14	卒業研究報告書の作成	・事前 論文の抄読、レジュメ作成、卒業研究報告書を書き進める(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
15	卒業研究報告書の作成 (最終)	<ul style="list-style-type: none"> ・事前 論文の抄読、レジюме作成、卒業研究報告書を書き進める(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分) 	

基本情報

科目名	卒業研究
時間割コード	0528445108
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	緒方 有希
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野(選必3)

担当教員情報

教員名
緒方 有希

詳細情報

授業の目的・到達目標	自分が明らかとしたいテーマを深く掘り下げ、卒業研究報告書を作成する過程で、解決策を探る手法を身につけることができる。
履修上の注意事項	研究テーマについて、先行研究および自分の研究に関する考察をレジメにまとめ、ゼミでディスカッションをしながら進める。
評価方法	レジメ、ディスカッション等の授業(40%)、卒業研究報告書(60%)で評価する。フィードバックとしてレジメおよびディスカッションの内容に対するコメントを行う。
テキスト	適宜配布する。
参考文献	適宜配布する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	緒方有希：歯科衛生士として歯科診療所勤務経験

授業計画

授業計画
事前学修：先行研究および自分の研究に関する考察をレジメにまとめておくこと。(1時間/週)
事後学修：ディスカッションした内容や考察した事柄について振り返りを行い、先行研究を読み進めておくこと。(1時間/週)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	卒業研究の概要について		
2	問題意識と研究テーマ グループワーク		
3	論文構成・文献検索方法・レジメの書き方		
4	思考マップ作成 グループワーク		
5	倫理的配慮・個人情報について		
6	研究テーマの検討 グループワーク、ディスカッション		
7	研究計画書作成		
8	調査および分析1 ディスカッション		
9	調査および分析2 ディスカッション		
10	調査および分析3 ディスカッション		
11	調査および分析4 ディスカッション		
12	卒業研究報告書作成1 ディスカッション		
13	卒業研究報告書作成2 ディスカッション		
14	卒業研究報告書作成3 ディスカッション		
15	卒業研究報告書発表、提出 プレゼンテーション		

基本情報

科目名	卒業研究
時間割コード	0528445109
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	十時 彩
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野(選必3)

担当教員情報

教員名
十時 彩

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は、保健・医療・福祉の多領域にわたる活動を可能とする論理的思考力と問題解決能力を養うことを目的とする。口腔保健に関する研究および方法について学び、各学生が関心のあることについて研究テーマを決定し、そのテーマについて文献検索を行い、先行研究結果等に基づき、研究報告書を作成する。
履修上の注意事項	研究テーマに関連した文献検索を行い、要点をまとめて発表を行うこと。(30分)
評価方法	研究報告書60%、履修態度・ディスカッション等40%の総合評価
テキスト	適宜指示する。
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	歯科衛生士として急性期病院で入院患者の口腔ケア等の口腔マネジメント・摂食嚥下リハビリテーションの勤務経験あり。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション 研究方法について	文献検索・レジюме作成(2時間)	
2	論文の抄読	文献検索・レジюме作成(2時間)	
3	研究テーマの検討	文献検索・レジюме作成(2時間)	
4	論文の抄読・ディスカッション	文献検索・レジюме作成(2時間)	
5	論文の抄読・ディスカッション	文献検索・レジюме作成(2時間)	
6	研究テーマの決定	文献の整理、まとめ、研究テーマを検討する(2時間)	
7	研究報告書の作成	報告書作成のために文献を整理し、理解を深める(2時間)	
8	先行研究の抄読・ディスカッション	文献検索・レジюме作成(2時間)	
9	先行研究の抄読・ディスカッション	文献検索・レジюме作成(2時間)	
10	先行研究の抄読・ディスカッション	文献検索・レジюме作成(2時間)	
11	先行研究の抄読・ディスカッション	文献検索・レジюме作成(2時間)	
12	卒業研究報告書の作成	報告書作成のために文献を整理し、理解を深める(2時間)	
13	卒業研究報告書の作成	報告書作成のために文献を整理し、理解を深める(2時間)	
14	卒業研究報告書の作成	報告書作成のために文献を整理し、理解を深める(2時間)	
15	卒業研究報告書の作成(最終)	報告書作成のために文献を整理し、理解を深める(2時間)	

基本情報

科目名	卒業研究
時間割コード	0528445110
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	薄井 由枝
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野(選必修3)

担当教員情報

教員名	
薄井 由枝	

詳細情報

授業の目的・到達目標	口腔保健学科で学んだ基礎を口腔保健学に対応したテーマへと展開していく。臨床で行われている様々な手法や患者の医療行動から調査・探索したい課題を見つけ、文献考察や教員とのディスカッションをとおして理解を深め、卒業研究報告書としてまとめる。
履修上の注意事項	指導教員のもとで主体的に研究をおこなう。
評価方法	卒業研究報告書70% ディスカッションの主体的参加度の評価30%。フィードバックとしてそれぞれの提出物にコメントをして返却します。
テキスト	特に使用しない。
参考文献	必要であれば適宜文献紹介をおこなう。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	薄井由枝：修士課程・博士課程において研究方法を習得し現在も研究活動を行っている。

授業計画

授業計画	
論文は研究成果を広く公表するために書くものなので、わかりやすいこと、不明点がないこと、論理や用語が一貫していることなどが要件である。 そのために、下記のスケジュールに従って、論文作成のルールを学びながら主体的に取り組み、自身が興味を持った課題の結果は何だったのか、どのように考察したのか、結論として何が言えるかに焦点をおいた論文(成果物)を作り上げ、発表する。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	卒業研究概要の説明	事前：口腔保健に関連する課題を探索する	
2	文献検索法について	事前：口腔保健に関連する課題を探索する	
3	テーマの検討・文献検索	事前：口腔保健に関連する課題を検討し、数題に絞る	
4	テーマの検討・文献検索	事前：2 - 3の課題を考える	
5	研究の構成・研究倫理	事前：先行文献を読み、論文の構成を理解しておく	
6	研究プロトコルの作成	事前：選択した研究方法で計画をたてる	
7	研究の実施	事前：検索した論文を読む	
8	研究の実施	事前：検索した論文を読む	
9	研究の実施	事前：検索した論文を読む	
10	研究の実施	事前：読んだ論文を要約する	
11	卒業研究報告書作成	事前：報告書を書く	
12	卒業研究報告書作成	事前：報告書を書く	
13	卒業研究報告書作成(校正)	事前：報告書の校正を行う	
14	卒業研究報告書作成(最終校正)	事前：報告書の最終校正ができるように論文を整える	
15	卒業研究報告書の完成と発表	事前：論文を完成させ発表の準備を行う	

基本情報

科目名	卒業研究
時間割コード	0528445111
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	志垣 留美
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野(選必3)

担当教員情報

教員名
志垣 留美

詳細情報

授業の目的・到達目標	これまでの学内講義・演習、臨地・臨床実習を通して関心を持ったことや問題意識の中からテーマを決める。 研究の手順と方法の基礎を学び、客観的な視点で考察をし卒業研究報告書を作成する。
履修上の注意事項	ゼミ形式
評価方法	成果物(70%)、履修態度・レポート・発表・討議内容など(30%)で評価する。
テキスト	適宜紹介する。
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション	【事前学修】卒業論文作成について書籍を通読 【事後学修】要点の整理と課題への対応	
2	研究の進め方	【事前学修】研究の進め方についてレジюме作成 【事後学修】研究の進め方について、修正後確認	
3	文献検索	【事前学修】検索した文献リストの作成 【事後学修】文献表の完成	
4	研究テーマの決定	【事前学修】テーマの概要についてレジюме作成 【事後学修】レジюме修正、完成	
5	研究計画書の作成	【事前学修】研究計画書の作成 【事後学修】研究計画書の修正、完成	
6	文献検索・発表・討議	【事前学修】文献表の作成 【事後学修】文献表の完成、新資料の検索	
7	文献検索・発表・討議	【事前学修】文献表の作成 【事後学修】文献表の完成、新資料の検索	
8	文献検索・発表・討議	【事前学修】文献表の作成 【事後学修】文献表の完成、新資料の検索	
9	文献検索・発表・討議	【事前学修】文献表の作成 【事後学修】文献表の完成、新資料の検索	
10	文献検索・発表・討議	【事前学修】文献表の作成 【事後学修】文献表の完成	
11	卒業研究報告書の作成	【事前学修】目次、緒言の作成 【事後学修】目次、緒言の完成	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	卒業研究報告書の作成	【事前学修】結果、考察の作成 【事後学修】結果、考察の完成	
13	卒業研究報告書の作成	【事前学修】「まとめ」の作成 【事後学修】「まとめ」の完成	
14	卒業研究報告書の作成（校正）	【事前学修】校正・点検 【事後学修】校正・点検・完成	
15	卒業緒研究報告書完成	【事前学修】要旨の作成 【事後学修】要旨の完成	

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0528445201
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	金子 憲章
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野(選必3)

担当教員情報

教員名
金子 憲章

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は口腔保健学科で3年間学んだことを基礎に、学修者は口腔保健学に相応した研究テーマを探り、教員の指導と文献的考察により卒業研究論文のテーマを決定する。必要なデータ収集(実験も含む)を行い、卒業研究論文としてまとめることができる。また、研究内容のプレゼンテーションおよび質疑応答ができる。
履修上の注意事項	テーマを決定したら、文献検索によりデータ収集方法(実験方法)を本人が模索する。必要な場合のみ教員が指導を行う。文検等の内容については事前に内容を把握する(60分)。授業後、文献等を再検討する。(60分)。
評価方法	卒業研究論文80%、ディスカッションの内容20% フィードバックは卒業研究論文作成中に内容についての指導として行う。
テキスト	特に使用しない。
参考文献	テーマに即した文献検索ができない場合は、必要な文献検索を紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	歯科医師として大学附属病院での実務経験がある。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	卒業研究論文概要説明(研究方針・進め方)		
2	テーマの選択・文献の検索		
3	テーマの選択・文献の検索		
4	テーマの選択・文献の検索		
5	テーマの選択・文献の検索卒業研究論文の構成・作成		
6	研究方法の選択(実験も含む)・文献の検索		
7	研究方法の選択(実験も含む)・文献の検索		
8	研究方法の選択(実験も含む)・文献の検索		
9	研究方法の選択(実験も含む)・文献の検索		
10	データの収集(実験も含む)・文献の検索		
11	データの収集(実験も含む)・文献の検索		
12	データの収集(実験も含む)・文献の検索		
13	データの収集(実験も含む)・文献の検索		
14	データの収集(実験も含む)・文献の検索		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	データの収集（実験も含む）・文献の検索		
16	データの収集（実験も含む）・文献の検索		
17	データの収集（実験も含む）・文献の検索		
18	データの収集（実験も含む）・文献の検索		
19	データの収集（実験も含む）・文献の検索		
20	卒業研究論文の構成・作成		
21	卒業研究論文の構成・作成		
22	卒業研究論文の構成・作成		
23	卒業研究論文の構成・作成		
24	卒業研究論文の構成・作成		
25	卒業研究論文の構成・作成		
26	卒業研究論文の構成・作成		
27	卒業研究論文発表会準備		
28	卒業研究論文発表会準備		
29	卒業研究論文発表会		
30	卒業研究論文の最終校正		

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0528445203
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	徳永 淳也
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野(選必3)

担当教員情報

教員名
徳永 淳也

詳細情報

授業の目的・到達目標	口腔保健の抱える諸問題をモチーフとして、人間のライフステージやコミュニティという視点から学際領域の知見を援用し、事象の本質に拘った課題設定とその探究が口腔保健学の推進にとって不可欠である。口腔保健学教育の総括として、客観的分析力、論理的思考力を涵養しながら、研究対象を深く理解しようとする態度と方法の修得をはかることが目標であり、科学的手続きに則って問題意識を捉えることの重要性や研究事象に対するアプローチ手順を理解し、創造的な研究活動を行う能力と視野の醸成を目指す。
履修上の注意事項	本科目は、通年の研究活動となり登録後の履修変更はできないため、卒論執筆要項を熟読し求められる事項を本科目は、通年の研究活動となり登録後の履修変更はできないため、卒論執筆要項を熟読し求められる事項を
評価方法	論文作成の各段階における討議内容(問題意識、着想、研究過程等)30%、成果物である論文70%で評価する。
テキスト	特に指定しない。
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	研究をとらえる視座(概論)		
2	研究方法論概論		
3	問題意識の発掘		
4	研究領域とテーマ		
5	研究テーマの批判的吟味		
6	研究領域の確認と文献検索		
7	文献の読み方と評価の仕方		
8	調査項目および対象者の決定		
9	研究フィールドとの調整方法、倫理的配慮		
10	分析方法、枠組みの決定		
11	バイアスの理解とコントロール		
12	研究計画書の作成		
13	調査時のデータ管理		
14	データクリーニング		
15	研究計画書の作成		
16	データ分析の実際、変数間の関連の検討		
17	データ分析の実際、多変量を用いた分析		
18	結果の要約		
19	結果表の作成		
20	論文構成の確認		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
21	論文執筆、緒言で書くべきこと		
22	論文執筆、対象と方法の記述方法		
23	論文執筆、結果表の作成と書き方		
24	論文執筆、考察の構成		
25	論文執筆、緒言と考察の位置づけ		
26	論文執筆、要約の仕方		
27	論文構成と論理展開の確認		
28	プレゼンテーションの意義と方法		
29	プレゼンテーション資料作成指導		
30	対象者への報告の意義とその方法		

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0528445204
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	北田 勝浩
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野(選必3)

担当教員情報

教員名	
北田 勝浩	

詳細情報

授業の目的・到達目標	学んだ専門的理論と知識、口腔保健推進の視点をもとに、学生個人が抱いた問題意識を手がかりとして、主体的に研究テーマを設定する。文献検索や社会調査手法等を援用しながら、テーマについての研究活動を実施し、論理的思考能力の醸成をはかる。卒業研究論文を作成し研究テーマを総括することにより、口腔保健学を科学的に推進することができる。
履修上の注意事項	問題意識を持ち、主体的に研究を行うように努める。実施にあたっては、進捗状況を確認しながら、個別の指導・対応となる。 卒業研究論文は、口腔保健学科の卒業研究論文執筆要領に従い作成し、定められた手続きを経て期限内に提出する。
評価方法	日常的学習成果(20%)、卒業研究論文(60%)、卒業研究成果発表(20%)を総合して評価する。
テキスト	
参考文献	歯科衛生研究の進め方 論文の書き方 第2版：武井典子、金澤紀子、合場千佳子、石井拓男、岩久正明 編（医歯薬出版） 他、講義の中で適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	北田勝浩：歯科医師として大学，大学院および大学附属病院勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	卒業研究の概要		
2	歯科衛生研究の考え方		
3	主な研究方法、研究の進め方とまとめ方		
4	研究成果の発表の仕方		
5	研究成果のまとめ方		
6	テーマおよび研究概要の検討		
7	検索論文の吟味に基づく研究計画の検討		
8	研究題目、研究計画の決定		
9	研究の実施(1)		
10	研究の実施(2)		
11	研究の実施(3)		
12	研究の実施(4)		
13	研究の実施(5)		
14	研究の実施(6)		
15	研究の実施(7)		
16	研究の実施(8)		
17	研究の実施(9)		
18	研究の実施(10)		
19	研究の実施(11)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
20	研究の実施（12）		
21	研究の実施（13）		
22	研究の実施（14）		
23	研究の実施（15）		
24	研究結果のまとめ		
25	卒業研究論文作成（1）		
26	卒業研究論文作成（2）		
27	卒業研究論文作成（3）		
28	卒業研究論文作成（4）		
29	卒業研究論文完成、提出、成果発表準備		
30	卒業研究成果発表		

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0528445205
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	古賀 由紀子
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野(選必3)

担当教員情報

教員名
古賀 由紀子

詳細情報

授業の目的・到達目標	研究の方法を学び、研究論文を作成する過程を通して創造的かつ科学的に研究することができる。
履修上の注意事項	初期段階では、全員での一斉塩津を行うが、課題が設定され計画的に自ら取り組んでいく段階になると、進捗状況により個別指導となる。個別指導に当たっては、前回出された課題をクリアして指導に臨むこと。
評価方法	中間発表、最終発表、成果物により評価する。
テキスト	必要に応じてプリントを配布する。
参考文献	
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション		
2	論文抄読 提示論文を読み討論を行う		
3	論文抄読 各自選定論文を読み討論		
4	論文抄読 各自選定論文を読み討論		
5	論文の概要を知る(論文の構成)		
6	研究計画書について		
7	テーマの検討		
8	先行研究の調査		
9	先行研究の調査の発表		
10	研究計画(テーマ)		
11	研究計画(資料、研究スケジュール)		
12	研究計画(対象、方法の検討)		
13	テーマに沿った資料・文献収集		
14	資料文献整理		
15	研究方法に沿ってデータ収集		
16	研究方法に沿ってデータの収集		
17	データの整理		
18	データの分析		
19	中間発表会と研究協議		
20	論文執筆 執筆要領について		
21	論文執筆 図表・引用文献等		
22	論文執筆 序論、方法		
23	論文執筆 結果、考察		
24	論文執筆 結語、要旨		
25	研究発表		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
26	論文執筆 校正		
27	卒業研究論文の確認		
28	卒業研究論文の最終確認		
29	研究論文発表と研究協議		
30	最終校正と製本		

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0528445206
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	淀川 尚子
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野(選必3)

担当教員情報

教員名
淀川 尚子

詳細情報

授業の目的・到達目標	ライフステージおよびコミュニティの視点から人間の口腔保健にかかわる諸問題をテーマに本質を探究する力を滋養する。研究活動を通して研究対象への関心を深め、論理的思考および倫理的態度をもって論文を作成する力を習得できる。
履修上の注意事項	ゼミ方式 論文抄読においては事前にサマリーを準備して討議に臨み、討議内容を研究に活かすこと。
評価方法	卒業研究論文の内容(40%)、ディスカッションの内容(40%)、プレゼンテーション(20%)を総合的に判断する。 フィードバックとして論文内容およびディスカッション時、プレゼンテーション時にコメントする。
テキスト	適宜配布する。
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	淀川尚子：歯科衛生士として病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	卒業研究の概論(研究の意義)	事前：研究テーマを考える。(60分) 事後：研究目的と研究の意義を考える。(60分)	
2	研究テーマの検討	事前：研究テーマについて説明できるようにする。(60分) 事後：文献を検索する。(60分)	
3	文献検索の方法と活用	事前：研究テーマと目的について説明できるようにする。(60分) 事後：論文を検索する。(60分)	
4	論文抄読(論文の構造と内容)	事前：研究計画を考える。(60分) 事後：論文を検索する。(60分)	
5	論文抄読(論文サマリーの作成方法)	事前：研究計画を説明できるようにする。(60分) 事後：論文を検索してサマリーを作成する。(60分)	
6	研究テーマの決定	事前：作成したサマリーを説明できるようにする。(60分) 事後：論文を検索してサマリーを作成する。(60分)	
7	研究計画の検討	事前：研究計画を考える。(60分) 事後：論文を検索してサマリーを作成する。(60分)	
8	研究計画書の作成	事前：作成したサマリーを説明できるようにする。(60分) 事後：文献を検索する。研究計画書を作成する。(60分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
9	調査データの収集：論文抄読(集団討議)	事前：作成したサマリーを読んで討議の準備をする。(60分) 事後：データを整理する。論文を検索してサマリーを作成する。(60分)	
10	調査データの管理：論文抄読(個人討議)	事前：作成したサマリーを読んで討議の準備をする。(60分) 事後：データを整理する。論文を検索してサマリーを作成する。(60分)	
11	調査データの分析：論文抄読(集団討議)	事前：作成したサマリーを読んで討議の準備をする。(60分) 事後：データを分析する。論文を検索してサマリーを作成する。(60分)	
12	調査データの分析：論文抄読(個人討議)	事前：作成したサマリーを読んで討議の準備をする。(60分) 事後：データを分析する。論文を検索してサマリーを作成する。(60分)	
13	調査データの分析：論文抄読(集団討議)	事前：作成したサマリーを読んで討議の準備をする。(60分) 事後：データをまとめる。論文を検索してサマリーを作成する。(60分)	
14	調査データの分析：論文抄読(個人討議)	事前：作成したサマリーを読んで討議の準備をする。(60分) 事後：分析表を作成する。論文を検索してサマリーを作成する。(60分)	
15	結果の要約	事前：分析データを説明できるようにする。(60分) 事後：結果を執筆する。(60分)	
16	結果の要約	事前：結果を説明できるようにする。(60分) 事後：結果を執筆する。(60分)	
17	中間報告および研究計画の確認	事前：中間報告の準備をする。(60分) 事後：論文を検索する。(60分)	
18	論文の構成	事前：論文の構成を考える。(60分) 事後：論文を検索する。(60分)	
19	論文執筆(緒言)	事前：緒言を説明できるようにする。(60分) 事後：緒言を執筆する。(60分)	
20	論文執筆(対象と方法)	事前：緒言を読んで説明できるようにする。(60分) 事後：対象と方法を執筆する。論文を検索する。(60分)	
21	論文執筆(結果1)	事前：対象と方法を読んで説明できるようにする。(60分) 事後：結果を執筆する。論文を検索する。(60分)	
22	論文執筆(結果2)	事前：結果を読んで説明できるようにする。(60分) 事後：結果を執筆する。論文を検索する。(60分)	
23	論文執筆(考察1)	事前：考察を読んで説明できるようにする。(60分) 事後：考察を執筆する。論文を検索する。(60分)	
24	論文執筆(考察2)	事前：考察を読んで説明できるようにする。(60分) 事後：考察を執筆する。論文を検索する。(60分)	
25	論文執筆(考察3)	事前：考察を読んで説明できるようにする。(60分) 事後：考察を執筆する。論文を検索する。(60分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
26	論文執筆(考察4)	事前：考察を読んで説明できるようにする。(60分) 事後：考察を執筆する。論文を検索する。(60分)	
27	論文執筆(要旨5)	事前：考察を読んで説明できるようにする。(60分) 事後：作成した卒業研究論文を熟読する。(60分)	
28	プレゼンテーション作成	事前：作成した卒業研究論文を読んでプレゼンテーションの構成を考える。(60分) 事後：プレゼンテーションの修正と資料の作成(60分)	
29	プレゼンテーション資料作成	事前：作成した卒業研究論文を読んで発表の準備をする。(60分) 事後：卒業研究論文を執筆する。(60分)	
30	卒業研究論文提出	事前：作成した卒業研究論文を読んで。(60分) 事後：作成した卒業研究論文を読んで発表の準備をする。(60分)	

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0528445207
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	松尾 文
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野(選必3)

担当教員情報

教員名
松尾 文

詳細情報

授業の目的・到達目標	主体的に研究テーマを設定し卒業研究論文にまとめる。テーマに合わせて文献を検索することができる 論文を客観的に評価し、まとめることができる 研究者の主張を理解し、自分の意見を述べるができる 研究計画を立て調査、分析することができる 執筆要領に則って卒業論文にまとめることができる。
履修上の注意事項	自分のテーマに関する基礎知識は予習・復習した上で臨むこと(120分)。
評価方法	卒業研究論文60%、履修態度(レポート、ディスカッションの内容)20%、プレゼンテーション内容20% フィードバックは、随時ゼミにて行います。
テキスト	適宜指示する。
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション	・事前 自分の研究テーマに関する予備知識を深める(60分) ・事後 学んだ内容を復習する。(60分)	
2	論文の抄読 教員が掲示する論文で行う	・事前 論文の抄読、レジュメ作成(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
3	研究テーマの決定	・事前 論文の抄読、レジュメ作成(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
4	各テーマの現状を理解する	・事前 論文の抄読、レジュメ作成(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
5	各テーマの歴史的背景を理解する	・事前 論文の抄読、レジュメ作成(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	研究計画立案	・事前 論文の抄読、レジュメ作成、研究計画を立てる(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
7	先行研究の抄読と討議	・事前 論文の抄読、レジュメ作成(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
8	先行研究の抄読と討議	・事前 論文の抄読、レジュメ作成(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
9	先行研究の抄読と討議	・事前 論文の抄読、レジュメ作成(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
10	先行研究の抄読と討議（英語）	・事前 論文の抄読、レジュメ作成(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
11	先行研究の抄読と討議（英語）	・事前 論文の抄読、レジュメ作成(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
12	研究計画（研究計画の修正）	・事前 論文の抄読、レジュメ作成、研究計画を立てる(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
13	研究計画（研究計画書作成）	・事前 論文の抄読、レジュメ作成、研究計画を立てる(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
14	データ収集	・事前 論文の抄読、レジュメ作成、研究データをまとめる(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
15	データ収集	・事前 論文の抄読、レジュメ作成、研究データをまとめる(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
16	データの集計と分析	・事前 論文の抄読、レジュメ作成、研究データをまとめる(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
17	データの集計と分析	・事前 論文の抄読、レジュメ作成、研究データをまとめる(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
18	データ分析	・事前 論文の抄読、レジュメ作成、研究データをまとめる(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
19	データ分析	・事前 論文の抄読、レジュメ作成、研究データをまとめる(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
20	卒業研究論文執筆（個別指導）	・事前 論文の抄読、レジュメ作成、卒業研究論文を書き進める(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
21	卒業研究論文執筆（個別指導）	・事前 論文の抄読、レジュメ作成、卒業研究論文を書き進める(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
22	卒業研究論文執筆（個別指導）	・事前 論文の抄読、レジュメ作成、卒業研究論文を書き進める(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
23	卒業研究論文執筆（個別指導）	・事前 論文の抄読、レジュメ作成、卒業研究論文を書き進める(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
24	中間発表	・事前 中間発表資料の作成および発表の練習(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
25	卒業研究論文執筆（個別指導）	・事前 論文の抄読、レジュメ作成、卒業研究論文を書き進める(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	
26	卒業研究論文執筆（個別指導）	・事前 論文の抄読、レジュメ作成、卒業研究論文を書き進める(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
27	卒業研究論文執筆（個別指導）	<ul style="list-style-type: none"> ・事前 論文の抄読、レジュメ作成、卒業研究論文を書き進める(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分) 	
28	卒業研究論文執筆（個別指導）	<ul style="list-style-type: none"> ・事前 論文の抄読、レジュメ作成、卒業研究論文を書き進める(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分) 	
29	卒業研究論文最終確認	<ul style="list-style-type: none"> ・事前 論文の抄読、レジュメ作成、卒業研究論文を書き進める(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分) 	
30	卒業研究論文発表	<ul style="list-style-type: none"> ・事前 発表資料の作成および発表の練習(90分) ・事後 討議した内容を整理し、自分の考察をノートにまとめる。(30分) 	

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0528445208
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	緒方 有希
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野(選必3)

担当教員情報

教員名	
緒方 有希	

詳細情報

授業の目的・到達目標	自分が明らかとしたいテーマを深く掘り下げ、卒業研究論文を作成する過程で、解決策を探る手法を身につけることができる。
履修上の注意事項	研究テーマについて、先行研究およびその研究に関する自分の考察をレジメにまとめ、ゼミでディスカッションをしながら進める。
評価方法	レジメ、ディスカッション等の授業(40%)、卒業研究論文(60%)で評価する。 フィードバックとしてレジメおよびディスカッションの内容に対するコメントを行う。
テキスト	適宜配布する。
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	緒方有希：歯科衛生士として歯科診療所勤務経験

授業計画

授業計画	
事前学修：先行研究および自分の研究に関する考察をレジメにまとめておくこと。(1時間/週)	
事後学修：ディスカッションした内容や考察した事柄について振り返りを行い、先行研究を読み進めておくこと。(1時間/週)	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	卒業研究論文の概要について1		
2	卒業研究論文の概要について2		
3	論文構成		
4	文献検索方法・レジメの書き方		
5	思考マップの作成 グループワーク		
6	研究テーマの検討1 グループワーク、ディスカッション		
7	研究テーマの検討2 グループワーク、ディスカッション		
8	研究計画書作成1 ディスカッション		
9	研究計画書作成2 ディスカッション		
10	研究計画書作成3 ディスカッション		
11	データ収集・文献検索1 グループワーク、ディスカッション		
12	データ収集・文献検索2 グループワーク、ディスカッション		
13	データ収集・文献検索3 グループワーク、ディスカッション		
14	データ収集・文献検索4 グループワーク、ディスカッション		
15	データ収集・文献検索5 グループワーク、ディスカッション		

授業計画

事前学修：先行研究および自分の研究に関する考察をレジメにまとめておくこと。(1時間/週)

事後学修：ディスカッションした内容や考察した事柄について振り返りを行い、先行研究を読み進めておくこと。(1時間/週)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
16	データ集計1 ディスカッション		
17	データ集計2 ディスカッション		
18	データ分析1 ディスカッション		
19	データ分析2 ディスカッション		
20	データ分析3 ディスカッション		
21	論文執筆1 ディスカッション		
22	論文執筆2 ディスカッション		
23	論文執筆3 ディスカッション		
24	論文執筆4 ディスカッション		
25	論文執筆5 ディスカッション		
26	中間発表 プレゼンテーション、ディスカッション		
27	論文執筆6 ディスカッション		
28	卒業研究論文発表準備		
29	卒業研究論文発表と協議 プレゼンテーション		
30	最終校正と製本		

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0528445209
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	十時 彩
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野(選必3)

担当教員情報

教員名	
十時 彩	

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は、保健・医療・福祉の多領域にわたる活動を可能とする論理的思考力と問題解決能力を養うことを目的とする。口腔保健に関する研究および方法について学び、各学生が関心のあることについて研究テーマを決定する。テーマについて文献検索、調査等をもとに、分析、考察し、卒業論文を作成することができる。
履修上の注意事項	研究テーマに関連した文献検索を行い、要点をまとめて発表を行う。
評価方法	卒業研究論文60%、履修態度・ディスカッション等20%、プレゼンテーション20%の総合評価
テキスト	適宜指示する。
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	歯科衛生士として急性期病院の入院患者の口腔ケア等の口腔マネジメント・摂食嚥下リハビリテーションの業務を行っていた。

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション 研究方法について	事前 研究方法について予習する(60分) 事後 文献検索・レジュメ作成(60分)	
2	論文の抄読	事前 文献検索・レジュメ作成(60分) 事後 文献から得られた情報の整理(60分)	
3	研究テーマの検討 1	事前 文献から研究テーマを考える(60分) 事後 文献から得られた情報の整理(60分)	
4	研究テーマの検討 2	事前 文献から研究テーマを考える(60分) 事後 文献から得られた情報の整理(60分)	
5	先行研究の抄読・ディスカッション	事前 文献検索(60分) 事後 文献から得られた情報の整理(60分)	
6	先行研究の抄読・ディスカッション	事前 文献検索(60分) 事後 文献から得られた情報の整理(60分)	
7	先行研究の抄読・ディスカッション	事前 文献検索(60分) 事後 文献から得られた情報の整理(60分)	
8	先行研究の抄読・ディスカッション	事前 文献検索(60分) 事後 文献から得られた情報の整理(60分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	研究計画の検討	事前 研究方法・研究デザイン調べる（60分） 事後 研究方法・研究デザインについて復習する（60分）	
10	研究計画書の作成 1	事前 研究方法・研究デザイン調べる（60分） 事後 研究方法・研究デザインについて復習する（60分）	
11	研究計画書の作成 2	事前 研究方法・研究デザイン調べる（60分） 事後 研究方法・研究デザインについて復習する（60分）	
12	データ収集 1	事前 統計・データ分析に調べる（60分） 事後 データ収集方法について復習する（60分）	
13	データ収集 2	事前 統計・データ分析に調べる（60分） 事後 データ収集方法について復習する（60分）	
14	データ収集 3	事前 統計・データ分析に調べる（60分） 事後 データ収集方法について復習する（60分）	
15	データ収集 4	事前 統計・データ分析に調べる（60分） 事後 データ収集方法について復習する（60分）	
16	データ分析 1	事前 収集したデータに適する分析方法を調べる（60分） 事後 データ分析方法について検討する（60分）	
17	データ分析 2	事前 収集したデータに適する分析方法を調べる（60分） 事後 データ分析方法について検討する（60分）	
18	データ分析 3	事前 収集したデータに適する分析方法を調べる（60分） 事後 データ分析方法について検討する（60分）	
19	データ分析 4	事前 収集したデータに適する分析方法を調べる（60分） 事後 データ分析方法について検討する（60分）	
20	研究結果のまとめ	事前 先行研究とデータ分析結果から結果を整理する（60分） 事後 分析結果について見直し（60分）	
21	論文執筆 1	事前 先行研究のまとめ、論文執筆（60分） 事後 指導を受けた内容について見直し（60分）	
22	論文執筆 2	事前 先行研究のまとめ、論文執筆（60分） 事後 指導を受けた内容について見直し（60分）	
23	論文執筆 3	事前 先行研究のまとめ、論文執筆（60分） 事後 指導を受けた内容について見直し（60分）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
24	中間発表	事前 中間発表に向けてまとめる（60分） 事後 中間発表で得た意見から今後の研究についてを検討する（60分）	
25	論文執筆 4	事前 先行研究のまとめ、論文執筆（60分） 事後 指導を受けた内容について見直し（60分）	
26	論文執筆 5	事前 先行研究のまとめ、論文執筆（60分） 事後 指導を受けた内容について見直し（60分）	
27	論文執筆 6	事前 先行研究のまとめ、論文執筆（60分） 事後 指導を受けた内容について見直し（60分）	
28	卒業研究論文最終確認	事前 論文内容を確認し、まとめる（60分） 事後 最終確認で指導を受けた部分の修正（60分）	
29	卒業研究発表準備	事前 論文発表に向けてのスライド作成（60分） 事後 スライド等資料の確認・修正	
30	卒業研究発表	事前 研究発表の最終確認（60分） 事後 研究発表で得られた意見から研究について振り返る（60分）	

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0528445210
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	薄井 由枝
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野(選必3)

担当教員情報

教員名	
薄井 由枝	

詳細情報

授業の目的・到達目標	口腔保健学のスペシャリストとして口腔保健学に相応した研究課題を見つける。そのテーマについて、できるだけEvidence-based-dentistry に基づいた資料を集め、倫理的配慮をしながら研究デザインを作成することができる。そのプロトコルに沿いながら、卒業研究論文を仕上げ、プレゼンテーションをおこなうことができる。
履修上の注意事項	教員指導の下で主体的・自主的に研究をすすめること。定期的に教員と連絡を取り、決められた締切日には必ず成果物を提出すること。
評価方法	卒業研究論文80%、プレゼンテーション20% 評価は提出物にコメントをして返却します。
テキスト	特に指定しない。
参考文献	必要な場合にのみ文献紹介をおこなう。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	薄井由枝：修士課程・博士課程で研究方法を習得し、現在も研究活動を行っている。

授業計画

授業計画	
論文は研究成果を広く公表するために書くものなので、わかりやすいこと、不明点がないこと、論理や用語が一貫していることなどが要件である。 そのために、下記のスケジュールに従って、論文作成のルールを学びながら主体的に取り組み、自身が興味を持った課題の結果は何だったのか、どのように考察したのか、結論として何が言えるかに焦点をおいた論文（成果物）を作り上げ、発表する。	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	卒業研究論文の概要説明	事前：口腔保健に関連する課題を探索する	
2	文献検索法について	事前：口腔保健に関連する課題を探索する	
3	テーマの検討・文献検索	事前：口腔保健に関連する課題を探索する	
4	テーマの検討・文献検索	事前：口腔保健に関連する課題を探索する	
5	テーマの検討・文献検索	事前：探索した課題を3本ほどに絞っておく	
6	論文の構成	事前：先行文献を読み、論文の構成を理解しておく	
7	研究倫理について	事前：研究倫理について予習する	
8	研究方法の選択	事前：研究方法の種類を理解しておく	
9	研究プロトコル作成	事前：選択した研究方法で計画をたてる	
10	研究プロトコル作成	事前：選択した研究方法で計画をたてる	
11	データ収集	事前：必要なデータを収集する	
12	データ収集	事前：必要なデータを収集する	
13	中間報告発表会 1	事前：収集したデータの整理を行う	
14	データ収集・分析	事前：データを分析し、理解したものを書き出す	
15	データ収集・分析	事前：データを分析し、理解したものを書き出す	

授業計画

論文は研究成果を広く公表するために書くものなので、わかりやすいこと、不明点がないこと、論理や用語が一貫していることなどが要件である。

そのために、下記のスケジュールに従って、論文作成のルールを学びながら主体的に取り組み、自身が興味を持った課題の結果は何だったのか、どのように考察したのか、結論として何が言えるかに焦点をおいた論文（成果物）を作り上げ、発表する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
16	データ収集・分析	事前：不足している資料を明確にし収集する	
17	卒業研究論文の作成	事前：研究論文を作成する	
18	卒業研究論文の作成	事前：研究論文を作成する	
19	卒業研究論文の作成	事前：研究論文を作成する	
20	中間報告 2	事前：研究論文を作成する	
21	卒業研究論文の作成	事前：研究論文を作成する	
22	卒業研究論文の作成	事前：研究論文を作成する	
23	卒業研究論文の作成	事前：研究論文を作成する	
24	卒業研究論文の校正	事前：研究論文の体裁を整える	
25	卒業研究論文の校正	事前：研究論文の体裁を整える	
26	卒業研究論文の校正	事前：研究論文の体裁を整える	
27	卒業研究論文の校正	事前：研究論文の体裁が整ったかチェックを行う	
28	卒業研究論文の最終校正	事前：最後の校正になるように最終チェックを行う	
29	卒業研究論文の完成と発表会準備	事前：発表に向けて準備する	
30	卒業研究論文発表会	事前：発表会の準備をする	

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0528445211
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	志垣 留美
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野(選必3)

担当教員情報

教員名	
志垣 留美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	これまでの学内講義・演習、臨地・臨床実習等を通して関心を持ったことや問題意識の中からテーマを探り、口腔保健の視点から研究テーマ・方法を決定する。研究目的に合った方法で研究を実施、卒業研究論文を作成する。
履修上の注意事項	ゼミ形式 各自、研究計画書を立てて自主的に研究をすすめること。
評価方法	成果物(70%)、履修態度・レポート・討議内容等(30%)で評価する。
テキスト	適宜紹介する。
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	研究の進め方1	【事前学修】卒業論文作成法の書籍を通読 【事後学修】要点の整理と課題への対応	
2	研究の進め方2	【事前学修】卒業論文作成法の書籍を通読 【事後学修】要点の整理と課題への対応	
3	研究テーマの検討	【事前学修】テーマと概要のレジюме作成 【事後学修】レジюмеの修正、要点の整理	
4	文献検索	【事前学修】検索した文献リストの作成 【事後学修】文献表の作成、新資料の検索	
5	文献検索	【事前学修】文献表の作成 【事後学修】文献表の完成	
6	研究テーマの決定	【事前学修】テーマと概要のレジюме作成 【事後学修】レジюмеの修正、要点の整理	
7	研究方法の検討、文献検索	【事前学修】研究方法に関する事前調査 【事後学修】研究方法の確定と文章化	
8	研究方法の検討、文献検索	【事前学修】研究分野に関する事前調査 【事後学修】研究方法の確定と文章化	
9	研究方法の決定、文献検索	【事前学修】研究の独創性と特色の文章化 【事後学修】研究の独創性と特色の文章化	
10	研究計画書作成	【事前学修】研究計画書の作成 【事後学修】研究計画書の修正、完成	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
11	データ収集、文献検索	【事前学修】先行研究レビューの作成 【事後学修】先行研究レビューの修正	
12	データ収集、文献検索	【事前学修】先行研究レビューの作成 【事後学修】先行研究レビューの修正	
13	データ収集、文献検索	【事前学修】先行研究レビューの作成 【事後学修】先行研究レビューの修正	
14	データ収集、文献検索	【事前学修】先行研究レビューの作成 【事後学修】先行研究レビューの修正	
15	データ収集、文献検索	【事前学修】先行研究レビューの作成 【事後学修】先行研究レビューの修正	
16	データ集計、分析	【事前学修】調査データの集計報告作成 【事後学修】調査データ集計報告の修正	
17	データ集計、分析	【事前学修】調査データの集計報告作成 【事後学修】調査データ集計報告の修正	
18	データ分析	【事前学修】調査データの集計分析作成 【事後学修】調査データ集計分析の修正	
19	論文執筆	【事前学修】卒論の目次の作成 【事後学修】卒論の目次の修正、完成	
20	論文執筆	【事前学修】タイトルと緒言の作成 【事後学修】タイトルと緒言の修正、完成	
21	論文執筆	【事前学修】第1章の作成 【事後学修】第1章の修正・作成	
22	論文執筆	【事前学修】第2章の作成 【事後学修】第2章の修正・作成	
23	中間発表報告	【事前学修】卒論の仮原稿の準備 【事後学修】卒論の仮原稿の修正	
24	論文執筆	【事前学修】第3章の作成 【事後学修】第3章の修正・作成	
25	論文執筆	【事前学修】第4章の作成 【事後学修】第4章の修正・作成	
26	論文執筆	【事前学修】「おわりに」の作成 【事後学修】「おわりに」の修正・作成	
27	論文執筆	【事前学修】引用文献一覧の作成 【事後学修】引用文献一覧の修正・作成	
28	卒業研究論文発表準備	【事前学修】卒業論文発表会の準備 【事後学修】卒業論文発表会の原稿修正	
29	卒業研究論文発表	【事前学修】卒業論文発表会の準備 【事後学修】卒業論文要旨の作成	
30	ゼミ論文集の作製	【事前学修】卒業論文要旨の作成 【事後学修】卒業論文要旨の修正・完成	

基本情報

科目名	コミュニティ口腔保健実習
時間割コード	0528445501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	4
主担当教員	淀川 尚子
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野

担当教員情報

教員名
淀川 尚子

詳細情報

授業の目的・到達目標	多様な地域にクラス人々の健康観、疾病観を適切に捉え、社会、経済、文化の相違を受け入れ理解と共感に基づいた持続的かつ効果的な支援を行うことは、医療従事者として不可欠の姿勢である。本実習では、コミュニティ口腔保健実習指導で培った知識・視点をもとに、海外および国内における歯科医療と口腔保健専門職の活動状況、各支援団体(NGO)の医療、保健、教育分野における協力活動等の体験を通じて、人々の健康観、疾病観と対処行動の理解を深め、国際的な口腔保健活動のあり方を模索し、その展開可能性を探究する力を身につけることができる。
履修上の注意事項	コミュニティ口腔保健実習指導を履修し、単位認定を受けているもの者のみを受講対象者とする。毎日の事前ミーティングにより活動内容の確認を行い、事後ミーティングでは実習成果を発表して記録にまとめる。
評価方法	実習中の活動評価(実習課題の達成度、態度70%、最終報告レポート30%の割合で評価する。フィードバックとして発表にコメントする。
テキスト	特に使用しない。
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	淀川尚子：歯科衛生士として病院勤務経験 徳永淳也：歯科医師として病院勤務経験 十時 彩：歯科衛生士として病院勤務経験

授業計画

授業計画
<p>実習概要(予定)</p> <p>詳細は履修登録時に配布する実習計画により提示する。</p> <p>(1)期間：11月中旬の7日間(実習内容により変動する)</p> <p>(2)実習国および地域：ミャンマー連邦共和国(パテイン市近郊)</p> <p>(3)実習地および内容</p> <p>各実習地・施設の概要 調整中</p> <p>1)ミャンマー連邦共和国地方農村における小学校、中学校、高等学校における口腔保健教育(3日間)</p> <p>2)ミャンマー連邦共和国児童養護施設における口腔保健教育(1日間)</p> <p>3)熊本地震、豪雨災害被災地域など(2日間)</p> <p>事前：事前ミーティングの情報を踏まえて活動内容をノートにまとめる。(30分)</p> <p>事後：事後ミーティングで発表した実習成果を記録にまとめる。(30分)</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	コミュニティ口腔保健実習指導
時間割コード	0528445401
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 1, 金 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	淀川 尚子
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野

担当教員情報

教員名	
徳永 淳也、久家 誠司、平野 喜幸、淀川 尚子、緒方 有希、中村 昌代、十時 彩、薄井 由枝	

詳細情報

授業の目的・到達目標	多様な地域にクラス人々の健康問題を適切に捉え、社会、経済、文化の相違を受け入れた上で、理解と共感に基づいた持続可能かつ効果的な支援を行うことは、医療従事者として不可欠の姿勢である。本実習指導では、途上国のコミュニティにおける口腔保健、歯科医療の現状理解を基盤として、様々な立場にある地域住民の疾病感と対処行動様式を踏まえた効果的な口腔保健教育・指導方法の検討を行い、コミュニティ口腔保健実習における対象を観察し理解する力を蓄えることができる。
履修上の注意事項	コミュニティ口腔保健実習履修希望者は必修とする。また、前年度までの卒業要件に関する所定の単位認定を受け、履修計画書による事前審査により履修が認められた者のみ履修を許可する。講義のテーマにあわせて事前学修を行い授業に臨むこと。講義ごとにレポートを提出し、講義内容を振り返ること。
評価方法	レポートおよび作成媒体による評価（100%） フィードバックとしてレポートおよび作成媒体にコメントする。
テキスト	適宜配布する。
参考文献	適宜配布する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	淀川尚子：歯科衛生士として病院勤務経験 徳永淳也：歯科医師として病院勤務経験 十時 彩：歯科衛生士として病院勤務経験 緒方有希：歯科衛生士として歯科医療機関勤務経験

授業計画

授業計画	
4年次2学期に実施される「コミュニティ口腔保健実習」の実習地関係者からの講義・指導・助言ならびに、現地で使用する口腔保健教育についての教材や媒体を作成する。	
<ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニティ口腔保健概論、実習計画概要と海外生活（淀川、徳永、十時） 2-3. 国際開発とNGO活動 -なぜ海外支援なのか（久家） 4. 国際協力論 -開発とは何か（平野） 5. 国際協力論 -国際協力の出発点は貧困から（平野） 6. 海外における歯科衛生士活動 -アメリカ合衆国-（薄井） 7. 海外における歯科衛生士活動 -ベトナム-（中村） 8. 海外における歯科衛生士活動 -モザンビーク共和国-（緒方） 9-10. 新興国における歯科医療の展開（木村） 11. コミュニティにおける文化理解と口腔保健活動（淀川・徳永・十時） 12. コミュニティにおける口腔保健活動の計画立案（淀川・徳永・十時） 13. コミュニティにおける口腔保健活動の指導案の作成（淀川・徳永・十時） 14. 口腔保健教育媒体の作成（淀川・徳永・十時） 15. 口腔保健教育発表（淀川・徳永・十時） 	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	コミュニティ口腔保健概論、実習計画概要と海外生活（淀川、徳永、十時）	事前：テーマに関連する事項について下調べを行う。(60分) 事後：ミャンマーについて調べてまとめる(60分)	

授業計画

4年次2学期に実施される「コミュニティ口腔保健実習」の実習地関係者からの講義・指導・助言ならびに、現地で使用する口腔保健教育についての教材や媒体を作成する。

1. コミュニティ口腔保健概論、実習計画概要と海外生活（淀川、徳永、十時）
- 2-3. 国際開発とNGO活動－なぜ海外支援なのか（久家）
4. 国際協力論－開発とは何か（平野）
5. 国際協力論－国際協力の出発点は貧困から（平野）
6. 海外における歯科衛生士活動－アメリカ合衆国（薄井）
7. 海外における歯科衛生士活動－ベトナム（中村）
8. 海外における歯科衛生士活動－モザンビーク共和国（緒方）
- 9-10. 新興国における歯科医療の展開（木村）
11. コミュニティにおける文化理解と口腔保健活動（淀川・徳永・十時）
12. コミュニティにおける口腔保健活動の計画立案（淀川・徳永・十時）
13. コミュニティにおける口腔保健活動の指導案の作成（淀川・徳永・十時）
14. 口腔保健教育媒体の作成（淀川・徳永・十時）
15. 口腔保健教育発表（淀川・徳永・十時）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
2	国際開発とNGO活動－なぜ海外支援なのか（久家）	事前：テーマに関連する事項について下調べを行う。(60分) 事後：講義や討議内容を踏まえてレポートを作成する。(60分)	
3	国際開発とNGO活動－なぜ海外支援なのか（久家）	事前：テーマに関連する事項について下調べを行う。(60分) 事後：講義や討議内容を踏まえてレポートを作成する。(60分)	
4	国際協力論－開発とは何か（平野）	事前：テーマに関連する事項について下調べを行う。(60分) 事後：講義や討議内容を踏まえてレポートを作成する。(60分)	
5	国際協力論－国際協力の出発点は貧困から（平野）	事前：テーマに関連する事項について下調べを行う。(60分) 事後：講義や討議内容を踏まえてレポートを作成する。(60分)	
6	海外における歯科衛生士活動－アメリカ合衆国（薄井）	事前：テーマに関連する事項について下調べを行う。(60分) 事後：講義や討議内容を踏まえてレポートを作成する。(60分)	
7	海外における歯科衛生士活動－ベトナム（中村）	事前：テーマに関連する事項について下調べを行う。(60分) 事後：講義や討議内容を踏まえてレポートを作成する。(60分)	
8	海外における歯科衛生士活動－モザンビーク共和国（緒方）	事前：テーマに関連する事項について下調べを行う。(60分) 事後：講義や討議内容を踏まえてレポートを作成する。(60分)	
9	新興国における歯科医療の展開（木村）	事前：テーマに関連する事項について下調べを行う。(60分) 事後：講義や討議内容を踏まえてレポートを作成する。(60分)	
10	新興国における歯科医療の展開（木村）	事前：テーマに関連する事項について下調べを行う。(60分) 事後：講義や討議内容を踏まえてレポートを作成する。(60分)	
11	コミュニティにおける文化理解と口腔保健活動（淀川・徳永・十時）	事前：ミャンマーについて調べたことを発表できるようにする。(60分) 事後：口腔保健活動の計画を考える。(60分)	
12	コミュニティにおける口腔保健活動の計画立案（淀川・徳永・十時）	事前：口腔保健活動の計画案を説明できるようにする。(60分) 事後：口腔保健教育指導案を作成する。(60分)	
13	コミュニティにおける口腔保健教育指導案の作成（淀川・徳永・十時）	事前：口腔保健教育指導案を説明できるようにする。(60分) 事後：口腔保健教育媒体を検討する。(60分)	

授業計画

4年次2学期に実施される「コミュニティ口腔保健実習」の実習地関係者からの講義・指導・助言ならびに、現地で使用する口腔保健教育についての教材や媒体を作成する。

1. コミュニティ口腔保健概論、実習計画概要と海外生活 (淀川、徳永、十時)
- 2-3. 国際開発とNGO活動 -なぜ海外支援なのか (久家)
4. 国際協力論 -開発とは何か- (平野)
5. 国際協力論 -国際協力の出発点は貧困から- (平野)
6. 海外における歯科衛生士活動 -アメリカ合衆国- (薄井)
7. 海外における歯科衛生士活動 -ベトナム- (中村)
8. 海外における歯科衛生士活動 -モザンビーク共和国- (緒方)
- 9-10. 新興国における歯科医療の展開 (木村)
 11. コミュニティにおける文化理解と口腔保健活動 (淀川・徳永・十時)
 12. コミュニティにおける口腔保健活動の計画立案 (淀川・徳永・十時)
 13. コミュニティにおける口腔保健活動の指導案の作成 (淀川・徳永・十時)
 14. 口腔保健教育媒体の作成 (淀川・徳永・十時)
 15. 口腔保健教育発表 (淀川・徳永・十時)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
14	口腔保健教育媒体の作成 (淀川・徳永・十時)	事前：口腔保健教育媒体案を説明できるようにする。(60分) 事後：口腔保健教育の発表準備をする。(60分)	
15	口腔保健教育発表 (淀川・徳永・十時)	事前：口腔保健教育の発表準備を行う。(60分) 事後：作成したレポートを熟読してまとめる。(60分)	

基本情報

科目名	ライフステージ口腔保健実習指導
時間割コード	0528445601
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 1, 月 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	松尾 文
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野

担当教員情報

教員名	
松尾 文、緒方 有希、松本 鈴子、島村 美香、志垣 留美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	本実習指導では、各ライフステージ（産科、緩和ケア）において口腔保健という視野から人々の多様な健康観の理解を深め、対象者の効果的な口腔保健教育と支援方法を検討し、健やかな顎口腔機能の発育・発達ならびに生活の質の維持向上に貢献する技術と態度を習得する。 妊産婦期の対象者に対する口腔保健指導計画を立てることができる。 緩和ケアの概念を理解し、口腔ケア計画を立てることができる。
履修上の注意事項	授業は、事前学習（30分程度）を行い積極的な態度で臨む。講義や実習後は、授業内容を振り返り、自身の課題を明確にし次の授業に臨む（60分）。
評価方法	レポート30%、課題や作成媒体70% による総合評価。 レポートや課題のフィードバックとして、コメントまたは事後解説する。
テキスト	歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 日本歯科衛生士会監修 医歯薬出版 講義中に資料を配布する。
参考文献	適宜紹介。はじめて学ぶ歯科衛生士のための歯科介護第3版、最新歯科衛生士教本高齢者歯 第2版 医歯薬出版
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	松尾 文：歯科衛生士として歯科医療機関勤務経験 緒方有希：歯科衛生士として歯科医療機関勤務経験 志垣留美：歯科衛生士として病院勤務経験

授業計画

授業計画	
1 ライフステージ口腔保健の概要を理解する	(松尾、志垣、緒方)
2 妊産婦期の歯科保健対策について理解する	(松尾、志垣、緒方)
3 歯・口腔の発育と母子の歯科保健について説明できる	(松尾、志垣、緒方)
4 妊産婦、新生児（乳児）の特徴を理解する	(松本)
5 妊産婦、新生児（乳児）への保健指導を学ぶ	(松本)
6 産科におけるニーズを挙げ、口腔保健指導の要点について説明できる	(松尾、志垣、緒方)
7 妊産婦指導、乳幼児指導の教育媒体を作成する	(松尾、志垣、緒方)
8 教育媒体を使用した口腔保健指導（ロールプレイ）を体験する	(松尾、志垣、緒方)
9 緩和ケアの概念を理解する	(島村)
10 緩和ケアを必要としている人とその家族のニーズと看護ケアを考える	(島村)
11 緩和ケアを必要としている患者および家族の全人的苦痛を理解する	(志垣、特別講師)
12 緩和ケア病棟で協働する他職種の役割を学ぶ	(志垣、松尾、緒方)
13 緩和ケアにおける基礎知識を理解し、口腔のケアの方法を習得する	(志垣、松尾、緒方)
14 食事介助の方法を習得する	(志垣、松尾、緒方)
15 リスクマネジメントについて学ぶ	(志垣、松尾、緒方)

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	ライフステージ口腔保健実習
時間割コード	0528445701
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	4
主担当教員	松尾 文
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野

担当教員情報

教員名
松尾 文、緒方 有希、志垣 留美

詳細情報

授業の目的・到達目標	口腔保健という視点から人々の多様な健康観の理解を深め、健やかな顎口腔機能の発育・発達ならびに生活の質の向上を支援する口腔保健専門職の技術と態度を習得する。 人々の各ライフステージの各段階や諸相において適切にニーズをとらえ、その人に相応しい豊かな健康や生活の実現を支援することができる。人間にとって最大のライフイベントである"誕生"と"人生"の終末期において人生と健康の関わりを深く見つめる洞察力と人々の生の営みに関わり続けようとする態度を涵養することができる。
履修上の注意事項	ライフステージ口腔保健実習指導の単位を修得し、事前指導を全て受講すること。ライフステージ口腔保健実習指導の講義・演習であがった学習課題、目標を達成するための事前学習および作成した口腔保健指導媒体を熟達しておくこと。事後学習は学びの振り返りを行い学習成果をまとめる。
評価方法	実習記録・課題（30%）、指導者評価（40%）、最終報告レポート(30%)の総合評価。
テキスト	歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 日本歯科衛生士会監修 医歯薬出版
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
実習施設：産婦人科診療所および緩和ケア病棟を設置する病院	
1) 産婦人科診療所	妊産婦自身が口腔保健に関する知識や技術、態度を修得する過程に口腔保健専門職として関わり、母子における口腔保健、口腔機能発達・維持という視点から口腔保健指導や離乳食等の食事指導を実施することにより、妊産婦ならびに児の健やかな口腔の健康を支援する能力と態度を養う <ul style="list-style-type: none"> ・実習概要および施設概要の説明 ・事前指導：口腔保健教育指導演習、実習施設でのオリエンテーション ・実習（2日） ・事後指導
2) 緩和ケア病棟を設置する病院	緩和ケアを必要としている患者は全身状態の低下、口腔機能ならびに自浄作用の低下により生活(QOL)の質の低下に繋がりやすい。緩和ケアを必要としている患者の全人的苦痛ならびに家族を理解するとともに終末期を自分らしく生き抜こうとする患者に寄り添い、患者の自己実現と生活の質を口腔保健という視点から支援できる能力を養う <ul style="list-style-type: none"> ・実習概要および施設概要の説明 ・事前指導：緩和ケアを必要としている患者の口腔の特徴の理解、口腔ケア演習 ・実習（2日） ・事後指導

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	養護概説
時間割コード	0528900101
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	古賀 由紀子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
古賀 由紀子

詳細情報

授業の目的・到達目標	養護教諭の職務である保健教育、保健管理、救急看護、学校保健経営の4機能を理論的に理解し、具体的な職務 内容と方法論で実証し、学校経営の中で、そして学校保健の各領域で養護教諭の職務がどう機能するかを把握し 説明できる。
履修上の注意事項	授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(60分)。授業の復習を行うこと(60分) 毎回、授業の振り返りと質問等を最後にかかせるが、内容を確認し、次時に返却する。 前時間の質問に対しては授業の最初に答える。
評価方法	レポート15%、筆記試験85%として評価
テキスト	・新訂 養護概説 編集代表 三木とみ子 ぎょうせい ・「新訂版学校保健実務必携」 学校保健・安全実務研究会 第一法規
参考文献	冊子「学校保健」松本敬子編、「養護教諭の授業づくり」松本敬子他 東山書房
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	古賀：公立学校養護教諭経験

授業計画

授業計画
授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(60分)。授業の復習を行うこと(60分) 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	養護の概念		
2	養護教諭制度と歴史		
3	養護教諭の専門性、養護教諭の倫理		
4	養護教諭の活動拠点保健室—その役割と機能		
5	養護教諭の活動拠点保健室—保健室経営計画		
6	養護活動の過程		
7	養護教諭の実践—1 健康実態・健康問題の把握(健康観察、保健調査)		
8	養護教諭の実践—2 健康実態・健康問題の把握(健康診断)		
9	養護教諭の実践—3 支援の方法(救急処置活動)		
10	養護教諭の実践—4 支援の方法(健康相談)		
11	養護教諭の実践—5 養護活動の展開		
12	養護教諭の実践—6 環境整備(感染症予防、学校環境衛生)		
13	養護教諭の実践—7 健康教育活動(保健教育、保健便り)		

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（60分）。授業の復習を行うこと（60分）
 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	養護教諭の実践－8 組織活動		
15	養護教諭と研究		

基本情報

科目名	看護学各論
時間割コード	0528900201
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名	
吉岡 久美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	生活者に発生する疾患や症状の理解を深め、看護の視点や方法について学習することを目的とする。 また、養護教諭の職務の一領域である学校看護に必要な看護学を学ぶ。学校看護は、児童・生徒の生命を守り、健康の維持・増進を図ることを目的とし、また重要な教育活動である意義を理解する。心身のメカニズム、疾病・異常など、臨床看護実習にも必要な知識・技術を習得するとともに、これらを学校看護の教育としての独自性の中にかすことを学ぶ。
履修上の注意事項	事前学習として、それぞれの単元で扱う項目に関する事柄を、テキストから拾い上げておき、講義に臨むこと。 事後学習では、講義終了後にノートをまとめなおし、関連する疾患や状態像と合わせて理解を深めること。 (事前事後学習で60分程度)
評価方法	課題の提出等 20% 筆記試験(小テスト含む)80% 提出された課題レポートについてはコメントを入れて返却する
テキスト	養護教諭のための看護学 改訂版 藤井寿美子他 大修館書店
参考文献	
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：大学病院（看護師）、一般病院（看護師長）、訪問看護ステーション（訪問看護師・管理者）

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	看護の基礎と看護行為の基本、疾病の経過や治療処置に伴う看護の理解を深める	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
2	循環器系疾患の発生機序、病態をもとに、疾患による看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
3	呼吸器系疾患の発生機序、病態をもとに、疾患による看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
4	消化器系疾患の発生機序、病態をもとに、疾患による看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	造血器系疾患、内分泌疾患・代謝系疾患の発生機序、病態をもとに、疾患による看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
6	泌尿器・生殖器系疾患の発生機序、病態をもとに、疾患による看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
7	運動器系疾患の発生機序、病態をもとに、疾患による看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
8	脳神経系疾患、精神系疾患の発生機序とその看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
9	感覚器系疾患に関する病態とその看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
10	救命救急看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
11	発熱・腹痛・頭痛・嘔気嘔吐・呼吸困難・けいれんなどの症状別看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
12	小児看護と母性看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
13	思春期看護、障害のある方への看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
14	老年、精神看護を理解する（在宅を含む）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
15	ターミナルケアからグリーフケアまでの重要性を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	基礎看護技術
時間割コード	0528900301
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	4.0
学年	2
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名	
吉岡 久美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>養護教諭に必要な看護技術の基礎知識を習得することを目的としている。</p> <p>1. 健康の回復、維持増進を図るための看護技術を実践できる。</p> <p>2. 看護の基礎技術を学習し習得することで、援助過程での活用の意義を説明することができる。</p>
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・演習は動きやすい服装（ジャージ等）と靴を準備すること ・準備物等は掲示板にて連絡するため、確認しておくこと ・講義および演習の構成上、展開計画の流れが変更となることがあるが、事前に掲示するため注意し、十分に事前学習をしてレポート作成すること ・事後学習では、関連する疾病や状態像と合わせて理解を深め、課題に取り組むこと。（事前事後60分）
評価方法	<p>筆記試験 70% 学習への取り組み, 課題の提出 30%</p> <p>提出された課題レポートについてはコメントを入れて返却する</p>
テキスト	基礎看護技術（メディカ出版）
参考文献	養護教諭講座3 新版 基礎看護学（東山書房）
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>吉岡久美：大学病院（看護師）、一般病院（看護部長）、訪問看護ステーション（訪問看護師・管理者）</p> <p>柴田恵子：基礎看護学分野教員</p> <p>古江佳織：基礎看護学分野教員 看護師経験</p> <p>古堅裕章：基礎看護学分野教員 看護師経験</p> <p>赤峰隆元：基礎看護学分野教員 看護師経験</p>

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	病床環境調整の必要性とその方法について学習し実践する。（吉岡）	事前学習として、テキストを基に病院及び病床環境についてまとめること。病床の援助としてベッドメイキングの方法を確認しておく。 事後学習として、患者の状態に応じた環境の調整について整理する。	
2	生命の兆候を観察する技術を知り、バイタルサインの示す意味と測定方法を習得する。（吉岡）	事前学習として、バイタルサインとは何か、そのチェックにおける方法と留意点をまとめる。 事後学習として、実際の測定における困難と工夫、確実な実践方法を整理する。	
3	安全を守る技術を習得し、安楽な体位を理解して移動等の支援の実践方法を習得する。（柴田）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	運動と休息の影響を理解し、体位、運動の援助方法を習得する。（古堅）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
5	栄養管理を含めた食事の重要性を理解し、形態、摂取方法について理解する。（古堅）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
6	排泄の意義・目的を理解し、その管理方法と援助について実践する。（柴田）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
7	身体の清潔の目的を理解して、衣服管理・交換方法を含めた援助を実践する。（柴田）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
8	身体の清潔の目的を理解して、身体保清の具体的方法を習得する。（古江）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
9	電法の適応を理解して実践し、安楽かつ快適さを確保する技術を習得する。（吉岡）	事前学習として、電法の目的、種類、留意点を整理する。 事後学習として、電法の効果と危険性について整理する。	
10	検査・治療を安全かつ正確に行う技術を理解し、対象者の理解と看護の役割を知る。（古江）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
11	感染の具体的予防としての管理方法、清潔操作、創傷管理等を実践する。（古江）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
12	与薬についての知識を深め、薬剤の管理と投与方法を理解する。（赤峰）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
13	安楽な呼吸のための吸引、吸入の目的と種類を理解し、手技と管理方法を習得する。（古江）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
14	救急救命処置の技術を理解し、緊急時の判断ができる能力を習得する。（赤峰）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
15	危篤・終末時の心理・生理的变化を踏まえて死を迎える時の援助を習得する。（吉岡）	事前学習として、終末期における身体・精神的变化をテキストから学習する。 事後学習として、死を迎える本人と周りの人への処置・対応をまとめる。	

基本情報

科目名	臨床看護実習
時間割コード	0528900401
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名	
吉岡 久美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	看護学・基礎看護技術で学習した知識・技術をもとに病院臨床の場でさらに観察し、実際に行ってみるにより看護の理解を深める。 学校保健活動及び養護教諭の職務、養護実習との関連を考え、臨床看護実習の意義を理解し説明できる。
履修上の注意事項	・実習事前指導に出席すること ・事前学習として、これまで学んだ解剖生理、病態、医学一般、看護学各論、基礎看護技術、薬理学等を中心に復習しておくこと ・事後学習では、報告会での他実習先での学びを振り返り、体験できなかった技術や対応について、その方法・留意点をまとめること (事前事後120分)
評価方法	実習成績(90%)・実習病院等の評価 実習態度、看護実習レポート、カンファレンスへの参加や学内実習態度(発表)の積極性(10%) レポートについてはコメントを入れて返却する
テキスト	実習要項、実習資料
参考文献	基礎看護技術 メディカ出版
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：大学病院(看護師)、一般病院(看護師長)、訪問看護ステーション(訪問看護師・管理者) 古城玲子：看護師経験

授業計画

授業計画	
<p>目的：看護学・基礎看護技術で学習した知識・技術をもとに病院臨床の場でさらに観察し、実際に行ってみるにより看護の理解を深める。 学校保健活動及び養護教諭の職務、養護実習との関連を考え、臨床看護実習の意義を理解し説明できる。</p> <p>8日間の臨床実習及び2日間の学内実習を行うにあたり、実習先における実践に関する事前学習を毎日行い、その日に体験した実践を振り返り整理すること (事前事後学習を合わせて90分を目安とする)</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	教育原理
時間割コード	0528900601
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	桑嶋 晋平
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
桑嶋 晋平

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>この授業では、教育という概念やその理念・目的について学んだうえで、現代にいたるまでの西洋および日本の教育の歴史と思想をふりかえり、今日の教育がどのような歴史的背景を有しているのかを学んでいきます。このことによって、「教育」とは何か、よい教育とはどのようなものか、といった問いへのじぶんなりのこたえ あるいはこたえるための問い をみいだすことを目指します。</p> <p>そのため、この授業では、以下のことを目標とします。</p> <p>(1) 教育の理念・歴史・思想にかんする基礎的なことがらを理解し説明することができる。</p> <p>(2) 教育の理念・歴史・思想にかんする知識に基づいて、教育の意義や特徴を理解し、説明することができる。</p> <p>(3) 教育とはなにか、よい教育とはなにかについて、自分自身のかんがえをあらわすことができる。</p>
履修上の注意事項	授業の計画は、受講者の数およびニーズに応じて一部変更する場合があります。
評価方法	<p>授業後の小レポート（30%）および学期末試験（70%）の総合成績で評価する。</p> <p>基礎的なことがらへの理解の度合い、設問にたいする理解度および解答が妥当性、論理性におうじて評価します。</p> <p>なお、毎時の小レポートについては、次回授業で全体に向けてコメントします。</p>
テキスト	教科書は使用しない。毎回の授業で使用する資料を配布する。
参考文献	参考書については授業ごとに適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
予習・復習については、毎時の授業で指示します（各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	受講ガイダンス / 授業全体の概要をしめす。		
2	「教育」とは何か / 教育の理念および目的について学ぶ。		
3	「教育」とは何か / 教育概念の歴史的な変遷について学ぶ。		
4	教育の思想と歴史 / 前近代の共同体における人間形成について学ぶ。		
5	教育の思想と歴史 / 前近代から近現代にいたる子ども観の変遷について学ぶ。		
6	教育の思想と歴史 / 近代家族の誕生とその教育とのかかわりについて学ぶ。		
7	教育の思想と歴史 / 近代教育の成立とその思想について学ぶ。		
8	教育の思想と歴史 / 新教育の思想と実践について学ぶ。		

授業計画

予習・復習については、毎時の授業で指示します（各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	教育の思想と歴史 / 近代教育批判における教育のとらえなおしについて学ぶ。		
10	近代日本における教育の思想と歴史 / 前近代のこの国の教育および近代教育の受容過程について学ぶ。		
11	近代日本における教育の思想と歴史 / 大正新教育の思想と実践について学ぶ。		
12	近代日本における教育の思想と歴史 / 総力戦体制と教育および戦後の教育改革について学ぶ。		
13	近代日本における教育の思想と歴史 / 50年代から高度経済成長期にかけての教育について学ぶ。		
14	近代日本における教育の思想と歴史 / 臨教審以後の教育改革について学ぶ。		
15	まとめ / 授業をまとめ、現代教育の諸問題について考察を試みる。		

基本情報

科目名	教職論
時間割コード	1000470501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	嶋 政弘
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
嶋 政弘

詳細情報

授業の目的・到達目標	1 教員の身分と役割，義務と裁量権について理解する。 2 最近の，教員を取り巻く状況や課題について理解する。 3 教員に関わる教育制度，学校の組織構造，学級経営の現代的問題理解を通して，求められる新しい教師像と専門性について考察することができる。
履修上の注意事項	1 ペアによるディスカッションをするため，ペアを作って着席する。 2 すべてペアに発言の機会があるので，常に自分の考えを持って参加する。
評価方法	ディスカッションへの参加40%，期末試験60%で評価する。 再試験は実施しない。
テキスト	使用しない。
参考文献	毎回，資料を配布する。参考資料については，授業の中で随時提示する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	教員名 : 嶋 政弘 実務内容：公立学校教員としての実績（35年）

授業計画

授業計画
<p>前半は，教員に求められる資質と意識を中心とした，教職に関する現状と課題について，最近の事例をもとに，ディスカッションを随所に仕組んだ講義を中心に進める。後半は，理想の教育を求めて取り組んでいる国内の実践例や，世界の先駆者として教育改革に取り組んでいるフィンランドを例に，これからの教育や教師像について，資料を基に，自分なりの考えを導き出すような展開にする。</p> <p>なお，事前・事後学修のうち，事前学修については，個人で行うことは難しいと考えるが，事後学習については，講義で疑問に感じたことや発展的なことについて調べることを指導する。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	教職とは何か 教師の役割と使命感		
2	教職の意義 これまでに会った教師を参考に，その意義について考える		
3	理想の教師像 聖職者・労働者としての教師像		
4	教師像の変化 文学作品・テレビドラマにみられる教師像の変化		
5	教員の服務義務 法的義務と現状		
6	校務分掌と教員の多様な仕事と多忙化		
7	教師間の仕事量の不均衡と公務員制度。		
8	一人一人の児童・生徒を守る教師		
9	研修とスキルアップ		
10	国内における実践例		
11	国内における実践例		
12	理想の教育を目指して（フィンランドにおける教育改革）		
13	理想の教育を目指して（フィンランドにおける教育改革）		

授業計画

前半は、教員に求められる資質と意識を中心とした、教職に関する現状と課題について、最近の事例をもとに、ディスカッションを随所に仕組んだ講義を中心に進める。後半は、理想の教育を求めて取り組んでいる国内の実践例や、世界の先駆者として教育改革に取り組んでいるフィンランドを例に、これからの教育や教師像について、資料を基に、自分なりの考えを導き出すような展開にする。
 なお、事前・事後学修のうち、事前学修については、個人で行うことは難しいと考えるが、事後学習については、講義で疑問に感じたことや発展的なことについて調べることを指導する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	理想の教育を目指して（フィンランドにおける教育改革）		
15	教職への道		

基本情報

科目名	教育行政論
時間割コード	0528900801
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	嶋 政弘
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
嶋 政弘

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1 教育行政の基本概念を理解し、教育行政をめぐる諸問題について自分の考えを持つことができる。</p> <p>2 日本国憲法及び教育基本法から導き出される教育の基本原則、及びその意義を理解する。</p> <p>3 学校教育における具体的な事例について、その多くが教育行政と密接に関連していることを理解する。</p>
履修上の注意事項	<p>1 ペアによるディスカッションをするため、ペアを作って着席する。</p> <p>2 すべてのペアに発言の機会があるので、常に自分の考えを持って参加する。</p>
評価方法	ディスカッションへの参加40%、期末試験60%で評価する。 再試験は実施しない。
テキスト	使用しない。
参考文献	毎回、資料を配布する。参考資料については、授業の中で随時提示する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>教員名 : 嶋 政弘</p> <p>実務内容: 公立学校教員としての実績(35年)</p>

授業計画

授業計画
<p>学校教育における様々な場面において、まず、その運用の実態と問題点に視点を向け、次に、その根拠となる関連法規や資料を判断基準として、実際の場面ではどのように判断すべきかについてのディスカッションを中心に展開する。</p> <p>なお、事前・事後学修のうち、事前学修については、個人で行うことは難しいと考えるが、事後学習については、講義で疑問に感じたことや発展的なことについて調べることを指導する。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	教育行政 教育委員会の組織・機能		
2	教育行政 教職員の人事権		
3	教育行政 学校選択制の拡大		
4	学校組織 校長の職務・権限と職員会議の機能		
5	学校組織 (校長, 副校長, 教頭の資格要件とその緩和)		
6	学校組織 教頭・副校長の職務		
7	学校組織 主任制度		
8	学校組織 主幹教諭・指導教諭		
9	養護教諭の職務 歴史的変遷		
10	養護教諭の職務 職務の変化		
11	教育無償化		
12	教員の服務と待遇		
13	教育課程 学習指導要領		
14	教育課程 教科書		
15	教育課程 特別支援教育		

基本情報

科目名	学校教育の心理学
時間割コード	0528901701
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	水間 宗幸
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
水間 宗幸

詳細情報

授業の目的・到達目標	学校教育の現場における現象を、発達心理学・教育心理学的見地を中心に考える。また教育現場に必要な心理学的視点を養い、学校現場への理解を深めることができる。
履修上の注意事項	習・復習を行うこと。特に、次回授業内容に関して必ず教科書の当該箇所を読んでおくこと。復習においては、キーワードを自分のことばで説明できるようにしておくこと。
評価方法	学んだことについて総合的な理解がどの程度できているか、レポートにて評価する。フィードバックについては希望者に対し個別でレポートのコメントを行う。
テキスト	「よくわかる学校教育心理学」 森 敏昭編 ミネルヴァ書房
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	イントロダクション：21世紀の学校教育が目指すもの		
2	学習理論と学習評価：新しい学習と評価の考え方		
3	学習指導と学習評価：具体的指導と評価		
4	カリキュラムと教授法：学習のスタイル		
5	発達に関する基礎理論：アタッチメント、ピアジェ、生態学的発達モデル		
6	子どもを理解する基礎知識：ことば・身体と発達		
7	子どもを理解する基礎知識：数概念・社会的知識・道徳性と発達		
8	子どもたちへの支援：社会的背景、特別な支援が必要な子どもたち		
9	子どもたちへの支援：学校教育相談、スクールカウンセリング、スクールカウンセラーとの連携		
10	子どもたちへの支援 ストレスマネジメント、共同学習、キャリア教育		
11	学級集団の心理学：社会的態度、対人関係、特別なニーズを必要とする児童・生徒		
12	学級集団の心理学：集団の意義としくみ、学級崩壊と学級支援		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	教師と子どもの人間関係：ほめ方叱り方とコミュニケーション		
14	学校組織と教師集団：学校という文化と学校支援		
15	社会における学校：学校組織の適応と健康、地域との関係		

基本情報

科目名	特別支援教育総論
時間割コード	1000480501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	水間 宗幸
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名	
水間 宗幸	

詳細情報

授業の目的・到達目標	特別支援教育の意義や目的を理解し、学習面、行動面などに困難を抱える子どもの理解を、発達心理的観点から理解し、それぞれの発達段階や特性に応じた教育および支援の在り方を考えることができる。
履修上の注意事項	予習・復習を行うこと。特に、次回の講義で扱う内容について、必ず教科書を一読した上、分からない単語などを調べておくこと(2時間)。復習時には、ノートをまとめ、講義の中で扱われた理論やキーワードを自分のことばで説明できるようになっておくこと(2時間)。
評価方法	試験で評価する(100%)。なお試験のフィードバックについては、希望者に個別に口頭で評価内容を伝える。
テキスト	はじめての特別支援教育--教職を目指す大学生のために 改訂版 (有斐閣アルマ)
参考文献	「発達障害の子どもたち」「発達障害のいま」とともに杉山登志郎、講談社現代新書。その他、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション：特別支援教育の概要と中教審「特別支援教育推進について」		
2	特別支援教育と発達臨床心理学的考え方		
3	知的機能などに制約がある子どもの理解と支援		
4	運動機能などに制約がある子どもの理解と支援		
5	見え、聞こえなどに制約がある子どもの理解と支援		
6	読み書き計算などに制約がある子どもの理解と支援		
7	注意集中力などに制約がある子どもの理解と支援		
8	社会性の発達などに制約がある子どもの理解と支援		
9	貧困や母国語など社会問題等によって発達に課題を抱える子どもの理解		
10	教育課程の中の特別支援教育の理解		
11	特別支援教育に関わるアセスメントについて		
12	発達に制約がある子どもの二次障害への理解		
13	不登校の理解と支援		
14	虐待が発達に及ぼす影響の理解と支援		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	学習面、行動面に困難を抱える子どもを支える専門機関の理解		

基本情報

科目名	教育課程論
時間割コード	1000490501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	桑嶋 晋平
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
桑嶋 晋平

詳細情報

授業の目的・到達目標	この授業では、教育課程を編成して学校で教育をするということについて批判的に考える力をつけることで、学習指導要領に沿いつつも、自分自身で教育課程を編成し、カリキュラム・マネジメントをおこなっていくことができるようになることを目的とします。 そのため、この授業では、以下のことを目標とします。 (1) 教育課程が有する役割や機能、並びに意義を理解し説明することができる。 (2) 教育課程編成の基本原則、ならびに学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解し説明することができる。 (3) カリキュラムをデザインし、マネジメントをおこなっていくことができる。
履修上の注意事項	授業の計画は、受講者の数およびニーズに応じて一部変更する場合があります。
評価方法	授業後の小レポート(30%)、授業での発表(20%)、学期末レポート(50%)の総合成績で評価する。 基礎的なことからへの理解の度合い、設問にたいする理解度および解答が妥当性、論理性におうじて評価します。 なお、毎時の小レポートについては、次回授業で全体に向けてコメントします。
テキスト	教科書は使用しない。毎回の授業で使用する資料を配布する。
参考文献	(小・中・高)『学習指導要領』 上記以外の参考書については授業ごとに適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
予習・復習については、毎時の授業で指示します(各回につき、事前学習:2時間、事後学習:2時間)。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	受講ガイダンス/授業全体の概要をしめす。		
2	教育課程の構成要素と編成原理		
3	教育課程をめぐる法と行政		
4	教育におけるメディアとしての教科書		
5	近現代日本の教育課程の歴史(1)		
6	近現代日本の教育課程の歴史(2)		
7	学力とはなにか		
8	教育において評価とはなにか		
9	教育における評価の方法		
10	諸外国の教育課程		
11	隠れたカリキュラム		
12	子ども理解とカリキュラム		
13	カリキュラムと学校の空間		
14	保護者・地域と教育課程		
15	授業のまとめと今日の課題に応じる教育課程の在り方		

基本情報

科目名	特別活動・総合的な学習の時間の指導法
時間割コード	0528902001
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	桑嶋 晋平
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
桑嶋 晋平

詳細情報

授業の目的・到達目標	この授業では、学校教育における特別活動の位置付けとその意義について基礎的なことがらおよび生徒の発達や成長にたいして特別活動の持っている多様な役割と可能性について学び、特別活動を実施していくための実践的指導力の基礎を形成することを目指すとともに、総合的な学習の時間にかんして、各教科等で育まれる見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰してとらえ、実社会・実生活の課題を探究する学びを実現するために、指導計画の作成および具体的な指導の仕方、学習活動の評価にかんする知識・技能を身に付けることを目的とします。 (1) 特別活動の意義、目標及び内容について理解し、説明することができる。 (2) 特別活動の指導の在り方について理解し、説明することができる。 (3) 総合的な学習の時間の意義や、指導計画の作成や指導の仕方について理解し、説明することができる。
履修上の注意事項	授業の計画は、受講者の数およびニーズに応じて一部変更する場合があります。
評価方法	授業後の小レポート(30%)および学期末レポート(70%)の総合成績で評価する。 基礎的なことがらへの理解の度合い、設問にたいする理解度および解答が妥当性、論理性におうじて評価します。 なお、毎時の小レポートについては、次回授業で全体に向けてコメントします。
テキスト	教科書は使用しない。毎回の授業で使用する資料を配布する。
参考文献	(小・中・高)『学習指導要領 特別活動編』、(小・中・高)『学習指導要領 総合的な学習の時間編』 上記以外の参考書については授業ごとに適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
予習・復習については、毎時の授業で指示します(各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間)。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	受講ガイダンス/授業全体の概要をしめす。		
2	教育課程における特別活動の位置付けと各教科などとの関連		
3	学級活動・ホームルーム活動の特質		
4	児童会・生徒会活動の特質		
5	クラブ活動・部活動の特質		
6	学校行事の特質		
7	教育課程全体における特別活動の指導		
8	特別活動における取組の評価・改善活動		
9	特別活動と生活指導、集団づくり		
10	特別活動における家庭・地域住民や関係諸機関との連携		
11	「総合的な学習の時間」の意義と教育課程における位置づけ		
12	「総合的な学習の時間」の目標		

授業計画

予習・復習については、毎時の授業で指示します（各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	年間指導計画の作成における各教科等との関連性		
14	単元計画の作成と具体事例の分析		
15	総合的な学習の時間における評価の方法		

基本情報

科目名	教育方法論
時間割コード	0528901201
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	嶋 政弘
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
嶋 政弘

詳細情報

授業の目的・到達目標	1 多様な学習者に配慮して「教授と学習」という視点に立った学習指導の方法を理解する。 2 学習や学校生活における様々な場面に対する対応方法について理解する。 3 授業効果を高めるための方法としての教育情報機器の利用について理解し、活用できるようになる。
履修上の注意事項	1 ペア・グループによるディスカッションをするため、ペアを作って着席する。 2 すべてのペアに発言の機会があるので、常に自分の考えを持って参加する。
評価方法	ディスカッションへの参加40%、課題提出20%、課題発表20%、期末試験20%で評価する。 追試験は実施しない。
テキスト	使用しない。(毎回、学習プリント及び資料を配布する)
参考文献	毎回、資料を配布する。参考資料については、授業の中で随時提示する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	教員名 : 嶋 政弘 実務内容: 公立学校教員としての実績(35年)

授業計画

授業計画
<p>前半は、教育における方法論的な立場から、教育方法の歴史や組織面(形態)及び改革等について学ぶ。後半は、指導案作成を中心に、発表会準備の過程で、視聴覚機器の活用方法について学習する。</p> <p>なお、事前・事後学修のうち、事前学修については、個人で行うことは難しいと考えるが、事後学習については、講義で疑問に感じたことや発展的なことについて調べることを指導する。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	授業のねらいと展開の方法		
2	教育方法の歴史		
3	教育方法の歴史		
4	教育方法の種類と特質		
5	教育方法の種類と特質		
6	教育方法の改革と課題 学力形成の方法論		
7	教育方法の改革と課題 学習の形態と、教師と子どもの関係性		
8	学習指導案の作成 作成の手順と内容		
9	学習指導案の作成 単元(教材)の目標設定と指導計画		
10	学習指導案の作成 各時間(本時)におけるねらいと授業準備		
11	学習指導案の作成 学習展開(過程)における学習活動と指導上の留意点		
12	教育情報機器の操作 教育情報機器の例とその効果		
13	教育情報機器の操作 パワーポイントによるわかりやすいプレゼンテーションの作成方法		

授業計画

前半は、教育における方法論的な立場から、教育方法の歴史や組織面（形態）及び改革等について学ぶ。後半は、指導案作成を中心に、発表会準備の過程で、視聴覚機器の活用方法について学習する。

なお、事前・事後学修のうち、事前学修については、個人で行うことは難しいと考えるが、事後学習については、講義で疑問に感じたことや発展的なことについて調べることを指導する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	指導案発表と審議		
15	指導案発表と審議		

基本情報

科目名	生徒指導論
時間割コード	0528901301
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	桑嶋 晋平
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
桑嶋 晋平

詳細情報

授業の目的・到達目標	この授業では、生徒指導の意義や原理を理解するとともに、すべての児童及び生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方および児童及び生徒の抱える主な生徒指導上の課題の形態と、教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方を学びます。 この授業では、以下のことを目標とします。 (1) 生徒指導の学校教育における意義や役割を理解し、説明することができる。 (2) 生徒指導が求められる諸問題について理解し、基本的な対応ができる。 (3) 校内外での連携のあり方について理解し、対応の方途をさぐることができる。
履修上の注意事項	授業の計画は、受講者の数およびニーズに応じて一部変更する場合があります。
評価方法	授業後の小レポート（30%）および学期末レポート（70%）の総合成績で評価する。 基礎的なことからへの理解の度合い、設問にたいする理解度および解答が妥当性、論理性におうじて評価します。 なお、毎時の小レポートについては、次回授業で全体に向けてコメントします。
テキスト	教科書は使用しない。毎回の授業で使用使用する資料を配布する。
参考文献	参考書については授業ごとに適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
予習・復習については、毎時の授業で指示します（各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	受講ガイダンス / 授業全体の概要をしめす。		
2	生徒指導の意義と目的		
3	生徒指導の歴史的変遷		
4	集団指導と個別指導		
5	教育課程における生徒指導		
6	児童生徒理解の意義と方法		
7	児童生徒の発達と児童生徒理解		
8	課題を抱える児童生徒への指導		
9	いじめの実態と支援		
10	不登校問題と支援		
11	児童虐待の実態と支援		
12	非行の実態と支援		
13	生徒指導と保護者		
14	生徒指導における教職員・保護者・地域・諸機関の連携		
15	授業のまとめと今日における生徒指導の課題		

基本情報

科目名	教育相談（カウンセリングを含む）
時間割コード	0528901401
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	古賀 由紀子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
古賀 由紀子

詳細情報

授業の目的・到達目標	教育相談とは、一人一人の子どもの教育上の諸問題について本人または、保護者、教師などにその望ましい在り方について指導助言することを意味しているが、特に学校生活において不適応を訴える児童生徒、保護者に対して主として個別援助するとき、これらの悩みや問題行動に対してどのように理解し、具体的に対応していったらよいのか説明できる。
履修上の注意事項	授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(60分)。授業の復習を行うこと(60分) 毎回、授業の振り返りと質問等を最後にかかせるが、内容を確認し、次時に返却する。前時の質問に対しては授業の最初に応える。
評価方法	レポート等20%、試験80%により評価
テキスト	特になし。随時プリントを配布する。
参考文献	「新しい学校教育相談の在り方と進め方 - 教育相談系の役割と活動 - 」栗原慎二著 ほんの森出版
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	古賀：養護教諭として公立学校勤務経験 豊永：教諭（教育相談担当）として県立高校勤務経験，スクールカウンセラーとして公立学校勤務経験

授業計画

授業計画
授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（60分）。授業の復習を行うこと（60分） 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	教育相談の考え方、教育相談の位置付け、生徒指導と教育相談（古賀）		
2	児童生徒理解の基礎（教育相談の内容、発育発達、疾病等の一般的理解）（古賀）		
3	児童生徒理解の基礎（個別的理解とその方法）（古賀）		
4	包括的な教育相談体制（マルチレベルアプローチ）に取り組む（豊永）		
5	学級で実施できるSST（グループワーク）（豊永）		
6	学校で使えるアセスメントツール（豊永）		
7	カウンセリングの理論と技法（豊永）		
8	認知と行動にアプローチする（認知行動療法）（豊永）		
9	資源にアプローチする（豊永）		

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（60分）。授業の復習を行うこと（60分）
 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	家族心理学（1）家族心理学の理論（豊永）		
11	家族心理学（2）教育相談への応用（豊永）		
12	チーム援助と支援会議（豊永）		
13	教育相談の担い手（学級担任、教育相談担当者、養護教諭、スクールカウンセラー他）（古賀）		
14	教育相談の機関と支援ネットワーク（古賀）		
15	教育相談充実のための方策（古賀）		

基本情報

科目名	養護実習(事前事後指導含む)
時間割コード	0528901601
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	5.0
学年	4
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古賀 由紀子、古江 佳織、嶋 政弘、水間 宗幸、吉岡 久美、未定、桑嶋 晋平

詳細情報

授業の目的・到達目標	保健室の在り方及び養護教諭の果たすべき役割と「養護」の対象である児童生徒の心身、生活状況、健康問題について実習校の実態に基づいて述べるができる。保健室に来室する児童生徒に対する中で、健康問題の発見・把握、解決、予防のための指導などを適切に行うことができる。自が養護教諭になった時の姿(養護教諭像)を描くことができる。
履修上の注意事項	実習に当たっては1単位の事前事後指導を受けること(養護教諭に必要な資質としての救急処置演習を含む)。 ・履修に当たっては、教職課程履修細則が適用されるのでよく確認をすること。 ・実習校の計画に基づき実習を行うこと。 ・実習の事前学習を行うこと。 ・実習後には振り返りレポートを書くこと。
評価方法	実習校における評価(70%)、実習録・実習終了レポートによる評価(10%)、事前事後指導における平常の評価(出席、授業参加等)、事前事後指導におけるレポートによる評価(20%)。なお、事前事後指導、本実習のすべてにおいて、無断欠席は認められないので厳重に慎むこと。
テキスト	養護実習の手引き及び配布資料
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当者は教員・養護教諭の実務経験、あるいは病院勤務経験者である。

授業計画

授業計画
1. 事前指導(3年次~4年次実習前) 教育実習の意義・心得、実習の内容や過程の理解、教育現場の事前理解、指導案の作成、実習に必要な知識・技術・技能の獲得、及び実習校の確定とその手続き、実習校との打ち合わせにかかわる実際的な指導 2. 教育実習(4年次、2週間) 実習校の指導のもとで実習を行う 3. 事後指導(4年次、実習後) 実習に関する反省と指導 体験内容の相互共有により実習経験の充実・深化をはかる。また終了レポートの作成、自己評価、体験発表、討論会等を行う。 *なお、事前事後指導については、別途指導計画表を配布する。とくに3年次は専門の実習の関係で、事前指導の日程は、変則的に組まれるので注意すること。初回のガイダンスで詳細に説明する。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	教職実践演習(養護教諭)
時間割コード	0528901501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
チーム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
柴田 恵子

詳細情報

授業の目的・到達目標	これまでの履修内容を統合することで確かな実践的指導力を身につける。具体的には、自らの養護教諭としての実践実習を評価しまとめることができる。自らの能力・適正(資質)について、自ら描く養護教諭像と照らし合わせて研鑽すべき課題を述べることができる、ということである。
履修上の注意事項	これまでの教職に関する学習の総まとめの意味があるので、毎回関連する既習科目を復習し演習に臨むこと。授業後は、行った演習を振り返り記録し、ポートフォリオを作成すること。
評価方法	講義についてのレポート、演習後の記録、グループワークでの活動、振り返りでの討論等を総合して評価する。
テキスト	これまでに使用した教科書、資料を活用する。
参考文献	適宜、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当者は教員あるいは養護教諭として学校での実務経験、看護師は病院での実務経験がある。

授業計画

授業計画
<p>1. 事前指導(3年次～4年次実習前)</p> <p>教育実習の意義・心得、実習の内容や過程の理解、教育現場の事前理解、指導案の作成、実習に必要な知識・技術・技能の獲得、及び実習校の確定とその手続き、実習校との打ち合わせにかかわる実際的な指導</p> <p>2. 教育実習(4年次、2週間)</p> <p>実習校の指導のもとで実習を行う</p> <p>3. 事後指導(4年次、実習後)</p> <p>実習に関する反省と指導 体験内容の相互共有により実習経験の充実・深化をはかる。また終了レポートの作成、自己評価、体験発表、討論会等を行う。</p> <p>* なお、事前事後指導については、別途指導計画表を配布する。とくに3年次は専門の実習の関係で、事前指導の日程は、変則的に組まれるので注意すること。初回のガイダンスで詳細に説明する。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	法学
時間割コード	0528110301
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	野崎 和義
科目区分	基礎分野 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
野崎 和義

詳細情報

授業の目的・到達目標	今日の社会で要求される法感覚、さらに私たちが日常生活を送る上で必要な法知識を身につけることを目標とする。具体的には、以下の事項についての理解を目指す。 社会生活における法の作用および役割、民法の財産法および家族法の基本的な考え方、医療・福祉サービス利用者の権利とその救済方法、成年後見制度および日常生活自立支援事業、医療・福祉職の専門性と法的責任
履修上の注意事項	・準備学習：各回のテーマに即して教科書を読んでおくこと。 ・事後学習：講義で示された課題をもとに教科書および関連事項を整理すること。 ・講義の進行は、理解度に応じて変更することがある。その際には、あらかじめ通知する。
評価方法	定期試験(100%)の成績によって評価する。
テキスト	野崎和義著『医療・福祉のための法学入門』2013年、ミネルヴァ書房。 野崎和義監修『社会福祉六法』2021年、ミネルヴァ書房。
参考文献	各回の講義の際に紹介する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>事前・事後学修について</p> <p>事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）</p> <p>事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	法と日常生活 講義計画の紹介、何をどこまで学ぶか、法というものの考え方		
2	家庭生活と法（1） 親族の範囲・効果		
3	家庭生活と法（2） 婚姻・離婚とその効果		
4	家庭生活と法（3） 相続の一般原則、法定相続と遺言相続、相続をめぐる諸問題		
5	消費生活と人権（1） 悪質商法の法的問題点、物権と債権の基本的異同		
6	消費生活と人権（2） クレジット取引の仕組み、契約の拘束力・相対性		
7	刑事手続きと人権（1） 法的責任、犯罪と刑罰、刑務所と前科		
8	刑事手続きと人権（2） 不法行為責任と刑事責任の異同、行政上の処分の独自性		
9	医療・福祉サービスに関わる法（成年後見制度と日常生活自立支援事業、行政行為と行政争訟）		

授業計画

事前・事後学修について

事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）

事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	医療・福祉専門職の根拠法（医療・福祉職の専門性および資格、社会福祉各法の適用対象者）		
11	医療・福祉職の連携（看護・介護事故、看護と介護の関係、職務の専門性と就業問題）		
12	病院・施設の設置基準と法律問題（医療・福祉サービスの公共性、設置基準の法的拘束力）		
13	障害者の雇用・就労支援（障害者雇用促進法、法定雇用率、勤労の権利と義務）		
14	ふたたび人権を考える（雇用対策と差別の禁止、労働市場における公正、人権の普遍性）		
15	医療・福祉職と法（高齢社会における課題と役割分担、行為準則としての法）		

基本情報

科目名	法学（日本国憲法）
時間割コード	0528110401
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	野崎 和義
科目区分	基礎分野 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
野崎 和義

詳細情報

授業の目的・到達目標	医療・福祉さらには教育の実践にあたって必要な憲法感覚を身につけることを目標とする。具体的には、以下の事項についての理解を目指す。 日本国憲法の基本原理、基本的人権の意義および機能、基本的人権を保障するための仕組み（国および地方公共団体の組織・権能・財政）、行政情報へのアクセス（情報公開）、行政の役割と法治国家原理（行政行為、行政手続き、行政不服審査・行政訴訟）
履修上の注意事項	・準備学習：各回のテーマに即して教科書を読んでおくこと。 ・事後学習：講義で示された課題をもとに教科書および関連事項を整理すること。 ・講義の進行は、理解度に応じて変更することがある。その際には、あらかじめ通知する。
評価方法	・定期試験(100%)の成績によって評価する。
テキスト	・野崎和義著『医療・福祉のための法学入門』2013年、ミネルヴァ書房。 ・野崎和義監修『社会福祉六法』2021年、ミネルヴァ書房。
参考文献	・各回の講義の際に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>事前・事後学修について</p> <p>事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）</p> <p>事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	取引社会と医療・福祉の権利（取引社会のルール、契約原理の修正、国家と個人）		
2	日本国憲法の考え方（人権規定の私人間効力、裁判例の分析、人権という思想）		
3	日本国憲法の構成（三つの基本原理、基本的人権のカatalog、人権保障の仕組み、特別条項）		
4	基本的人権と公共の福祉、基本的人権の主体（内在的制約と外在的制約、外国人・法人の人権）		
5	プライバシーの権利と個人情報の保護、情報公開制度（行政情報へのアクセス）		
6	自己決定権の尊重と医療・介護（インフォームドコンセント、身体拘束の禁止）		
7	自由権（とくに人身の自由、少年の刑事手続き、資格制限と社会復帰）		
8	法の下での平等と合理的差別（男女共同参画、セクハラと雇用機会均等法）		

授業計画

事前・事後学修について

事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）

事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	家族生活における平等（介護と扶養、介護保険制度導入の背景）		
10	社会権の思想（平等権から社会権へ、生活保護法の基本原理と裁判例）		
11	高齢社会における社会保障（社会保障の法体系、高齢者と住居、看護・福祉の労働）		
12	その他の基本権 参政権、受益権（施設入所高齢者・障害者の参政権保障、国家賠償請求権）		
13	国家の機構（三権の抑制と均衡、裁判所の仕組み）		
14	財政、地方自治（財政の基本原則、自治体の行政権・立法権、行政争訟）		
15	医療・福祉と日本国憲法（民主主義と少数者の人権、統治機構の役割）		

基本情報

科目名	英語（医療英語）
時間割コード	0528120301
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	基礎分野 ことばと文化

担当教員情報

教員名	
檜枝 洋記	

詳細情報

授業の目的・到達目標	医療現場での会話を聞き取り、理解できるようになる。 からだの代表的な部位や疾患のボキャブラリーについて学ぶ。
履修上の注意事項	楽しむ気持ちで積極的に参加すること。
評価方法	試験50%、発表50%
テキスト	プリントを配布する。
参考文献	総合医学英語テキスト（日本医学英語教育学会編、メジカルビュー社）
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	Orientation and self-introduction	自己紹介の内容を英文で書き、声に出して読んでおくこと	
2	"Fever" - Listening	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
3	"Fever" - Reading	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
4	"Anemia" - Listening	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
5	"Anemia" - Reading	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
6	"Dehydration" - Listening	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
7	"Dehydration" - Reading	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
8	"Obesity" - Listening	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
9	"Obesity" - Reading	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
10	"Cough" - Listening	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
11	"Cough" - Reading	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
12	"Dysphagia" - Listening	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
13	"Dysphagia" - Reading	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
14	"Fracture" - Listening	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
15	"Fracture" - Reading	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	

基本情報

科目名	ドイツ語
時間割コード	0528121001
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	竹中 健
科目区分	基礎分野 ことばと文化

担当教員情報

教員名
竹中 健

詳細情報

授業の目的・到達目標	ドイツの文化を、ドイツ語学習を通じて学ぶことを本講義の目的とする。ドイツ語それ自体をも対象としながら、特定の言語構造のなかで思考をおこなうとき、言語が思考に影響をおよぼすという事実を知ることがをねらいとする。講義を通じて、学修者はドイツ語の言語としての構造的特性を理解できるようになる。
履修上の注意事項	独和辞典の購入と教室必携は、早い時期にすること。ドイツ語学習は、辞書の引き方それ自体が学習内容である。辞書による予習・復習を心掛けてください。
評価方法	講義内で合計10回のミニテストを実施し、それらを総合的に評価して最終評価とする。
テキスト	プリントを配布する。テキストは用いない。
参考文献	岡本和子『30日で話せるドイツ語会話』ナツメ社 橋本政義『あなただけのドイツ語家庭教師』国際語学社
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
毎回の事前学習と事後学習を通じて、ドイツ語を学ぶ楽しさを知る。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション	【事前学習】ドイツのことについて、知っていることを書き出してみよう。(2時間) 【事後学習】地上波テレビやBS放送のドイツ語関連のテレビ番組をチェックしてみよう(2時間)	
2	ドイツ語の文字と発音	【事前学習】ドイツ語関連のスマホアプリ(無料版)をいくつかダウンロードして遊んでみよう。(2時間) 【事後学習】You Tubeでドイツ語の歌を聴いてみよう(2時間)	
3	名詞の性と冠詞	【事前学習】大都市の大きな本屋さんに出かけてドイツ語の辞書を買って求めましょう。(2時間) 【事後学習】You Tubeでドイツ語の映画を見てみよう(2時間)	
4	数字	【事前学習】英語の綴りで1から100まで書き出してみよう(2時間) 【事後学習】ドイツ語で0から10まで覚えよう(2時間)	
5	動詞の現在形	【事前学習】ドイツ語で11から100まで覚えよう(2時間) 【事後学習】1本80円セールの特価で、ゲオのレンタルDVDや動画ダウンロードなどで、日本語字幕付きのドイツ語の映画を一本借りて見てみよう(2時間)	

授業計画

毎回の事前学習と事後学習を通じて、ドイツ語を学ぶ楽しさを知る。

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
6	冠詞と名詞の格変化	【事前学習】ドイツ語のテレビ番組をチェックして録画か視聴してみよう(2時間) 【事後学習】1本80円セールの特価品かゲオのレンタルDVDや動画ダウンロードなどで、日本語字幕付きのドイツ語の映画を一本借りて見てみよう(2時間)。	
7	疑問代名詞	【事前学習】小さめの単語用ノートを購入し、定冠詞付きで名詞を整理していこう(2時間) 【事後学習】単語ノートに動詞を不定形で整理していこう(2時間)	
8	人称代名詞	【事前学習】人称代名詞を覚えよう(2時間) 【事後学習】人称代名詞の格変化を覚えよう(2時間)	
9	不定冠詞類 (mein型)	【事前学習】定冠詞を覚えよう(2時間) 【事後学習】定冠詞の格変化を覚えよう(2時間)	
10	分離動詞 (1)	【事前学習】不定冠詞を覚えよう(2時間) 【事後学習】不定冠詞の格変化を覚えよう(2時間)	
11	疑問文	【事前学習】動詞を5個覚えよう(2時間) 【事後学習】動詞5個の人称変化を覚えよう(2時間)	
12	否定文	【事前学習】動詞を5個覚えよう(2時間) 【事後学習】動詞5個の人称変化を覚えよう(2時間)	
13	語順	【事前学習】ドイツ語の歌をダウンロードし、歌詞を書き出してみよう(2時間) 【事後学習】書き出した歌詞を暗記しよう(2時間)	
14	分離動詞 (2)	【事前学習】動詞5個を辞書で調べて読んでみよう(2時間) 【事後学習】動詞5個を単語ノートに不定形で書いて覚えよう(2時間)	
15	まとめ	【事前学習】スマホの地図ナビ機能にドイツ語版をダウンロードして使ってみよう(2時間) 【事後学習】大学の帰り道、ドイツ語版のスマホナビを聞いて、方角を表すドイツ語をマスターしよう(2時間)	

基本情報

科目名	ドイツ語
時間割コード	0528121101
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	竹中 健
科目区分	基礎分野 ことばと文化

担当教員情報

教員名
竹中 健

詳細情報

授業の目的・到達目標	ドイツの文化を、ドイツ語学習を通じて学ぶことを本講義の目的とする。ドイツ語圏の映画を見て、ドイツ語を部分的にでも聞き取れるようになることを目指す。戦争の歴史とナチス政権樹立のプロセスについても、映画を通じて考察を深める。
履修上の注意事項	独和辞典を引きまくるという態勢を築いて欲しい。 またYou TubeやBS放送でドイツ語圏の音楽番組やニュース番組を楽しむ習慣をもつとよい。 テレビ番組「旅するドイツ語」を録画して、絶えずドイツ語を耳で拾って生の言葉と文化に触れて欲しい。
評価方法	講義内で合計4回のミニレポートを実施し、それらを総合的に判断して最終評価とする。
テキスト	テキストはとくに指定しない。
参考文献	清水紀子著『すてきなドイツ語』白水社 岡本和子著『30日で話せるドイツ語会話』ナツメ社
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション：何を学ぶか？	【事前学習】気になっているドイツの文化や暮らしについて、自分が今知っていることを書き出してみよう（2時間） 【事後学習】講義を聞いて自分が興味を持ったことについて、少し調べてみよう（2時間）	
2	映画 "Die Bucherdiebin"を見る（前半）	【事前学習】ナチス政権について、自分が今知っていることを書き出してみよう（2時間） 【事後学習】ナチス政権について、少し調べてみよう（2時間）	
3	映画 "Die Bucherdiebin"を見る（後半）	【事前学習】映画を見て、理解できなかったところ、気になったことを書き出してみよう（2時間） 【事後学習】映画を見て、考えたことをA4の用紙2枚程度にまとめてください（2時間）	
4	映画を見て考え、議論する（1）どのような人たちがナチス政権に排除されたのか？	【事前学習】ナチス親衛隊の構成員はどのような人たちだったのかを調べてみよう（2時間） 【事後学習】日本の憲兵について、調べてみよう（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
5	映画「帰ってきたヒトラー」を見る (前半)	【事前学習】アドルフ・ヒトラーについて、自分が今知っていることを書き出してみよう (2時間) 【事後学習】映画を見て、わからなかったこと、不思議に思ったことがあれば、書き出してみよう (2時間)	
6	映画「帰ってきたヒトラー」を見る (後半)	【事前学習】アドルフ・ヒトラーは、どのような人たちに支持されたのかを調べてみよう (2時間) 【事後学習】映画を見て、考えたことをA4の用紙2枚程度にまとめてください (2時間)	
7	映画を見て考え議論する (2) どのような人たちがナチス政権を支持したのか?	【事前学習】アドルフ・ヒトラーの実際の演説をYouTubeなどでいくつか見てみよう (2時間) 【事後学習】ヒトラーは、なぜ多くの人に支持されたのかを論じてください (A4の用紙2枚程度) (2時間)	
8	映像「ヒトラーの演説」を見る (前半)	【事前学習】アドルフ・ヒトラーは、どのような人たちに支持されたのかを調べてみよう (2時間) 【事後学習】ドナルド・トランプ氏の演説を動画で見てみよう (2時間)	
9	映像「ヒトラーの演説」を見る (後半)	【事前学習】ドナルド・トランプ氏は、どのような人たちに支持されていたのかを調べてみよう (2時間) 【事後学習】映像を見て、考えたことをA4の用紙2枚程度にまとめてください (2時間)	
10	映像を見て考え議論する (3) なぜヒトラーは支持されたのか?	【事前学習】ドナルド・トランプ氏の演説を動画で見てみよう (2時間) 【事後学習】講義を聞いて、考えたことをA4の用紙2枚程度にまとめてください (2時間)	
11	映像を見て考え議論する (4) ネオナチズムとティーパーティー	【事前学習】ティー・パーティーについて調べてみよう (2時間) 【事後学習】ネオナチズムとティーパーティーの共通点、違いについて、調べたことをA4の用紙2枚程度にまとめてください (2時間)	
12	ドイツ語の童話を読む	【事前学習】好きなグリム童話をひとつ日本語訳で読んでみてください (2時間) 【事後学習】その童話について、少し調べてみよう (2時間)	
13	ドイツ語の歌を聞く	【事前学習】あなたが好きなドイツ語の歌をひとつ、YouTubeやCDなどで聴いてみてください (2時間) 【事後学習】その歌詞を調べて書き出してみよう。できれば暗唱しよう。 (2時間)	
14	ドイツ語のパズルを解く	【事前学習】スマホに無料のドイツ語のゲームアプリを一つダウンロードして遊んでみましょう (2時間) 【事後学習】ゲームに出てきた単語を3つ、単語ノートに書きだして覚えましょう (2時間)	
15	まとめ	【事前学習】日本語字幕のついたドイツ語の映画をレンタルまたはダウンロードして鑑賞しよう (2時間) 【事後学習】映画を見て、思ったこと、考えたことをA4の用紙2枚程度にまとめてください (2時間)	

基本情報

科目名	中国事情
時間割コード	0528121401
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	基礎分野 ことばと文化

担当教員情報

教員名
高 継芬

詳細情報

授業の目的・到達目標	中国語の文章を読むことによって中国の古代の文化や現代の中国事情について理解ができる。 古代の文化は論語を中心に学ぶことができる。 現代の中国事情について中国の人口、地理、民族、飲食習慣などについて理解することができる。
履修上の注意事項	
評価方法	レポート 20% 小テスト 40% 試験 40%
テキスト	講義時プリント配布
参考文献	適宜に紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	全体オリエンテーション		
2	中国の概況		
3	中国の電子決済事情		
4	中国の習慣		
5	中国人の礼儀作法		
6	論語		
7	論語		
8	中間まとめ復習		
9	中国の観光		
10	中国の飲食習慣		
11	中国の節日		
12	中国の交際礼儀		
13	中国の現代の大学生		
14	現代中国の抱える問題		
15	総括まとめ		

基本情報

科目名	中国事情
時間割コード	0528121501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	基礎分野 ことばと文化

担当教員情報

教員名
高 継芬

詳細情報

授業の目的・到達目標	主として中国の現代事情を理解しつつ、その事象について分析考察します。伝統文化と現代文化の関連性や、中国特有の事情と日本お違いに注目することができる。
履修上の注意事項	事前に授業内容を予習してくることと事後復習してくることができれば授業がスムーズに進みます。
評価方法	レポート40% 小テスト20% テスト 40%
テキスト	講義時プリント配布
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	全体オリエンテーション		
2	中国の消費観念		
3	中国の就職事情		
4	中国の教育事情		
5	中国の婚姻		
6	中国の健康観念		
7	中国の定年後の娯楽		
8	今までの振り返り		
9	中国の医療事情		
10	中国の観光事情		
11	中国の伝統休日		
12	中国の世界遺産		
13	中国の伝統習慣		
14	中国の伝統礼節		
15	総括まとめ		

基本情報

科目名	アジア文化
時間割コード	0528121601
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	基礎分野 ことばと文化

担当教員情報

教員名
安藤 学、李 玄玉、高 継芬

詳細情報

授業の目的・到達目標	アジアの国々と地域の文化形成過程(文化史)を学修し、それぞれの文化における共通性と異質性を認識すること によって異文化への理解を深めることをねらいとする。
履修上の注意事項	アジア文化の関連する本を事前に読んでいただくと毎回授業内容を復習していただくとスムーズに受講できます。
評価方法	レポート 20% 小テスト 40% 試験 40%
テキスト	講義時にプリント配布
参考文献	適宜に紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	タイの文化(その歴史と現在)(安藤)		
2	日本と韓国の違い(未定)		
3	日韓文化の遠近(未定)		
4	韓国から日本へ伝えられた様々な文化について(李)		
5	「飛鳥」という地名の意味、由来(李)		
6	日本語の「鳥・とり」と韓国語の「Dori」について(李)		
7	台湾の文化について(高)		
8	日中の歴史について(高)		
9	日中旅遊観光の文化について(高)		
10	日中文化における共通性と異質性 漢字の比較(高)		
11	日中文化における共通性と異質性 論語について(高)		
12	日中文化における共通性と異質性 衣食住について(高)		
13	国際理解異文化理解について(高)		
14	日本の文化を知る(高)		
15	文化についてのディスカッション(担当者全員)		

基本情報

科目名	基礎生物科学
時間割コード	0528130101
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	基礎分野 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
檜枝 洋記

詳細情報

授業の目的・到達目標	現代の先端医療には、生命科学の基礎研究成果（とくに分子・細胞レベルでの研究成果）が応用され始めている。 本科目では、生命科学の基礎研究が先端医療にどのように活かされているについて学び、知的探求心を涵養する。
履修上の注意事項	積極的に取り組む姿勢があれば、楽しみながら参加できる。 授業での活動は、いくつかの課題について資料・文献を調査すること、および、発表スライドを作成して発表することである。
評価方法	レポート50%、発表50%
テキスト	とくになし。
参考文献	とくになし。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション		自己紹介、グループ分け、課題決定
2	課題1の資料・文献調査		課題について図書館やインターネットを利用して調査する。
3	課題1の調査内容の概要整理		調査して得られた知見を文書にする。また、新たな疑問等について調査する。
4	課題1の調査内容の詳細整理		調査して得られた知見を文書にする。
5	課題1の発表スライドの概要作成（グループワーク）		調査して得られた知見をもとに、課題についての発表スライドを作成する。
6	課題1の発表スライドの詳細作成（グループワーク）		発表スライドの内容や体裁について精査する。
7	課題1の発表スライドの最終チェック（グループワーク）		発表スライドを完成させる。
8	課題1の発表スライドのプレゼンテーション（グループワーク）		課題についてスライドを使って発表する。
9	課題2の資料・文献調査		課題について図書館やインターネットを利用して調査する。

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
10	課題2の調査内容の概要整理		調査して得られた知見を文書にする。また、新たな疑問等について調査する。
11	課題2の調査内容の詳細整理		調査して得られた知見を文書にする。
12	課題2の発表スライドの概要作成(グループワーク)		調査して得られた知見をもとに、課題についての発表スライドを作成する。
13	課題2の発表スライドの詳細作成(グループワーク)		発表スライドの内容や体裁について精査する。
14	課題2の発表スライドの最終チェック(グループワーク)		発表スライドを完成させる。
15	課題2の発表スライドのプレゼンテーション(グループワーク)		課題についてスライドを使って発表する。

基本情報

科目名	物理学
時間割コード	0528130701
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森 信之
科目区分	基礎分野 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
森 信之

詳細情報

授業の目的・到達目標	物理学は、自然界のあらゆる出来事に対し、科学的思考によってその本質を明らかにしようという学問です。本講義は、医療・福祉分野において必要となるであろう項目を取上げますが、その学修により、観察事実に基づく科学的思考、分析的思考を身に付けることも目指します。
履修上の注意事項	黒板に書かれたことをただ写すだけでなく、講義を聞いて、なぜそうなのかを考えながら、要点をまとめてノートするようにしてください。自分の頭で考えることなしに、物理学や科学的思考を理解することはできないからです。
評価方法	筆記試験を行ない、その結果のみで評価します。
テキスト	使用しません。適宜、プリントを配布します。
参考文献	必要に応じ、講義中に示します。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	力とベクトル、力の合成・分解、作用反作用、力のつり合い		
2	力のモーメント、槌子(てこ)の原理、モーメントのつり合い		
3	身体の構造と槌子、重心と安定性		
4	圧力、サイフォン、ドレナージ(吸引)		
5	速度、加速度、ニュートンの運動の法則		
6	重力と重力加速度、一様重力による運動		
7	等速円運動、単振動、波		
8	運動量と運動量保存則、はね返り係数		
9	仕事と力学的エネルギー		
10	種々のエネルギーとエネルギー保存則		
11	電場、静電気力；磁場、磁力		
12	電流、電位差、オームの法則		
13	電磁波、光		
14	直流回路、交流回路		
15	原子核と放射線、半減期		

基本情報

科目名	情報リテラシー
時間割コード	0528130801
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森 信之
科目区分	基礎分野 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
森 信之

詳細情報

授業の目的・到達目標	高校における「情報」の履修を踏まえ、大学生として、また社会にでてからも必要となっていく「情報活用力（情報リテラシー能力）」を高めていくことがねらいである。これにより、これからの高度情報化社会に対応した、身の回りの情報環境を、自ら、積極的に、利活用できるようになることを目指す。
履修上の注意事項	基本操作が充分理解できていない場合は、事前に予習をしておくこと。 また、講義中はゆっくりノートをしている時間はないので、復習する中で自分の理解を確かめながら、手順や注意事項をメモするように。
評価方法	課題レポートと、筆記・実技試験の結果を総合的に判断する。配点は、レポート30%、試験70%。再試験は行なう。
テキスト	「2021年度版 情報倫理ハンドブック」noa出版
参考文献	講義中に、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	情報教育システムの利用について（森），教務システムLiveCampusの説明（教務課）		
2	E-mailの利活用（森）		
3	Wordの基本操作 日本語入力，段落設定，段組み等（森）		
4	Wordの基本操作 罫線，図の挿入等（森）		
5	Wordの基本操作 図形描画，曲線とフリーフォーム（森）		
6	文献検索（福本/図書館），インターネットの利活用（森）		
7	情報モラル，情報セキュリティについて（森）		
8	Excelの基本操作 データ入力，表作成等（森）		
9	Excelの基本操作 グラフ作成（森）		
10	Excelの基本操作 コピーと移動，絶対参照と相対参照等（森）		
11	Excelによるデータ処理 様々な関数の利用（森）		
12	Excelによるデータ処理 並べ替え，フィルター等（森）		
13	Excelによるデータ処理 ピボットテーブル（森）		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	Powerpointの基本操作 入力，テーマ等（森）		
15	Powerpointの基本操作 画面切り替え，アニメーション等（森）		

基本情報

科目名	情報リテラシー
時間割コード	0528130901
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森 信之
科目区分	基礎分野 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
森 信之

詳細情報

授業の目的・到達目標	高校における「情報」の履修を踏まえ、大学生として、また社会にでてからも必要となっていく「情報活用力（情報リテラシー能力）」を高めていくことがねらいである。これにより、これからの高度情報化社会に対応した、身の回りのパソコンやネットワークなどの情報環境を、自ら積極的に、活用できるようになることを目指す。
履修上の注意事項	1人1台のPCを用いて、講義・演習を行なう。講義資料や演習教材は、講義時間中に各PCに配布するので、中間モニターの教員の資料・教材を見ながら、適宜マーキングしたり、メモを書き込んだり、演習したりすること。ノ質問があるときは、デスクトップ上の質問アイコンをクリックすること。ノレポート課題は、講義時間内であれば教員の方で回収できるが、時間外に提出するときは、メールに添付して提出すること。
評価方法	課題レポートと、筆記・実技試験の結果を総合的に判断する。配点は、レポート30%、試験70%。再試験は行なう。
テキスト	テキストは使用しない。適宜、資料を配布する。
参考文献	講義中に、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	Excelの応用 計算の復習、日付・時間の計算 他	事前：Excelでの計算を復習 事後：日付・時間の表示形式を調べる	
2	Excelの応用 折れ線と散布図、複合グラフ	事前：グラフの描き方を復習 事後：日付・時間のグラフについて調べる	
3	Excelの応用 オートフィル、絶対参照と相対参照 他	事前：Excelでのコピーの仕方を調べる 事後：数式への\$のつけ方を復習	
4	Excelの応用 様々な関数の利用・関数の検索 他	事前：関数の使い方を復習 事後：講義に出てきた関数とその類似関数についてまとめる	
5	Excelの応用 IF関数とIFの組合せ、COUNTIF、SUMIF、AVERAGEIF	事前：IF関数について予習 事後：IFの組合せと論理式についてまとめる	
6	Excelの応用 並び替え	事前：並び替えについて予習 事後：複数の並び替えの組合せについて復習	
7	Excelの応用 フィルター	事前：フィルターについて予習 事後：複数のフィルターや並び替えの組合せについて復習	
8	Excelの応用 ピボットテーブル：集計、クロス集計 他	事前：条件付平均等を復習 事後：ピボットテーブルの作り方を復習	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
9	Excelの応用 ピボットテーブル : 度数, 相対度数 他	事前: ピボットテーブルの計算の仕方を 復習 事後: 相対度数 (比率) の計算の違いを まとめる	
10	Excelの応用 条件付き書式	事前: Excelの書式について復習 事後: 条件の組合せについて復習	
11	ExcelとWordのデータ連携	事前: WordでのTab設定の復習 事後: 貼り付けオプションの違いをまと める	
12	Web上のデータの Excel, Wordでの利活用	事前: Webでの検索について調べる 事後: データの利用の仕方をまとめる	
13	Office365の利用について	事前: WebでのOffice365へのアクセスに ついて復習 事後: Office365の様々な使い方を調べる	
14	Web検索とOneNoteの使い方	事前: Webでの検索について調べる 事後: 自分のテーマに沿って調べたこと をOneNoteにコピーする	
15	総合演習	事前: OneNoteの整理 事後: レポートにまとめる	

基本情報

科目名	数学
時間割コード	0528131001
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森 信之
科目区分	基礎分野 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
森 信之

詳細情報

授業の目的・到達目標	この講義では、数学の基礎を理解し、問題演習を通して「論理的思考」や「数学的思考」ができるようになることを目指します。
履修上の注意事項	テキストを使用しないので、講義中のノートをしっかり取るだけでなく、事前学習が必要になる。また毎回、前の週の確認テストを行なうので、復習をし、特に授業中の演習問題は、もう一度解いてみて、その考え方のプロセスを学ぶこと。 「数理的な思考」を身に着けるには、自分の頭で考えてみるのが大切です。
評価方法	定期試験のみで評価します。 毎回行なう小テストは、理解度を確認するためのものなので、評価には入れませんが、定期試験の問題として出題します（問題文や数字は変更します）。
テキスト	テキストは使わず、必要に応じてプリントを配布します。
参考文献	講義中に、適宜、指示します。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	数と演算		
2	度数と分布		
3	算術平均，加重平均；幾何平均		
4	比・連比，比率（静的・動的）		
5	リスク比，オッズ比		
6	様々な関数，逆関数		
7	累乗関数とその性質		
8	指数関数とその性質		
9	対数関数とその性質		
10	グラフの描き方・読み方		
11	経験的確率と理論的確率		
12	根元事象と場合の数，順列・組合せ		
13	2項分布とポアソン分布		
14	条件付き確率，期待値		
15	ベイズの定理		

基本情報

科目名	化学
時間割コード	0528131101
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	基礎分野 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
檜枝 洋記

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は、専門科目（生化学、薬理学、栄養学、医用工学など）の土台となっている化学の基礎的な知識について学ぶ。また、食品をはじめ身の回りにある物質について科学的に考え、正しく理解できるようになる。
履修上の注意事項	高校で化学を履修しなかった、化学を苦手としていた、履修したがもう一度学び直したい学生を対象にする。「わかること」「楽しめる」ように丁寧な講義を行う。
評価方法	中間試験 50%、単位習得試験 50%
テキスト	特になし。プリントを配布。
参考文献	看護系で役立つ化学の基本（有本淳一・西沢いずみ、化学同人） コ・メディカル化学 医療系・看護系のための基礎化学（齋藤勝裕ら、裳華房） 生理学・生化学につながるていねいな化学（白戸亮吉ら、羊土社）
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	人体を構成する元素	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
2	原子の構造と性質	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
3	イオンと分子	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
4	化学結合	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
5	原子の質量	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
6	物質の質量とモル	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
7	水溶液の%濃度とモル濃度	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
8	中間テスト	これまでの授業内容をしっかりと復習しておくこと	
9	浸透圧	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
10	酸・塩基と中和	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
11	pHと酸性・中性・塩基性	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
12	緩衝液	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
13	酸化と還元	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	化学反応と酵素	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
15	有機化合物	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	

基本情報

科目名	生物学
時間割コード	0528131201
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	基礎分野 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名	
檜枝 洋記	

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目では「細胞」を軸にして、生物（とくにヒト）のからだの構造とはたらきについて学ぶ。専門科目（解剖学、生理学、生化学、微生物学など）のより深い理解に役立てる。
履修上の注意事項	高校で生物を履修しなかった、生物を苦手としていた、履修したがもう一度学び直したい学生を対象にする。「わかること」を「楽しめる」ように丁寧な講義を行う。 ただ暗記するのではなく、考えて理解すること。
評価方法	中間試験 50%、単位修得試験 50%
テキスト	プリント配布
参考文献	1. わかる！身につく！生物・生化学・分子生物学、第2版（田村隆明、南山堂） 2. 基礎から学ぶ生物学・細胞生物学、第3版（和田勝、羊土社）
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	生物の多様性と共通性	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
2	環境と生命	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
3	細胞の構造とはたらき	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
4	生体構成物質	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
5	代謝	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
6	エネルギーの獲得と利用	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
7	酵素のはたらき	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
8	中間試験	これまでの内容をしっかりと復習しておくこと	
9	遺伝子DNAと染色体	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
10	遺伝子のはたらき	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
11	細胞分裂	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
12	遺伝	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
13	生殖と発生	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
14	組織と器官	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	生体防御	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	

基本情報

科目名	医療福祉論
時間割コード	0528432001
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	竹中 健
科目区分	専門基礎分野 口腔保健学科専門基礎分野(歯・口)

担当教員情報

教員名
竹中 健

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>ソーシャルワーク実践において必要となる保健医療の動向を理解する。 保健医療に係る政策、制度、サービスについて理解する。 保健医療領域における社会福祉士の役割と、連携や協働について理解する。 保健医療の課題を持つ人に対する、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。</p>
履修上の注意事項	<p>講義予定の範囲について、テキストをあらかじめよく読み、毎回予習をしておくこと。講義に際しては、教科書の該当箇所を事前に最低30分は学習するとともに、講義後にも最低15分は講義内容の再確認を行うこと。</p>
評価方法	<p>講義内で実施する5回のミニテストの結果(各回100点満点:合計500点満点)をもとに総合的に判定する(100%)。</p>
テキスト	<p>日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『保健医療と福祉』中央法規(最新版)</p>
参考文献	<p>講義中に適宜紹介する。</p>
実務経験のある教員による授業	<p>無</p>
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション	<p>【事前】日本国がどのようなCovid-19感染防止策をとったかを調べてください(2時間) 【事後】日本国の現在のCovid-19感染防止策の問題点を、A4用紙1枚程度にまとめ、次回の講義開始前に提出してください。(2時間)</p>	
2	疾病構造の変化	<p>【事前】世界のCovid-19感染状況を調べてください(2時間) 【事後】日本の現在のCovid-19感染状況とそれに対して政府や自治体が行っている対策の中身を正確に知ろう(2時間)</p>	
3	医療施設から在宅医療へ	<p>【事前】「社会的入院」について調べてください(2時間) 【事後】社会的入院がなくなる理由をA4用紙2枚にまとめ、次回の講義開始前に提出してください。(2時間)</p>	
4	保健医療における福祉的課題	<p>【事前】様々な「依存症」について調べておいてください(2時間) 【事後】「依存症」への支援について調べてください(2時間)</p>	
5	医療保険制度の概要	<p>【事前】日本における医療保険制度の歴史を調べておいてください(2時間) 【事後】アメリカにおいて皆保険制度が成立しない理由はなにか、論じてください。A4用紙1枚程度にまとめ、次回の講義開始前に提出してください。(2時間)</p>	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	診療報酬制度の概要	【事前】高額療養費制度について調べてください（2時間） 【事後】労災保険、傷病手当金、特定疾患医療費助成制度について調べてください（2時間）	
7	医療施設の概要	【事前】病院と診療所の違いについて調べておいてください（2時間） 【事後】特定機能病院とは何かを調べてください（2時間）	
8	保健医療対策の概要	【事前】保健所の役割を調べておいてください（2時間） 【事後】地域医療の指針をまとめてください（2時間）	
9	自己決定権の尊重	【事前】インフォームド・コンセントについて調べてください（2時間） 【事後】終末期の医療について、その課題を整理してください（2時間）	
10	保健医療に係る倫理	【事前】医療倫理の4原則をしらべておいてください（2時間） 【事後】出生前診断の問題を整理して論じてください。A4用紙1枚程度にまとめ、次回の講義開始前に提出してください。（2時間）	
11	倫理的課題	【事前】尊厳死と安楽死の定義を調べてください（2時間） 【事後】現在の日本の医療における尊厳死が医療費抑制の文脈から語られる現状について、あなたの考えを書いてください。A4用紙1枚程度にまとめ、次回の講義開始前に提出してください。（2時間）	
12	保健医療領域における専門職	【事前】あなたは医療ソーシャルワーカーとして、どのような仕事をしたいと考えていますか？ 今あなたが想定している職務内容の理想を書き出してみましよう（2時間） 【事後】日本の病院では、「医療ソーシャルワーカー」は構造的に医療にかかわるソーシャルワークの実践が困難な状況におかれているとすれば、何が問題であるのかを論じてください。A4用紙1枚程度にまとめ、次回の講義開始前に提出してください。（2時間）	
13	保健医療領域における連携・協働	【事前】保健医療領域における専門職にはどのようなものがあるのか、列挙してみよう（2時間） 【事後】保健医療領域における専門職の連携はどのように可能かを考えてみよう（2時間）	
14	保健医療領域における社会福祉士の役割	【事前】院内連携・地域医療連携（病診連携、病病連携）について調べておこう（2時間） 【事後】地域包括ケアシステムにおける連携とはどのようなものかを調べておこう（2時間）	
15	保健医療領域における支援の実際（多職種連携を含む）	【事前】医療ソーシャルワーカーの業務指針について調べてください（2時間） 【事後】終末期ケアおよび認知症ケアにおける支援のありかたについて、調べてまとめてください（2時間）	

基本情報

科目名	保健社会論
時間割コード	0528432101
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	嶋 政弘
科目区分	専門基礎分野 口腔保健学科専門基礎分野(歯・口)

担当教員情報

教員名
嶋 政弘

詳細情報

授業の目的・到達目標	1 我が国の国民衛生の歴史及び現状について説明することができる。 2 衛生の主要指標について理解し、現在課題となっている保健・医療問題を解説することができる。
履修上の注意事項	1 ペアによるディスカッションをするため、ペアを作って着席する。 2 すべてのペアに発言の機会があるので、常に自分の考えを持って参加する。
評価方法	ディスカッションへの参加40%、課題提出20%、期末試験40%で評価する。 再試験は実施しない。
テキスト	使用しない。
参考文献	毎回、資料(学習プリント)を配布する。参考資料については、授業の中で随時提示する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>前半は、国民衛生の歴史と現状という課題で、国民衛生の歴史や進歩を中心に学習する。後半は、現在の医療経済や国民衛生に関する統計を基にした現状と課題について学習する。授業の形態としては、課題を基にしたディスカッションを随所に取り入れ、自分の考えを持つことを目標とする。</p> <p>なお、事前・事後学修のうち、事前学修については、個人で行うことは難しいと考えるが、事後学習については、講義で疑問に感じたことや発展的なことについて調べることを指導する。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	保健社会論とは		
2	病気と医療の関係		
3	医療保障の歴史と目的		
4	保健医療論 保健・医療・福祉の資源		
5	保健医療論 地域保健・地域医療		
6	保健医療論 社会保障制度と医療経済		
7	保健医療論 国際保健		
8	産業保健 労働衛生対策		
9	産業保健 産業性疾病		
10	産業保健 産業中毒		
11	環境保健 環境と適応		
12	環境保健 地球環境の変化と健康影響		
13	環境保健 環境汚染の評価と対策		
14	環境保健 環境緯線の発生要因と現状(公害のエピソードを含む)		
15	現代医療の課題		

基本情報

科目名	地域保健論
時間割コード	0528432201
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	嶋 政弘
科目区分	専門基礎分野 口腔保健学科専門基礎分野(歯・口)

担当教員情報

教員名
嶋 政弘

詳細情報

授業の目的・到達目標	1 地域保健の位置づけやその構造を理解し、具体的な活動や医療制度について理解する。 2 地域保健が目指す新しい健康の概念や地域集団としての健康づくりへの取り組みの例に着目し、今後の地域医療の在り方について考えることができる。
履修上の注意事項	1 ペアによるディスカッションをするため、ペアを作って着席する。 2 すべてのペアに発言の機会があるので、常に自分の考えを持って参加する。
評価方法	ディスカッションへの参加40%、課題提出20%、期末試験40%で評価する。 再試験は実施しない。
テキスト	使用しない。
参考文献	毎回、資料を配布する。参考資料については、授業の中で随時提示する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	地域保健とその構造		
2	保健・医療・福祉の組織と活動		
3	保健・医療・福祉の組織と活動		
4	医療計画と医療制度		
5	救急・災害医療		
6	救急・災害医療		
7	へき地医療		
8	在宅医療		
9	在宅医療		
10	地域と健康づくり		
11	地域と健康づくり		
12	チーム医療(保健・医療・福祉の連携)		
13	健康と環境		
14	健康と環境		
15	健康と環境		

基本情報

科目名	保健福祉行政論
時間割コード	0528433001
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	福本 久美子
科目区分	専門基礎分野 口腔保健学科専門基礎分野(歯・口)

担当教員情報

教員名	
福本 久美子、中川 武子、隈 直子、未定	

詳細情報

授業の目的・到達目標	1. 地域の人々の健康を保障するために、生活と健康に関する社会資源の公平な利用と分配を促進する必要性について理解できる。 2. 保健医療福祉行政の仕組み、地域の健康課題に必要な社会資源の開発、評価等の基礎となる法律・制度・政策について理解できる。
履修上の注意事項	1) 予習復習を行い、講義に積極的に参加すること(90分以上)。 2) 日頃から、保健医療福祉行政に関する新聞報道などに関心を持ち、情報収集に努めること。
評価方法	課題レポート2回(50点 2回=100点) レポートテーマ等は、Campus Squareで指示。 レポート提出先: Campus Square。フィードバックは質問者に対応。
テキスト	『これからの保健医療福祉行政論 第2版』日本看護協会
参考文献	『国民衛生の動向2020/2021』厚生統計協会、他適時紹介
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	福本久美子: 行政保健師としての実務経験 中川武子: 保健師としての実務経験 未定

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	保健医療福祉行政の理念(福本・中川・未定)	テキスト第3章を事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
2	保健医療福祉行政の組織(しくみ)と役割(福本)	テキスト第3章を事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
3	保健医療福祉行政の財政(福本)	テキスト第3章を事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
4	保健医療福祉行政の計画と評価(福本)	テキスト第3・4章を事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
5	保健医療福祉行政の歴史の変遷とその背景(中川)	テキスト第3章を事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
6	保健医療福祉行政の新たな課題への対応(福本)	1コマから5コマまでと現在の行政課題を事前学習のこと(2時間)、事後はノートをしっかり整理すること(2時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
7	社会保障制度と公衆衛生行政(中川)	事前は国民衛生の動向や新聞報道等で情報収集のこと(2時間)、事後はノートをしっかり整理すること(2時間)	
8	社会保障制度と社会福祉(隈)	事前は国民衛生の動向や新聞報道等で情報収集のこと(2時間)、事後はノートをしっかり整理すること(2時間)	
9	地域保健の制度(未定)	事前は国民衛生の動向や新聞報道等で情報収集のこと(2時間)、事後はノートをしっかり整理すること(2時間)	
10	医療保険制度(未定)	事前は国民衛生の動向や新聞報道等で情報収集のこと(2時間)、事後はノートをしっかり整理すること(2時間)	
11	医療制度とその医療提供体制の実際(福本:外部特別講師)	事前は国民衛生の動向や新聞報道等で情報収集のこと(2時間)、事後はノートをしっかり整理すること(2時間)	
12	母子保健制度(未定)	事前は国民衛生の動向や新聞報道等で情報収集のこと(2時間)、事後はノートをしっかり整理すること(2時間)	
13	介護保険制度と実際の運用(福本:外部特別講師)	事前は国民衛生の動向や新聞報道等で情報収集のこと(2時間)、事後はノートをしっかり整理すること(2時間)	
14	世界の公衆衛生と理念(中川)	テキストを事前学習のこと(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
15	まとめ(福本・中川・未定)	テキストやこれまでの授業資料を事前学習(2時間)、事後はテキストなどを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	

基本情報

科目名	国際保健論
時間割コード	0528433101
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	未定
科目区分	専門基礎分野 口腔保健学科専門基礎分野（歯・口

担当教員情報

教員名
未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	
履修上の注意事項	
評価方法	
テキスト	
参考文献	
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	社会福祉原論
時間割コード	0528443901
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	村本 浄司
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野(選必2)

担当教員情報

教員名	
村本 浄司	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 社会福祉の固有の視点である政策の実践の歴史、相互作用の変遷について説明できる。</p> <p>2. 社会福祉の思想と哲学及び理論の基本事項について説明できる。</p> <p>3. 現代の社会問題と社会構造の概要について説明できる。</p> <p>4. 福祉政策の基本的な視点や概念、理念について、説明できる。</p> <p>5. ニーズという言葉の意味や必要原則、貢献原則、資源の性質や種類について説明できる</p>
履修上の注意事項	本講義は5名の教員によるオムニバスによって実施する。講義にあたっては、各先生の指示に従い、積極的に参加することを望む。
評価方法	定期試験60%、課題レポート40%で評価する。
テキスト	最新・社会福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編、中央法規、2021年。
参考文献	オムニバスを担当した各教員が適宜資料を配布する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、社会福祉の原理とは何かについて理解する(村本)	(事前)教科書P2-P5を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)社会福祉の原理についてノートにまとめる(2時間)。	
2	社会福祉の原理と様々な理論について理解する(村本)	(事前)教科書P6-P13を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)社会福祉の様々な理論についてノートにまとめる(2時間)。	
3	社会福祉の歴史を学ぶ意義と英国と米国における福祉の歴史的展開について理解する(村本)	(事前)教科書P16-P33を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)英国と米国の福祉の歴史についてノートにまとめる(2時間)。	
4	日本の社会福祉の歴史的天下について理解する(村本)	(事前)教科書P34-P45を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)日本における社会福祉の歩みについてノートにまとめる(2時間)。	
5	自由主義イデオロギーとフェミニズムについて理解する(増田)	(事前)教科書P48-P59を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)イデオロギー、自由主義、新自由主義についてノートにまとめる(2時間)。	
6	社会福祉の理論について理解する(増田)	(事前)教科書P60-P69を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)社会福祉の理論についてノートにまとめる(2時間)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	社会福祉の論点を把握し、公私関係、普遍主義と選別主義について理解する（増田）	（事前）教科書P70-P79を読み、わからない語句について調べておく。 （事後）様々な社会福祉論点について、ノートにまとめる（2時間）。	
8	社会福祉の対象とニーズについて理解する（増田）	（事前）教科書P80-P88を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）社会福祉における対象の捉え方についてノートにまとめる（2時間）。	
9	現代における社会問題について理解する（阿部）	（事前）教科書P90-P99を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）現代の様々な社会問題についてノートにまとめる（2時間）。	
10	社会問題が生じている構造的背景について理解する（阿部）	（事前）教科書P100-P108を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）社会問題の構造的背景について、ノートにまとめる（2時間）。	
11	福祉政策とニーズの概念について理解する（橋本）	（事前）教科書P110-118を読み、わからない語句について調べる（2時間）。 （事後）福祉政策とニーズについてノートにまとめる（2時間）。	
12	自由と平等、自由主義と新自由主義が福祉に与える影響について理解する（橋本）	（事前）教科書P119-P131を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）新自由主義が福祉政策に与える影響についてノートにまとめる（2時間）。	
13	福祉におけるニーズの概念について学ぶ（ニーズの使われ方、ニーズとデマンド）（平川）	（事前）教科書P134-P143を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）ニーズとデマンドの関係についてノートにまとめる（2時間）。	
14	福祉におけるニーズの概念について学ぶ（行政需要と行政ニーズ、ニーズの把握、ニーズの種類）（平川）	（事前）教科書P143 - P151を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）公正の原理としての必要原則についてノートにまとめる（2時間）。	
15	ニーズを充足するものとしての資源について理解する（村本）	（事前）教科書P152-163を読み、わからない語句について調べる（2時間）。 （事後）福祉政策における資源についてノートにまとめる（2時間）。	

基本情報

科目名	介護概論
時間割コード	0528444101
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	前田 公江
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野(選必1)

担当教員情報

教員名
前田 公江

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 介護の理念とその枠組みについて学習し、人間尊重と自立支援を目指した新しい介護の考え方を理解する。</p> <p>2. 歴史的展開を理解すると共に、現代社会における介護の在り方や関係職種間の連携の重要性について学ぶ。</p> <p>3. 介護援助における倫理および援助者としての基本的態度を身につけ、個々の利用者に応じた介護技術の在り方を探求する。</p> <p>4. 介護を通して「人間としての尊厳」や「その人らしい生き方」について学び、人間観や思考を深める。</p>
履修上の注意事項	<p>・授業前にテキストを読み、単元のキーワードについて調べてくること(90分)</p> <p>・授業後は必ず配布したプリントを復習し理解を深めること(60分)</p>
評価方法	毎回の授業の終わりに小レポートを提出、および講義・演習への参加意欲を20%加味し筆記試験80%で評価する。
テキスト	「新・社会福祉士養成講座13 高齢者に対する支援と介護保険制度」社会福祉士養成講座編集委員会編(中央法規出版)
参考文献	適宜、講義の中で紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>1) 介護を取り巻く社会的背景について理解する</p> <p>2) 「介護」をどのように定義づけるか、介護の概念について考察する</p> <p>3) 介護の範囲の考え方を理解し求められる資質と専門性について考える</p> <p>4) 介護過程の仕組みを理解し、「自立に向けた介護」とは何かを考察する</p> <p>5) 地域で支える力と介護予防の重要性を理解する</p> <p>6) 認知症高齢者の対応方法について考える</p> <p>7) 高齢者の終末期の特徴を理解しケアのあり方を考える</p> <p>8) 事例検討を通して、実際の介護現場における問題を考える</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	わが国の介護福祉の現状と動向・課題について	介護に専門性が求められる理由とは何か? 事前に考えてみよう	キーワード: わが国の医療・社会福祉の歴史
2	高齢者の生活実態と福祉・介護ニーズを理解する	身体面・心理面・社会面からのアプローチに必要な視点とは何か? 様々な介護ニーズを通してまとめよう	キーワード: 身体・心理・社会的アプローチ
3	介護従事者としての役割と実際	要介護者を支える仕組みにはどのような制度があるかを事前に調べてみよう	キーワード: 要介護者と要支援者
4	介護の概念や対象・範囲について	「その人らしさ」と「生活ニーズ」という言葉の意味を自分なりに考えてみよう	キーワード: 生活ニーズ
5	介護保険制度の仕組みとサービス体系について	わが国のサービス体系を理解し、その課題について考えよう	キーワード: 介護保険制度
6	地域で支える介護の必要性と介護予防の概念を理解する	地域で支える介護の意義と介護予防の種類について調べてみよう	キーワード: 地域包括ケアシステムと介護予防
7	高齢者の尊厳を支える介護を通して人間の尊厳と自立を考える	高齢者の尊厳を守るためにはどのような視点が必要かを考える	キーワード: 人間の尊厳

授業計画

- 1) 介護を取り巻く社会的背景について理解する
- 2) 「介護」をどのように定義づけるか、介護の概念について考察する
- 3) 介護の範囲の考え方を理解し求められる資質と専門性について考える
- 4) 介護過程の仕組みを理解し、「自立に向けた介護」とは何かを考察する
- 5) 地域で支える力と介護予防の重要性を理解する
- 6) 認知症高齢者の対応方法について考える
- 7) 高齢者の終末期の特徴を理解しケアのあり方を考える
- 8) 事例検討を通して、実際の介護現場における問題を考える

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	介護過程の概要と展開及び介護の技法について	利用者の真のニーズを捉えるコミュニケーション技法を学ぶ	キーワード：福祉介護従事者に必要なコミュニケーション技法
9	自立に向けた介護とは何かを考えよう ：その1	家事における介護にはどのようなものがあるか	キーワード：自立
10	自立に向けた介護とは何かを考えよう ：その2	身支度、移動、睡眠、食事、口腔衛生の介護にはどのようなものがあるか	キーワード：身体介護と家事支援
11	自立に向けた介護とは何かを考えよう ：その3	入浴、清潔、排泄の介護にはどのようなものがあるか	キーワード：介護の専門性
12	認知症ケアの概況：これからの認知症ケアのあり方と方向性	認知症患者の主な症状にはどのようなものがあるか？事前に調べてみよう	キーワード：認知症
13	死と終末期ケア：人間観と倫理から終末期ケアと死生観を考える	高齢者の終末期ケアの特徴を事前に調べてみよう	キーワード：終末期ケア
14	事例検討：実際の介護サービス計画を立ててみよう！	事例を通して介護サービス計画書の書き方を理解し、計画書作成において必要な視点を捉える	キーワード：介護サービス計画書
15	事例検討：認知症ケアの実際	認知症ケアにおいて自分自身が最も重要視したいことを事前に整理し、事例検討に臨むこと	キーワード：認知症ケア

基本情報

科目名	地域福祉論
時間割コード	0528444301
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	村本 浄司
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野

担当教員情報

教員名
村本 浄司

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題について理解し、説明できる。</p> <p>2. 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の具体的展開方法について説明できる。</p> <p>3. 地域福祉ガバナンスの概念と他機関協働について説明できる。</p> <p>4. 地域福祉を理解する上で重要な基本的考え方について説明できる。</p>
履修上の注意事項	地域福祉に関する日常的なニュースや報道の内容に関心を払い、また、実習やボランティアで見聞きしたことを土台にして、地域福祉の理論や方法がどのように実際の場面で活かされているかを考えながら受講し、事前学習および事後学習に努めること。
評価方法	<p>1) 授業後の提出物40% (講義内で、ディスカッションを実施し、その結果について、毎回の講義後の提出を求める)</p> <p>2) 課題レポート(テーマは講義内で発表)30%</p> <p>3) 定期試験30%</p>
テキスト	最新・社会福祉士養成講座 6 『地域福祉と包括的支援体制』一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集,中央法規出版を使用する。
参考文献	授業ごとに必要な資料を配布する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	村本浄司: 研究員として障害者支援施設に勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、地域社会の概念を理解する	事前)教科書P2-4を熟読し、わからない語句について調べておく(2時間)。 事後)地域福祉の概念について、ノートにまとめる(2時間)。	
2	我が国のコミュニティ政策の動向を理解する	事前)教科書P4-10を熟読し、わからない語句について調べておく(2時間)。 事後)地域福祉の理論について、ノート	
3	近年の地域社会の変化の諸相を理解する	事前)教科書P11-19を熟読し、わからない語句について調べておく(2時間)。 事後)地域社会の変化について、ノートにまとめる(2時間)。	
4	多様化・複雑化した地域生活課題の現状とニーズについて理解する	事前)教科書P20-30を熟読し、わからない語句について調べておく(2時間)。 事後)地域生活課題について、ノートにまとめる(2時間)。	
5	地域福祉と社会的孤立、地域包括ケアシステムの考え方について把握する	事前)社会的孤立とは何かについて、教科書を読んで把握しておく(2時間)。 事後)地域包括ケアシステムの概念について、ノートにまとめる(2時間)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	生活困窮者自立支援制度の目的、基本理念、概念を学ぶ	事前）教科書P44-54を読み、生活困窮者自立支援制度の中身について把握しておく（2時間）。 事後）生活困窮者自立支援制度について、ノートにまとめる（2時間）。	
7	包括的支援体制の概念と具体的な展開方法について理解する	事前）包括的支援体制についてノートにまとめておく（2時間）。 事後）地域共生社会の実現に向けての方法をノートにまとめる（2時間）	
8	包括的支援体制構築事業について理解する	事前）教科書を読み、包括的支援体制事業の中身について把握しておく（2時間）。 事後）包括支援体制の確立に向けたソーシャルワーカーの役割についてノートにまとめる（2時間）。	
9	地域福祉ガバナンスとその背景について理解する	事前）ガバナンスの考え方についてノートにまとめておく（2時間）。 事後）多機関協働を促進する仕組みについてノートにまとめる（2時間）。	
10	多職種連携の目的とコンピテンシーについて理解する	事前）多職種連携の目的についてノートにまとめておく（2時間）。 事後）チームが直面する倫理的ジレンマについてノートにまとめる（2時間）。	
11	福祉以外の分野との協働の目的と意義について理解する	事前）身近にある社会資源について調べてノートにまとめておく（2時間）。 事後）福祉以外の分野との協働による事例についてノートにまとめる（2時間）。	
12	地域福祉の理論と内容について理解する	事前）地域福祉の様々な理論についてノートにまとめる（2時間）。 事後）地域福祉をめぐる新たな課題や動向について、ノートにまとめる（2時間）。	
13	地域福祉の歴史的変遷について理解する	事前）地域福祉の源流について教科書をまとめておく（2時間）。 事後）戦後から今日に至る地域福祉の歴史的変遷について時代背景とともにまとめておく（2時間）。	
14	地域生活課題に対応する地域福祉の新たな動向について理解する	事前）人口減少と超高齢社会における地域生活課題について調べておく（2時間）。 事後）地域福祉の推進主体についてノートにまとめる（2時間）。	
15	地域福祉の主体と福祉教育について理解する	事前）地域生活課題について調べておく（2時間）。 事後）福祉教育についてノートにまとめる（2時間）。	

基本情報

科目名	高齢者福祉論
時間割コード	0528444501
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野

担当教員情報

教員名	
吉岡 久美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	1.高齢者への支援に必要な介護保険法の諸手続き方法、居宅・施設サービスの種類、地域支援事業、地域包括支援センターの機能や役割について説明できる。 2.高齢者への総合的相談援助に必要な高齢者諸関係法を説明できる。
履修上の注意事項	該当する単元については、指定テキストを用いて事前に学習しておくこと。講義後もう一度通読して復習し、理解を深めること。また、指示したレポートは期限を守り、提出すること。
評価方法	定期試験90%、課題レポート10%で評価する。 課題レポートについてはコメントを入れて返却する。
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会編『高齢者に対する支援と介護保険制度-高齢者福祉論-』（最新版）中央法規。 野崎和義監修『社会福祉六法』（最新版）ミネルヴァ書房。
参考文献	日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新社会福祉士養成講座2 高齢者福祉』中央法規出版 その他 授業中、適宜紹介
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	介護保険法目的、保険者と被保険者、保険料を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
2	介護保険法の要介護認定の仕組みとプロセスを理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
3	介護保険サービスの体系を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
4	介護保険法の居宅・介護予防・地域密着型サービス、住宅改修を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
5	介護保険法の施設サービスの種類、役割、機能を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	地域包括支援センターの役割と実際を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
7	介護保険法における地域支援事業、苦情処理、審査請求、介護保険制度の最近の動向を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
8	介護保険法における組織及び団体の役割と実際を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
9	介護保険法における専門職の役割と実際を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
10	介護保険法におけるネットワーキングとその実際を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
11	老人福祉法の歴史と概要、サービスと援助を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
12	高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
13	高齢者の権利擁護と成年後見制度を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
14	高齢者の居住の安定確保に関する法律を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
15	高齢者関連法と諸施策を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	障害者福祉論
時間割コード	0528444601
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	増田 公香
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野

担当教員情報

教員名	
増田 公香、平川 泰士	

詳細情報

授業の目的・到達目標	1 障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢や福祉・介護需要（地域移行や就労の実態を含む）について理解する。 2 障害者福祉制度の発達過程について理解する。 3 相談援助活動において必要となる障害者総合支援法や障害者の福祉・介護に係る他の法制度について理解する。
履修上の注意事項	授業前にテキストを読み、キーワードについて調べてくること。 授業後に復習しておくこと。
評価方法	定期試験60%、レポート20%、発表20%で評価する。
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会編『障害者に対する支援と障害者自立支援制度』第6版（中央法規、2019年）。
参考文献	厚生労働省編『（平成30年版）厚生労働白書』（ぎょうせい、2018年）。 内閣府編『（平成30年版）障害者白書』（日経印刷、2018年）。『社会福祉六法』（最新版）。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉・介護需要		
2	障害者福祉制度の発達過程		
3	障害者総合支援法		
4	障害者総合支援法における組織及び団体の役割と実際		
5	障害者総合支援法における専門職の役割と実際		
6	障害者総合支援法における多職種連携、ネットワーキングと実際		
7	相談支援事業所の役割と実際		
8	身体障害者福祉法		
9	知的障害者福祉法		
10	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律		
11	発達障害者支援法		
12	障害者基本法		
13	心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律		
14	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	障害者の雇用の促進等に関する法律		

基本情報

科目名	児童福祉論
時間割コード	0528444701
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	橋本 眞奈美
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野

担当教員情報

教員名
橋本 眞奈美

詳細情報

授業の目的・到達目標	1 児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要を理解できる。 2 児童・家庭福祉制度の発展過程を理解できる。 3 児童の権利について理解できる。 4 児童・家庭福祉制度や児童・家庭福祉に係る他の法制度について理解できる。
履修上の注意事項	この科目は、社会福祉学科及び口腔保健学科の学生を対象に開講される。社会福祉学科においては社会福祉士養成課程科目の一つである。授業前にテキストを読むこと(30分)。授業後にテキストを再読すること、また専門用語に注目しつつ復習する(60分)。
評価方法	試験80点、授業内レポート20点で評価する。レポートの内容については講義内で説明する
テキスト	『3 児童・家庭福祉』一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編 中央法規(最新版)
参考文献	社会福祉用語辞典(第9版)山縣文治・柏女霊峰編集委員代表 ミネルヴァ書房
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	児童福祉の学びのポイントの理解、児童や家庭に対する支援と家庭福祉制度の概要の理解		
2	児童・家庭の生活実態と社会の関連性を理解する		
3	子育て、ひとり親家庭、児童虐待、家庭内暴力の実態から福祉需要を把握する		
4	地域における子育て支援及び青少年育成の実態から福祉需要を把握する		
5	児童・家庭福祉制度の発展過程を理解する		
6	「児童福祉法」の概要を学ぶ、児童の定義と権利を理解する		
7	児童相談所の役割と実際(組織体系、児童福祉司等の専門職の業務、他職種との連携)を理解する		
8	「児童虐待防止法」の概要、社会的養護の理解と自治体の役割を理解する		
9	「DV法」「母子及び父子並びに寡婦福祉法」の目的理解、婦人相談所や保護施設の役割理解		
10	児童健全育成・保育と児童手当等の社会手当の役割を関連付けて理解する		
11	「母子保健法」「子ども・子育て支援法」の役割理解と子どもの貧困対策について理解する		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	児童・家庭福祉制度と地域における他職種連携とネットワーキングと実際を理解する		
13	障害・難病のある子どもと家族の理解と相談援助活動についての考察		
14	児童虐待・非行・情緒障害児等と社会的養護の関連性の理解と相談援助活動についての考察		
15	児童・家庭に対する相談援助活動についての整理と理解		

基本情報

科目名	福祉法学
時間割コード	0528444801
開講所属	看護福祉学部口腔保健学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	野崎 和義
科目区分	選択必修分野 口腔保健学科選択必修分野

担当教員情報

教員名
野崎 和義

詳細情報

授業の目的・到達目標	以下の各点について理解する。 相談援助活動と法、相談援助活動と成年後見制度、成年後見制度の実際、社会的排除や虐待などの権利侵害、認知症などで日常生活上の支援が必要な者に対する権利擁護活動の実際。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 準備学習：各回のテーマに即して教科書を読んでおくこと。 事後学習：講義で示された課題をもとに教科書および関連事項を整理すること。 講義の進行は、理解度に応じて変更することがある。その際には、あらかじめ通知する。
評価方法	定期試験（100％）の成績によって評価する。
テキスト	野崎和義著『福祉法学』2013年、ミネルヴァ書房。 野崎和義監修『社会福祉六法』2021年、ミネルヴァ書房（過年度版でも可）。
参考文献	
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>事前・事後学修について</p> <p>事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）</p> <p>事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	相談援助活動と法との関わり（1）：日本国憲法の基本原理、民法等の理解		
2	相談援助活動と法との関わり（2）：行政法の理解、福祉関連法の理解		
3	成年後見制度（1）：制度の概要（法定後見と任意後見、制限行為能力）		
4	成年後見制度（2）：法定後見の各類型と申立て手続き		
5	成年後見制度（3）：任意後見とその利用手続き		
6	成年後見制度（4）：成年後見人の職務と権限、その課題（医療同意権等）		
7	成年後見制度利用支援事業：事業の概要、対象者、制度の根拠		
8	日常生活自立支援事業（1）：事業の概要（専門員、生活支援員の役割）		
9	日常生活自立支援事業（2）：成年後見制度との連携		
10	権利擁護に関わる組織と団体：家庭裁判所、市町村、社会福祉協議会等の役割		
11	権利擁護に関わる専門職：弁護士、司法書士、社会福祉士等の活動の実際		

授業計画

事前・事後学修について

事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）

事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	成年後見活動の実際：消費者被害を受けた者への対応、障害児・者への支援等		
13	権利擁護活動の実際（1）：被虐待児・者への対応、高齢者虐待への対応等		
14	権利擁護活動の実際（2）：非行少年への対応、ホームレスへの対応等		
15	障害者と法：障害者虐待防止法、障害者差別解消法		